新秩父ミューズパーク配水池築造工事

数　量　計　算　書

秩父広域市町村圏組合水道局

共通仮設費(積上)　総括表

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
運搬費						
ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機分解組立+輸送	往復			回	1	
重建設機械分解組立+輸送	往復　ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ杭打機			回	1	
路面切削機	30t　L=3.5km			台	1	
土留材	鋼矢板Ⅲ型，H鋼，主部材，副部材					
運搬	製品長12m以内　L=3.5km　往復	321.04	321.0	t	0.1	
積込み・取卸し		321.04	321.0	t	0.1	
土留材	鋼矢板Ⅳ型，主部材，副部材					
運搬	製品長12m超　L=3.5km　往復	144.68	144.7	t	0.1	
積込み・取卸し		144.68	144.7	t	0.1	
敷鉄板						
運搬	製品長12m以内　L=3.5km　往復			t	0.1	
積込み・取卸し				t	0.1	
簡易土留材						
運搬	製品長12m以内　L=3.5km　往復			t	0.1	
積込み・取卸し				t	0.1	
準備費						
チェンソー伐開		3997.00	3997	m2	1	
機械除根	0.8m3BH	3997.00	3997	m2	1	
根切・積込	0.45m3BH	19.56	20	m3	1	
運搬費	4tDT　DID無　L=13.7km			時間	1	
処分	木くず・再生	19.56	20	m3	1	
技術管理費						
土質試験						
平板載荷試験	100kN以内	2.00	2	箇所	1	
通水試験						
	φ350，φ300			日	0.01	
	φ100			日	0.01	

共　通　仮　設　費　（積上）　計　算　用　紙

NO－１

名　称	数 量	単位	算　式　又　は　図　式
運搬費			
オールケーシング掘削機			
分解組立＋輸送　往復		回	
重建設機械			
分解組立＋輸送　往復　ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ杭打機		回	
路面切削機		台	
土留材　鋼矢板Ⅲ型，H鋼，主部材，副部材			
運搬	321.04	t	166.29＋59.76＋10.42＋69.32＋15.25
積込み・取卸し	321.04	t	166.29＋59.76＋10.42＋69.32＋15.25
土留材　鋼矢板Ⅳ型，主部材，副部材			
運搬	144.68	t	106.54＋31.26＋6.88
積込み・取卸し	144.68	t	106.54＋31.26＋6.88
敷き鉄板			
運搬		t	
積込み・取卸し		t	
簡易土留材			
運搬		t	
積込み・取卸し		t	
準備費			
伐採・伐根			
チェンソー伐開	3997.00	m2	
機械除根　0.8m3BH	3997.00	m2	
根切・積込　0.45m3BH	19.56	m3	$V=0.8093\times(1.3383\times0.13)^{1.7089}\times480$
運搬費　4tDT DID無　L=13.7km		時間	
処分　（木くず・再生）	19.56	m3	

共　通　仮　設　費　（積上）　計　算　用　紙

名　称	数 量	単位	算　式　又　は　図　式
技術管理費			
土質試験			
平板載荷試験	2.00	箇所	
通水試験			
φ350,φ300		日	L=490.12
φ100		日	L=285.70

配水池築造工総括表-1　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
躯体工						
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	2059.80	2060	m3	1	
型枠	一般型枠	3405.40	3410	m2	10	
鉄筋工	SD-345　D13mm	8.253	8.25	t	0.01	
鉄筋工	SD-345　D16～25mm	126.624	126.62	t	0.01	
鉄筋工	SD-345　D29～32mm	161.478	161.48	t	0.01	
ガス圧接工	SD-345　D29＋D29	783.00	783	箇所	1	
パイプサポート支保				空m3	10	
手摺先行型枠組足場	安全ネット必要			掛m2	10	
基礎工						
基礎砕石	RC40-0　t=200mm	803.90	800	m2	10	
型枠	一般型枠	14.10	14	m2	1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	80.40	80	m3	1	
杭工　場所打ち杭						
場所打杭工	φ2000mm　掘削長15.6m	24.00	24	本	1	
場所打杭工	φ2000mm　掘削長16.6m	1.00	1	本	1	
コンクリート	鉄筋コンクリート(30N/mm2)	586.00	586	m3	1	
鉄筋工	SD-345　D13mm	0.819	0.82	t	0.01	
鉄筋工	SD-345　D16～25mm	43.773	43.77	t	0.01	
鉄筋工	SD-345　D29～32mm	124.489	124.49	t	0.01	
平鋼	9×50	5.261	5.26	t	0.01	
D29用Uボルト		15920.00	15920	個	1	
ねじ節鉄筋継手	D29	1920.00	1920	組	1	
補強ﾘﾝｸﾞ曲げ加工	平鋼20kg未満	398.00	398	本	1	
補強ﾘﾝｸﾞ穴開け加工		15920.00	15920	箇所	1	
機械式継手施工費	D29～D32	1920.00	1920	箇所	1	
杭頭処理	φ2000mm	25.00	25	本	1	
残土運搬	10tDT　L=10.9km	834.00	830	m3	10	
残土処理	大型ﾊﾞｷｭｰﾑ車	1501.20	1500	t	10	
配管工						
※管材費		1.00	1	式	1	
※一般材料		1.00	1	式	1	

躯体工総括表-2

補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
※労務						
鋼管据付	流入管φ300	9.88	9.9	m	0.1	
フランジ継手	φ300　7.5K	2.00	2	口	1	
鋼管据付	送水管φ350	2.54	2.5	m	0.1	
フランジ継手	φ350　7.5K	2.00	2	口	1	
鋼管据付	配水管φ100	2.20	2.2	m	0.1	
フランジ継手	φ100　7.5K	2.00	2	口	1	
鋼管据付	排泥管φ150	2.26	2.3	m	0.1	
鋼管据付	越流管φ150	12.48	12.5	m	0.1	
フランジ継手	φ150　7.5K	4.00	4	口	1	
内面防水塗装工						
表面処理工	ｻﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ,簡易洗浄	3487.03	3487	m2	1	
防水・防食工	ﾎﾟﾘｳﾚｱ樹脂	3487.03	3487	m2	1	
付帯工						
覆蓋工	□600×600	2.00	2	箇所	1	
覆蓋工	□900×900	2.00	2	箇所	1	
手掛・足掛金物	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製 W=300	48.00	48	個	1	
ベンチレータ	φ150×180°	4.00	4	箇所	1	
防水シート	ｴﾁﾚﾝ酢酸ﾋﾞﾆﾙ系樹脂ｼｰﾄ t=1	768.00	768	m2	1	
止水板	ｾﾝﾀｰﾊﾞﾙﾌﾞ型ﾌﾗｯﾄ	130.50	131	m	1	

配水池土工・土留工総括表

補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
土工						
床掘り	0.8㎥BH	5282.90	5300	m3	100	
埋戻し	0.8㎥BH	1456.20	1500	m3	100	
掘削・積込み	0.8㎥BH	1456.20	1500	m3	100	
土砂運搬	10tDT　L=4.5km　DID無	1456.20	1460	m3	10	
土砂運搬	10tDT　L=10.9km　DID無	5282.90	5280	m3	10	
残土処分費		9509.2	9510	t	10	
土留工						
鋼矢板圧入	圧入長11.50m	241.00	241	枚	1	
鋼矢板圧入	圧入長12.00m	83.00	83	枚	1	
油圧圧入引抜機据付・解体	陸上施工　鋼矢板Ⅲ型　圧入			回	1	
H形鋼打込み	打込長7.00m	16.00	16	本	1	
鋼矢板引抜き	引抜長11.50m	241.00	241	枚	1	
鋼矢板引抜き	引抜長12.00m	83.00	83	枚	1	
油圧圧入引抜機据付・解体	陸上施工　鋼矢板Ⅲ型　引抜			回	1	
H形鋼引抜き	引抜長7.00m	16.00	16	本	1	
仮設材設置・撤去		87.40	87.4	t	0.1	
鋼矢板賃料	Ⅲ型　L=11.5m　供用日数　日	241.00	241	枚	1	
鋼矢板賃料	Ⅲ型　L=12.0m　供用日数　日	83.00	83	枚	1	
H形鋼賃料	H-300　供用日数　日	16.00	16	本	1	
山留材賃料	主部材＋副部材A　供用日数　日	69.32	69.3	t	0.1	
現場発生品運搬	4t級　L=7.9km			回	1	
スクラップ	H1	2.77	2.77	t	0.01	

場内配管工総括表-1　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
流入管						
※管材費		1.00	1	式	1	
※一般材料		1.00	1	式	1	
※労務						
鋳鉄管布設工	φ300　機械	135.80	135.8	m	0.1	
鋳鉄管切断工	φ300　パイプ切断機	15.00	15	口	1	
GX形継手接合工	φ300　直管	20.00	20	口	1	
GX形継手接合工	φ300　異形管	7.00	7	口	1	
GX形継手接合工	φ300　G-Link	16.00	16	口	1	
フランジ継手工	φ300　上水	2.00	2	口	1	
伸縮可撓管設置工	φ300　機械　F×U	2.00	2	基	1	
仕切弁設置工	φ300　機械	2.00	2	基	1	
弁筐設置工	ねじ式　座台共	2.00	2	箇所	1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ300	138.00	138.0	m	0.1	
管明示シート工	W=150	135.00	135.0	m	0.1	
管明示テープ工	φ300　鋳鉄管用	138.00	138.0	m	0.1	
送水管						
※管材費		1.00	1	式	1	
※一般材料		1.00	1	式	1	
※労務						
鋳鉄管布設工	φ350　機械	95.50	95.5	m	0.1	
鋳鉄管切断・溝切り加工	φ350NS　パイプ切断機	14.00	14	口	1	
NS形継手接合工	φ350　直管	18.00	18	口	1	
NS形継手接合工	φ350　異形管	15.00	15	口	1	
NS形継手接合工	φ350　継ぎ輪	5.00	5	口	1	
NS形継手挿口加工	φ350　ﾀｯﾋﾟﾝねじ式	14.00	14	口	1	
フランジ継手工	φ350　上水	4.00	4	口	1	
伸縮可撓管設置工	φ350　機械　U×S	1.00	1	基	1	
伸縮可撓管設置工	φ350　機械　F×S	2.00	2	基	1	
仕切弁設置工	φ350　機械	2.00	2	基	1	
鉄蓋設置工	φ600	2.00	2	個	1	

場内配管工総括表-2　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
仕切弁ボックス設置工	φ600×10H　調整ﾘﾝｸﾞ	2.00	2	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×200H　上部壁	2.00	2	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×200H　中部壁	4.00	4	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×500H　中部壁	8.00	8.0	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×500H　下部壁	2.00	2	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×500H　底版	2.00	2	個	1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ350	100.30	100.3	m	0.1	
管明示シート工	W=150	96.60	96.6	m	0.1	
管明示テープ工	φ350　鋳鉄管用	100.30	100.3	m	0.1	
基礎砕石	RC-40　t=100mm	1.30	1	㎡	1	
配水管						
※管材費		1.00	1	式	1	
※一般材料		1.00	1	式	1	
※労務						
ポリエチレン管布設工	φ100　融着	102.80	102.8	m	0.1	
ポリエチレン管切断工	φ100　融着	16.00	16	口	1	
ポリエチレン管継手工	φ100　融着2口	5.00	5	箇所	1	
ポリエチレン管継手工	φ100　融着1口	33.00	33	口	1	
フランジ継手工	φ100　上水	7.00	7	口	1	
伸縮可撓管設置工	φ100　機械　F×F	3.00	3	基	1	
仕切弁設置工	φ100　機械	2.00	2	基	1	
鉄蓋設置工	φ600	2.00	2	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×50H　調整ﾘﾝｸﾞ	2.00	2	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×200H　上部壁	2.00	2	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×200H　中部壁	4.00	4	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×500H　中部壁	10.00	10.0	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×500H　下部壁	2.00	2	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×40H　底版	2.00	2	個	1	
管明示シート工	W=150	102.60	102.6	m	0.1	
管明示テープ工	φ100　鋳鉄管用	102.80	102.8	m	0.1	
基礎砕石	RC-40　t=100mm	1.30	1	㎡	1	

場内配管工総括表-3　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
排泥管						
※管材費		1.00	1	式	1	
※一般材料		1.00	1	式	1	
※労務						
鋳鉄管布設工	φ150　機械	122.50	122.5	m	0.1	
鋳鉄管布設工	φ75　機械	3.90	3.9	m	0.1	
鋳鉄管切断工	φ150　パイプ切断機	23.00	23	口	1	
鋳鉄管切断工	φ75　パイプ切断機	2.00	2	口	1	
GX形継手接合工	φ150　直管	25.00	25	口	1	
GX形継手接合工	φ75　直管	1.00	1	口	1	
GX形継手接合工	φ150　異形管	13.00	13	口	1	
GX形継手接合工	φ75　異形管	4.00	4	口	1	
GX形継手接合工	φ150　G-Link	24.00	24	口	1	
GX形継手接合工	φ75　G-Link	2.00	2	口	1	
フランジ継手工	φ150　上水	4.00	4	口	1	
フランジ継手工	φ75　上水	1.00	1	口	1	
伸縮可撓管設置工	φ150　機械　F×S	4.00	4	基	1	
伸縮可撓管設置工	φ75　機械　U×S	1.00	1	基	1	
仕切弁設置工	φ150　機械	3.00	3	基	1	
仕切弁設置工	φ75　機械	1.00	1	基	1	
鉄蓋設置工	φ600	4.00	4	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×10H　調整ﾘﾝｸﾞ	4.00	4	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×200H　上部壁	4.00	4	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×200H　中部壁	2.00	2	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×300H　中部壁	3.00	3	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×500H　中部壁	20.00	20	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×500H　下部壁	4.00	4	個	1	
仕切弁ボックス設置工	φ600×40H　底版	4.00	4	個	1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ150	127.30	127.3	m	0.1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ75	4.90	4.9	m	0.1	
管明示シート工	W=150	126.20	126.2	m	0.1	

場内配管工総括表-4　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
管明示テープ工	φ150　鋳鉄管用	127.30	127.3	m	0.1	
管明示テープ工	φ75　鋳鉄管用	4.90	4.9	m	0.1	
基礎砕石	RC-40　t=100mm	2.60	3	m2	1	
現場発生品運搬	4t級　L=7.9km			回	1	
スクラップ	H1	3.583	3.58	t	0.01	
配管土工						
掘削	0.8㎥BH	1520.00	1500	m3	100	
埋戻し	発生土　0.8㎥BH	1150.00	1200	m3	100	
埋戻し	山砂　0.8㎥BH	310.00	310	m3	10	
積込	0.8㎥BH	1156.00	1200	m3	100	
土砂運搬	10tDT　DID無　L=4.5km	1156.00	1160	m3	10	
土砂運搬	10tDT　DID無　L=10.9km	1524.00	1520	m3	10	
残土処分		2743.00	2740	t	10	
仮設工						
簡易土留建込	2.0型	89.30	89.3	m	0.1	
簡易土留建込	2.5型	8.10	8.1	m	0.1	
簡易土留建込	3.5型	18.60	18.6	m	0.1	
簡易土留建込	4.5型	14.40	14.4	m	0.1	
簡易土留引抜	2.0型	89.30	89.3	m	0.1	
簡易土留引抜	2.5型	8.10	8.1	m	0.1	
簡易土留引抜	3.5型	18.60	18.6	m	0.1	
簡易土留引抜	4.5型	14.40	14.4	m	0.1	
簡易土留材賃料	2.0型	1.00	1	式	1	
簡易土留材賃料	2.5型	1.00	1	式	1	
簡易土留材賃料	3.5型	1.00	1	式	1	
簡易土留材賃料	4.5型	1.00	1	式	1	

場外配管工総括表-1　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
流入管						
※管材費		1.00	1	式	1	
※一般材料		1.00	1	式	1	
※労務						
鋳鉄管布設工	φ300　機械	181.00	181.0	m	0.1	
鋳鉄管切断工	φ300　パイプ切断機	15.00	15	ロ	1	
GX形継手接合工	φ300　直管	32.00	32	ロ	1	
GX形継手接合工	φ300　異形管	4.00	4	ロ	1	
GX形継手接合工	φ300　G-Link	15.00	15	ロ	1	
フランジ継手工	φ300　上水	5.00	5	ロ	1	
仕切弁設置工	φ300　機械	1.00	1	基	1	
空気弁設置工		1.00	1	基	1	
弁筐設置工	ねじ式　座台共	1.00	1	箇所	1	
鉄蓋設置工	φ600	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×10H　調整ﾘﾝｸﾞ	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×200H　上部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×200H　中部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×300H　下部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×40H　底版	1.00	1	個	1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ300	181.00	181.0	m	0.1	
管明示シート工	W=150	180.10	180.1	m	0.1	
管明示テープ工	φ300　鋳鉄管用	181.00	181.0	m	0.1	
基礎砕石	RC-40　t=100mm	0.60	0.6	㎥	0.1	
送水管						
※管材費		1.00	1	式	1	
※一般材料		1.00	1	式	1	
※労務						
鋳鉄管布設工	φ350　機械	65.40	65.4	m	0.1	
鋳鉄管布設工	φ250　機械	1.10	1.1	m	0.1	
鋳鉄管布設工	φ100　機械	0.50	0.5	m	0.1	
鋳鉄管布設工	φ75　機械	8.00	8.0	m	0.1	

場外配管工総括表-2　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
鋳鉄管切断・溝切り加工	φ350NS　パイプ切断機	9.00	9	ロ	1	
鋳鉄管切断・溝切り加工	φ75NS　パイプ切断機	2.00	2	ロ	1	
鋳鉄管切断工	φ75　パイプ切断機	1.00	1	ロ	1	
NS形継手接合工	φ350　直管	10.00	10	ロ	1	
NS形継手接合工	φ350　異形管	10.00	10	ロ	1	
NS形継手接合工	φ250　異形管	1.00	1	ロ	1	
NS形継手接合工	φ100　異形管	1.00	1	ロ	1	
NS形継手接合工	φ75　異形管	2.00	2	ロ	1	
NS形継手接合工	φ350　継ぎ輪	5.00	5	ロ	1	
NS形継手挿し口加工	φ350　ﾀｯﾋﾟﾝねじ式	11.00	11	ロ	1	
NS形継手挿し口加工	φ75　ﾀｯﾋﾟﾝねじ式	1.00	1	ロ	1	
GX形継手接合工	φ75　直管	2.00	2	ロ	1	
GX形継手接合工	φ75　G-Link	1.00	1	ロ	1	
フランジ継手工	φ75　上水	4.00	4	ロ	1	
仕切弁設置工	φ75　機械	1.00	1	基	1	
空気弁設置工		1.00	1	基	1	
鉄蓋設置工	φ600	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×10H　調整ﾘﾝｸﾞ	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×200H　上部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×200H　中部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×300H　下部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×40H　底版	1.00	1	個	1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ350	65.40	65.4	m	0.1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ250	1.10	1.1	m	0.1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ100	0.50	0.5	m	0.1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	φ75	8.00	8.0	m	0.1	
管明示シート工	W=150	74.00	74.0	m	0.1	
管明示テープ工	φ350　鋳鉄管用	65.40	65.4	m	0.1	
管明示テープ工	φ250　鋳鉄管用	1.10	1.1	m	0.1	
管明示テープ工	φ100　鋳鉄管用	0.50	0.5	m	0.1	
管明示テープ工	φ75　鋳鉄管用	8.00	8.0	m	0.1	
基礎砕石	RC-40　t=100mm	0.60	0.6	㎥	0.1	

場外配管工総括表-3　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
配水管						
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管布設工	φ100　融着	180.70	180.7	m	0.1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ100	16.00	16	ロ	1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	φ100　融着2ロ	4.00	4	箇所	1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	φ100　融着1ロ	51.00	51	ロ	1	
フランジ継手工	φ75　上水	4.00	4	ロ	1	
仕切弁設置工	φ100　機械	1.00	1	基	1	
空気弁設置工		1.00	1	基	1	
弁筐設置工	ねじ式　座台共	1.00	1	箇所	1	
鉄蓋設置工	φ600	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×10H　調整ﾘﾝｸﾞ	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×200H　上部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×200H　中部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×300H　下部壁	1.00	1	個	1	
空気弁ボックス設置工	φ600×40H　底版	1.00	1	基	1	
管明示シート工	W=150	180.30	180.3	m	0.1	
管明示テープ工	φ100　ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用	180.70	180.7	m	0.1	
基礎砕石	RC-40　t=100mm	0.60	0.6	㎡	0.1	
土工						
昼間施工						
掘削	0.45BH	270.40	270	m3	10	
掘削	人力	3.50	4	m3	1	
埋戻し	山砂　0.45BH	212.20	210	m3	10	
埋戻し	山砂　人力	3.50	4	m3	1	
埋戻し	発生土　0.45BH	36.00	40	m3	10	
As塊運搬	10DT　L=4.5km　DID無	9.50	10	m3	1	
土砂運搬	10tDT　L=10.9km　DID無	582.80	580	m3	10	
積込	As殻	8.90	9	m3	1	
積込	土砂	323.20	320	m3	10	
As塊運搬	10DT　L=4.4km　DID無	8.90	9	m3	1	
土砂運搬	10tDT　L=10.8km　DID無	323.20	320	m3	10	
As殻処分		22.30	22	t	1	

場外配管工総括表-4　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
残土処分		1049.00	1050	t	10	
路盤	RC-40　t=10cm	95.70	96	m2	1	
As切断濁水運搬	2tDT　L=46.8km			台	1	
濁水処分		0.37	0.37	m3	0.01	
夜間施工						
舗装版切断	t=5cm	287.80	290	m	10	
舗装版取壊し積込	0.45BH	189.70	190	m2	10	
掘削	0.45BH	342.20	340	m3	10	
掘削	人力	2.70	3	m3	1	
埋戻し	山砂　0.45BH	262.20	260	m3	10	
埋戻し	山砂　人力	2.70	3	m3	1	
As塊運搬	10DT　L=0.1km　DID無	8.90	9	m3	1	
土砂運搬	10tDT　L=0.1km　DID無	323.20	320	m3	10	
下層路盤	RC-40　t=20cm	189.67	190	m2	1	
上層路盤	M-30　t=15cm	189.67	190	m2	1	
表層	再生密粒度As(13)　t=5cm	189.67	190	m2	1	
仮設工						
昼間施工						
簡易土留建込	2.0型	20.20	20.2	m	0.1	
簡易土留建込	2.5型	33.00	33.0	m	0.1	
簡易土留引抜	2.0型	20.20	20.2	m	0.1	
簡易土留引抜	2.5型	33.00	33.0	m	0.1	
簡易土留材賃料	2.0型	1.00	1	式	1	
簡易土留材賃料	2.5型	1.00	1	式	1	
夜間施工						
簡易土留建込	2.0型	143.90	143.9	m	0.1	
簡易土留引抜	2.0型	143.90	143.9	m	0.1	
簡易土留材賃料	2.0型	1.00	1	式	1	

流量計・緊急遮断弁室築造工総括表-1　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
躯体工						
コンクリート	無筋・鉄筋構造物　24N/mm2	88.30	88	m3	1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物　18N/mm2	4.00	4	m3	1	
型枠	一般型枠	211.20	211	m2	1	
型枠	一般型枠　(均しｺﾝｸﾘｰﾄ)	0.10	0.1	m2	0.1	
鉄筋工	SD-345　D13mm	2.507	2.51	t	0.01	
鉄筋工	SD-345　D16～25mm	5.568	5.57	t	0.01	
鉄筋工	SD-345　D29～32mm	13.623	13.62	t	0.01	
パイプサポート支保				空m3	10	
手摺先行型枠組足場	安全ネット必要			掛m2	10	
手掛・足掛金物	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製 W=300	28.00	28	本	1	
基礎工						
基礎砕石	RC40-0　t=200mm	57.00	60	m2	10	
型枠	一般型枠	3.10	3	m2	1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	5.70	6	m3	1	
弁室内配管						
※管材費		1.00	1	式	1	
※一般材料		1.00	1	式	1	
※労務						
普通作業員				人	1	
配管工				人	1	
ダクト工				人	1	
複合工						
鋼材加工組立工		263.10	263.1	kg	0.1	
掘削	0.28㎥BH	12.80	10	m3	10	
埋戻し	0.28㎥BH　山砂	4.10	4	m3	1	
埋戻し	0.28㎥　発生土	8.10	8	m3	1	
目荒し工		2.50	2.5	m2	0.1	
基礎砕石	RC-40　t=100mm	0.70	0.7	m2	0.1	
型枠工	小型構造物	7.00	7	m2	1	
コンクリート	小型構造物	1.00	1	m3	1	

流量計・緊急遮断弁室築造工総括表-2　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
金ごて仕上げ		9.50	9.5	m2	0.1	
残土運搬	4tDT　L=10.9km	4.70	5	m3	1	
残土処分費		8.40	8	t	1	
土工						
床掘り	0.8㎥BH	668.20	670	㎥	10	
埋戻し	0.8㎥BH	457.00	460	㎥	10	
土砂運搬	10tDT　L=10.9km　DID無	211.20	210	㎥	10	
残土処分費		380.2	380	t	10	
仮設工						
鋼矢板圧入	圧入長12.50m	112.00	112	枚	1	
油圧圧入引抜機据付・解体	陸上施工　鋼矢板Ⅲ型　圧入			回	1	
鋼矢板引抜き	引抜長12.50m	112.00	112	枚	1	
油圧圧入引抜機据付・解体	陸上施工　鋼矢板Ⅲ型　引抜			回	1	
山留材賃料		1.00	1	式	1	
切梁・腹起し設置・撤去		39.38	39.4	t	0.1	
鋼矢板賃料	Ⅳ型　L=12.5m　供用日数　日	112.00	112	枚	1	
山留材賃料	主部材＋副部材A　供用日数　日	15.63	15.6	t	0.1	
山留材賃料	主部材＋副部材A　供用日数　日	15.63	15.6	t	0.1	
現場発生品運搬	2t級　L=7.9km			回	1	
スクラップ	H1	1.25	1.25	t	0.01	

擁壁工総括表

補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
※材料費		1.00	1	式	1	
※労務						
(A工区)						
擁壁設置	3セルタイプ　H≦5m	9.10	9	m2	1	
擁壁設置	4セルタイプ　H≦5m	23.50	24	m2	1	
擁壁設置	5セルタイプ　H≦5m	42.80	43	m2	1	
土のう設置		108.00	108	袋	1	
樹脂アンカーピン打設		108.00	108	本	1	
水平排水材設置		75.00	75	m2	1	
砕石中詰	RC-40	89.50	90	m3	1	
(B工区)						
擁壁設置	3セルタイプ　H≦5m	145.00	145	m2	1	
擁壁設置	4セルタイプ　H≦5m	25.20	25	m2	1	
擁壁設置	5セルタイプ　H≦5m	26.20	26	m2	1	
土のう設置		183.00	183	袋	1	
樹脂アンカーピン打設		183.00	183	本	1	
水平排水材設置		143.40	143	m2	1	
砕石中詰	RC-40	177.80	178	m3	1	

造成工総括表

補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
土工						
掘削　切土	0.8㎥BH	5751.90	5800	m3	100	
盛土	0.8㎥BH	2087.90	2100	m3	100	
切土法面整形		612.00	610	m2	10	
盛土法面整形		838.80	840	m2	10	
掘削・積込	0.8m3BH	2087.90	2100	m3	100	
土砂運搬	10tDT　L=4.5km	2087.90	2090	m3	10	
発生土運搬	10tDT　L=10.9km	5751.90	5750	m3	10	
残土処分費		10353.30	10350	t	10	

舗装本復旧工総括表

補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
既設舗装版撤去工						
路面切削	As　t=50mm	498.60	499	m2	1	
殻運搬	As殻	24.90	25	m3	1	
As殻処分費		58.60	59	t	1	
舗装工						
不陸整正	補足材なし	498.60	499	m2	1	
表層	再生密粒度As　t=50mm	498.60	499	m2	1	
区画線工						
区画線設置	溶融式 実線(白) W=15cm	155.00	155	m	1	
区画線設置	溶融式 実線(白) W=45cm	6.00	6	m	1	
区画線設置	溶融式 破線(白) W=15cm	15.00	15	m	1	
区画線設置	溶融式 破線(白) W=30cm	17.00	17	m	1	
区画線設置	溶融式 矢印 W=15cm換算	13.00	13	m	1	
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ撤去・設置工						
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去・再設置	厚さ8cm　敷材0.03m	1216.30	1220	m2	10	

仮設工総括表　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
敷鉄板						
敷鉄板設置撤去	,供用日数　　日			m2	1	

交通誘導警備員総括表　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
交通誘導警備員						
交通誘導警備員	B　昼間			人	1	
	B　夜間			人	1	

場内整備工総括表　　単　費

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
舗装工						
表層工	再生密粒度As20　t=50mm	951.00	951	m2	1	
上層路盤	M-30　t=150mm	951.00	951	m2	1	
下層路盤	RC-40　t=200mm	951.00	951	m2	1	
排水工						
U形側溝	落蓋式(300A)	137.50	138	m	1	
U形側溝	落蓋式(300A)(横断部)	13.50	14	m	1	
排水管	φ250波付高密度ポリエチレン管	81.70	81.7	m	0.1	
集水桝	□500×H600	1.00	1	箇所	1	
集水桝	□1000×H2350	1.00	1	箇所	1	
中間桝	□1000×H1650	1.00	1	箇所	1	
減勢排水桝	□1000×H1850	1.00	1	箇所	1	
囲障工						
ネットフェンス	H=1800　忍び返し付	66.40	66	m	1	
ガードレール	Gr-C-4E	73.20	73	m	1	
門扉	W=4000(両開)　H=1800	1.00	1	基	1	
階段工						
基礎砕石	RC-40　t=100mm	14.20	14	m2	1	
コンクリート	24-8-25(20)BB	3.90	4	m3	1	
型枠	一般型枠	7.80	8	m2	1	
鉄筋	D13	0.24	0.24	t	0.01	
アルミ製フェンス	H=1100　階段部	5.80	6	m	1	
モルタル金こて		8.90	9	m2	1	
ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ磁器質ﾀｲﾙ	150×60	32.00	32	m	1	
植栽工						
地被類植付工	16鉢/m2	2128.00	2128	鉢	1	
種子吹付け工		1370.00	1370	m2	10	
植樹工	移植　ｲﾇﾂｹﾞH=1.5m W=0.5m	9	9	本	1	

採水口設置工総括表　　単　費

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
採水口設置工						
スタンド型単口採水口		1.00	1	基	1	
採水口設置工		1.00	1	基	1	

交通誘導警備員総括表　　単　費

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
交通誘導警備員						
交通誘導警備員	B　昼間			人	1	

配水池築造工　数量集計表

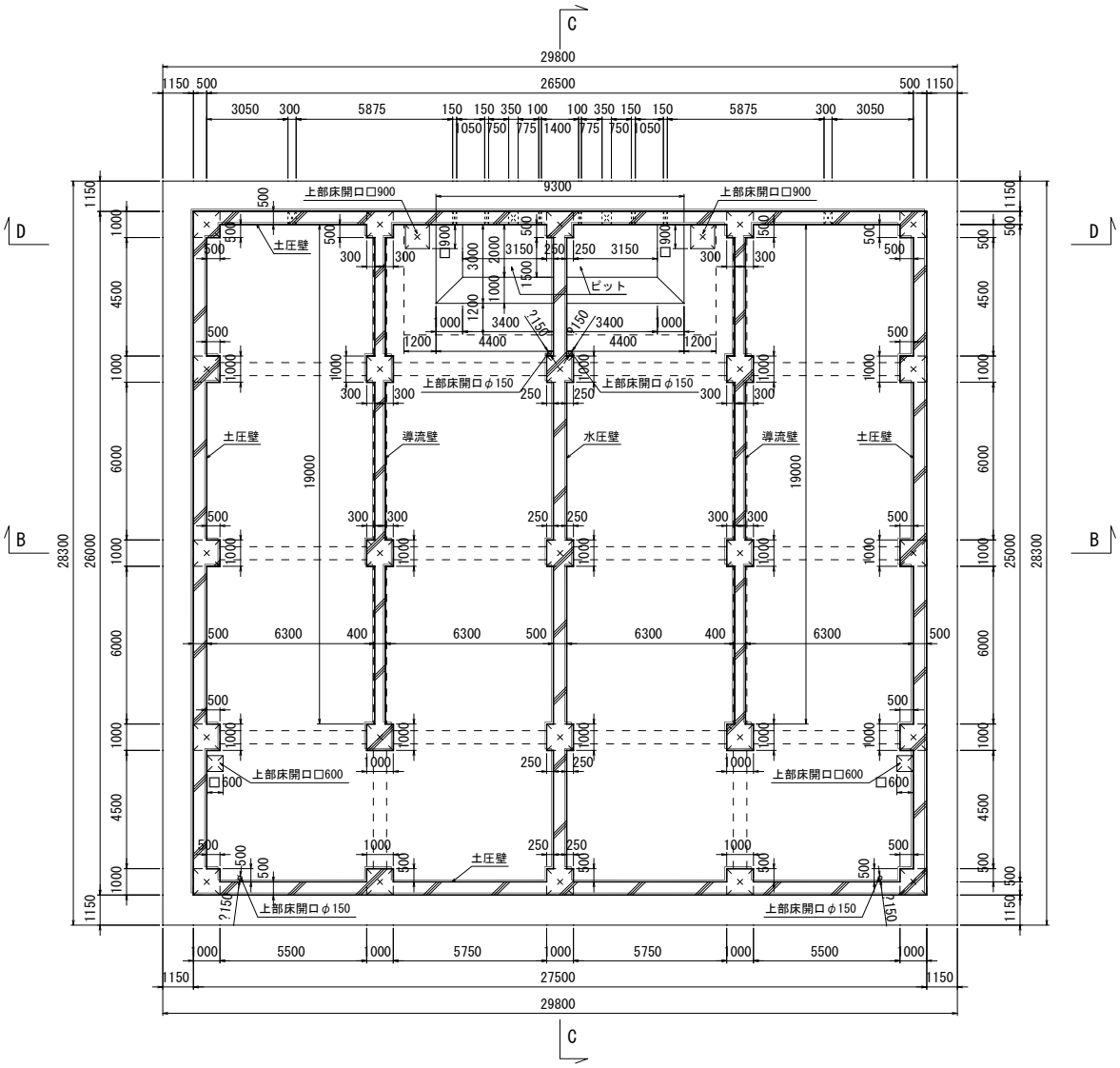
工種	名称		規格・寸法		単位	数量	摘要
コンクリート工	本体工		鉄筋コンクリート(24N/mm^2)		m^3	2059.8	
	均しコンクリート		(18N/mm^2) t=100mm		m^2	803.9	
					m^3	80.4	
杭工	コンクリート		鉄筋コンクリート(30N/mm^2)		m^3	586.0	
	残土運搬		10tDT　L=10.9km		m^3	834.0	
	残土処分				t	1501.2	
砕石基礎工	基礎材		RC-40, t=200mm		m^2	803.9	
					m^3	160.8	
型枠工	普通型枠		H＜10m		m^2	3405.4	
	均しコンクリート型枠				m^2	14.1	
鉄筋工	本体工	D13	SD345		t	8.253	
		D19			t	66.982	
		D22			t	35.204	
		D25			t	24.438	
		D29			t	119.612	ｶﾞｽ圧接783ヵ所
		D32			t	41.866	
	杭工	D13			t	0.823	
		D19			t	0.075	
		D22			t	47.012	
		D29			t	124.772	機械式継手1920ヵ所
			合計		t	469.037	
防水塗装工	本体工		表面処理, ﾌﾟﾗｲﾏｰ, 上塗りﾎﾟﾘｳﾚｱ樹脂		m2	3487.0	
支保工	本体工		H＜10m		空m^3		
足場工	本体工				掛m^2		
配管工	流入管φ300		2F直管	1332L	本	2.0	
			2F90°　曲管	465L×465H	本	2.0	
			2F直管	2000L	本	2.0	
			1ﾗｯﾊﾟ1F直管	679L	本	2.0	
			振止金具	φ300用	組	4.0	
	送水管φ350		1ﾗｯﾊﾟ1F直管	1270L	本	2.0	
	配水管φ100		1ﾗｯﾊﾟ1F直管	1100L	本	2.0	
	排泥管φ150		1ﾗｯﾊﾟ1F直管	1130L	本	2.0	
	越流管φ150		2F直管	1162L	本	2.0	
			2F90°　曲管	235L×235H	本	2.0	
			2F直管	3000L	本	2.0	
			1ﾗｯﾊﾟ1F直管	1609L	本	2.0	
			振止金具	φ150用	組	4.0	
付帯工	大口径マシンハッチ		□600×600（管理用開口）		台	2.0	
			□900×900（搬入用開口）		台	2.0	
	手掛・足掛金物		ポリプロピレン製 W＝300		個	48.0	
	ベンチレータ		φ150×180°		組	4.0	
	防水シート		ｴﾁﾚﾝ酢酸ﾋﾞﾆﾙ樹脂系ｼｰﾄ t=1		m^2	768.0	
	止水板		ｾﾝﾀｰﾊﾞﾙﾌﾞ型ﾌﾗｯﾄ		m	130.5	

項目	計算式	数量

■コンクリート工

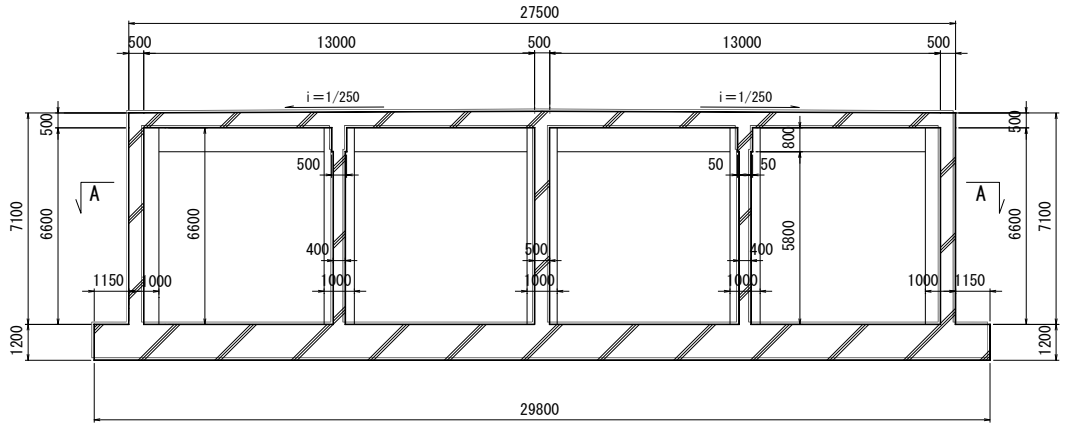
◇　　鉄筋コンクリート　　24N/mm^2

平面図

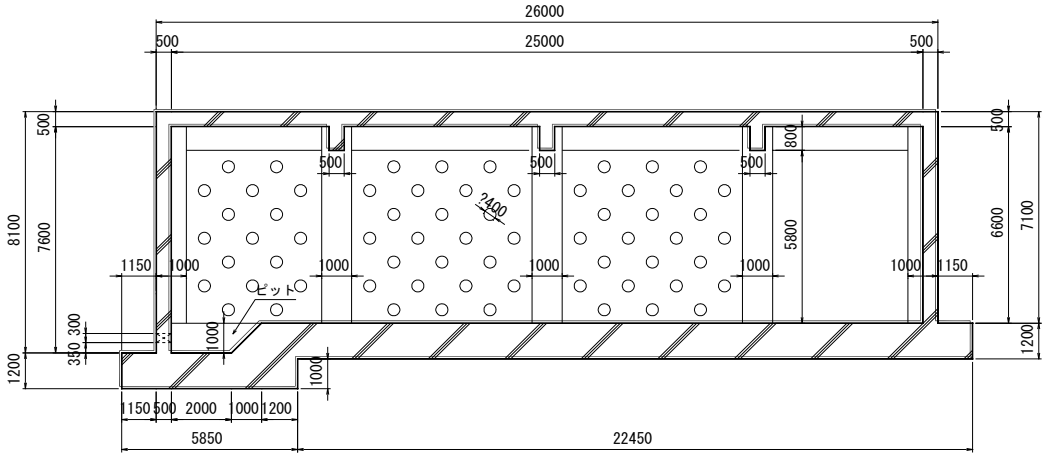


項目	計算式	数量

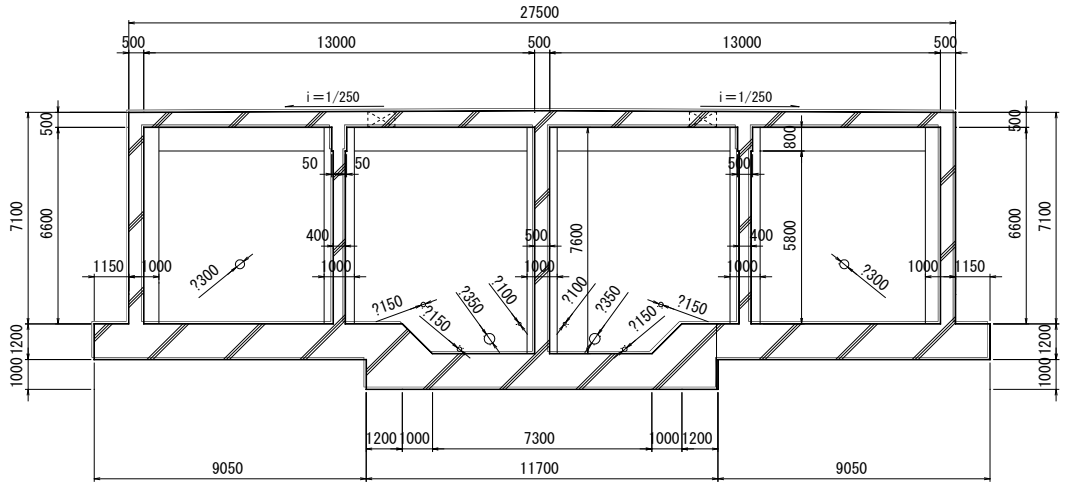
B-B断面図



C-C断面図



D-D断面図



項目	計算式	数量

・普通コンクリート

頂版:

(27.500 × 26.000 − 0.900 × 0.900 × 2 −
0.600 × 0.600 × 2 − 3.142 × 0.075 ×
0.075 × 4)×(0.500 ＋ 0.555)/ 2 ＝ 375.89 m^3

頂版梁:

((5.500 ＋ 5.750)× 6 ＋(4.500 ＋ 6.000)× 4)×
0.500 × 0.800 ＝ 43.80 m^3

底版と底版梁:

29.800 × 28.300 × 1.200 ＋ 4.700 × 1.000 ×
11.700 −(1.000 / 6.000 ×(4.400 × 2.000 ＋
3.400 × 3.000 ＋ 2 ×(4.400 × 3.000 ＋ 3.400 ×
2.000))) × 2 −((3.142 × 0.075 × 0.075 × 2
＋ 3.142 × 0.175 × 0.175 × 2)× 0.500)＋
0.500 × 1.000 ＋ 1.200 × 1.000 × 2 ＝ 1050.12 m^3

柱:

(0.500 × 0.500 × 4 ＋ 0.500 × 0.300 × 4 ＋
0.500 × 0.250 × 4 ＋ 0.500 × 1.000 × 8 ＋
0.300 × 1.000 × 8 ＋ 0.250 × 1.000 × 6 ＋
1.000 × 1.000 × 2)× 6.600 ＋ 0.500 ×
0.250 × 1.000 × 2 ＝ 79.45 m^3

外壁:

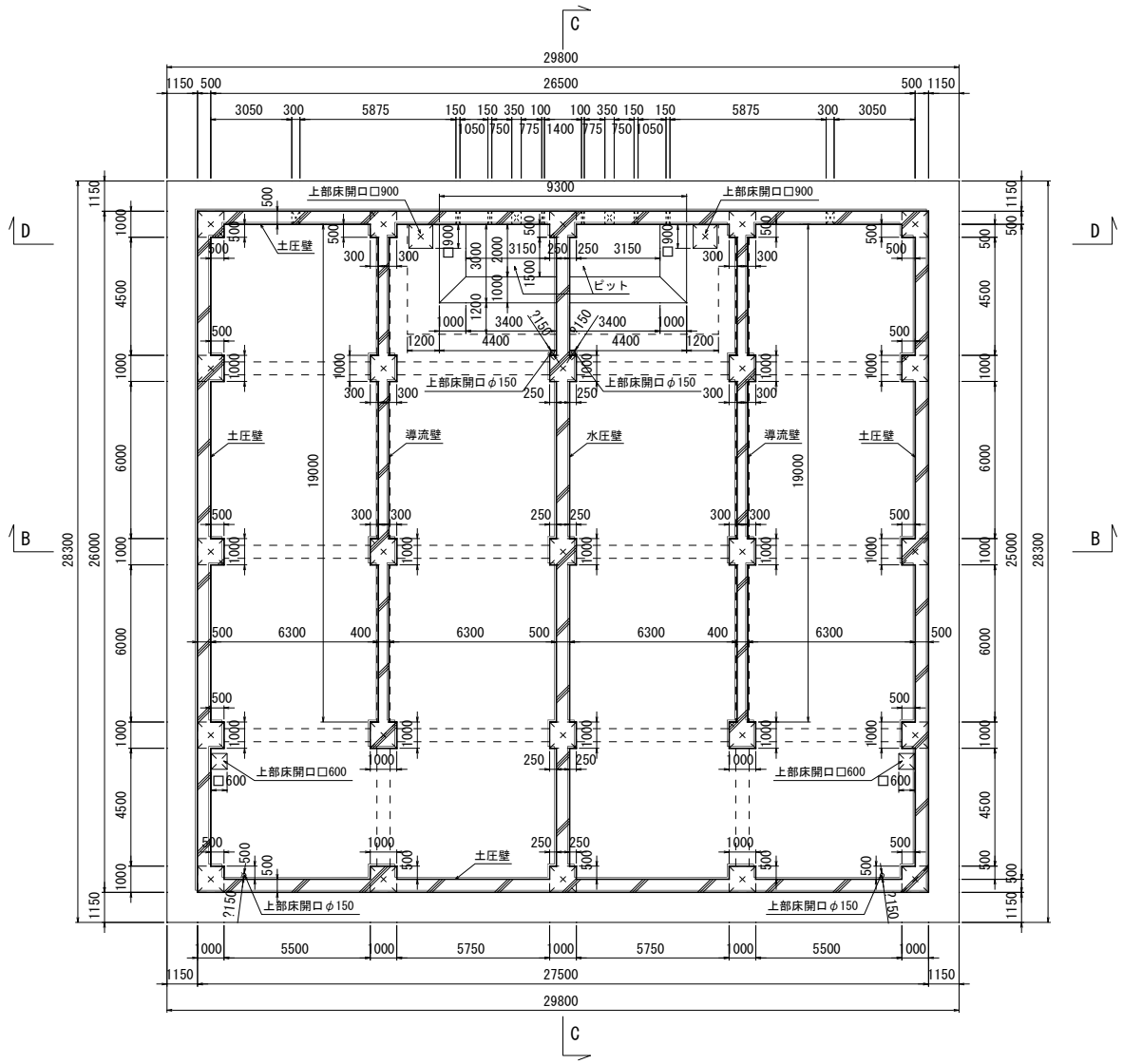
((27.500 ＋ 25.000)× 2 × 6.600 −(3.142 × 0.150
× 0.150 × 2 ＋ 3.142 × 0.075 × 0.075 × 2
＋ 3.142 × 0.050 × 0.050 × 2))× 0.500 ＝ 346.40 m^3

項目	計算式	数量
中壁:		
	0.500 × 25.000 × 6.600	= 82.50 m^3
導流壁:		
	0.400 × 19.000 × 5.800 × 2 − 3.142 ×	
	0.200 × 0.200 × 0.400 × 130	= 81.62 m^3
		2059.78 m^3

項目	計算式	数量

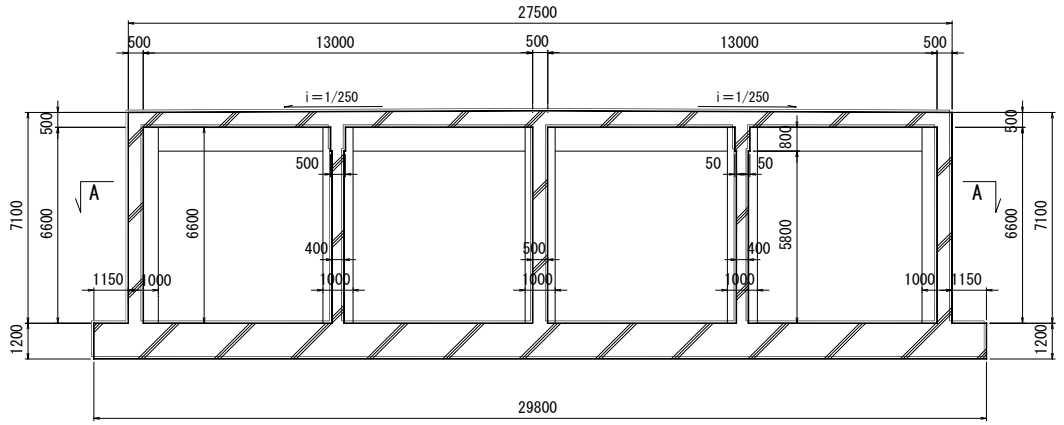
■型枠工

平面図

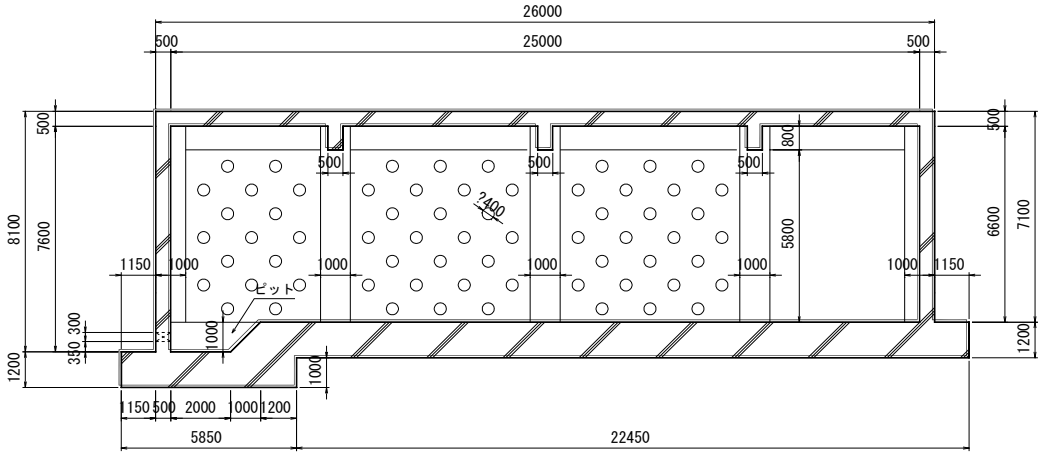


項目	計算式	数量

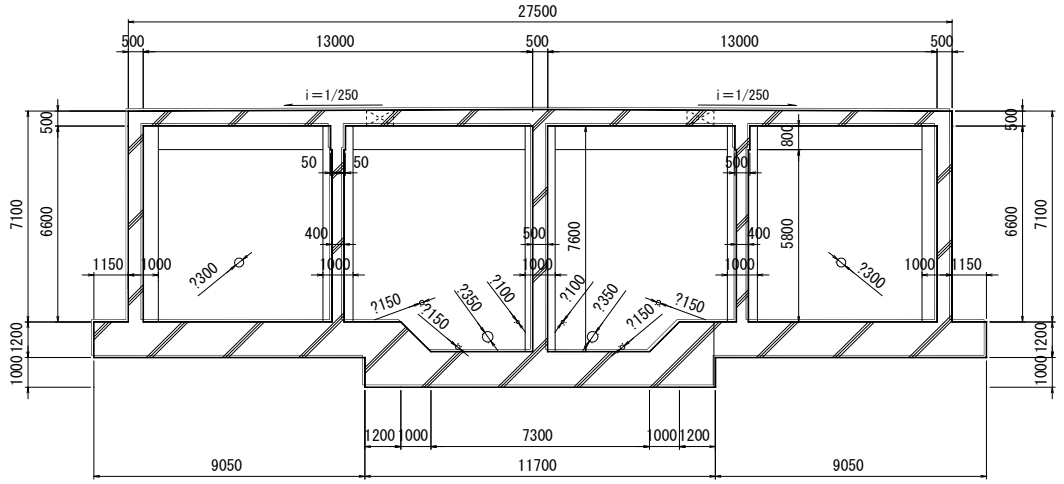
B-B断面図



C-C断面図



D-D断面図



項目	計算式	数量

頂版:

26.500 × 25.000 −(0.900 × 0.900 × 2 ＋
0.600 × 0.600 × 2 ＋ 3.142 × 0.075 ×
0.075 × 4 ＋(5.500 ＋ 5.750)× 0.500 × 6 ＋(
4.500 ＋ 6.000)× 0.500 × 4 ＋ 0.500 × 0.500 × 4 ＋
0.500 × 1.000 × 12 ＋ 1.000 × 1.000 × 9 ＋(
4.500 ＋ 6.000)× 0.500 × 2) ＋ 0.900 ×
0.500 × 8 ＋ 0.600 × 0.500 × 8 ＋ 2 ×
3.142 × 0.075 × 0.500 × 4 ＝ 585.78 m^2

頂版梁:

(5.500 ＋ 5.750)×(0.500 ＋ 0.800 × 2)× 6 ＋
4.500 ×(0.500 ＋ 0.800 × 2)× 2 ＋(4.500 ＋
6.000 × 2)×(0.050 × 2 ＋ 0.800 × 2)× 2 ＝ 216.75 m^2

底版と底版梁:

1.000 ×(11.700 ＋ 5.850 × 2)＋(29.800 ＋ 28.300)×
1.200 × 2 ＋ 2 × 3.142 ×(0.075 ＋ 0.175)×
0.500 × 2 − 3.142 ×(0.075 × 0.075 ＋ 0.175 ×
0.175)× 4 ＋ 1.000 ×(0.500 ＋ 1.150 × 2)＋
1.000 ×(1.200 ＋ 1.150)× 2 ＝ 171.46 m^2

柱:

6.600 ×(0.500 × 32 ＋ 0.300 × 24 ＋ 0.250 ×
16 ＋ 1.000 × 28)＋(0.500 ＋ 0.250)× 2 ×
1.000 ＝ 365.82 m^2

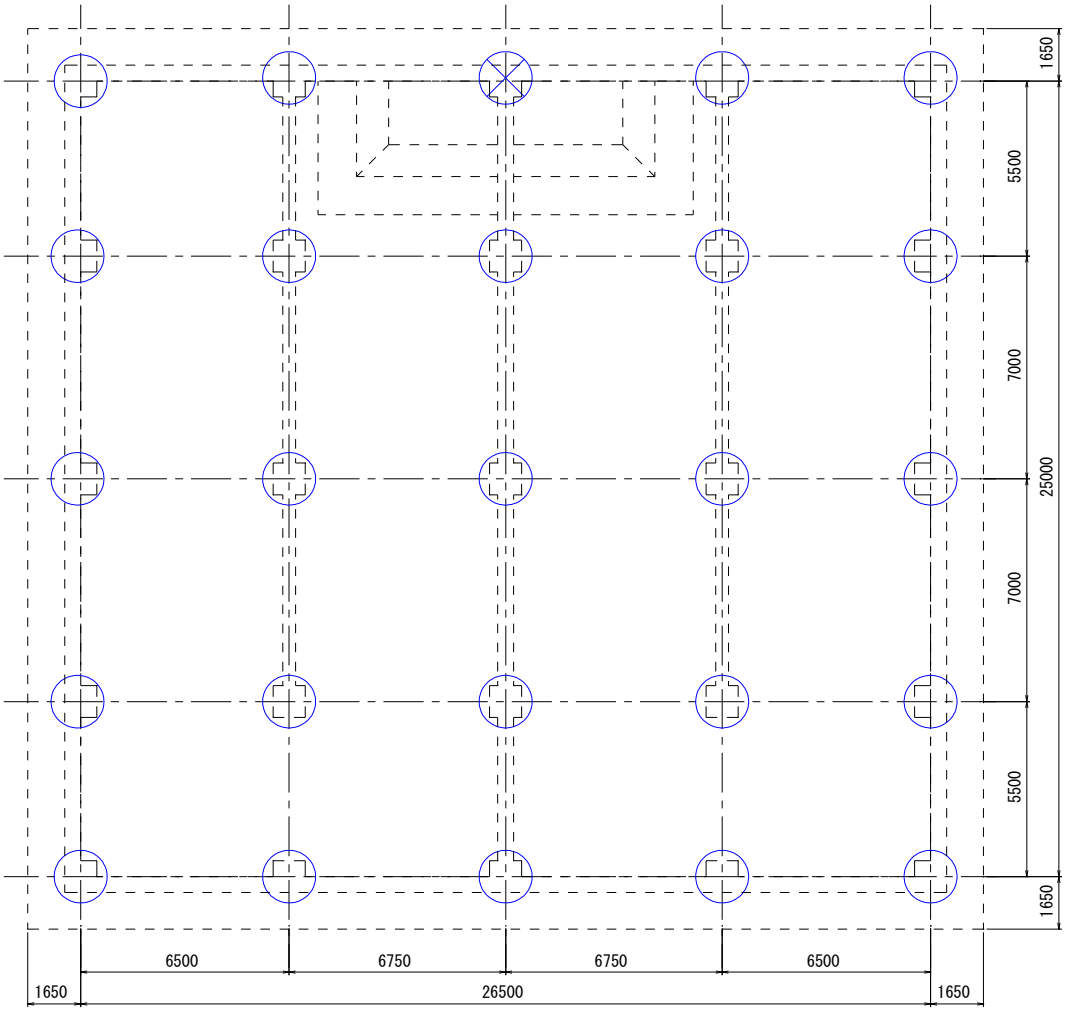
項目	計算式	数量
外壁:		
	(27.500 ＋ 26.000)× 7.100 × 2 ＋((5.500 ＋ 5.750)× 4 ＋(4.500 ＋ 6.000)× 4)× 6.600 ＋(7.300 ＋ 9.300)× 1.000 ／ 2 ＋(3.150 ＋ 4.150)× 1.000 ／ 2 × 2 ＋ 2 × 3.142 ×(0.150 ＋ 0.075 ＋ 0.050)× 0.500 × 2 － 3.142 ×(0.150 × 0.150 ＋ 0.075 × 0.075 ＋ 0.050 × 0.050)× 4	＝ 1350.84 m^2
中壁:		
	(4.500 ＋ 6.000)× 4 × 6.600 ＋(1.500 ＋ 2.500)× 1.000 ／ 2 × 2	＝ 281.20 m^2
導流壁:		
	(4.500 ＋ 6.000 × 2)× 5.800 × 4 － 3.142 × 0.200 × 0.200 × 2 × 130 ＋ 2 × 3.142 × 0.200 × 0.400 × 130	＝ 415.48 m^2
ピット部:		
	(2.000 ＋ 3.000)× 1.414 ／ 2 × 2 ＋ (3.400 ＋ 4.400)× 1.414 ／ 2 × 2	＝ 18.10 m^2
		3405.43 m^2

項目	計算式	数量

■杭コンクリート工

◇ 鉄筋コンクリート 30N/mm^2

杭伏図

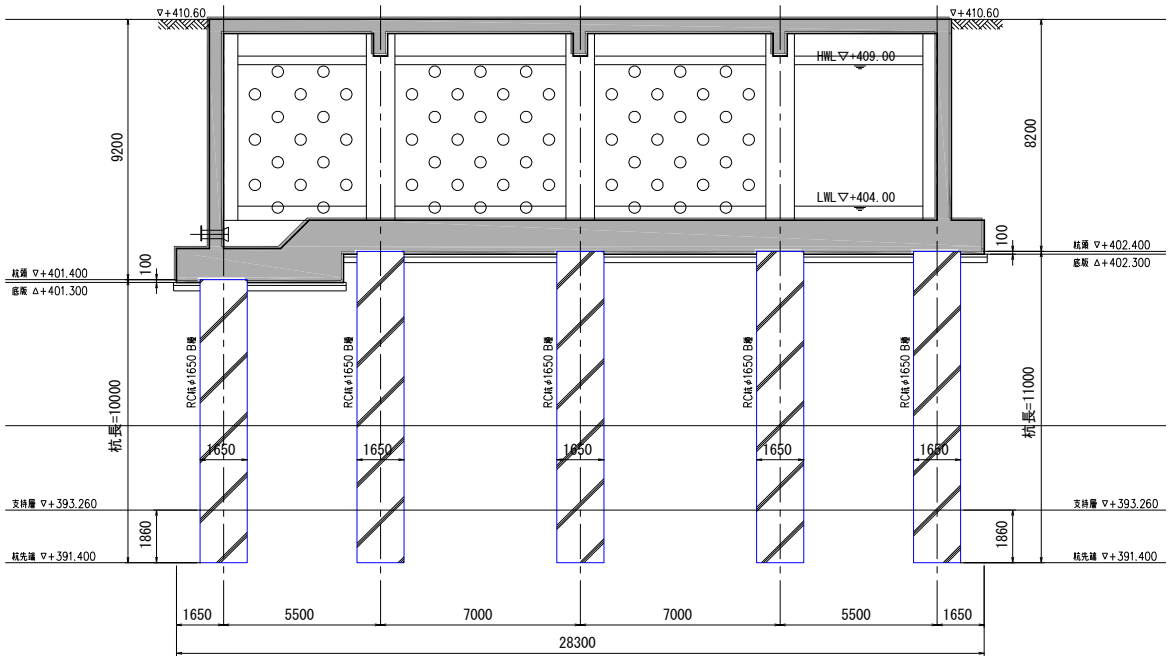


杭 集 計 表

記 号	径 (mm)	底版下端 標高 (m)	杭 頭 高 標高 (m)	杭先端高 標高 (m)	杭長 (m)	施工GL (m)	杭 種 (m)	本 数 (セット)
○	φ1650	+402.30	+402.40	+391.40	11.0	+410.60	RC杭 B種	24
⊗	φ1650	+401.30	+401.40	+391.40	10.0	+410.60	RC杭 B種	1
							計	25

項目	計算式	数量

杭断面図



・コンクリート

11.000 × 3.142 × 0.825 × 0.825 × 24 +
10.000 × 3.142 × 0.825 × 0.825 × 1 ＝ 585.96 m^3

・残土処分量

15.600 × 3.142 × 0.825 × 0.825 × 25 ＝ 834.02 m^3

・残土運搬

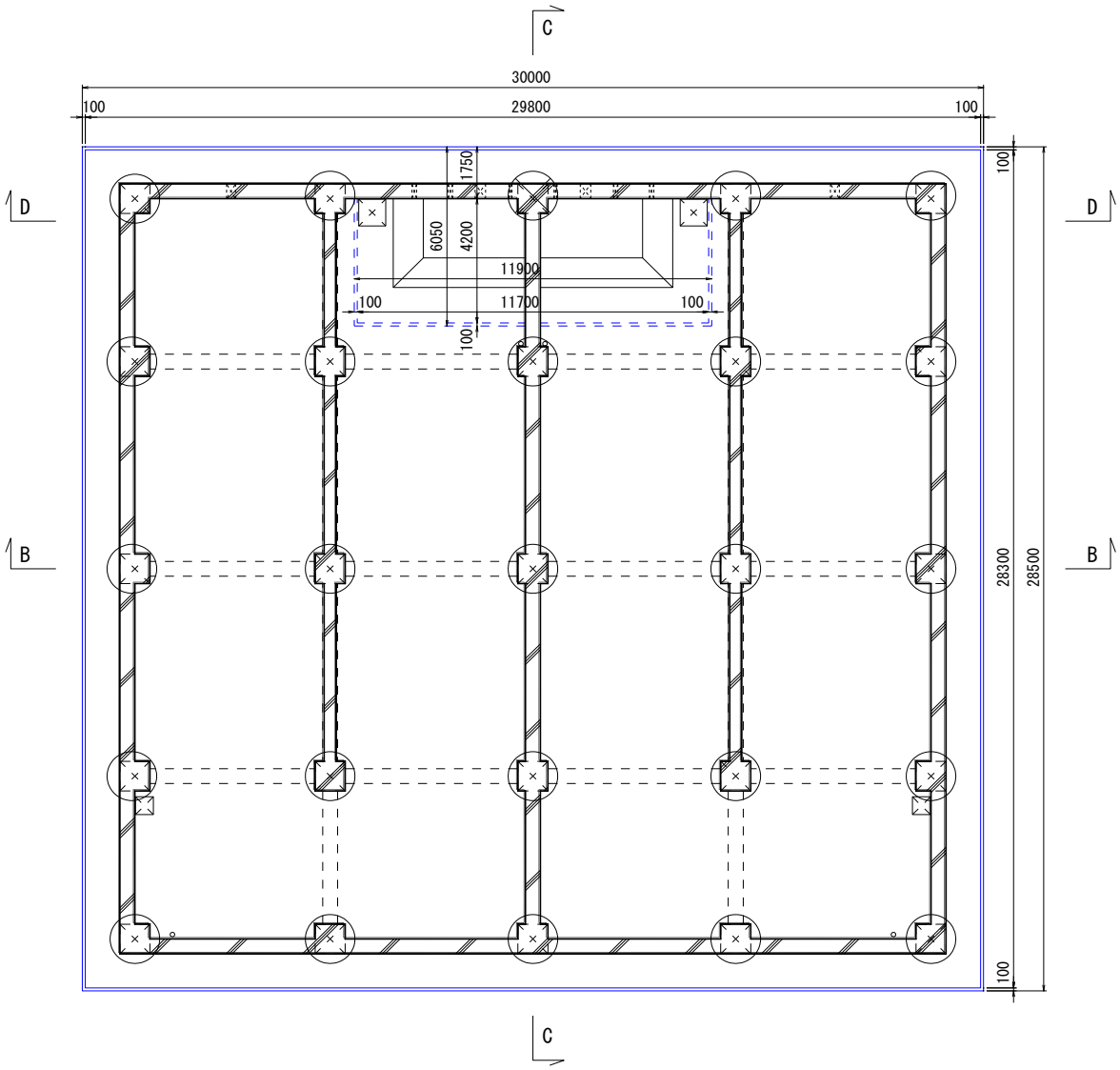
834.020 × 1.8 ＝ 1501.24 t

項目	計算式	数量

■均しコンクリート工

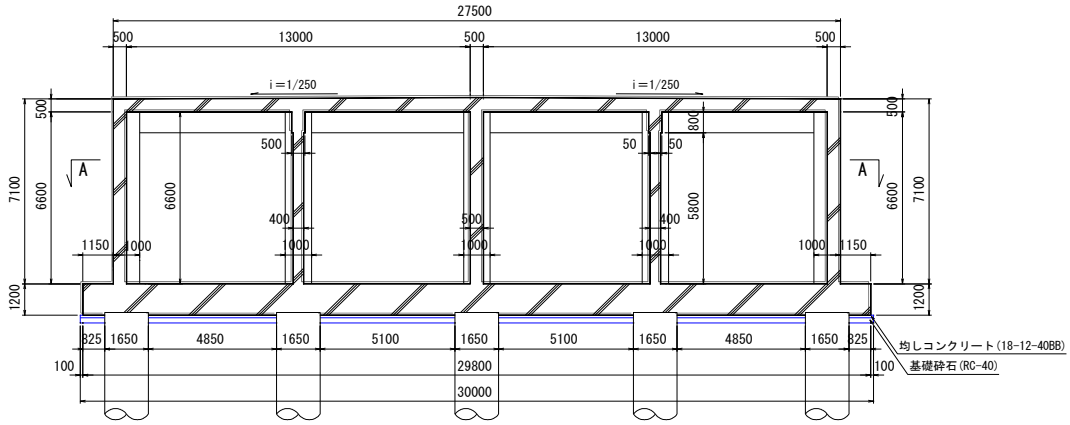
◇　　t=100mm　　18N/mm^2

平面図

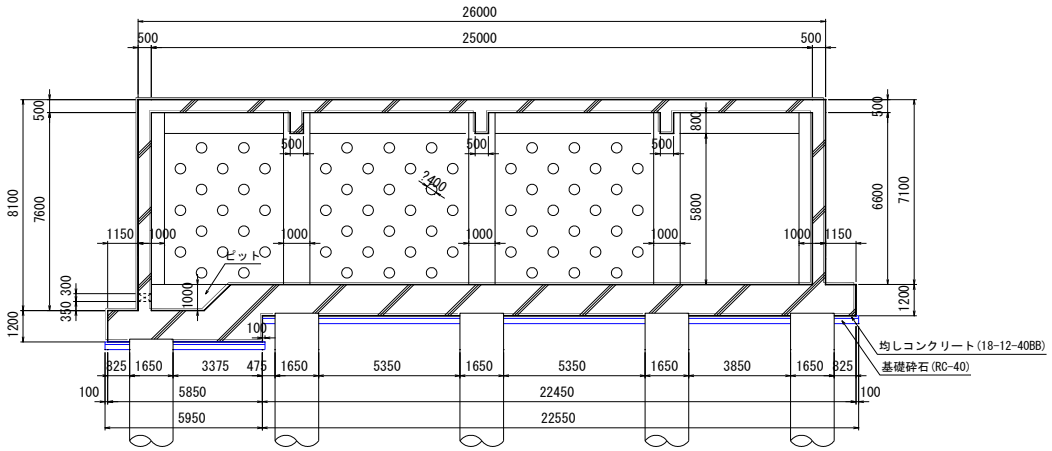


項目	計算式	数量

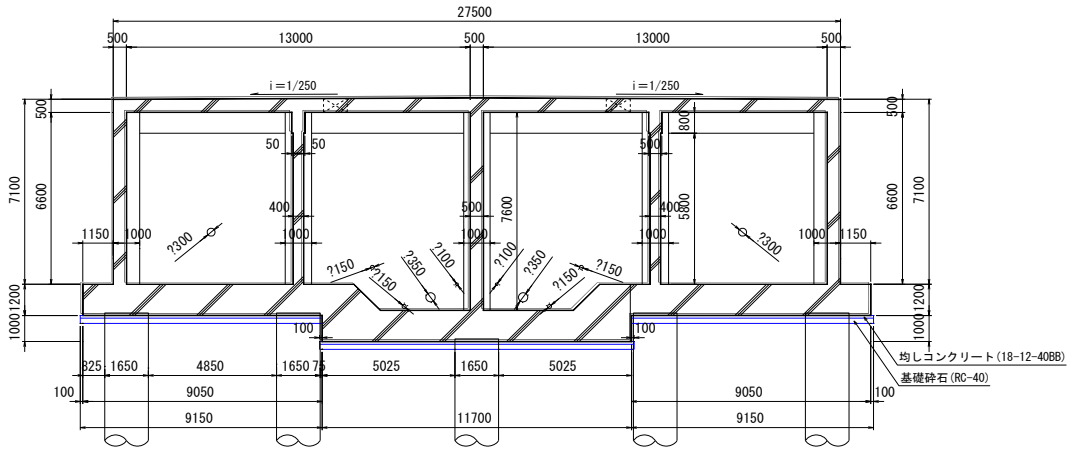
B-B断面図



C-C断面図



D-D断面図



項目	計算式	数量

1)コンクリート

面積:

30.000 × 28.500 + 0.100 × 11.900 + 0.100 ×
5.950 × 2 − 3.142 × 0.825 × 0.825 × 25 ＝ 803.92 m^2

体積:

803.92 × 0.100 ＝ 80.39 m^3

2)型枠

0.100 ×((30.000 ＋ 28.500)× 2 ＋ 11.900 ＋
6.050 × 2 ＋ 0.100 × 2) ＝ 14.12 m^2

項目	計算式	数量

■基礎砕石工

◇ RC-40,t=200mm

面積: 30.000 × 28.500 + 0.100 × 11.900 + 0.100 ×
5.950 × 2 − 3.142 × 0.825 × 0.825 × 25 ＝ 803.92 m^2

体積: 803.92 × 0.20 ＝ 160.78 m^3

項目	計算式	数量

■鉄筋工

配筋図により

本体:	SD345	D13	W=1427+1313+651+3142+1660+46+14	＝	8253	kg
	SD345	D19	W=8951+19939+26184+11040+519+349	＝	66982	kg
	SD345	D22	W=35204	＝	35204	kg
	SD345	D25	W=24438	＝	24438	kg
	SD345	D29	W=29152+9440+81020	＝	119612	kg
	SD345	D32	W=41866	＝	41866	kg
					296355	kg

ガス圧接

	SD345	D29	N= 600+183	＝	783	箇所

杭:	SD345	D13		＝	819	kg
	SD345	D19		＝	83	kg
	SD345	D22		＝	43773	kg
	SD345	D29		＝	124489	kg
					169164	kg
	平鋼 FB-9×50			＝	5261	kg
	D29用Uボルト			＝	15920	個
	ねじ節鉄筋継手			＝	1920	組
	補強ﾘﾝｸﾞ曲げ加工	平鋼20kg未満		＝	398	本
	補強ﾘﾝｸﾞ穴開け加工			＝	15920	箇所
	機械式継手			＝	1920	箇所

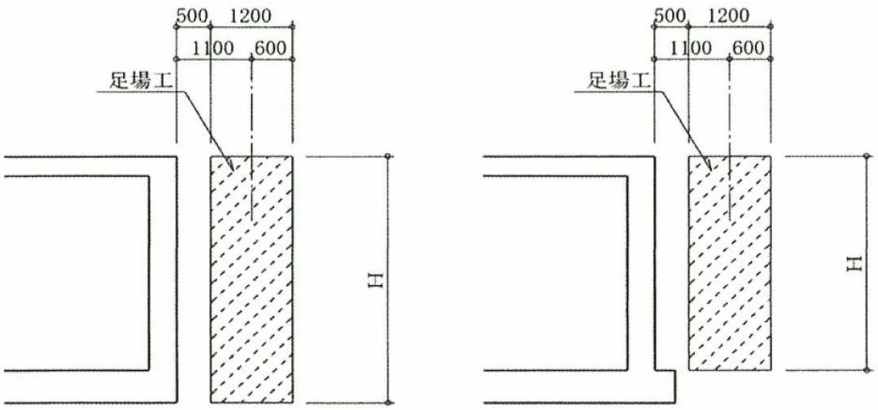
項目	計算式	数量

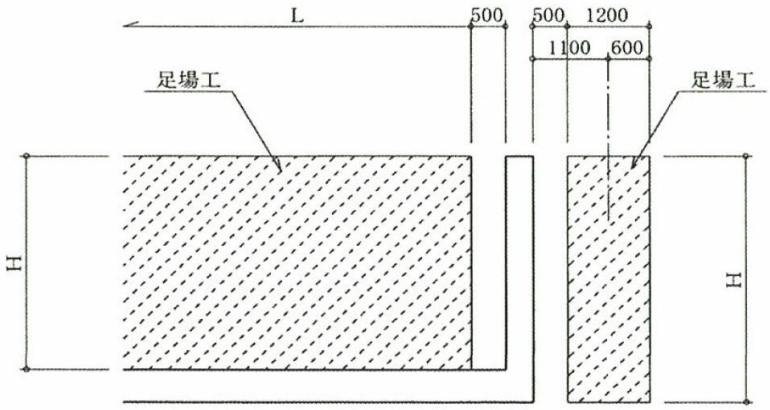
■足場工

枠組本足場

足 場 工 区 分	
足場設置面が平坦	足場設置面が斜め
枠組足場	単管足場

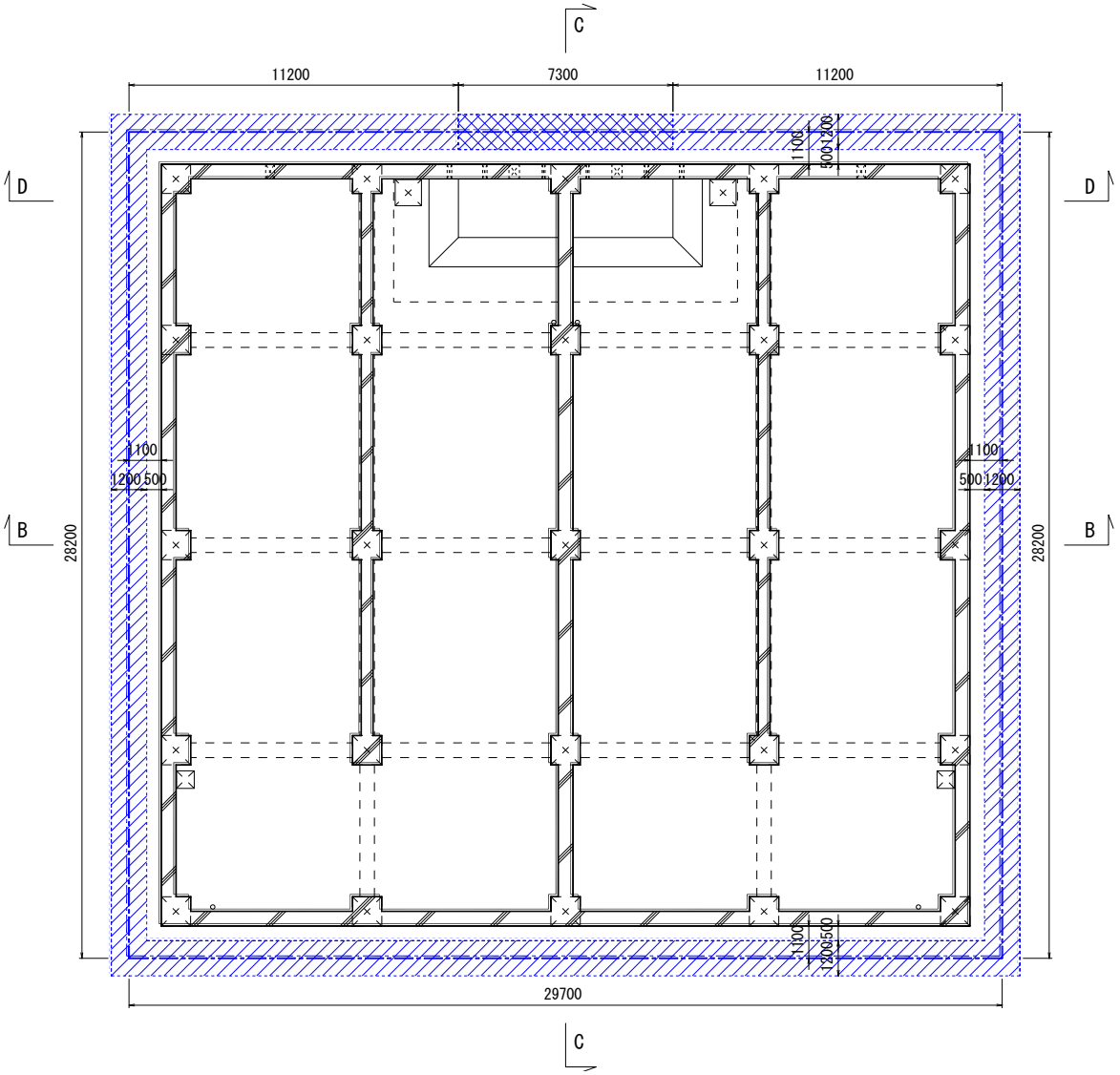
・高さが2.0m未満の場合は、計上しない。
・幅が3.4m未満の場合は、長手方向（L＜3.4mの場合は、短辺方向）一面のみ計上する。
・スラブがある場合は、支保を兼用して足場は計上しない。





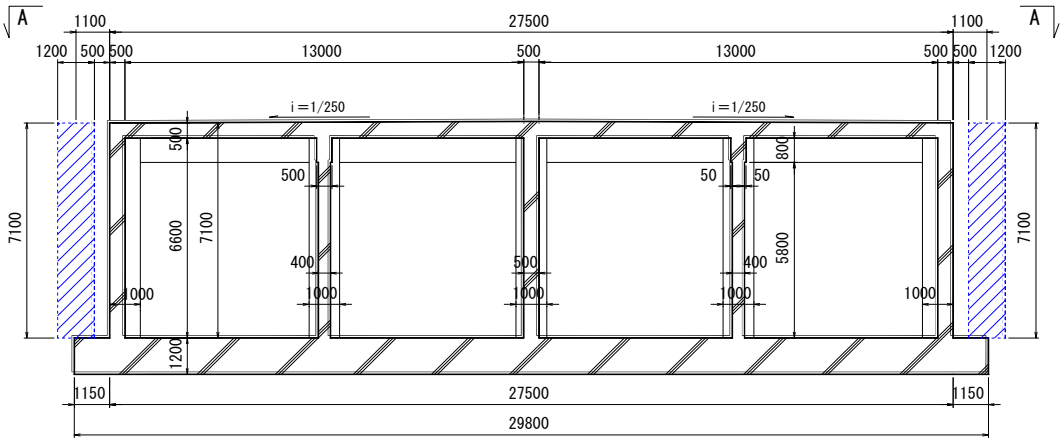
項目	計算式	数量

平面図

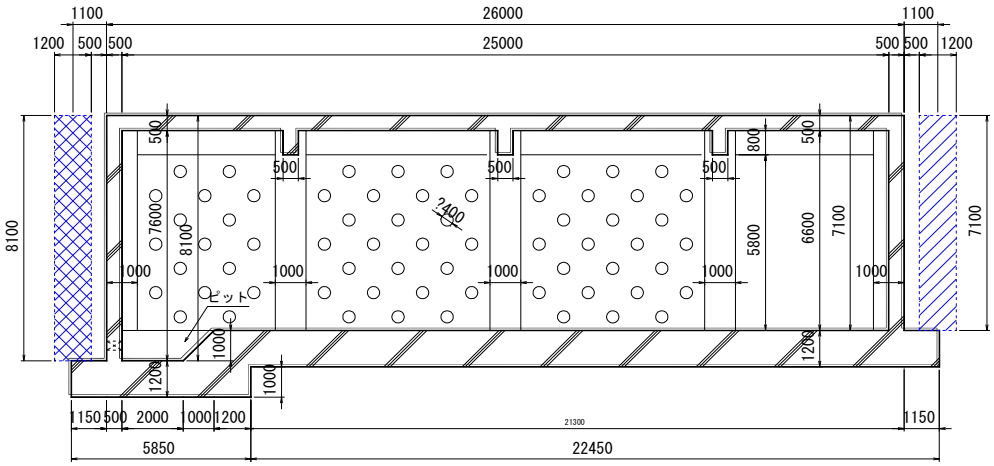

C
11200
7300
11200
1100
500
1200
D
D
1100
1200
500
1100
500
1200
B
B
28200
28200
1100
1200
500
29700
C

項目	計算式	数量

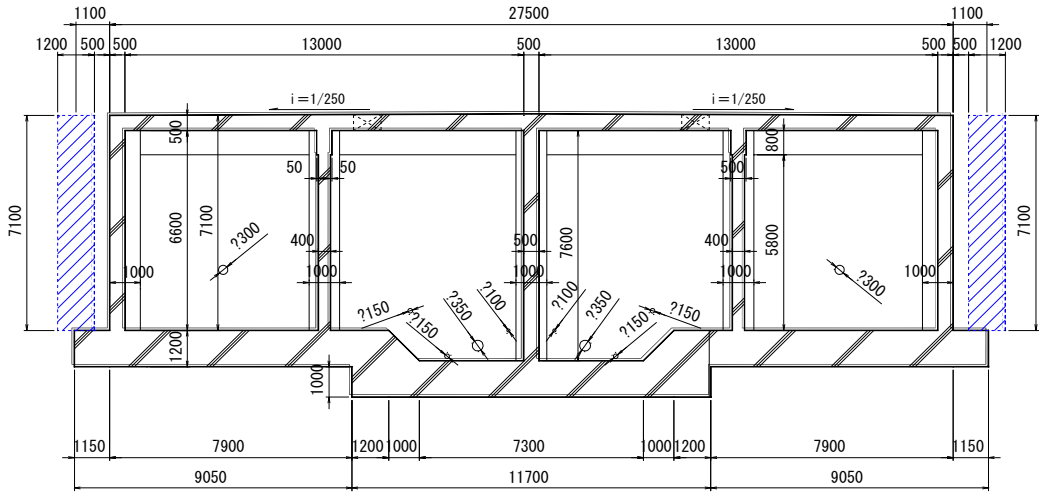
B-B断面図



C-C断面図



D-D断面図



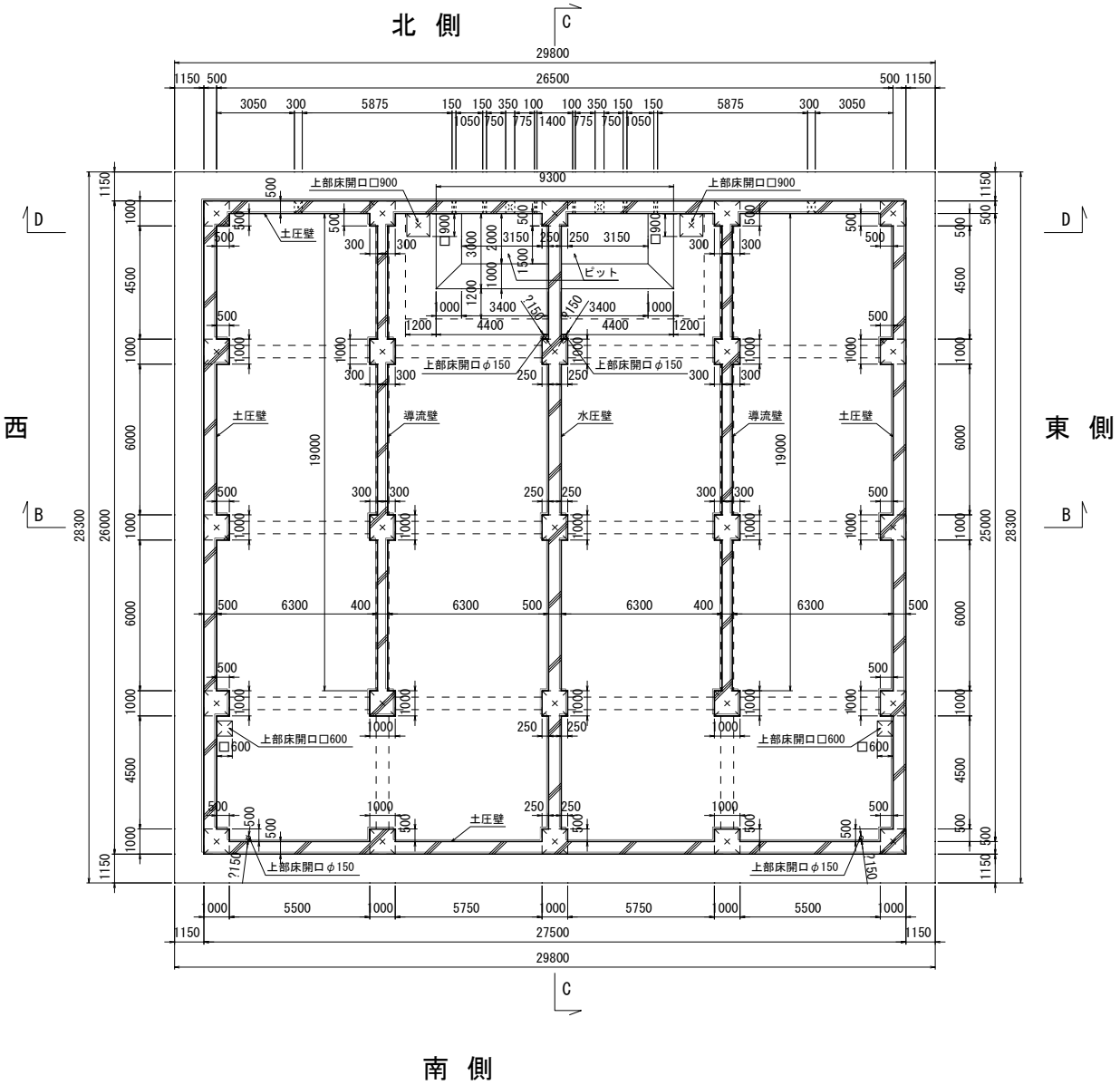
項目	計算式	数量
一般部		
		= 掛m^2
ピット部		
		= 掛m^2
		掛m^2

項目	計算式	数量

配水池内面塗装工

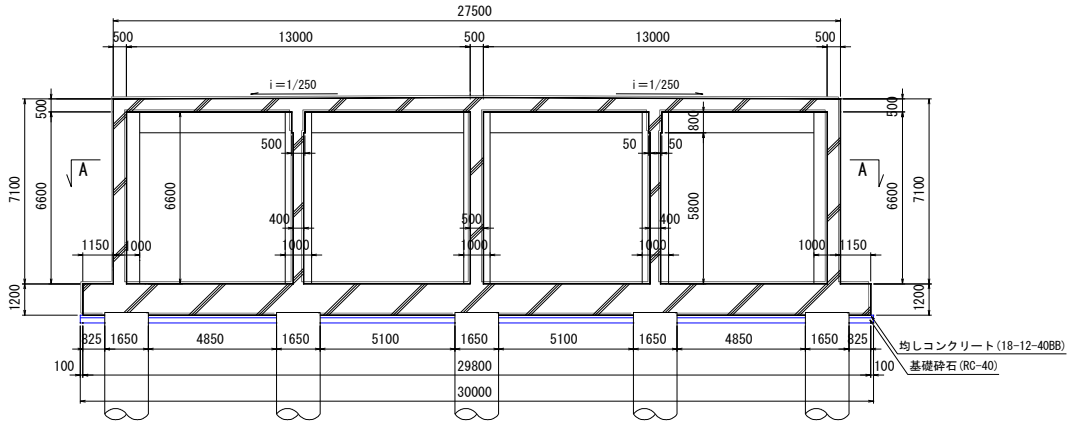
液相部・気相部

平面図

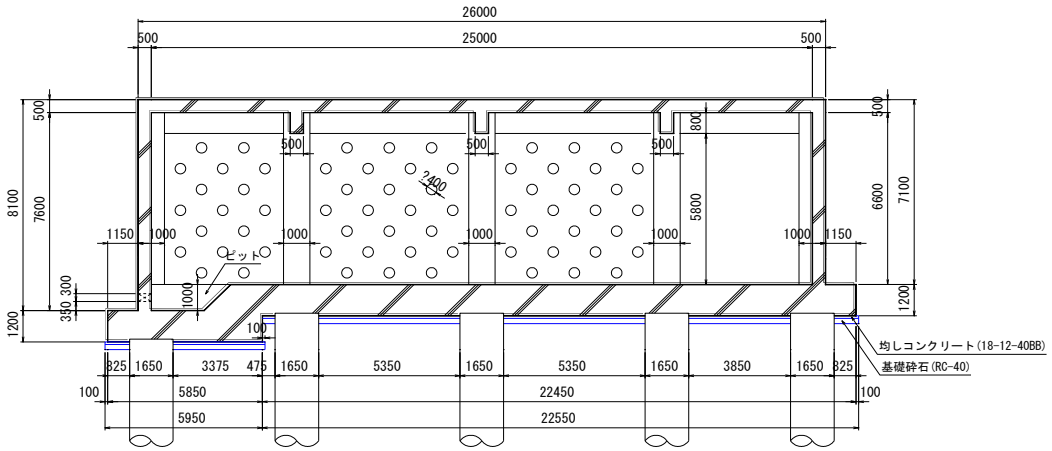


項目	計算式	数量

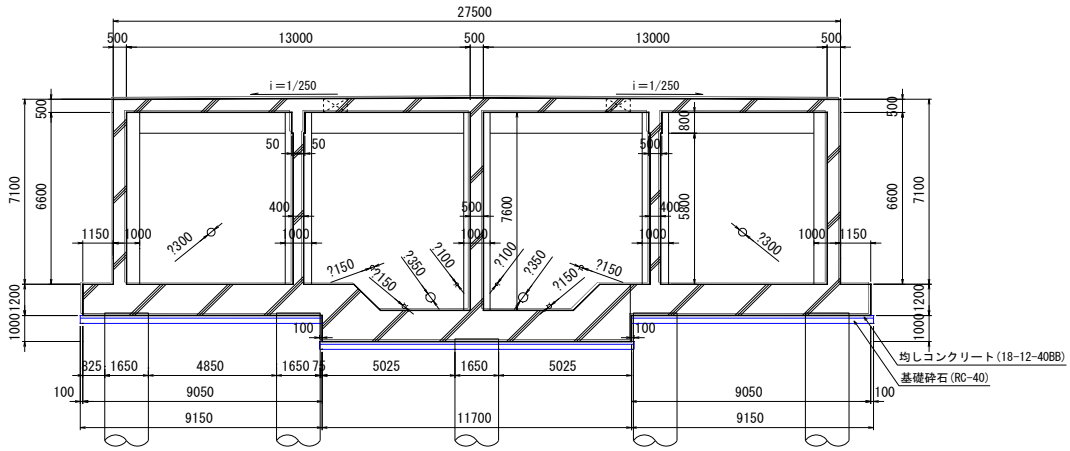
B-B断面図



C-C断面図



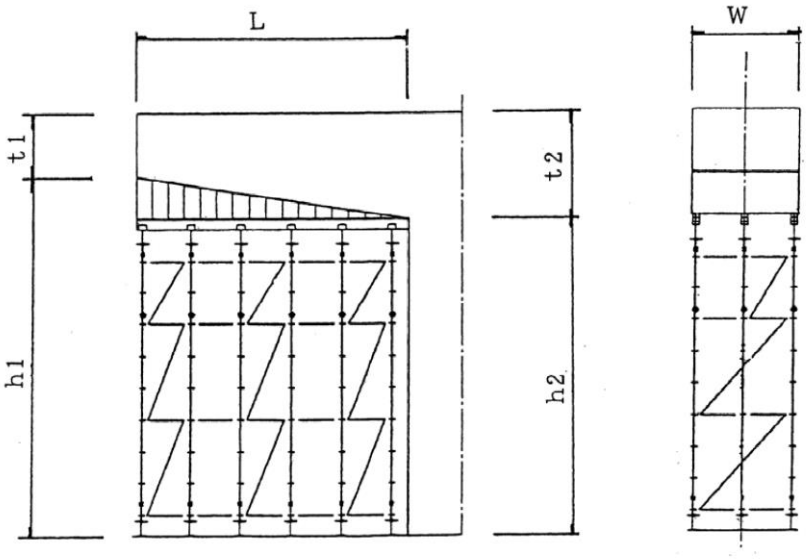
D-D断面図



項目	計算式	数量
防水塗装面積		
北側、南側		
	13.00 × 6.60 × 4 ＋ 25.00 × 6.60 × 4 ＋ 0.50 × 6.60 × 4	＝ 1016.40 m2
東側、西側		
	25.00 × 6.60 × 4 ＋ 0.50 × 6.60 × 12 ＋ 0.25 × 6.60 × 12	＝ 719.40 m2
整流壁		
	20.00 × 5.80 × 4 － (0.40 ／ 2)^2 × π × 65 ＋ 0.40 × π × 0.50 × 65 ＋ 0.30 × 5.80 × 20 ＋ 0.50 × 20.00 × 2 ＋ 0.30 × 1.00 × 12	＝ 555.06 m2
天井		
	13.00 × 25.00 × 2 － (0.50 × 0.50 × 4 ＋ 0.50 × 25.00 ＋ 1.00 × 25.00 ＋ 1.00 × 0.25 × 8 ＋ 1.00 × 0.50 × 10)	＝ 604.50 m2
床面		
	13.00 × 25.00 × 2 － (0.50 × 0.50 × 4 ＋ 0.50 × 25.00 ＋ 1.00 × 25.00 ＋ 1.00 × 0.25 × 8 ＋ 1.00 × 0.50 × 10 ＋ 0.50 × 20.00 × 2 ＋ 0.30 × 1.00 × 12) － 8.80 × 3.00	＝ 559.50 m2
ピット		
	(2.00 ＋ 3.00) ／ 2 × 1.41 × 2 ＋ (6.80 ＋ 8.80) ／ 2 × 1.41 ＋ 1.00 × 1.00 ＋ 2.00 × 6.80	＝ 32.65 m2
流入管控除		
	(0.32 ÷ 2)^2 × π × 2	＝ 0.16 m2
配水管控除		
	(0.12 ÷ 2)^2 × π × 2	＝ 0.02 m2
送水管控除		
	(0.36 ÷ 2)^2 × π × 2	＝ 0.20 m2
排泥管・越流管控除		
	(0.17 ÷ 2)^2 × π × 4	＝ 0.09 m2
合計		＝ 3487.03 m2

項目	計算式	数量

■支保工



支保工対象数量は、完成内空断面とする。

◎　支保耐力決定のためのコンクリート厚（ｔ）は、次式により算出する。

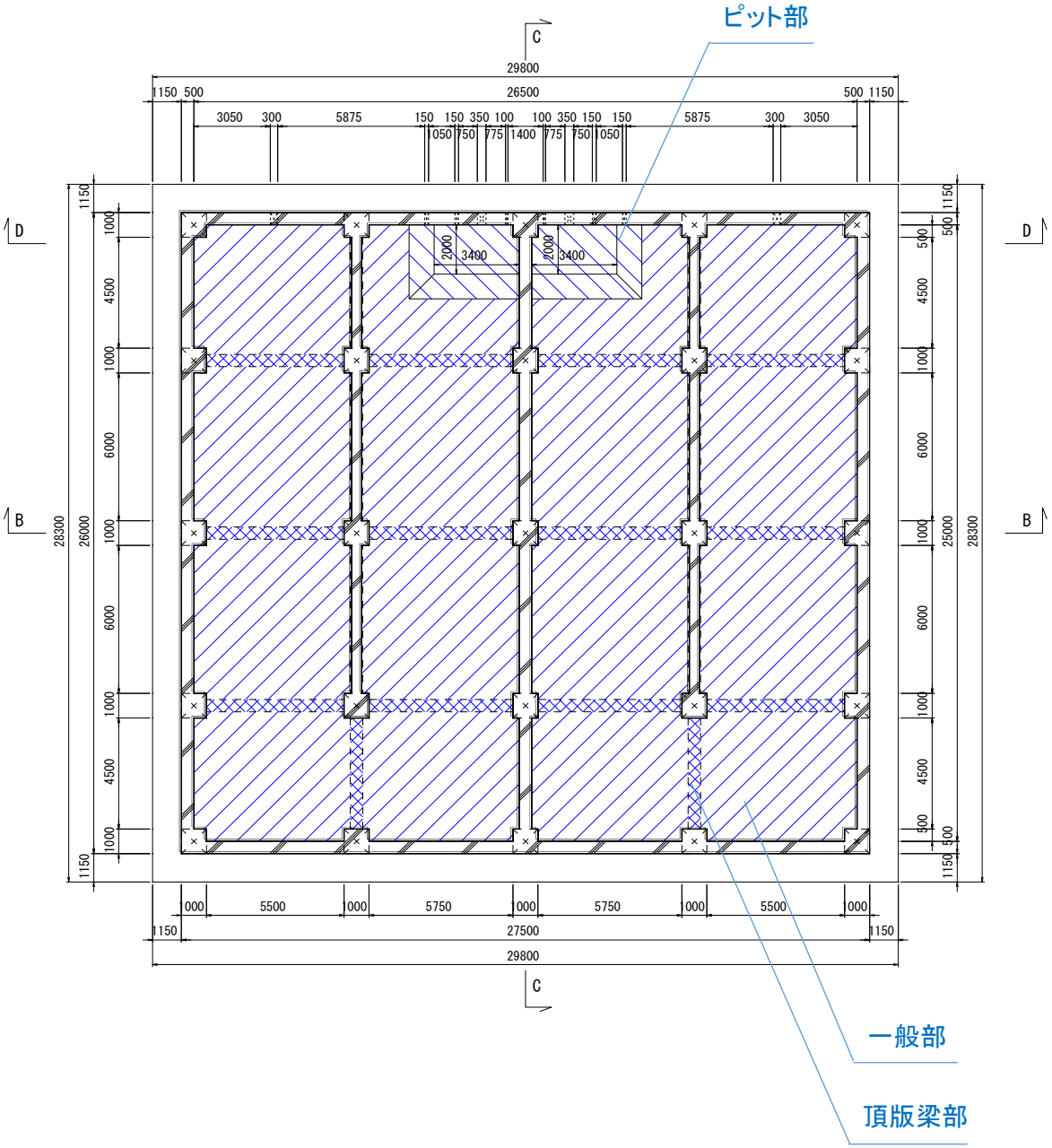
ｔ＝（ｔ1＋ｔ2）÷２

◎　支保工の空体積(空m^3)は、次式により算出する。

Ｖ＝（ｈ1＋ｈ2）÷２×Ｌ×Ｗ

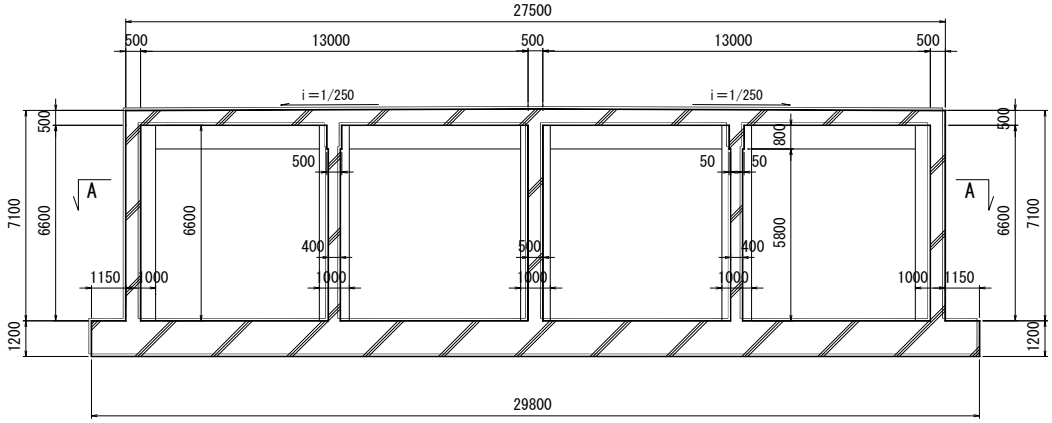
項目	計算式	数量

平面図

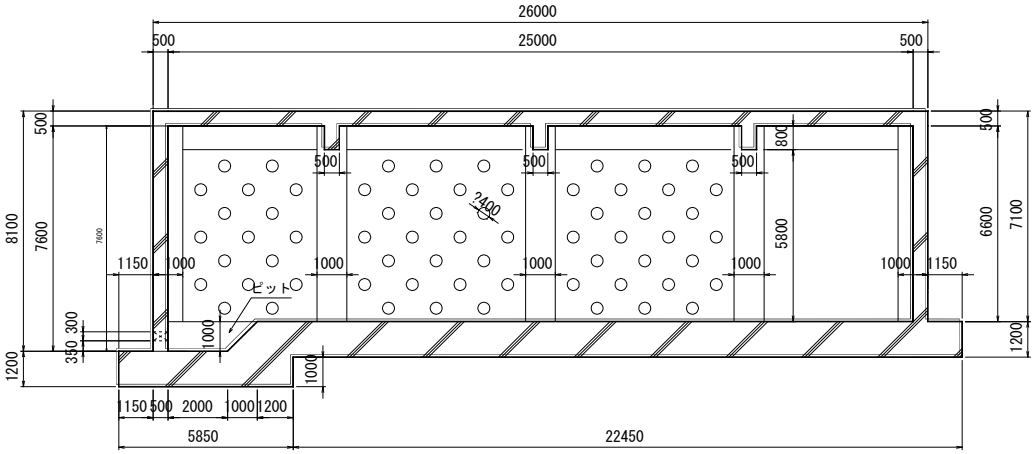

ピット部
一般部
頂版梁部
C
D
B
29800
26500
27500
28300
26000
25000
2000
3400

項目	計算式	数量

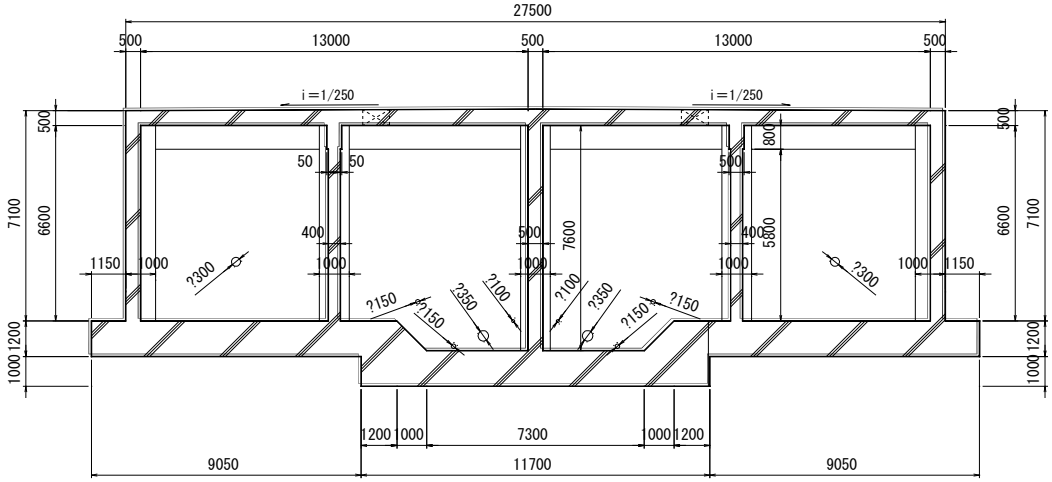
B-B断面図



C-C断面図



D-D断面図



項目	計算式	数量
一般部　　（断面積実測）		
	=	空m^3
ピット部　　（断面積実測）		
	=	空m^3
頂版梁部		
		空m^3
		空m^3

項目	計算式							数量

■配管工

◇　流入管φ300

・2F直管	1332L	GF×RF　ｽﾃｨﾌﾅ付	1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本
・2F90°　曲管	465L×465H		1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本
・2F直管	2000L		1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本
・1ﾗｯﾊﾟ1F直管	679L		1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本
・振止金具	φ300用	SUS304+NC	2 箇所/池	×	2 池	＝	4.00	箇所

延長　：　9.882m

ﾌﾗﾝｼﾞ継手　　2 口

◇　送水管φ350

・1ﾗｯﾊﾟ1F直管	1270L	GF　ｽﾃｨﾌﾅ付	1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本

延長　：　2.540m

ﾌﾗﾝｼﾞ継手　　2 口

◇　配水管φ100

・1ﾗｯﾊﾟ1F直管	1100L	GF　ｽﾃｨﾌﾅ付	1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本

延長　：　2.200m

ﾌﾗﾝｼﾞ継手　　2 口

◇　排泥管φ150

・1ﾗｯﾊﾟ1F直管	1130L	GF　ｽﾃｨﾌﾅ付	1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本

延長　：　2.260m

◇　越流管φ150

・2F直管	1162L	GF×RF　ｽﾃｨﾌﾅ付	1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本

項目	計算式							数量
・2F90° 曲管	235L×235H		1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本
・2F直管	3000L		1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本
・1ﾗｯﾊﾟ1F直管	1609L		1 本/池	×	2 池	＝	2.00	本
・振止金具	φ150用	SUS304+NC	2 箇所/池	×	2 池	＝	4.00	箇所

延長 ： 12.482m

ﾌﾗﾝｼﾞ継手（排泥管+越流管） 4 口

項目	計算式	数量

■付帯工

◇　大口径マシンハッチ　:歩道用CHPL蓋（めっき）

・管理用開口　□600×600　　1 台/池　×　2 池　＝　2.00 箇所
　参考重量:100kg

・搬入用開口　□900×900　　1 台/池　×　2 池　＝　2.00 箇所
　参考重量:115kg

◇　手掛・足掛金物　ポリプロピレン製

・W=300　　24 ヶ所/池　×　2 池　＝　48.00 個

◇　ベンチレータ（アンカー・接合材含む）
　参考重量:36kg

・φ150×180°　　2 箇所/池　×　2 池　＝　4.00 箇所

◇　防水シート　:エチレン酢酸ビニル樹脂系シート t＝1

27.500　×　7.100　×　2　+　26.000　×　7.100　×　2
+(　7.300　+　9.300　)÷　2　×　1.000　＝　768.00 m^2

◇　止水板　:センターバルブ型フラット W＝300, t＝7

27.000　×　2　+　25.500　×　3　＝　130.50 m

鉄筋工

配水池　鉄筋重量集計表

単位:kg

符号	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	鋼材	計
G	1,427	0	8,951	0	0	29,152	0		39,530
FG	1,313	0	0	0	24,438	9,440	0		35,191
C	0	0	19,939	0	0	0	41,866		61,805
S	651	0	26,184	0	0	0	0		26,835
HS	46	0	519	0	0	0	0		565
F	3,142	0	0	0	0	81,020	0		84,162
W	1,660	0	11,040	35,204	0	0	0		47,904
WS	14	0	349	0	0	0	0		363
計	8,253	0	66,982	35,204	24,438	119,612	41,866		296,355
ガス圧接						783箇所			

杭　鉄筋重量集計表

単位:kg

符号	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	鋼材　FB-9	計
P	470	0	0	43,773	0	124,489	0	5,261	173,993
S	341	0	83	0	0	0	0	0	424
計	811	0	83	43,773	0	124,489	0	5,261	174,417
機械式継手						1920箇所			

鉄筋数量　大梁 [G]

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
G 1 -1	D 29	25	6.80	1.740	0.606	4.454								0.386	5.040	34.272	857		
G 1 -2	D 29	25	11.00	11.000											5.040	55.440	1386	3	
G 1 -3	D 29	25	8.00	8.000											5.040	40.320	1008		
G 1 -4	D 29	25	5.38	3.034	0.606	1.740								0.386	5.040	27.115	678		
G 2 -1	D 29	25	5.26	1.740	0.481	3.034								0.306	5.040	26.510	663		
G 2 -2	D 29	25	8.00	8.000											5.040	40.320	1008	3	
G 2 -3	D 29	25	11.00	11.000											5.040	55.440	1386		
G 2 -4	D 29	25	6.68	4.454	0.481	1.740								0.306	5.040	33.667	842		
G 3 -1	D 29	25	5.41	0.348	0.606	4.454								0.386	5.040	27.266	682		
G 3 -2	D 29	25	11.00	11.000											5.040	55.440	1386	3	
G 3 -3	D 29	25	8.00	8.000											5.040	40.320	1008		
G 3 -4	D 29	25	3.99	3.034	0.606	0.348								0.386	5.040	20.110	503		
G 4 -1	D 29	25	3.87	0.348	0.481	3.034								0.306	5.040	19.505	488		
G 4 -2	D 29	25	8.00	8.000											5.040	40.320	1008	3	
G 4 -3	D 29	25	11.00	11.000											5.040	55.440	1386		
G 4 -4	D 29	25	5.29	4.454	0.481	0.348								0.306	5.040	26.662	667		
G 5 -1	D 13	20	5.56	5.560											0.995	5.532	111		
G 5 -2	D 13	20	5.81	5.810											0.995	5.781	116		
G 5 -3	D 13	20	5.81	5.810											0.995	5.781	116		
G 5 -4	D 13	20	5.56	5.560											0.995	5.532	111		
G 6	D 13	280	0.53	0.052	0.092	0.264	0.061	0.052						0.039	0.995	0.527	148		
G 7	D 13	280	0.49	0.052	0.061	0.264	0.061	0.052						0.039	0.995	0.488	137		
G 8 -1	D 29	25	5.94	1.740	0.606	3.594								0.386	5.040	29.938	748		
G 8 -2	D 29	25	11.35	11.350											5.040	57.204	1430	3	
G 8 -3	D 29	25	7.55	7.550											5.040	38.052	951		
G 8 -4	D 29	25	4.84	2.494	0.606	1.740								0.386	5.040	24.394	610		
G 9 -1	D 29	25	4.72	1.740	0.481	2.494								0.306	5.040	23.789	595		
G 9 -2	D 29	25	7.55	7.550											5.040	38.052	951	3	
G 9 -3	D 29	25	11.35	11.350											5.040	57.204	1430		
G 9 -4	D 29	25	5.82	3.594	0.481	1.740								0.306	5.040	29.333	733		
G 10 -1	D 29	25	4.55	0.348	0.606	3.594								0.386	5.040	22.932	573		
G 10 -2	D 29	25	11.35	11.350											5.040	57.204	1430	3	
G 10 -3	D 29	25	7.55	7.550											5.040	38.052	951		
G 10 -4	D 29	25	3.45	2.494	0.606	0.348								0.386	5.040	17.388	435		
G 11 -1	D 29	25	3.33	0.348	0.481	2.494								0.306	5.040	16.783	420		
G 11 -2	D 29	25	7.55	7.550											5.040	38.052	951	3	
G 11 -3	D 29	25	11.35	11.350											5.040	57.204	1430		
G 11 -4	D 29	25	4.43	3.594	0.481	0.348								0.306	5.040	22.327	558		
G 12 -1	D 13	20	4.56	4.560											0.995	4.537	91		
G 12 -2	D 13	20	6.06	6.060											0.995	6.030	121		
G 12 -3	D 13	20	6.06	6.060											0.995	6.030	121		
G 12 -4	D 13	20	4.56	4.560											0.995	4.537	91		
G 13	D 13	260	0.53	0.052	0.092	0.264	0.061	0.052						0.039	0.995	0.527	137		
G 14	D 13	260	0.49	0.052	0.061	0.264	0.061	0.052						0.039	0.995	0.488	127		
G 01 -1	D 19	410	2.82	0.114	0.134	0.954	0.090	0.234	0.090	0.954	0.134	0.114		0.057	2.250	6.345	2601		
G 01 -2	D 19	410	0.87	0.228	0.090	0.234	0.090	0.228						0.057	2.250	1.958	803		
G 01 -3	D 19	410	1.41	0.152	0.090	0.973	0.119	0.076						0.057	2.250	3.173	1301		
G 02 -1	D 19	370	2.82	0.114	0.134	0.954	0.090	0.234	0.090	0.954	0.134	0.114		0.057	2.250	6.345	2348		
G 02 -2	D 19	370	0.87	0.228	0.090	0.234	0.090	0.228						0.057	2.250	1.958	724		
G 02 -3	D 19	370	1.41	0.152	0.090	0.973	0.119	0.076						0.057	2.250	3.173	1174		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
G	D 10	0.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 13	0.995	1,427	0	重ね継手(40D)
	D 16	1.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 19	2.250	8,951	0	ガス圧接
	D 22	3.040	0	0	ガス圧接
	D 25	3.980	0	0	ガス圧接
	D 29	5.040	29,152	600	ガス圧接
	D 32	6.230	0	0	ガス圧接
	合計		39,530		

鉄筋数量 基礎梁 [FG]

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
FG 1 -1	D 29	15	6.66	0.663	0.137	5.853								0.087	5.040	33.566	503		
FG 1 -2	D 29	15	11.00	11.000											5.040	55.440	832	3	
FG 1 -3	D 29	15	8.00	8.000											5.040	40.320	605		
FG 1 -4	D 29	15	5.24	4.433	0.137	0.663								0.087	5.040	26.410	396		
FG 2 -1	D 29	15	5.15	0.580	0.137	4.433								0.087	5.040	25.956	389		
FG 2 -2	D 29	15	8.00	8.000											5.040	40.320	605	3	
FG 2 -3	D 29	15	11.00	11.000											5.040	55.440	832		
FG 2 -4	D 29	15	6.57	5.853	0.137	0.580								0.087	5.040	33.113	497		
FG 3 -1	D 29	3	9.50	1.663	0.137	7.700								0.087	5.040	47.880	144	1	
FG 3 -2	D 29	3	5.29	3.486	0.137	1.663								0.087	5.040	26.662	80		
FG 4 -1	D 13	20	1.01	1.010											0.995	1.005	20		
FG 4 -2	D 13	20	5.56	5.560											0.995	5.532	111		
FG 4 -3	D 13	18	5.81	5.810											0.995	5.781	104		
FG 4 -4	D 13	18	5.81	5.810											0.995	5.781	104		
FG 4 -5	D 13	20	5.56	5.560											0.995	5.532	111		
FG 4 -6	D 13	20	1.01	1.010											0.995	1.005	20		
FG 4 -7	D 13	4	5.21	5.210											0.995	5.184	21		
FG 4 -8	D 13	4	5.21	5.210											0.995	5.184	21		
FG 4 -9	D 13	4	4.38	4.374											0.995	4.358	17		
FG 4 -10	D 13	4	1.13	1.124											0.995	1.124	4		
FG 5	D 13	124	0.57	0.052	0.092	0.304	0.061	0.052						0.039	0.995	0.567	70		
FG 6	D 13	156	0.53	0.052	0.092	0.264	0.061	0.052						0.039	0.995	0.527	82		
FG 7 -1	D 29	15	5.77	0.663	0.137	4.963								0.087	5.040	29.081	436		
FG 7 -2	D 29	15	11.35	11.350											5.040	57.204	858	3	
FG 7 -3	D 29	15	7.55	7.550											5.040	38.052	571		
FG 7 -4	D 29	15	4.67	3.863	0.137	0.663								0.087	5.040	23.537	353		
FG 8 -1	D 29	15	4.57	0.580	0.137	3.850								0.087	5.040	23.033	345		
FG 8 -2	D 29	15	7.55	7.550											5.040	38.052	571	3	
FG 8 -3	D 29	15	11.35	11.350											5.040	57.204	858		
FG 8 -4	D 29	15	5.70	4.975	0.137	0.580								0.087	5.040	28.728	431		
FG 9	D 29	3	8.88	1.663	0.137	5.276	0.137	1.663						0.087	5.040	44.755	134		
FG 10 -1	D 13	20	0.98	0.980											0.995	0.975	20		
FG 10 -2	D 13	20	4.56	4.560											0.995	4.537	91		
FG 10 -3	D 13	20	6.06	6.060											0.995	6.030	121		
FG 10 -4	D 13	20	6.06	6.060											0.995	6.030	121		
FG 10 -5	D 13	20	4.56	4.560											0.995	4.537	91		
FG 10 -6	D 13	20	0.98	0.980											0.995	0.975	20		
FG 10 -7	D 13	4	1.00	1.000											0.995	0.995	4		
FG 10 -8	D 13	4	3.51	3.510											0.995	3.492	14		
FG 11	D 13	104	0.57	0.052	0.092	0.304	0.061	0.052						0.039	0.995	0.567	59		
FG 12	D 13	166	0.53	0.052	0.092	0.264	0.061	0.052						0.039	0.995	0.527	87		
FG 01 -1	D 25	256	2.45	0.150	0.177	0.654	0.118	0.244	0.118	0.654	0.177	0.150		0.075	3.980	9.751	2496		
FG 01 -2	D 25	256	1.08	0.300	0.118	0.244	0.118	0.300						0.075	3.980	4.298	1100		
FG 01 -3	D 25	256	1.26	0.200	0.118	0.679	0.157	0.100						0.075	3.980	5.015	1284		
FG 01 -4	D 25	52	3.08	1.300	0.118	0.244	0.118	1.300						0.075	3.980	12.258	637		
FG 02 -1	D 25	384	2.41	0.150	0.177	0.654	0.118	0.204	0.118	0.654	0.177	0.150		0.075	3.980	9.592	3683		
FG 02 -2	D 25	384	1.04	0.300	0.118	0.204	0.118	0.300						0.075	3.980	4.139	1589		
FG 02 -3	D 25	384	1.26	0.200	0.118	0.679	0.157	0.100						0.075	3.980	5.015	1926		
FG 03 -1	D 25	240	2.45	0.150	0.177	0.654	0.118	0.244	0.118	0.654	0.177	0.150		0.075	3.980	9.751	2340		
FG 03 -2	D 25	240	1.08	0.300	0.118	0.244	0.118	0.300						0.075	3.980	4.298	1032		
FG 03 -3	D 25	240	1.26	0.200	0.118	0.679	0.157	0.100						0.075	3.980	5.015	1204		
FG 04 -1	D 25	360	2.41	0.150	0.177	0.654	0.118	0.204	0.118	0.654	0.177	0.150		0.075	3.980	9.592	3453		
FG 04 -2	D 25	360	1.04	0.300	0.118	0.204	0.118	0.300						0.075	3.980	4.139	1490		
FG 04 -3	D 25	360	1.26	0.20	0.12	0.68	0.16	0.10						0.08	3.980	5.015	1805		
FG 04 -4	D 25	33	3.04	1.300	0.118	0.204	0.118	1.300						0.075	3.980	12.099	399		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
FG	D 10	0.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 13	0.995	1,313	0	重ね継手(40D)
	D 16	1.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 19	2.250	0	0	ガス圧接
	D 22	3.040	0	0	ガス圧接
	D 25	3.980	24,438	0	ガス圧接
	D 29	5.040	9,440	183	ガス圧接
	D 32	6.230	0	0	ガス圧接
	合計		35,191		

鉄筋数量 柱 [C]

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
C 1	D 32	768	8.36	0.384	0.151	7.824								0.096	6.230	52.083	40000		
C 2	D 32	32	9.36	0.384	0.151	8.824								0.096	6.230	58.313	1866		
C 01 -1	D 19	480	1.88	0.114	0.134	0.647	0.090	0.647	0.134	0.114				0.057	2.250	4.230	2030		
C 01 -2	D 19	240	1.15	0.114	0.134	0.647	0.134	0.114						0.057	2.250	2.588	621		
C 01 -3	D 19	240	1.15	0.114	0.134	0.647	0.134	0.114						0.057	2.250	2.588	621		
C 02 -1	D 19	1,454	1.83	0.114	0.134	0.647	0.090	0.597	0.134	0.114				0.057	2.250	4.118	5988		
C 02 -2	D 19	727	1.10	0.114	0.134	0.597	0.134	0.114						0.057	2.250	2.475	1799		
C 02 -3	D 19	727	1.15	0.114	0.134	0.647	0.134	0.114						0.057	2.250	2.588	1881		
C 03 -1	D 19	1,080	1.78	0.114	0.134	0.597	0.090	0.597	0.134	0.114				0.057	2.250	4.005	4325		
C 03 -2	D 19	540	1.10	0.114	0.134	0.597	0.134	0.114						0.057	2.250	2.475	1337		
C 03 -3	D 19	540	1.10	0.114	0.134	0.597	0.134	0.114						0.057	2.250	2.475	1337		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
C	D 10	0.560	0	0	
	D 13	0.995	0	0	
	D 16	1.560	0	0	
	D 19	2.250	19,939	0	
	D 22	3.040	0	0	
	D 25	3.980	0	0	
	D 29	5.040	0	0	
	D 32	6.230	41,866	0	
	合計		61,805		

鉄筋数量　頂版 [S]

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
S 1 -1	D 19	4	4.61	0.632	0.090	3.888								0.057	2.250	10.373	41		
S 1 -2	D 19	4	12.00	12.000											2.250	27.000	108		
S 1 -3	D 19	4	6.09	6.090											2.250	13.703	55		
S 1 -4	D 19	8	4.99	4.268	0.090	0.632								0.057	2.250	11.228	90		
S 1 -5	D 19	4	12.00	0.632	0.090	11.278								0.057	2.250	27.000	108		
S 1 -6	D 19	4	9.85	9.845											2.250	22.163	89		
S 2 -1	D 19	80	4.61	0.632	0.090	3.888								0.057	2.250	10.373	830		
S 2 -2	D 19	80	12.00	12.000											2.250	27.000	2160		
S 2 -3	D 19	80	12.00	11.278	0.090	0.632								0.057	2.250	27.000	2160		
S 2 -4	D 19	4	5.66	0.632	0.090	4.931								0.057	2.250	12.735	51		
S 2 -5	D 19	2	9.71	9.708											2.250	21.848	44		
S 2 -6	D 19	2	12.00	11.278	0.090	0.632								0.057	2.250	27.000	54		
S 2 -7	D 19	2	5.96	5.953											2.250	13.410	27		
S 2 -8	D 19	2	12.00	12.000											2.250	27.000	54		
S 2 -9	D 19	2	4.61	3.888	0.090	0.632								0.057	2.250	10.373	21		
S 3 -1	D 19	1	12.00	0.632	0.090	11.278								0.057	2.250	27.000	27		
S 3 -2	D 19	1	12.00	12.000											2.250	27.000	27		
S 3 -3	D 19	1	3.28	3.276											2.250	7.380	7		
S 3 -4	D 19	1	4.61	0.632	0.090	3.888								0.057	2.250	10.373	10		
S 3 -5	D 19	1	12.00	12.000											2.250	27.000	27		
S 3 -6	D 19	1	10.67	10.666											2.250	24.008	24		
S 4 -1	D 19	5	9.99	9.990											2.250	22.478	112		
S 4 -2	D 19	5	12.00	12.00											2.250	27.000	135		
S 4 -3	D 19	5	4.61	3.888	0.090	0.632								0.057	2.250	10.373	52		
S 4 -4	D 19	5	2.60	2.600											2.250	5.850	29		
S 4 -5	D 19	5	12.00	12.000											2.250	27.000	135		
S 4 -6	D 19	5	12.00	11.278	0.090	0.632								0.057	2.250	27.000	135		
S 5 -1	D 19	10	8.24	0.622	0.090	7.528								0.057	2.250	18.540	185		
S 5 -2	D 19	5	9.48	9.480											2.250	21.330	107		
S 6 -1	D 19	86	12.00	0.622	0.090	11.288								0.057	2.250	27.000	2322		
S 6 -2	D 19	86	12.00	12.000											2.250	27.000	2322		
S 6 -3	D 19	86	6.11	5.398	0.090	0.622								0.057	2.250	13.748	1182		
S 6 -4	D 19	2	12.00	0.622	0.090	11.288								0.057	2.250	27.000	54		
S 6 -5	D 19	2	2.46	2.458											2.250	5.535	11		
S 6 -6	D 19	2	0.41	0.406											2.250	0.923	2		
S 6 -7	D 19	2	8.35	8.348											2.250	18.788	38		
S 6 -8	D 19	2	6.11	5.398	0.090	0.622								0.057	2.250	13.748	27		
S 7 -1	D 19	3	4.40	4.400											2.250	9.900	30		
S 7 -2	D 19	3	12.00	12.000											2.250	27.000	81		
S 7 -3	D 19	3	10.29	10.290											2.250	23.153	69		
S 8 -1	D 19	4	2.01	0.622	0.090	1.291								0.057	2.250	4.523	18		
S 8 -2	D 19	2	3.72	3.713											2.250	8.370	17		
S 8 -3	D 19	2	12.00	12.000											2.250	27.000	54		
S 8 -4	D 19	2	9.61	9.603											2.250	21.623	43		
S 9 -1	D 19	4	4.23	0.492	0.090	3.648								0.057	2.250	9.518	38		
S 9 -2	D 19	4	12.00	12.000											2.250	27.000	108		
S 9 -3	D 19	4	6.28	6.280											2.250	14.130	57		
S 9 -4	D 19	8	4.80	4.218	0.090	0.492								0.057	2.250	10.800	86		
S 9 -5	D 19	4	12.00	0.492	0.090	11.418								0.057	2.250	27.000	108		
S 9 -6	D 19	4	9.66	9.655											2.250	21.735	87		
S 10 -1	D 19	80	4.23	0.492	0.090	3.648								0.057	2.250	9.518	761		
S 10 -2	D 19	80	12.00	12.000											2.250	27.000	2160		
S 10 -3	D 19	80	12.00	11.418	0.090	0.492								0.057	2.250	27.000	2160		
S 10 -4	D 19	4	5.47	0.492	0.090	4.881								0.057	2.250	12.308	49		
S 10 -5	D 19	2	9.52	9.518											2.250	21.420	43		
S 10 -6	D 19	2	12.00	11.418	0.090	0.492								0.057	2.250	27.000	54		
S 10 -7	D 19	2	6.15	6.143											2.250	13.838	28		
S 10 -8	D 19	2	12.00	12.000											2.250	27.000	54		
S 10 -9	D 19	2	4.23	3.648	0.090	0.492								0.057	2.250	9.518	19		
S 11 -1	D 19	1	12.00	0.492	0.090	11.418								0.057	2.250	27.000	27		
S 11 -2	D 19	1	12.00	12.000											2.250	27.000	27		
S 11 -3	D 19	1	3.09	3.086											2.250	6.953	7		
S 11 -4	D 19	1	4.23	0.492	0.090	3.648								0.057	2.250	9.518	10		
S 11 -5	D 19	1	12.00	12.000											2.250	27.000	27		
S 11 -6	D 19	1	10.86	10.856											2.250	24.435	24		
S 12 -1	D 19	5	10.18	10.180											2.250	22.905	115		
S 12 -2	D 19	5	12.00	12.00											2.250	27.000	135		
S 12 -3	D 19	5	4.23	3.648	0.090	0.492								0.057	2.250	9.518	48		
S 12 -4	D 19	5	2.41	2.410											2.250	5.423	27		
S 12 -5	D 19	5	12.00	12.000											2.250	27.000	135		
S 12 -6	D 19	5	12.00	11.418	0.090	0.492								0.057	2.250	27.000	135		

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
S 13 -1	D 19	10	8.05	0.482	0.090	7.478								0.057	2.250	18.113	181		
S 13 -2	D 19	5	9.48	9.480											2.250	21.330	107		
S 14 -1	D 19	86	5.73	0.482	0.090	5.158								0.057	2.250	12.893	1109		
S 14 -2	D 19	86	12.00	12.000											2.250	27.000	2322		
S 14 -3	D 19	86	12.00	11.428	0.090	0.482								0.057	2.250	27.000	2322		
S 14 -4	D 19	2	12.00	0.482	0.090	11.428								0.057	2.250	27.000	54		
S 14 -5	D 19	2	2.27	2.268											2.250	5.108	10		
S 14 -6	D 19	2	0.41	0.406											2.250	0.923	2		
S 14 -7	D 19	2	8.54	8.538											2.250	19.215	38		
S 14 -8	D 19	2	5.73	5.158	0.090	0.482								0.057	2.250	12.893	26		
S 15 -1	D 19	3	10.48	10.480											2.250	23.580	71		
S 15 -2	D 19	3	12.00	12.000											2.250	27.000	81		
S 15 -3	D 19	3	4.21	4.210											2.250	9.473	28		
S 16 -1	D 19	4	1.82	0.482	0.090	1.241								0.057	2.250	4.095	16		
S 16 -2	D 19	2	9.80	9.793											2.250	22.050	44		
S 16 -3	D 19	2	12.00	12.000											2.250	27.000	54		
S 16 -4	D 19	2	3.53	3.523											2.250	7.943	16		
S 01	D 13	1,236	0.53	0.100	0.061	0.204	0.061	0.100						0.039	0.995	0.527	651		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
S	D 10	0.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 13	0.995	651	0	重ね継手(40D)
	D 16	1.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 19	2.250	26,184	0	重ね継手(45D)
	D 22	3.040	0	0	重ね継手(45D)
	D 25	3.980	0	0	重ね継手(50D)
	D 29	5.040	0	0	重ね継手(50D)
	D 32	6.230	0	0	重ね継手(50D)
	合計		26,835		(鉄筋ピッチ200mm以上)

鉄筋数量　頂版開口補強［HS］

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
HS 1 -1	D 13	2	4.88	1.220	1.220	1.220	1.220								0.995	4.856	10		
HS 1 -2	D 19	4	2.80	2.800											2.250	6.300	25		
HS 1 -3	D 19	8	2.14	2.135											2.250	4.815	39		
HS 1 -4	D 19	4	1.90	1.900											2.250	4.275	17		
HS 2 -1	D 13	2	1.48	1.477											0.995	1.473	3		
HS 2 -2	D 19	2	2.85	2.850											2.250	6.413	13		
HS 2 -3	D 19	2	2.05	2.050											2.250	4.613	9		
HS 2 -4	D 19	4	2.62	2.616											2.250	5.895	24		
HS 3 -1	D 13	2	3.68	0.920	0.920	0.920	0.920								0.995	3.662	7		
HS 3 -2	D 19	8	1.85	1.845											2.250	4.163	33		
HS 3 -3	D 19	4	2.50	2.500											2.250	5.625	23		
HS 3 -4	D 19	4	1.90	1.900											2.250	4.275	17		
HS 4 -1	D 13	2	1.48	1.477											0.995	1.473	3		
HS 4 -2	D 19	4	2.05	2.050											2.250	4.613	18		
HS 4 -3	D 19	4	1.46	1.459											2.250	3.285	13		
HS 4 -4	D 19	4	1.88	1.874											2.250	4.230	17		
HS 4 -5	D 19	4	1.41	1.404											2.250	3.173	13		
HS 5 -1	D 13	2	4.88	1.220	1.220	1.220	1.220								0.995	4.856	10		
HS 5 -2	D 19	4	2.80	2.800											2.250	6.300	25		
HS 5 -3	D 19	8	2.09	2.085											2.250	4.703	38		
HS 5 -4	D 19	4	1.90	1.900											2.250	4.275	17		
HS 6 -1	D 13	2	1.48	1.477											0.995	1.473	3		
HS 6 -2	D 19	2	2.85	2.850											2.250	6.413	13		
HS 6 -3	D 19	2	2.05	2.050											2.250	4.613	9		
HS 6 -4	D 19	4	2.62	2.616											2.250	5.895	24		
HS 7 -1	D 13	2	3.68	0.920	0.920	0.920	0.920								0.995	3.662	7		
HS 7 -2	D 19	8	1.80	1.795											2.250	4.050	32		
HS 7 -3	D 19	4	2.50	2.500											2.250	5.625	23		
HS 7 -4	D 19	4	1.90	1.900											2.250	4.275	17		
HS 8 -1	D 13	2	1.48	1.477											0.995	1.473	3		
HS 8 -2	D 19	4	2.05	2.050											2.250	4.613	18		
HS 8 -3	D 19	4	1.57	1.569											2.250	3.533	14		
HS 8 -4	D 19	4	1.81	1.804											2.250	4.073	16		
HS 8 -5	D 19	4	1.34	1.334											2.250	3.015	12		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
HS	D 10	0.560	0	0	
	D 13	0.995	46	0	
	D 16	1.560	0	0	
	D 19	2.250	519	0	
	D 22	3.040	0	0	
	D 25	3.980	0	0	
	D 29	5.040	0	0	
	D 32	6.230	0	0	
	合計		565		

鉄筋数量　底版 [F]

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
F 1 -1	D 29	76	9.46	0.348	0.137	8.971								0.087	5.040	47.678	3624		
F 1 -2	D 29	76	10.50	10.500											5.040	52.920	4022		
F 1 -3	D 29	76	11.70	11.215	0.137	0.348								0.087	5.040	58.968	4482		
F 2 -1	D 29	19	4.42	4.418											5.040	22.277	423		
F 2 -2	D 29	19	10.50	10.500											5.040	52.920	1005		
F 2 -3	D 29	19	11.70	11.215	0.137	0.348								0.087	5.040	58.968	1120		
F 2 -4	D 29	19	6.67	6.662											5.040	33.617	639		
F 2 -5	D 29	19	10.50	10.500											5.040	52.920	1005		
F 2 -6	D 29	19	9.46	8.971	0.137	0.348								0.087	5.040	47.678	906		
F 3 -1	D 29	90	7.31	0.348	0.137	6.825								0.087	5.040	36.842	3316		
F 3 -2	D 29	180	8.42	8.415											5.040	42.437	7639		
F 3 -3	D 29	90	10.49	10.000	0.137	0.348								0.087	5.040	52.870	4758		
F 4 -1	D 29	12	7.31	0.348	0.137	6.825								0.087	5.040	36.842	442		
F 4 -2	D 29	12	7.18	4.524	0.068	2.583								0.087	5.040	36.187	434		
F 4 -3	D 29	14	4.49	0.348	0.137	4.000								0.087	5.040	22.630	317		
F 4 -4	D 29	14	10.00	7.349	0.068	2.583								0.087	5.040	50.400	706		
F 4 -5	D 29	6	7.31	0.348	0.137	6.825								0.087	5.040	36.842	221		
F 4 -6	D 29	6	6.18	4.373	0.137	1.663								0.087	5.040	31.147	187		
F 4 -7	D 29	4	4.49	0.348	0.137	4.000								0.087	5.040	22.630	91		
F 4 -8	D 29	4	9.00	7.198	0.137	1.663								0.087	5.040	45.360	181		
F 5 -1	D 29	84	11.98	0.625	0.137	11.215								0.087	5.040	60.379	5072		
F 5 -2	D 29	84	10.50	10.500											5.040	52.920	4445		
F 5 -3	D 29	84	9.74	8.971	0.137	0.625								0.087	5.040	49.090	4124		
F 6 -1	D 29	15	5.22	5.217											5.040	26.309	395		
F 6 -2	D 29	15	10.50	10.500											5.040	52.920	794		
F 6 -3	D 29	15	11.98	11.215	0.137	0.625								0.087	5.040	60.379	906		
F 6 -4	D 29	15	7.47	7.461											5.040	37.649	565		
F 6 -5	D 29	15	10.50	10.500											5.040	52.920	794		
F 6 -6	D 29	15	9.74	8.971	0.137	0.625								0.087	5.040	49.090	736		
F 7 -1	D 29	86	10.82	0.683	0.137	10.000								0.087	5.040	54.533	4690		
F 7 -2	D 29	172	8.42	8.415											5.040	42.437	7299		
F 7 -3	D 29	86	7.65	6.825	0.137	0.683								0.087	5.040	38.556	3316		
F 8 -1	D 29	34	11.51	0.683	0.137	10.682								0.087	5.040	58.010	1972		
F 8 -2	D 29	10	10.66	0.683	0.137	9.833								0.087	5.040	53.726	537		
F 9 -1	D 29	28	7.16	0.348	0.137	3.449	0.068	1.342	0.068	1.740				0.087	5.040	36.086	1010		
F 9 -2	D 29	8	7.28	1.740	0.137	2.956	0.068	0.565	0.068	1.740				0.087	5.040	36.691	294		平均長
F 9 -3	D 29	8	3.19	0.348	0.137	2.696								0.087	5.040	16.078	129		
F 10 -1	D 29	36	7.78	0.625	0.137	5.236	0.137	1.644						0.087	5.040	39.211	1412		
F 10 -2	D 29	6	8.78	1.625	0.137	5.236	0.137	1.644						0.087	5.040	44.251	266		
F 11	D 29	19	11.26	11.260											5.040	56.750	1078		
F 12 -1	D 29	21	4.02	1.663	0.137	2.216								0.087	5.040	20.261	425		
F 12 -2	D 29	21	12.00	10.200	0.137	1.663								0.087	5.040	60.480	1270		
F 13 -1	D 13	8	5.41	5.410											0.995	5.383	43		
F 13 -2	D 13	8	1.00	1.000											0.995	0.995	8		
F 14	D 13	4	11.14	11.140											0.995	11.084	44		
F 15 -1	D 29	38	4.96	1.740	0.068	1.342	0.068	1.740						0.087	5.040	24.998	950		
F 15 -2	D 29	44	4.56	1.740	0.137	0.797	0.137	1.740						0.087	5.040	22.982	1011		
F 15 -3	D 29	38	4.96	1.740	0.068	1.339	0.068	1.740						0.087	5.040	24.998	950		
F 15 -4	D 29	46	4.58	1.740	0.137	0.826	0.137	1.740						0.087	5.040	23.083	1062		
F 01	D 13	1,234	2.38	0.100	0.071	0.715	0.071	0.465	0.071	0.715	0.071	0.100		0.039	0.995	2.368	2922		
F 02 -1	D 13	46	1.11	0.078	0.092	0.722	0.061	0.156						0.039	0.995	1.104	51		
F 02 -2	D 13	12	1.29	0.078	0.092	0.902	0.061	0.156						0.039	0.995	1.284	15		
F 02 -3	D 13	14	1.79	0.078	0.092	1.402	0.061	0.156						0.039	0.995	1.781	25		
F 02 -4	D 13	16	2.11	0.078	0.092	1.722	0.061	0.156						0.039	0.995	2.099	34		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
F	D 10	0.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 13	0.995	3,142	0	重ね継手(40D)
	D 16	1.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 19	2.250	0	0	重ね継手(45D)
	D 22	3.040	0	0	重ね継手(45D)
	D 25	3.980	0	0	重ね継手(50D)
	D 29	5.040	81,020	0	重ね継手(50D)
	D 32	6.230	0	0	重ね継手(50D)
	合計		84,162		(鉄筋ピッチ200mm以上)

鉄筋数量 壁 [W]

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
W 1 -1	D 22	170	8.27	0.264	0.104	7.528	0.104	0.264						0.066	3.040	25.141	4274		
W 1 -2	D 22	6	4.86	0.264	0.104	4.487								0.066	3.040	14.774	89		
W 1 -3	D 22	6	2.99	2.619	0.104	0.264								0.066	3.040	9.090	55		
W 1 -4	D 22	4	6.24	0.264	0.104	5.866								0.066	3.040	18.970	76		
W 1 -5	D 22	4	1.67	1.298	0.104	0.264								0.066	3.040	5.077	20		
W 1 -6	D 22	2	7.68	0.264	0.104	7.308								0.066	3.040	23.347	47		
W 1 -7	D 22	6	7.29	0.264	0.104	6.914								0.066	3.040	22.162	133		
W 2 -1	D 22	47	5.78	0.264	0.104	5.412								0.066	3.040	17.571	826		
W 2 -2	D 22	47	12.00	12.000											3.040	36.480	1715		
W 2 -3	D 22	47	12.00	11.632	0.104	0.264								0.066	3.040	36.480	1715		
W 2 -4	D 22	4	3.57	0.264	0.104	3.199								0.066	3.040	10.853	43		
W 2 -5	D 22	2	12.00	12.000											3.040	36.480	73		
W 2 -6	D 22	2	8.53	8.527											3.040	25.931	52		
W 2 -7	D 22	2	9.72	0.264	0.104	9.347								0.066	3.040	29.549	59		
W 2 -8	D 22	1	7.43	7.430											3.040	22.587	23		
W 3 -1	D 22	170	7.88	0.264	0.104	7.505								0.066	3.040	23.955	4072		
W 3 -2	D 22	6	4.48	4.474											3.040	13.619	82		
W 3 -3	D 22	6	2.99	2.619	0.104	0.264								0.066	3.040	9.090	55		
W 3 -4	D 22	4	5.86	5.853											3.040	17.814	71		
W 3 -5	D 22	4	1.67	1.299	0.104	0.264								0.066	3.040	5.077	20		
W 3 -6	D 22	2	7.30	7.295											3.040	22.192	44		
W 3 -7	D 22	6	6.91	6.901											3.040	21.006	126		
W 4 -1	D 22	47	5.43	5.422											3.040	16.507	776		
W 4 -2	D 22	47	12.00	12.000											3.040	36.480	1715		
W 4 -3	D 22	47	11.62	11.620											3.040	35.325	1660		
W 4 -4	D 22	4	3.21	3.209											3.040	9.758	39		
W 4 -5	D 22	2	12.00	12.000											3.040	36.480	73		
W 4 -6	D 22	2	8.53	8.526											3.040	25.931	52		
W 4 -7	D 22	2	9.36	9.357											3.040	28.454	57		
W 4 -8	D 22	1	7.43	7.430											3.040	22.587	23		
W 5	D 22	176	8.27	0.264	0.104	7.528	0.104	0.264						0.066	3.040	25.141	4425		
W 6 -1	D 22	50	4.28	0.264	0.104	3.912								0.066	3.040	13.011	651		
W 6 -2	D 22	50	12.00	12.000											3.040	36.480	1824		
W 6 -3	D 22	50	12.00	11.632	0.104	0.264								0.066	3.040	36.480	1824		
W 7	D 22	176	7.91	0.264	0.104	7.534								0.066	3.040	24.046	4232		
W 8 -1	D 22	50	11.62	11.620											3.040	35.325	1766		
W 8 -2	D 22	50	12.00	12.000											3.040	36.480	1824		
W 8 -3	D 22	50	3.90	3.900											3.040	11.856	593		
W 9	D 19	176	8.19	0.228	0.090	7.546	0.090	0.228						0.057	2.250	18.428	3243		
W 10 -1	D 19	50	3.60	0.228	0.090	3.278								0.057	2.250	8.100	405		
W 10 -2	D 19	50	12.00	12.000											2.250	27.000	1350		
W 10 -3	D 19	50	12.00	11.682	0.090	0.228								0.057	2.250	27.000	1350		
W 11 -1	D 19	100	8.19	0.228	0.090	7.546	0.090	0.228						0.057	2.250	18.428	1843		
W 11 -2	D 19	10	2.38	0.228	0.090	2.060								0.057	2.250	5.355	54		
W 11 -3	D 19	10	1.58	0.228	0.090	1.260								0.057	2.250	3.555	36		
W 11 -4	D 19	6	1.56	0.228	0.090	1.233								0.057	2.250	3.510	21		
W 11 -5	D 19	12	2.36	0.228	0.090	2.039								0.057	2.250	5.310	64		
W 11 -6	D 19	50	1.26	1.254											2.250	2.835	142		
W 11 -7	D 19	18	1.20	1.200											2.250	2.700	49		
W 11 -8	D 19	24	1.22	1.213											2.250	2.745	66		
W 11 -9	D 19	10	2.26	1.940	0.090	0.228								0.057	2.250	5.085	51		
W 11 -10	D 19	12	2.24	1.919	0.090	0.228								0.057	2.250	5.040	60		
W 11 -11	D 19	10	1.46	1.140	0.090	0.228								0.057	2.250	3.285	33		
W 11 -12	D 19	6	1.44	1.113	0.090	0.228								0.057	2.250	3.240	19		
W 12 -1	D 19	36	9.23	0.228	0.090	8.906								0.057	2.250	20.768	748		
W 12 -2	D 19	36	12.00	11.682	0.090	0.228								0.057	2.250	27.000	972		
W 12 -3	D 19	4	2.17	0.228	0.090	1.852								0.057	2.250	4.883	20		
W 12 -4	D 19	4	1.35	0.228	0.090	1.031								0.057	2.250	3.038	12		
W 12 -5	D 19	2	2.15	0.228	0.090	1.825								0.057	2.250	4.838	10		
W 12 -6	D 19	2	1.37	0.228	0.090	1.052								0.057	2.250	3.083	6		
W 12 -7	D 19	2	2.15	0.228	0.090	1.830								0.057	2.250	4.838	10		
W 12 -8	D 19	42	1.22	1.213											2.250	2.745	115		
W 12 -9	D 19	36	1.26	1.254											2.250	2.835	102		
W 12 -10	D 19	10	1.20	1.200											2.250	2.700	27		
W 12 -11	D 19	4	3.56	3.554											2.250	8.010	32		
W 12 -12	D 19	4	1.92	1.913											2.250	4.320	17		
W 12 -13	D 19	2	3.50	3.500											2.250	7.875	16		
W 12 -14	D 19	2	1.96	1.954											2.250	4.410	9		

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
W 12 -15	D 19	2	3.52	3.513											2.250	7.920	16		
W 12 -16	D 19	4	3.46	3.454											2.250	7.785	31		
W 12 -17	D 19	4	1.82	1.813											2.250	4.095	16		
W 12 -18	D 19	2	3.40	3.400											2.250	7.650	15		
W 12 -19	D 19	2	1.86	1.854											2.250	4.185	8		
W 12 -20	D 19	2	3.42	3.413											2.250	7.695	15		
W 12 -21	D 19	4	2.16	1.835	0.090	0.228								0.057	2.250	4.860	19		
W 12 -22	D 19	4	1.34	1.014	0.090	0.228								0.057	2.250	3.015	12		
W 12 -23	D 19	2	2.13	1.808	0.090	0.228								0.057	2.250	4.793	10		
W 12 -24	D 19	2	1.36	1.035	0.090	0.228								0.057	2.250	3.060	6		
W 12 -25	D 19	2	2.14	1.814	0.090	0.228								0.057	2.250	4.815	10		
W 01	D 13	2,928	0.57	0.078	0.092	0.180	0.061	0.156						0.057	0.995	0.567	1660		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
W	D 10	0.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 13	0.995	1,660	0	重ね継手(40D)
	D 16	1.560	0	0	重ね継手(40D)
	D 19	2.250	11,040	0	重ね継手(45D)
	D 22	3.040	35,204	0	重ね継手(45D)
	D 25	3.980	0	0	重ね継手(50D)
	D 29	5.040	0	0	重ね継手(50D)
	D 32	6.230	0	0	重ね継手(50D)
	合計		47,904		(鉄筋ピッチ200mm以上)

鉄筋数量 壁開口補強 [WS]

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
WS 1 -1	D 13	4	1.95	1.948											0.995	1.940	8		
WS 1 -2	D 19	32	2.50	2.500											2.250	5.625	180		
WS 2 -1	D 13	4	1.48	1.477											0.995	1.473	6		
WS 2 -2	D 19	32	2.35	2.350											2.250	5.288	169		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
C	D 10	0.560	0		
	D 13	0.995	14		
	D 16	1.560	0		
	D 19	2.250	349		
	D 22	3.040	0		
	D 25	3.980	0		
	D 29	5.040	0		
	D 32	6.230	0		
	合計		363		

鉄筋数量 杭 [P]

鉄筋記号	鉄筋径 (mm)	本数 (本)	1本当り 長さ(m)	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	L4 (m)	L5 (m)	L6 (m)	L7 (m)	L8 (m)	L9 (m)	L10 (m)	R (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	継手 箇所数	備考
P 1	D 22	1,347	5.66	4.339	1.320										3.040	17.206	23176		
P 2	D 22	1,347	5.03	3.710	1.320										3.040	15.291	20597		
P 3	D 29	80	11.39	0.555	0.137	10.693								0.087	5.040	57.406	4592		
P 4 -1	D 29	960	8.39	0.555	0.137	7.693								0.087	5.040	42.286	40595	1	
P 4 -2	D 29	960	4.00	4.000											5.040	20.160	19354		
P 4 -3	D 29	960	5.94	0.555	0.137	5.243								0.087	5.040	29.938	28740	1	
P 4 -4	D 29	960	6.45	6.450											5.040	32.508	31208		
P 5	FB-9	199	4.06	4.059											3.530	14.332	2852		
P 6	FB-9	199	3.43	3.430											3.530	12.108	2409		
P 7	D 13	400	1.18	1.180											0.995	1.174	470		
S 1	D 13	796	0.43	0.040	0.060	0.046	0.238	0.050							0.995	0.428	341		
S 2	D 19	100	0.37	0.060	0.150	0.160									2.250	0.833	83		

	鉄筋径 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	継手 箇所数	備考
P	D 10	0.560	0	0	重ね継手(50D)
	D 13	0.995	470	0	重ね継手(50D)
	D 16	1.560	0	0	重ね継手(50D)
	D 19	2.250	0	0	重ね継手(60D)
	D 22	3.040	43,773	0	重ね継手(60D)
	D 25	3.980	0	0	
	D 29	5.040	124,489	1,920	機械式継手
	D 32	6.230	0	0	
	FB-9×50	3.530	5,261	0	
	小計		173,993		
S	D 10	0.560	0	0	重ね継手(50D)
	D 13	0.995	341	0	重ね継手(50D)
	D 16	1.560	0	0	重ね継手(50D)
	D 19	2.250	83	0	重ね継手(60D)
	D 22	3.040	0	0	重ね継手(60D)
	D 25	3.980	0	0	
	D 29	5.040	0	0	機械式継手
	D 32	6.230	0	0	
	小計		424		
	合計		174,417		(鉄筋ピッチ100mm以上200mm未満)

土工・土留工　数量総括書

工　　種		単位	数　量	摘　　要
土工				
床掘り		m3	5282.9	
埋戻し		m3	1456.2	
掘削・積込み		m3	1456.2	指定残土置き場
運搬		m3	1456.2	指定残土置き場
発生土運搬		m3	5282.9	掘削土
発生土処分		t	9509.2	掘削土×1.8
土留工				
土留め壁（鋼矢板）	Ⅲ型　圧入・引抜	枚	241	L=11.50m
		t	166.3	リース
	Ⅲ型　圧入・引抜	枚	83	L=12.00m
		t	59.8	リース
中間杭	H－300×300×10×15	本	16	L=7.00m
		t	10.4	
中間杭・切梁・腹起し		t	69.3	
腹起こし	H－400×400×13×21孔	t	25.7	リース
切ばり	H－350×350×12×19孔	t	37.0	リース
隅火打ち	H－350×350×12×19孔	t	3.9	リース
切ばり火打ち	H－350×350×12×19孔	t	2.7	リース
土留材　設置・撤去工		t	87.3	主部材×1.26
現場発生品運搬　4t級　L=7.9km		回		
スクラップ　H1		t	2.77	

施設名　：新秩父ミューズパークRC配水池

項　目	数　　式	数　量
土工		
床掘り	GL+407.00～GL+402.00	
	A= 32.950 × 31.350 = 1032.983	
	掘削量	
	V= 1032.983 × 5.000 = 5164.913	5164.91 m3
	GL+402.00～GL+401.00（ピット部）	
	掘削量	
	V=(12.900 × 8.975 + 14.900 × 7.975 +	
	2 ×(12.900 × 7.975 + 14.900 ×	
	8.975))× 1.000 ÷ 6 = 117.969	117.97 m3
	Σ ＝	5282.88 m3
埋戻し	基礎砕石、均しコンクリート	
	控除部	
	V= 0.300 ×(30.000 × 28.500 +	
	0.100 ×(11.900 + 5.950 × 2)) = 257.214	
	ピット部躯体	
	控除部	
	V= 11.700 × 4.700 × 1.000 = 54.990	
	躯体底版	
	控除部	
	V= 29.800 × 28.300 × 1.200 = 1012.008	
	躯体	
	控除部	
	V= 27.500 × 26.000 × 3.500 = 2502.500	
	埋戻量	
	V= 5282.880 － 257.214 － 54.990 － 1012.008 －	
	2502.500 = 1456.168	1456.17 m3
掘削・積込み	指定残土置場	
	V= 1456.170 = 1456.170	1456.17 m3
土砂運搬	指定残土置き場～現場	
	V= 1456.170 = 1456.170	1456.17 m3
	発生土	
	V= 5282.880 = 5282.880	5282.88 m3
	1.8t/m3	
	W= 5282.880 × 1.8 = 9509.184	9509.18 t

施設名　：新秩父ミューズパークRC配水池

項　目	数　　式	数　量
仮設工	土留め壁（鋼矢板）　Ⅲ型　60.0kg/m　L=11.50m	
	仮設工図より	
	N=　79　×　2　+　83　＝　241.000	241　枚
	W=　11.500　×　60.000　×　241　÷　1000　＝　166.290	166.29　t
	土留め壁（鋼矢板）　Ⅲ型　60.0kg/m　L=12.00m	
	仮設工図より	
	N=　83.000　＝　83.000	83　枚
	W=　12.000　×　60.000　×　83　÷　1000　＝　59.760	59.76　t
	中間杭　Ｈ－300×300×10×15　93.0kg/m　L=7.00m	
	仮設工図より	
	N=　4　×　4　＝　16.000	16　本
	W=　7.000　×　93.000　×　16　÷　1000　＝　10.416	10.42　t
	主部材	
	腹起こし　Ｈ－400×400×13×21孔　200.0kg/m	
	仮設工図より	
	W=(　32.950　+　31.350　)×　2　×　200　÷	
	1000　＝　25.720	25.72　t
	切ばり　Ｈ－350×350×12×19孔　150.0kg/m	
	仮設工図より	
	W=(　31.650　+　30.050　)×　4　×　150　÷	
	1000　＝　37.020	37.02　t
	隅火打ち　Ｈ－350×350×12×19孔　150.0kg/m	
	仮設工図より	
	W=　6.486　×　150.000　×　4　÷　1000　＝　3.892	3.89　t
	切ばり火打ち　Ｈ－350×350×12×19孔　150.0kg/m	
	仮設工図より	
	W=　1.121　×　150.000　×　16　÷　1000　＝　2.690	2.69　t
	主部材合計Σ　＝	69.32　t
	副部材A	
	W=　69.322　×　0.22　＝　15.251	15.25　t
	副部材B	
	W=　69.322　×　0.04　＝　2.773	2.77　t
	仮設材　設置・撤去工	
	主部材×1.26	
	W=　69.320　×　1.260　＝　87.343	87.34　t

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	場内配管布設工事				
	流入管布設				
	（材料費）				
	ダクタイル鋳鉄管	GX形-S種 内粉 φ300×6m	本	23.0	13＋10(切管表より)
	ダクタイル二受Ｔ字管	GX形 内粉 φ300×φ300	個	1.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ300×90°	個	3.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ300×45°	個	1.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ300×22° 1/2	個	1.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ300×11° 1/4	個	2.0	
	ダクタイル継ぎ輪	GX形 内粉 φ300	個	4.0	
	ダクタイル鋳鉄管接合材料	GX形 φ300	個	7.0	
	ダクタイル鋳鉄管ライナ	GX形 φ300	個	13.0	
	ダクタイル鋳鉄管切管ユニット	GX形 φ300 G-Link	個	16.0	
	ダクタイル鋳鉄伸縮可撓管	GX形 F×U H200 φ300 ﾀｲﾛｯﾄﾞ付	基	2.0	
	仕切弁	FCD GX形 ｿﾌﾄｼｰﾙ φ300 両受	基	2.0	
	仕切弁筐	H＝600～800 190×440 管種・管径表示含む	個	2.0	
	仕切弁筐座台	H＝40 440×640	個	2.0	
	硬質塩化ビニル管	VU φ350	m	0.8	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ300 上水	組	2.0	
	ポリエチレンスリーブ	φ300 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ含む	m	193.2	7×(1＋0.2)／6×138.0
					付属品集計表にて集計
	埋設管標識シート	2倍ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ W＝150	m	135.0	付属品集計表にて集計
	管明示ビニルテープ	W＝30	m	138.2	138.0×1.0013
					付属品集計表にて集計

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	（労務費）				
	鋳鉄管布設工	φ300 機械	m	135.8	
	鋳鉄管切断工	φ300 パイプ切断機使用	口	15.0	
	GX形継手接合工	φ300 直管	口	20.0	
	GX形継手接合工	φ300 異形管	口	7.0	
	GX形継手接合工	φ300 G-Link	口	16.0	
	フランジ継手工	φ300 上水	口	2.0	
	伸縮可撓管設置工	φ300 機械 F×U	基	2.0	
	仕切弁設置工	φ300 機械	基	2.0	
	弁筐設置工	ねじ式 座台共	箇所	2.0	
	ポリエチレンスリーブ被覆工	φ300	m	138.0	
	管明示シート工		m	135.0	
	管明示テープ工	φ300 鋳鉄管用	m	138.0	
	現場発生品運搬		回		
	スクラップ	H1	t	0.468	9.423×49.66/1000
					付属品集計表にて集計

付属品集計表

項目	名　　称	算　　式		単位	数　量
	ポリエチレンスリーブ				
	φ350ダクタイル鋳鉄管	(140.4+91.5)／7.0	= 33.13	枚	34.0
	φ300ダクタイル鋳鉄管	(193.2+253.4)／7.0	= 63.80	枚	64.0
	φ250ダクタイル鋳鉄管	1.5／6.0	= 0.25	枚	1.0
	φ150ダクタイル鋳鉄管	183.3／6.0	= 30.55	枚	31.0
	φ100ダクタイル鋳鉄管	0.7／5.0	= 0.14	枚	1.0
	φ75ダクタイル鋳鉄管	(7.4+12.0)／5.0	= 3.88	枚	4.0
	固定用ゴムバンド				
	φ350ダクタイル鋳鉄管	[{4×(1+0.5)+(6.0-1.0)}／6.0]×(95.5+65.4)	= 294.98	個	295.0
	φ300ダクタイル鋳鉄管	[{4×(1+0.5)+(6.0-1.0)}／6.0]×(135.8+181.0)	= 580.80	個	581.0
	φ250ダクタイル鋳鉄管	[{4×(1+0.5)+(5.0-1.0)}／5.0]×1.1	= 2.20	個	2.0
	φ150ダクタイル鋳鉄管	[{4×(1+0.5)+(5.0-1.0)}／5.0]×122.5	= 245.00	個	245.0
	φ100ダクタイル鋳鉄管	[{4×(1+0.5)+(4.0-1.0)}／4.0]×0.5	= 1.13	個	2.0
	φ75ダクタイル鋳鉄管	[{4×(1+0.5)+(4.0-1.0)}／4.0]×(3.9+8.0)	= 26.78	個	27.0
	管明示シート	(135.0+96.6+102.6+126.2+180.1+74.0+180.3)／50.0	= 17.90	巻	18.0
	管明示テープ	(138.2+116.1+51.8+88.0+181.3+79.5+88.6)／20.0	= 37.18	個	38.0
	スクラップ	0.468＋1.378＋0.263＋0.839＋0.635	= 3.583	t	3.583

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	送水管布設				
	（材料費）				
	ダクタイル鋳鉄管	NS形-3種 内粉 φ350×6m	本	9.0	
	ダクタイル鋳鉄管	NS形-1種 内粉 φ350×6m	本	9.0	切管表より
	ダクタイル二受Ｔ字管	NS形 内粉 φ350×φ350	個	1.0	
	ダクタイル曲管	NS形 内粉 φ350×90°	個	2.0	
	ダクタイル曲管	NS形 内粉 φ350×45°	個	1.0	
	ダクタイル曲管	NS形 内粉 φ350×22° 1/2	個	1.0	
	ダクタイル曲管	NS形 内粉 φ350×11° 1/4	個	2.0	
	ダクタイル継ぎ輪	NS形 内粉 φ350	個	3.0	
	ダクタイル短管１号	NS形 内粉 φ350	個	2.0	
	ダクタイル鋳鉄管ライナ	NS形 φ350	個	10.0	
	ダクタイル鋳鉄管挿しロリング	NS形 φ350 ﾀｯﾋﾟﾝねじﾀｲﾌﾟ	個	14.0	
	ダクタイル鋳鉄管挿しロリング	NS形 φ350 ﾀｯﾋﾟﾝねじﾀｲﾌﾟ（継ぎ輪用）	個	6.0	
	ダクタイル鋳鉄伸縮可撓管	NS形 U×S H200 φ350 ﾀｲﾛｯﾄﾞ付	基	1.0	
	ダクタイル鋳鉄伸縮可撓管	NS形 F×S H200 φ350 ﾀｲﾛｯﾄﾞ付	基	2.0	
	仕切弁	FCD NS形 ｿﾌﾄｼｰﾙ φ350 両受	基	2.0	
	仕切弁用鉄蓋	φ600	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×10H 調整ﾘﾝｸﾞ ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×200H 上部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×200H 中部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	4.0	
	仕切弁ボックス	φ600×500H 中部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	8.0	
	仕切弁ボックス	φ600×500H 下部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×40H 底版 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	鉄蓋調整部用型枠セット	φ600	組	1.0	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	鉄蓋変形防止用調整金具	M16×150	組	2.0	
	超早強制無収縮モルタル	25kg	袋	2.0	
	ロッド棒	φ32×2998L	組	2.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ350 上水	組	4.0	
	ポリエチレンスリーブ	φ350 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ含む	m	140.4	7×(1＋0.2)／6×100.261
					流入管布設にて集計
	埋設管標識シート	2倍ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ W＝150	m	96.6	97.621-0.5×2
					流入管布設にて集計
	管明示ビニルテープ	W＝30	m	116.1	100.261×1.1577
					流入管布設にて集計
	（労務費）				
	鋳鉄管布設工	φ350 機械	m	95.5	101.261－0.5×2－1.61×2－1.525
	鋳鉄管切断・溝切り加工	φ350 NS形 同時面取り共 パイプ切断機	口	14.0	
	NS形継手接合工	φ350 直管	口	18.0	
	NS形継手接合工	φ350 異形管	口	15.0	
	NS形継手接合工	φ350 継ぎ輪	口	5.0	
	NS形継手挿口加工	φ350 ﾀｯﾋﾟﾝねじ式	口	14.0	
	フランジ継手工	φ350 上水	口	4.0	
	伸縮可撓管設置工	φ350 機械 U×S	基	1.0	
	伸縮可撓管設置工	φ350 機械 F×S	基	2.0	
	仕切弁設置工	φ350 機械	基	2.0	
	鉄蓋設置工	φ600	個	2.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×10H 調整ﾘﾝｸﾞ	個	2.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×200H 上部壁	個	2.0	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	仕切弁ボックス設置工	φ600×200H 中部壁	個	4.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×500H 中部壁	個	8.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×500H 下部壁	個	2.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×40H 底版	個	2.0	
	ポリエチレンスリーブ被覆工	φ350	m	100.3	101.261-0.5×2
	管明示シート工		m	96.6	97.621-0.5×2
	管明示テープ工	φ350 鋳鉄管用	m	100.3	
	基礎砕石	厚さ7.5cm超12.5cm以下 再生ｸﾗｼｬﾗﾝ 40～0	m2	1.3	
	スクラップ	H1	t	1.378	22.323×61.74/1000
					流入管布設にて集計

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	配水管布設				
	（材料費）				
	水道配水用ポリエチレン管	EF受口付直管　φ100×5m	本	13.0	
	水道配水用ポリエチレン管	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ　φ100×5m	個	8.0	切管表より
	EFソケット	φ100	個	4.0	
	EF両受ベンド	φ100×90°	個	2.0	
	EF両受ベンド	φ100×45°	個	3.0	
	EF両受ベンド	φ100×22°　1/2	個	1.0	
	EF両受ベンド	φ100×11°　1/4	個	2.0	
	EF両受チーズ	φ100×φ100	個	1.0	
	EFフランジ	φ100	個	4.0	
	ダクタイル鋳鉄伸縮可撓管	F×F H200　φ100 ﾀｲﾛｯﾄﾞ付	基	3.0	
	PE挿し口付ソフトシール仕切弁	φ100	基	2.0	
	仕切弁用鉄蓋	φ600	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×50H 調整ﾘﾝｸﾞ　ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×200H 上部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×200H 中部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	4.0	
	仕切弁ボックス	φ600×500H 中部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	10.0	
	仕切弁ボックス	φ600×500H 下部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×40H 底版 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	鉄蓋変形防止用調整金具	M16×150	組	2.0	
	超早強制無収縮モルタル	25kg	袋	2.0	
	ロッド棒	φ32×3085L	組	2.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS　φ100 上水	組	7.0	
	埋設管標識シート	2倍ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ W＝150	m	102.6	103.035－0.22×2

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
					流入管布設にて集計
	管明示ビニルテープ	W＝30	m	51.8	105.6×0.4901
					流入管布設にて集計
	（労務費）				
	ポリエチレン管布設工	φ100 融着	m	102.8	106.006－0.22×2－0.91×3
	ポリエチレン管切断工	φ100	口	16.0	
	ポリエチレン管継手工	φ100 融着2口	箇所	5.0	
	ポリエチレン管継手工	φ100 融着1口	口	33.0	
	フランジ継手工	φ100 上水	口	7.0	
	伸縮可撓管設置工	φ100 機械 F×F	基	3.0	
	仕切弁設置工	φ100 機械	基	2.0	
	鉄蓋設置工	φ600	個	2.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×50H 調整ﾘﾝｸﾞ	個	2.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×200H 上部壁	個	2.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×200H 中部壁	個	4.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×500H 中部壁	個	10.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×500H 下部壁	個	2.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×40H 底版	個	2.0	
	管明示シート工	2倍ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ W＝150	m	102.6	
	管明示テープ工	φ100 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用	m	102.8	
	基礎砕石工	厚さ7.5cm超12.5cm以下 再生ｸﾗｼｬﾗﾝ 40～0	m2	1.3	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	排泥管布設				
	（材料費）				
	ダクタイル鋳鉄管	GX形-S種 内粉 φ150×5m	本	25.0	2＋11＋12(切管表より)
	ダクタイル鋳鉄管	GX形-S種 内粉 φ75×4m	本	1.0	切管表より
	ダクタイル二受Ｔ字管	GX形 内粉 φ150×φ150	個	3.0	
	ダクタイル二受Ｔ字管	GX形 内粉 φ150×φ75	個	1.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ150×90°	個	4.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ150×45°	個	1.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ150×22° 1/2	個	1.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ75×90°	個	1.0	
	ダクタイル曲管	GX形 内粉 φ150×11° 1/4	個	1.0	
	ダクタイル両受曲管	GX形 内粉 φ150×45°	個	4.0	
	ダクタイル継ぎ輪	GX形 内粉 φ150	個	5.0	
	ダクタイル継ぎ輪	GX形 内粉 φ75	個	1.0	
	ダクタイル短管２号	GX形 内粉 φ75	個	1.0	
	ダクタイル鋳鉄管ライナ	GX形 φ150	個	14.0	
	ダクタイル鋳鉄管ライナ	GX形 φ75	個	1.0	
	ダクタイル鋳鉄管接合材料	GX形 φ150	個	13.0	
	ダクタイル鋳鉄管接合材料	GX形 φ75	個	4.0	
	ダクタイル鋳鉄管切管ユニット	GX形 φ150 G-Link	個	24.0	
	ダクタイル鋳鉄管切管ユニット	GX形 φ75 G-Link	個	2.0	
	ダクタイル鋳鉄伸縮可撓管	GX形 F×S H200 φ150×H200 ﾀｲﾛｯﾄﾞ付	基	4.0	
	ダクタイル鋳鉄伸縮可撓管	GX形 U×S H200 φ75×H200 ﾀｲﾛｯﾄﾞ付	基	1.0	
	仕切弁	FCD GX形 ｿﾌﾄｼｰﾙ φ150 受挿し	基	1.0	
	仕切弁	FCD GX形 ｿﾌﾄｼｰﾙ φ150 両受	基	2.0	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	仕切弁	FCD GX形 ｿﾌﾄｼｰﾙ φ75 受挿し	基	1.0	
	仕切弁用鉄蓋	φ600	個	4.0	
	仕切弁ボックス	φ600×50H 調整ﾘﾝｸﾞ ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	4.0	
	仕切弁ボックス	φ600×200H 上部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	4.0	
	仕切弁ボックス	φ600×200H 中部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	2.0	
	仕切弁ボックス	φ600×300H 中部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	3.0	
	仕切弁ボックス	φ600×500H 中部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	20.0	
	仕切弁ボックス	φ600×500H 下部壁 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	4.0	
	仕切弁ボックス	φ600×40H 底版 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	個	4.0	
	鉄蓋変形防止用調整金具	M16×150	組	4.0	
	超早強制無収縮モルタル	25kg	袋	4.0	
	ロッド棒	φ32×3120L	組	1.0	
	ロッド棒	φ32×2998L	組	3.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ150 上水	組	4.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ75 上水	組	1.0	
	ポリエチレンスリーブ	φ150 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ含む	m	183.3	6×(1＋0.2)/5×127.3
					流入管布設にて集計
	ポリエチレンスリーブ	φ75 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ含む	m	7.4	5×(1＋0.2)/4×4.9
					流入管布設にて集計
	埋設管標識シート	2倍ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ W＝150	m	126.2	123.786－0.22×2－0.55＋3.861－0.49
					流入管布設にて集計
	管明示ビニルテープ	W＝30	m	88.0	127.3×0.6786＋4.862×0.3393
					流入管布設にて集計

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	（労務費）				
	鋳鉄管布設工	φ150 機械	m	122.5	128.312－0.22×2－0.55－1.195×4
	鋳鉄管布設工	φ75 機械	m	3.9	5.361－0.47－1.01
	鋳鉄管切断工	φ150 パイプ切断機使用	口	23.0	
	鋳鉄管切断工	φ75 パイプ切断機使用	口	2.0	
	GX形継手接合工	φ150 直管	口	25.0	
	GX形継手接合工	φ75 直管	口	1.0	
	GX形継手接合工	φ150 異形管	口	13.0	
	GX形継手接合工	φ75 異形管	口	4.0	
	GX形継手接合工	φ150 G-Link	口	24.0	
	GX形継手接合工	φ75 G-Link	口	2.0	
	フランジ継手工	φ150 上水	口	4.0	
	フランジ継手工	φ75 上水	口	1.0	
	伸縮可撓管設置工	φ150 機械 F×S	基	4.0	
	伸縮可撓管設置工	φ75 機械 U×S	基	1.0	
	仕切弁設置工	φ150 機械	基	3.0	
	仕切弁設置工	φ75 機械	基	1.0	
	鉄蓋設置工	φ600	個	4.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×50H 調整ﾘﾝｸﾞ	個	4.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×200H 上部壁	個	4.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×200H 中部壁	個	2.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×300H 中部壁	個	3.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×500H 中部壁	個	20.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×500H 下部壁	個	4.0	
	仕切弁ボックス設置工	φ600×40H 底版	個	4.0	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	ポリエチレンスリーブ被覆工	φ150	m	127.3	
	ポリエチレンスリーブ被覆工	φ75	m	4.9	
	管明示シート工		m	126.2	
	管明示テープ工	φ150 鋳鉄管用	m	127.3	
	管明示テープ工	φ75 鋳鉄管用	m	4.9	
	基礎砕石工	厚さ7.5cm超12.5cm以下 再生ｸﾗｼｬﾗﾝ 40～0	m2	2.6	
	スクラップ	H1	t	0.263	10.401×23.73/1000＋1.368×11.73/1000
					流入管布設にて集計

切管表－1

流入管

口径 φ 300	定着長 ＝ 6,000

番号	切 管 組 合 せ	原管形式	管種	有効長 (mm)	残管長 (mm)	切 管 箇所数	挿し口加工数	備考
1	4,410 (G) 1,400 (G GX)	GX	S種	5,810	190	2		
2	5,273 (G)	GX	S種	5,273	727	1		
3	5,664 (G)	GX	S種	5,664	336	1		
4	4,126 (G) 1,400 (G GX)	GX	S種	5,526	474	2		
5	1,851 (G) 3,440 (G GX)	GX	S種	5,291	709	2		
6	1,851 (G) 3,440 (G GX)	GX	S種	5,291	709	2		
7	4,665 (G GX)	GX	S種	4,665	1,335	1		
8	3,581 (G GX)	GX	S種	3,581	2,419	1		
9	2,428 (G G) 1,724 (G GX)	GX	S種	4,152	1,848	2		
10	5,324 (G)	GX	S種	5,324	676	1		
計	切管本数 10 本				9,423	15		

切管表－2

送水管

口径 φ 350	定着長 ＝ 6,000

番号	切 管 組 合 せ	原管形式	管種	有効長 (mm)	残管長 (mm)	切 管 箇所数	挿し口 加工数	備考
1	2,886 N ― N 1,350 N NS	NS	1種	4,236	1,764	2	2	
2	1,031 N ― N 2,915 N NS	NS	1種	3,946	2,054	2	2	
3	2,886 N ― N 1,350 N NS	NS	1種	4,236	1,764	2	2	
4	1,038 N ― N 1,340 N NS	NS	1種	2,378	3,622	2	2	
5	2,969 N ― N 1,054 N NS	NS	1種	4,023	1,977	2	2	
6	4,328 N ―	NS	1種	4,328	1,672	1	1	
7	1,447 N ―	NS	1種	1,447	4,553	1	1	
8	5,005 N ―	NS	1種	5,005	995	1	1	
9	2,078 N ―	NS	1種	2,078	3,922	1	1	
計	切管本数 9 本				22,323	14	14	

切管表－3

配水管

口径 φ 100	定着長 ＝ 5,000

番号	切 管 組 合 せ	原管形式	管種	有効長 (mm)	残管長 (mm)	切 管 箇所数	挿し口加工数	備考
1	3,624 342 533	HPPE		4,499	501	3		
2	3,624 322 436	HPPE		4,382	618	3		
3	1,640 1,640 1,305	HPPE		4,585	415	3		
4	1,435 937 2,349	HPPE		4,721	279	3		
5	4,775	HPPE		4,775	225	1		
6	4,386	HPPE		4,386	614	1		
7	3,912	HPPE		3,912	1,088	1		
8	2,720	HPPE		2,720	2,280	1		
計	切管本数 8 本				6,020	16		

切管表－4

排泥管

口径 φ 150	定着長 ＝ 5,000

番号	切 管 組 合 せ	原管形式	管種	有効長 (mm)	残管長 (mm)	切 管 箇所数	挿し口加工数	備考
1	1,366 G ― G 1,922 G GX	GX	S種	3,288	1,712	2		
2	2,861 G ― G 870 G GX	GX	S種	3,731	1,269	2		
3	3,346 G ― G 1,520 G GX	GX	S種	4,866	134	2		
4	2,181 G ― G 940 G GX	GX	S種	3,121	1,879	2		
5	2,181 G ― G 900 G GX	GX	S種	3,081	1,919	2		
6	3,346 G ― G 1,520 G GX	GX	S種	4,866	134	2		
7	1,366 G ― G 3,200 G GX	GX	S種	4,566	434	2		
8	2,190 G ― G 1,922 G GX	GX	S種	4,112	888	2		
9	1,946 G G 974 G ― 940 G GX	GX	S種	3,860	1,140	3		
10	4,751 G ―	GX	S種	4,751	249	1		
11	4,552 G ―	GX	S種	4,552	448	1		
12	3,505 G ― 1,300 G GX	GX	S種	4,805	195	2		
計	切管本数 12 本				10,401	23		

切管表－5

排泥管

口径 φ 75	定着長 ＝ 4,000

番号	切 管 組 合 せ	原管形式	管種	有効長 (mm)	残管長 (mm)	切 管 箇所数	挿し口加工数	備考
1	1,632 (G) — 1,000 (G / GX)	GX	S種	2,632	1,368	2		
計	切管本数 1 本				1,368	2		

場内配管土工　数量総括書

工　　種		単位	数　量	摘　　要
土工				
掘削工	機械掘削	m3	1520	
埋戻工	発生土	m3	1150	
埋戻工	山砂	m3	310	
積込		m3	1156.0	指定残土置場
発生土運搬		m3	1156.0	指定残土置場～現場
発生土運搬		m3	1524.0	現場～処分場
発生土処分		t	2743.0	
仮設工				
簡易土留建込	2.0型	m	89.3	
	2.5型	m	8.1	
	3.5型	m	18.6	
	4.5型	m	14.4	
簡易土留引抜	2.0型	m	89.3	
	2.5型	m	8.1	
	3.5型	m	18.6	
	4.5型	m	14.4	
簡易土留材賃料	2.0型	式	1.0	
	2.5型	式	1.0	
	3.5型	式	1.0	
	4.5型	式	1.0	

施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
土工 機械掘削工	Ⅰ．弁室築造時（弁室築造工にて計上済） Ⅱ．配水池前面　　※特記なきは、法面勾配1：0.5 掘削①（402.465～402.713） 掘削底面+402.465 A＝　4.300　×　1.200　×　2　＝　10.32 A＝　8.375　×　0.850　×　2　＝　14.24 A＝　0.850　×　4.650　＝　3.95 ΣA＝　28.51 掘削面+402.713 A＝　＝　28.51 A＝　0.248　×　1.200　×　2　＝　0.60 A＝　0.248　×　0.124　/2　×　2　＝　0.03 A＝(　4.300　＋　4.548　)/2　×　0.124　×　2　＝　1.10 A＝　0.124　×(　2.200　＋　2.207　)/2　×　2　＝　0.55 ΣA＝　30.79 V＝(　28.51　＋　30.79　)/2　×(　402.713　－　402.465　) ＝　7.35 掘削②（402.713～403.342） 掘削面+402.713 A＝　＝　30.79 A＝　7.525　×　1.000　×　2　＝　15.05 A＝　0.655　×　4.350　＝　2.85 ΣA＝　48.69 掘削面+403.342 A＝(　5.177　＋　5.616　)/2　×　0.439　×　2　＝　4.74 A＝　5.616　×　1.200　×　2　＝　13.48 A＝　8.814　×　1.850　×　2　＝　32.61 A＝　1.289　×　2.650　＝　3.42 A＝　0.531　×(　4.979　＋　5.179　)/2　＝　2.70 ΣA＝　56.95 V＝(　48.69　＋　56.95　)/2　×(　403.342　－　402.713　) ＝　33.22 掘削③（403.342～403.967） 掘削面+403.342 A＝　＝　56.95 A＝　7.525　×　2.650　＝　19.94 ΣA＝　76.89	

施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
	掘削面+403.967	
	A＝(5.802 ＋ 6.553)/2 × 0.751 × 2 ＝ 9.28	
	A＝ 6.553 × 1.200 × 2 ＝ 15.73	
	A＝ 9.126 × 6.350 ＝ 57.95	
	A＝ 0.531 ×(5.604 ＋ 5.770)/2 ＝ 3.02	
	ΣA＝ 85.98	
	V＝(76.89 ＋ 85.98)/2 ×(403.967 － 403.342)	
	＝ 50.90	
	掘削④（403.967～407.000）	
	掘削面+403.967	
	A＝ ＝ 85.98	
	A＝ 2.573 × 1.200 × 2 ＝ 6.18	
	ΣA＝ 92.16	
	地盤面+407.000	
	A＝(8.835 ＋ 9.586)/2 × 0.751 × 2 ＝ 13.83	
	A＝ 10.642 × 11.783 ＝ 125.39	
	A＝ 0.531 × 8.637 ＝ 4.59	
	ΣA＝ 143.81	
	V＝(92.16 ＋ 143.81)/2 ×(407.000 － 403.967)	
	＝ 357.85	
	ΣV＝ 449.32	
	Ⅲ．弁室北側　　※法面勾配1：0.5	
	掘削①（402.465～402.713）	
	掘削底面+402.465	
	A＝ 15.976 × 0.850 ＝ 13.58	
	A＝ 0.850 ×(2.042 ＋ 2.116)/2 ＝ 1.77	
	A＝ 0.850 ×(5.742 ＋ 5.816)/2 ＝ 4.91	
	ΣA＝ 20.26	
	掘削面+402.713	
	A＝ ＝ 20.26	
	A＝(13.177 ＋ 13.183)/2 × 0.124 ＝ 1.63	
	A＝ 0.124 ×(0.850 ＋ 1.098)/2 ＝ 0.12	
	A＝(13.376 ＋ 13.377)/2 × 0.124 ＝ 1.66	
	A＝(0.499 ＋ 0.509)/2 × 0.124 ＝ 0.06	
	A＝ 0.124 ×(2.966 ＋ 3.101)/2 ＝ 0.38	
	A＝ 0.124 ×(5.816 ＋ 5.951)/2 ＝ 0.73	
	A＝(0.850 ＋ 0.974)/2 × 0.124 ＝ 0.11	
	ΣA＝ 24.95	
	V＝(20.26 ＋ 24.95)/2 ×(402.713 － 402.465)	
	＝ 5.61	

施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
	掘削②（402.713～402.843）	
	掘削面+402.713	
	A＝　　＝　24.95	
	A＝　1.050　×　2.800　＝　2.94	
	A＝　0.850　×（　1.888　＋　1.963　）/2　＝　1.64	
	A＝　0.850　×（　5.712　＋　5.787　）/2　＝　4.89	
	ΣA＝　34.42	
	掘削面+402.843	
	A＝　　＝　34.42	
	A＝　0.065　×（　2.800　＋　2.796　）/2　＝　0.18	
	A＝（　13.183　＋　13.187　）/2　×　0.065　＝　0.86	
	A＝　0.065　×（　1.098　＋　1.228　）/2　＝　0.08	
	A＝（　13.377　＋　13.378　）/2　×　0.065　＝　0.87	
	A＝　0.065　×（　1.834　＋　1.888　）/2　＝　0.12	
	A＝　0.065　×（　5.712　＋　5.755　）/2　＝　0.37	
	A＝　0.065　×（　0.850　＋　0.915　）/2　＝　0.06	
	A＝（　0.509　＋　0.515　）/2　×　0.065　＝　0.03	
	A＝　0.065　×（　3.101　＋　3.171　）/2　＝　0.20	
	A＝　0.065　×（　5.951　＋　6.022　）/2　＝　0.39	
	A＝（　0.974　＋　1.039　）/2　×　0.065　＝　0.07	
	ΣA＝　37.65	
	V＝（　34.42　＋　37.65　）/2　×（　402.843　－　402.713　） ＝　4.68	
	掘削③（402.843～407.000）	
	掘削面+402.843	
	A＝　　＝　37.65	
	A＝　1.050　×　2.500　＝　2.63	
	A＝　1.050　×　5.300　＝　5.57	
	A＝　0.900　×（　1.963　＋　2.402　）/2　＝　1.96	
	A＝　0.900　×（　5.852　＋　5.931　）/2　＝　5.30	
	ΣA＝　53.11	
	地盤面+407.000	
	A＝　6.457　×　2.435　＝　15.72	
	A＝　6.522　×　2.676　＝　17.45	
	A＝　13.400　×　5.385　＝　72.16	
	A＝　7.111　×（　5.385　＋　5.432　）/2　＝　38.46	
	A＝　7.011　×（　7.093　＋　8.282　）/2　＝　53.90	
	ΣA＝　197.69	
	V＝（　53.11　＋　197.69　）/2　×（　407.000　－　402.843　） ＝　521.29	
	ΣV＝　531.58	

施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
	Ⅳ．流入管布設時　　※直掘り	
	L＝ 5.764 ＋ 12.557 ＋ 20.100 ＋ 9.405 × 2	
	＝ 57.23	
	V＝ 57.230 × 0.850 × 1.759 ＝ 85.57	
	Ⅴ．場内道路下	
	掘削①②間（場内道路+407.00～+406.00）	
	L＝(15.283 ＋ 13.528)/2 ＝ 14.406	
	掘削断面①（GL=+407.00）	
	A＝ 0.850 × 4.287 ＝ 3.64	
	A＝ 0.900 × 4.157 ＝ 3.74	
	A＝ 0.850 × 4.535 ＝ 3.85	
	ΣA＝ 11.23	
	掘削断面②（GL=+406.00）	
	A＝ 0.850 × 3.287 ＝ 2.79	
	A＝ 0.900 × 3.157 ＝ 2.84	
	A＝ 0.850 × 3.535 ＝ 3.00	
	ΣA＝ 8.63	
	V＝ 14.406 ×(11.23 ＋ 8.63)/2 ＝ 143.05	
	掘削②③間（場内道路+406.00～+404.766）	
	L＝(19.185 ＋ 18.036)/2 ＝ 18.611	
	掘削断面③（GL=+404.766）	
	A＝ 0.850 × 2.053 ＝ 1.75	
	A＝ 0.900 × 1.923 ＝ 1.73	
	A＝ 0.850 × 2.301 ＝ 1.96	
	ΣA＝ 5.44	
	V＝ 18.611 ×(8.63 ＋ 5.44)/2 ＝ 130.93	
	掘削③④間（場内道路+404.766～+404.687）	
	L＝(1.192 ＋ 1.192)/2 ＝ 1.192	
	掘削断面④（GL=+404.687）	
	A＝ 0.850 × 1.974 ＝ 1.68	
	A＝ 0.650 × 1.923 ＝ 1.25	
	A＝ 0.250 × 1.844 ＝ 0.46	
	A＝ 0.850 × 2.222 ＝ 1.89	
	ΣA＝ 5.28	
	V＝ 1.192 ×(5.44 ＋ 5.28)/2 ＝ 6.39	

施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
	掘削④⑤間（場内道路+404.687～+404.557） L＝(1.962 ＋ 1.962)/2 ＝ 1.962 掘削断面⑤（GL=+404.557） A＝ 0.850 × 1.974 ＝ 1.68 A＝ 0.650 × 1.923 ＝ 1.25 A＝ 0.250 × 1.714 ＝ 0.43 A＝ 0.850 × 2.092 ＝ 1.78 ΣA＝ 5.14 V＝ 1.962 ×(5.28 ＋ 5.14)/2 ＝ 10.22 掘削⑤⑥間（場内道路+404.557～+404.234） L＝(4.861 ＋ 4.861)/2 ＝ 4.861 掘削断面⑥（GL=+404.234） A＝ 0.850 × 1.974 ＝ 1.68 A＝ 0.650 × 1.923 ＝ 1.25 A＝ 0.250 × 1.714 ＝ 0.43 A＝ 0.850 × 1.769 ＝ 1.50 ΣA＝ 4.86 V＝ 4.861 ×(5.14 ＋ 4.86)/2 ＝ 24.31 掘削⑥（場内道路+404.234～排泥管分岐） L＝(18.259 ＋ 18.219)/2 ＝ 18.239 L＝(4.375 ＋ 4.392)/2 ＝ 4.384 ΣL＝ 22.62 V＝(18.239 ＋ 4.384)× 4.86 ＝ 109.95 掘削⑦（排泥管分岐～門扉(敷地境界)） L＝(4.813 ＋ 4.566)/2 ＝ 4.690 L＝(2.967 ＋ 2.725)/2 ＝ 2.846 ΣL＝ 7.54 掘削断面⑦（GL=+403.00） A＝ 0.850 × 1.974 ＝ 1.68 A＝ 0.650 × 1.923 ＝ 1.25 A＝ 0.600 × 1.714 ＝ 1.03 ΣA＝ 3.96 V＝(4.690 ＋ 2.846)× 3.96 ＝ 29.84	

施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
	掘削⑧（排泥管分岐部） L＝(　1.761　＋　2.246　)/2　＝　2.004 掘削断面⑧（GL=+403.00） A＝　0.850　×　1.769　＝　1.50 V＝　2.004　×　1.500　＝　3.01 ΣV＝　457.70 場内配管 掘削量合計(Ⅱ～Ⅴ)　＝　1524.17	1520　㎥

施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
土工 発生土埋戻工	Ⅱ．配水池前面　　※特記なきは、法面勾配1：0.5 埋戻控除 φ300　V＝　0.319　^2×π/4×　97.532　＝　7.800 控除合計 ＝　7.800　㎥ 掘削面+404.567 A＝(　6.402　＋　7.153　)/2　×　0.751　×　2　＝　10.18 A＝　9.433　×　9.350　＝　88.20 A＝　0.531　×(　6.204　＋　6.337　)/2　＝　3.33 ΣA＝　101.71 (404.567～407.000) 掘削面+404.567 A＝　＝　101.71 ΣA＝　101.71 地盤面+407.000 A＝(　8.835　＋　9.586　)/2　×　0.751　×　2　＝　13.83 A＝　10.642　×　11.783　＝　125.39 A＝　0.531　×　8.637　＝　4.59 ΣA＝　143.81 V＝(　101.71　＋　143.81　)/2　×(　407.000　－　404.567　) ＝　298.68 ΣV＝　298.68 Ⅲ．弁室北側　　※特記なきは、法面勾配1：0.5 (403.487～407.000) 掘削面+403.487 A＝　2.954　×　5.271　＝　15.57 A＝　1.872　×　16.820　＝　31.49 A＝　1.596　×　3.440　＝　5.49 A＝　3.498　×(　5.962　＋　6.371　)/2　＝　21.57 ΣA＝　74.12 地盤面+407.000 A＝　6.457　×　2.435　＝　15.72 A＝　6.522　×　2.676　＝　17.45 A＝　13.400　×　5.385　＝　72.16 A＝　7.111　×(　5.385　＋　5.432　)/2　＝　38.46 A＝　7.011　×(　7.093　＋　8.282　)/2　＝　53.90 ΣA＝　197.69 V＝(　74.12　＋　197.69　)/2　×(　407.000　－　403.487　) ＝　477.43 ΣV＝　477.43	

施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
	Ⅳ．流入管布設時　　※直掘り	
	L＝ 5.764 ＋ 12.557 ＋ 20.100 ＋ 9.405 × 2	
	＝ 57.23	
	V＝ 57.230 × 0.850 × 0.985 ＝ 47.92	
	Ⅴ．場内道路下	
	掘削①②間（場内道路+407.00～+406.00）	
	L＝(15.283 ＋ 13.528)/2 ＝ 14.406	
	掘削断面①（GL=+407.00）	
	A＝ 0.850 × 3.513 ＝ 2.99	
	A＝ 0.900 × 3.643 ＝ 3.28	
	A＝ 0.850 × 3.966 ＝ 3.37	
	ΣA＝ 9.64	
	掘削断面②（GL=+406.00）	
	A＝ 0.850 × 2.513 ＝ 2.14	
	A＝ 0.900 × 2.643 ＝ 2.38	
	A＝ 0.850 × 2.966 ＝ 2.52	
	ΣA＝ 7.04	
	V＝ 14.406 ×(9.64 ＋ 7.04)/2 ＝ 120.15	
	掘削②③間（場内道路+406.00～+404.766）	
	L＝(19.185 ＋ 18.036)/2 ＝ 18.611	
	掘削断面③（GL=+404.766）	
	A＝ 0.850 × 1.279 ＝ 1.09	
	A＝ 0.900 × 1.409 ＝ 1.27	
	A＝ 0.850 × 1.732 ＝ 1.47	
	ΣA＝ 3.83	
	V＝ 18.611 ×(7.04 ＋ 3.83)/2 ＝ 101.15	
	掘削③④間（場内道路+404.766～+404.687）	
	L＝(1.192 ＋ 1.192)/2 ＝ 1.192	
	掘削断面④（GL=+404.687）	
	A＝ 0.850 × 1.200 ＝ 1.02	
	A＝ 0.650 × 1.204 ＝ 0.78	
	A＝ 0.250 × 1.330 ＝ 0.33	
	A＝ 0.850 × 1.653 ＝ 1.41	
	ΣA＝ 3.54	
	V＝ 1.192 ×(3.83 ＋ 3.54)/2 ＝ 4.39	

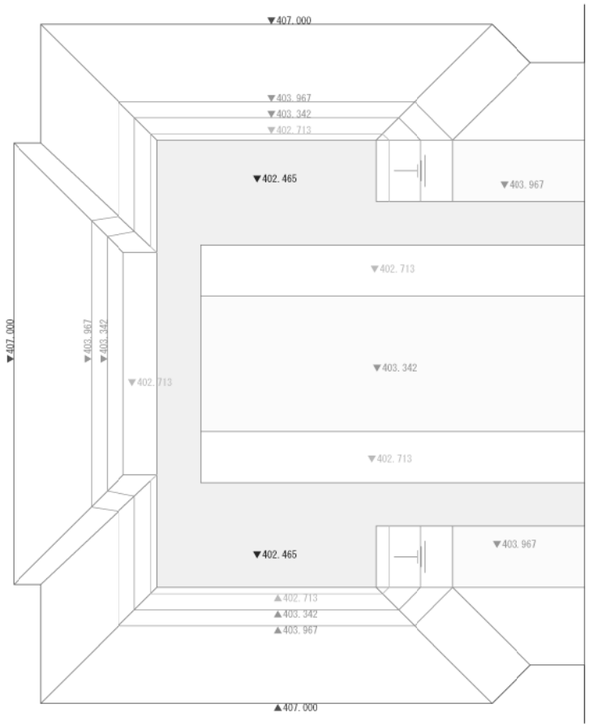
施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
	掘削④⑤間（場内道路+404.687～+404.557）	
	L＝(1.962 ＋ 1.962)/2 ＝ 1.962	
	掘削断面⑤（GL=+404.557）	
	A＝ 0.850 × 1.200 ＝ 1.02	
	A＝ 0.650 × 1.204 ＝ 0.78	
	A＝ 0.250 × 1.200 ＝ 0.30	
	A＝ 0.850 × 1.523 ＝ 1.29	
	ΣA＝ 3.39	
	V＝ 1.962 ×(3.54 ＋ 3.39)/2 ＝ 6.80	
	掘削⑤⑥間（場内道路+404.557～+404.234）	
	L＝(4.861 ＋ 4.861)/2 ＝ 4.861	
	掘削断面⑥（GL=+404.234）	
	A＝ 0.850 × 1.200 ＝ 1.02	
	A＝ 0.650 × 1.204 ＝ 0.78	
	A＝ 0.250 × 1.200 ＝ 0.30	
	A＝ 0.850 × 1.200 ＝ 1.02	
	ΣA＝ 3.12	
	V＝ 4.861 ×(3.39 ＋ 3.12)/2 ＝ 15.82	
	掘削⑥（場内道路+404.234～排泥管分岐）	
	L＝(18.259 ＋ 18.219)/2 ＝ 18.239	
	L＝(4.375 ＋ 4.392)/2 ＝ 4.384	
	ΣL＝ 22.62	
	V＝(18.239 ＋ 4.384)× 3.12 ＝ 70.58	
	掘削⑦（排泥管分岐～門扉(敷地境界)）	
	L＝(4.813 ＋ 4.566)/2 ＝ 4.690	
	L＝(2.967 ＋ 2.725)/2 ＝ 2.846	
	ΣL＝ 7.54	
	掘削断面⑦（GL=+403.00）	
	A＝ 0.850 × 1.200 ＝ 1.02	
	A＝ 0.650 × 1.204 ＝ 0.78	
	A＝ 0.600 × 1.200 ＝ 0.72	
	ΣA＝ 2.52	
	V＝(4.690 ＋ 2.846)× 2.52 ＝ 18.99	
	掘削⑧（排泥管分岐部）	
	L＝(1.761 ＋ 2.246)/2 ＝ 2.004	
	掘削断面⑧（GL=+403.00）	
	A＝ 0.850 × 1.200 ＝ 1.02	
	V＝ 2.004 × 1.020 ＝ 2.04	
	ΣV＝ 339.92	
	場内配管 発生土埋戻量合計(Ⅱ～Ⅴ) ＝ 1156.15	1150 ㎥

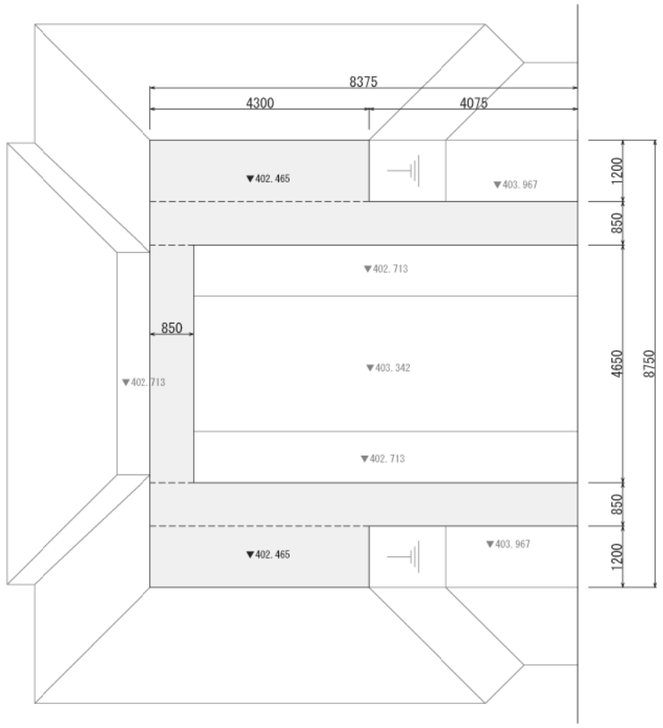
施設名　：場内配管土工

項　目	数　　式	数　量
砂埋戻工	Ⅰ．弁室築造時（弁室築造工にて計上済）	
	Ⅱ．配水池前面 埋戻控除 φ350　V＝　0.374　^2×π/4×　21.279　＝　2.340 φ150　V＝　0.169　^2×π/4×　41.354　＝　0.930 φ100　V＝　0.114　^2×π/4×　18.350　＝　0.190 控除合計 ＝　3.460　㎥ 埋戻工　V＝　449.32　－　298.680　－　3.460　＝　147.18	
	Ⅲ．弁室北側 埋戻控除 φ350　V＝　0.374　^2×π/4×　10.348　＝　1.140 φ150　V＝　0.169　^2×π/4×　23.295　＝　0.520 φ100　V＝　0.114　^2×π/4×　14.745　＝　0.150 控除合計 ＝　1.810　㎥ 埋戻工　V＝　531.58　－　477.430　－　1.810　＝　52.34	
	Ⅳ．流入管布設時 埋戻控除 φ300　V＝　0.319　^2×π/4×　57.230　＝　4.570 控除合計 ＝　4.570　㎥ 埋戻工　V＝　85.57　－　47.920　－　4.570　＝　33.08	
	Ⅴ．場内道路下 埋戻控除 φ350　V＝　0.374　^2×π/4×　70.190　＝　7.710 φ300　V＝　0.319　^2×π/4×　42.060　＝　3.360 φ150　V＝　0.169　^2×π/4×　66.450　＝　1.490 φ100　V＝　0.114　^2×π/4×　71.820　＝　0.730 L＝　14.406　＋　18.611　＋　1.192　＋　1.962 ＋　4.861　＋　22.623　＋　7.536　＋　2.004　＝　73.20 V＝　0.400　×　73.20　＝　29.280 控除合計 ＝　42.570　㎥ 埋戻工　V＝　457.70　－　339.920　－　42.570　＝　75.21	
	場内配管 砂埋戻量合計（Ⅱ～Ⅴ）　＝　307.81	310　㎥
掘削・積込	V＝　1156.15　＝　1156.15	1156　㎥
発生土運搬(指定残土置場～現場)	V＝　1156.15　＝　1156.15	1156　㎥
発生土運搬	V＝　1524.17　＝　1524.17	1524　㎥
発生土処分	W＝　1524.170　×　1.80　＝　2743.506	2743　t

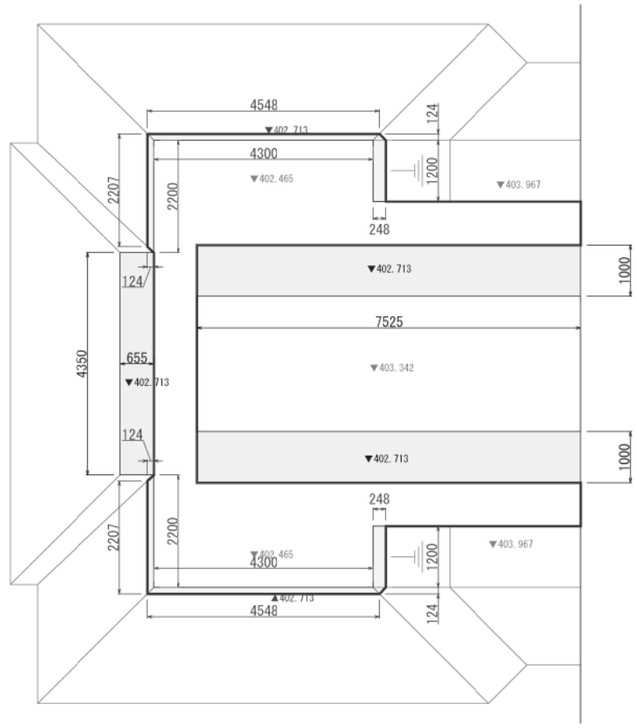
Ⅱ．配水池前の配管布設時



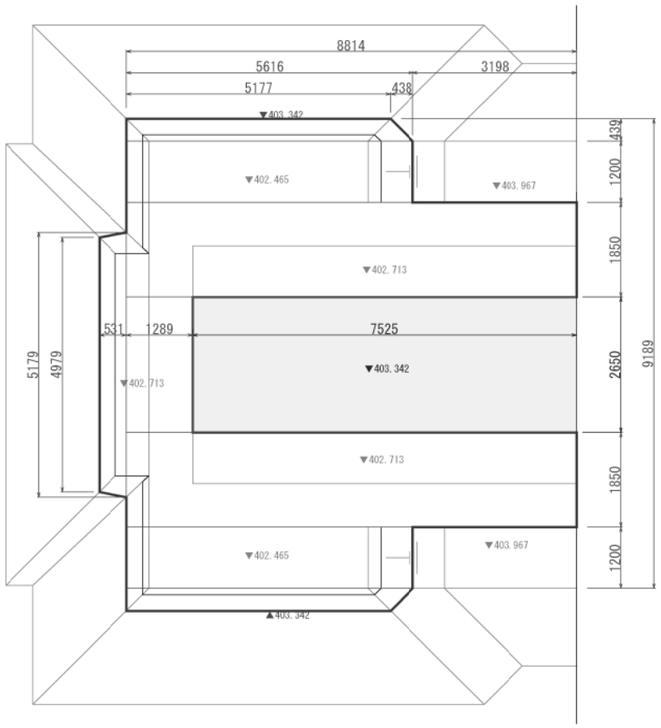
①402.465(～402.713)



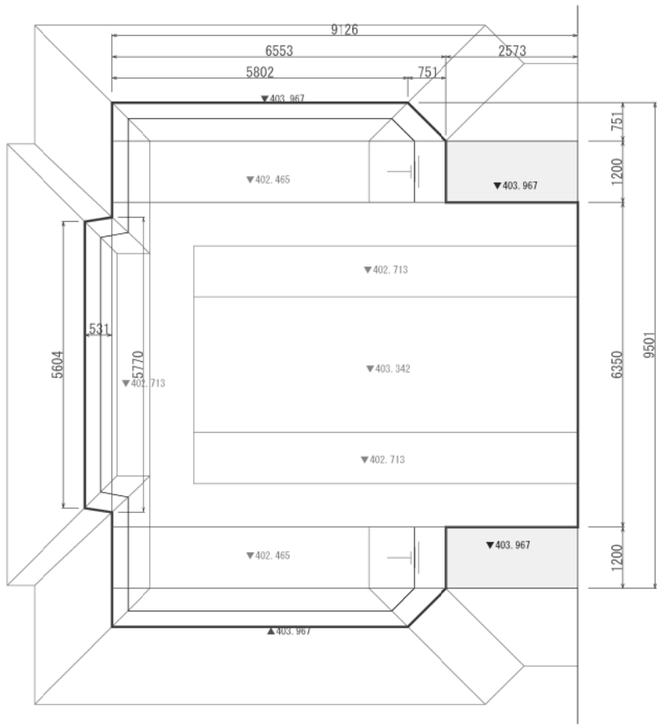
①(402.465～)402.713
②402.713(～403.342)



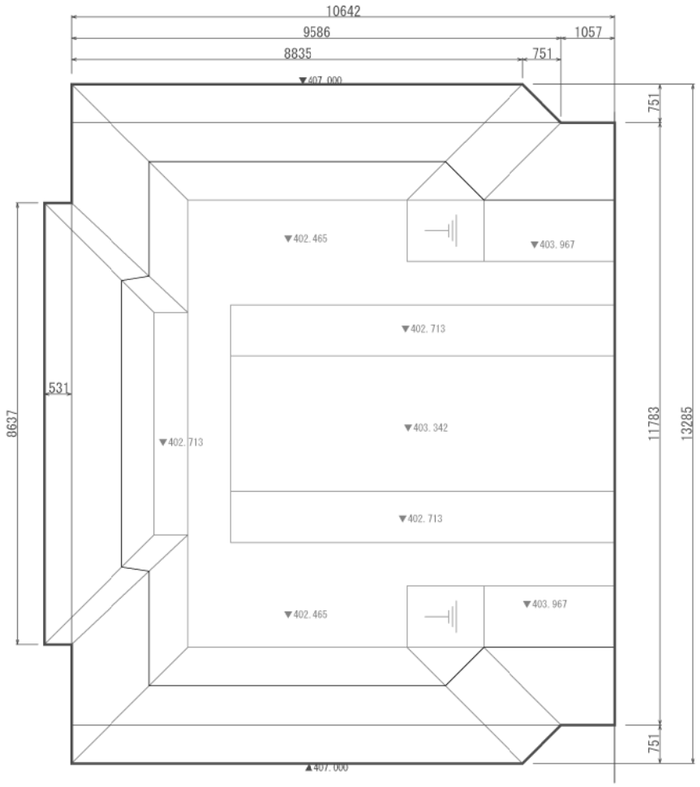
②(402.713～)403.342
③403.342(～403.967)



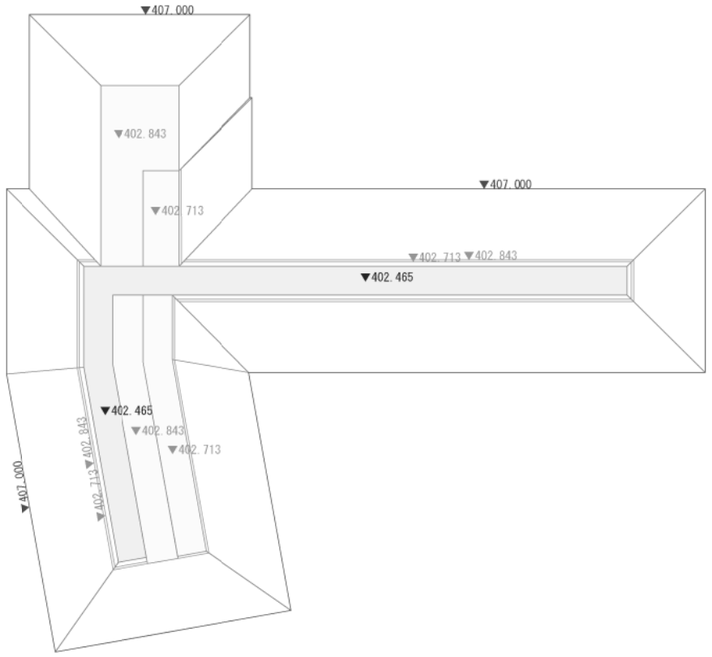
③(403.342～)403.967
④403.967(～407.000)



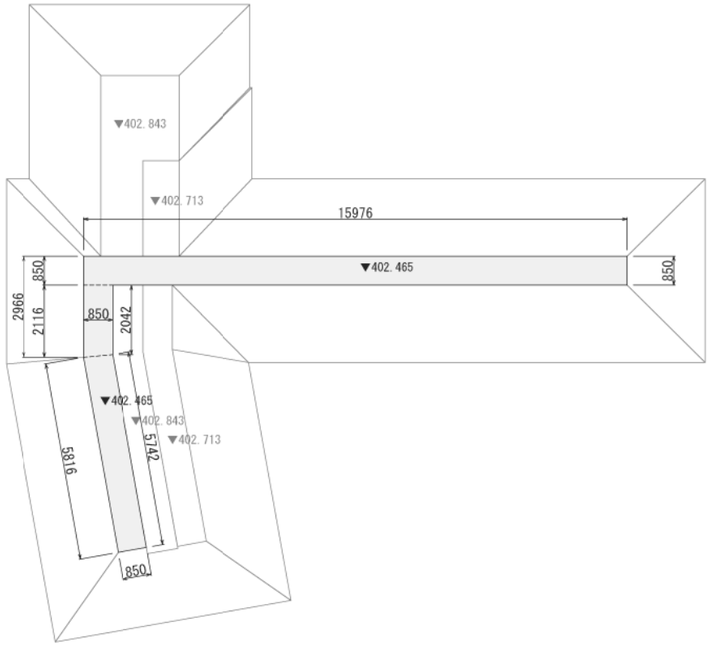
④(403.967～)407.000



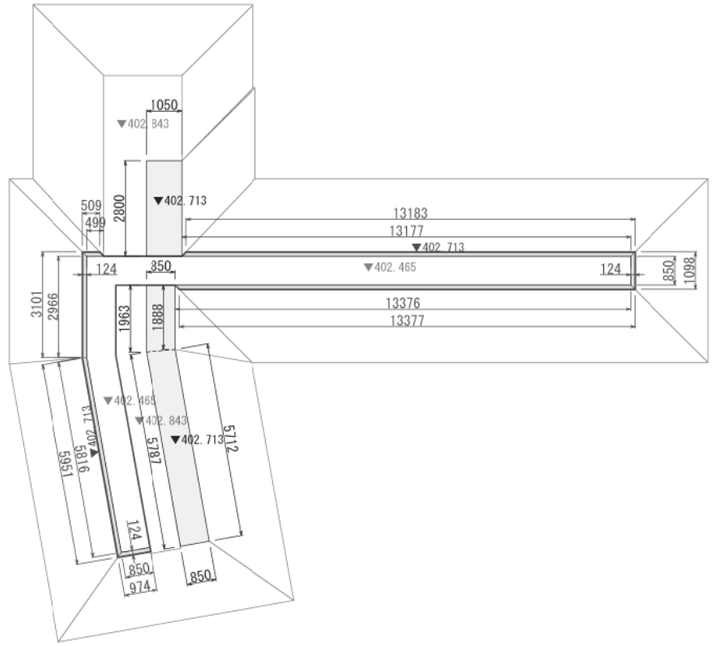
Ⅲ．弁室北側の配管布設時



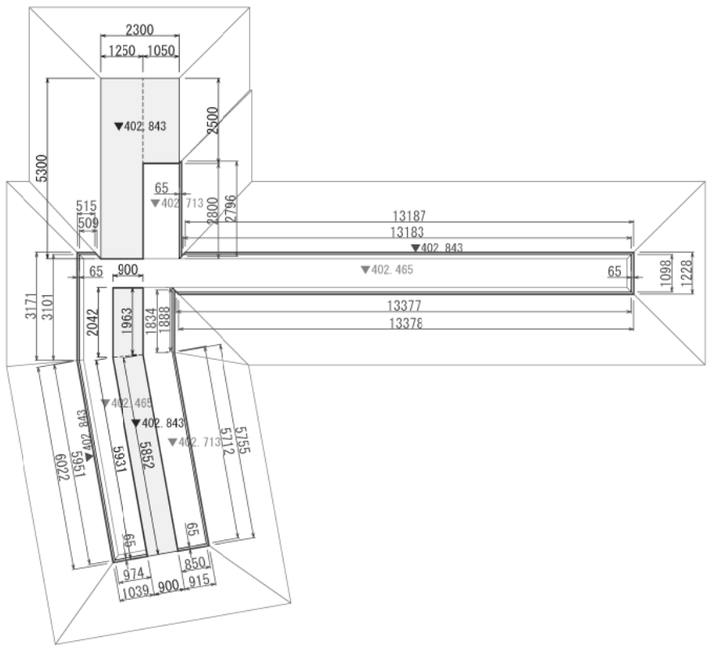
①402.465(～402.713)



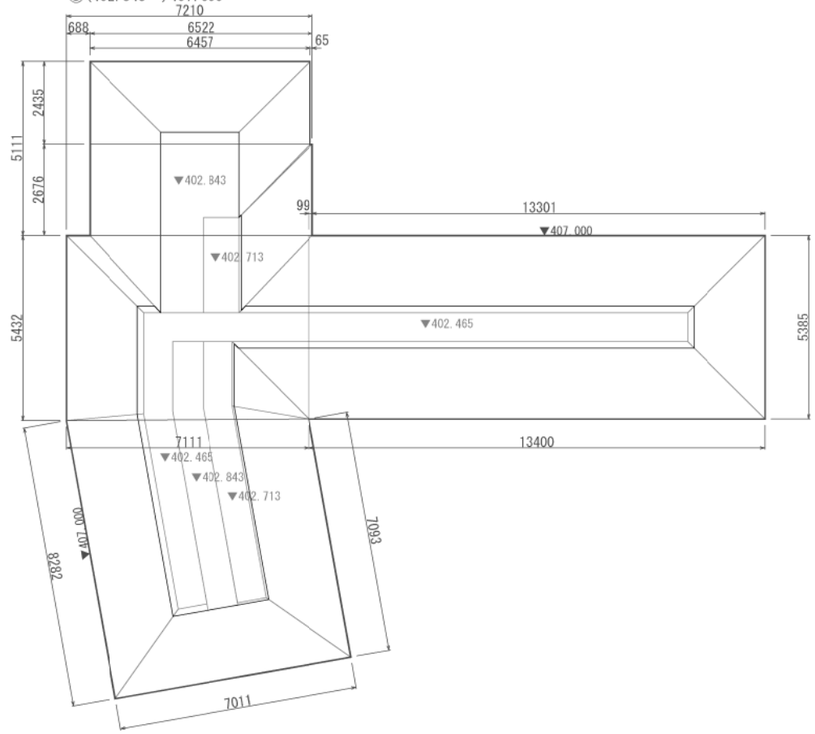
①(402.465～)402.713
②402.713(～402.843)



②(402.713～)402.843
③402.843(～407.000)



③(402.843～)407.000



仮設材料運搬重量集計表

名称	規模	単位	数量	数量算定	摘　　要
建込簡易土留	土留長　　4.5　m	t			

仮設材料供用日数及び転用回数集計表

名称	規模	供用日数			転用回数			摘　　要
		単位	数量	数量算定	単位	数量	数量算定	
昼間施工								
建込簡易土留	土留長　　2.0　m	日			回			施工延長　　89.3　m
	掘削幅：0.85m	日			回			施工延長　　59.2　m
	掘削幅：2.10m	日			回			施工延長　　7.5　m
	掘削幅：2.60m	日			回			施工延長　　22.6　m
	土留長　　2.5　m	日			回			施工延長　　8.1　m
	土留長　　3.5　m	日			回			施工延長　　18.6　m
	土留長　　4.5　m	日			回			施工延長　　14.4　m

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.0	m						
転用延長 L=		m	施工延長	m	59.20	管呼び径	mm	
転用回数	n		土留面積	m2				
			不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	0.85						
			土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	1.50	88.58	÷	59.20			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	1.41	83.28	÷	59.20			
1スパン当り供用日数	日						日当り施工量	
掘削工日数	日		1.50	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
菅布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日		1.41	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.0	m						
転用延長 L=		m	施工延長	m	7.50	管呼び径	mm	
転用回数	n		土留面積	m2				
			不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	2.10						
			土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	3.98	29.84	÷	7.50			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	2.93	22.00	÷	7.50			
1スパン当り供用日数	日						日当り施工量	
掘削工日数	日		3.98	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
管布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日		2.93	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.0	m						
転用延長 L=		m	施工延長	m	22.60	管呼び径	mm	
転用回数	n		土留面積	m2				
			不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	2.60						
			土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	4.87	109.95	÷	22.60			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	3.60	81.39	÷	22.60			
1スパン当り供用日数	日						日当り施工量	
掘削工日数	日		4.87	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
菅布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日		3.60	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.5	m						
転用延長 L=		m	施工延長	m	8.10	管呼び径	mm	
転用回数	n		土留面積	m2				
			不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	2.60						
			土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	3.00	24.31	÷	8.10			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	2.24	18.17	÷	8.10			
1スパン当り供用日数	日						日当り施工量	
掘削工日数	日		3.00	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
菅布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日		2.24	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	3.5	m						
転用延長 L=		m	施工延長	m	18.60	管呼び径	mm	
転用回数	n		土留面積	m2				
			不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	2.60						
			土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	7.04	130.93	÷	18.60			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	5.78	107.44	÷	18.60			
1スパン当り供用日数	日						日当り施工量	
掘削工日数	日		7.04	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
管布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日		5.78	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数及び運搬重量計算書

掘削深さ H=	4.5	m							
転用延長 L=		m		施工延長	m	14.40	管呼び径	mm	
転用回数	n			土留面積	m2				
				不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	2.60							
				土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	9.93		143.05	÷	14.40			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	8.67		124.86	÷	14.40			
1スパン当り供用日数	日							日当り施工量	
掘削工日数	日			9.93	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日				m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日				m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
管布設日数	日				m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日				m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日				m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日			8.67	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日				×1.7 ＝	日			

運搬重量算定

1セット(30m)当り重量	
セット数(/30m)	
運搬重量	

場外配管土工・仮設工　数量総括書

工　　種		単位	数　量	摘　　要
土工				
（昼間施工）				
掘削	機械掘削0.45BH	m3	270.4	
	人力掘削	m3	3.5	
埋戻し	山砂・0.45BH	m3	212.2	
	山砂・人力	m3	3.5	
	発生土・0.45BH	m3	36.0	
As塊運搬	10tDT　4.5km　DID無	m3	9.5	現場～処分場
土砂運搬	10tDT　10.7km　DID無	m3	582.8	現場～処分場
積込	As殻	m3	8.9	仮置場
積込	土砂	m3	323.2	仮置場
As塊運搬	10tDT　4.4km　DID無	m3	8.9	仮置場～処分場
土砂運搬	10tDT　10.6km　DID無	m3	323.2	仮置場～処分場
As廃材処分		t	22.3	
残土処分		t	1049.0	
路盤	RC-40　t=10cm	m2	95.7	
濁水処分		m3	0.37	
As切断濁水運搬	2tDT　L=46.8km	台		
（夜間施工）				
舗装版切断	t=5cm	m	287.8	
舗装版取壊し積込	0.45BH	m2	189.7	
掘削	機械掘削0.45BH	m3	342.2	
	人力掘削	m3	2.7	
埋戻し	山砂・0.45BH	m3	262.2	
	山砂・人力	m3	2.7	
As塊運搬	10tDT　0.1km　DID無	m3	8.9	現場～仮置場
土砂運搬	10tDT　0.1km　DID無	m3	323.2	現場～仮置場
下層路盤	RC-40　t=20cm	m2	189.7	
上層路盤	M-30　t=15cm	m2	189.7	

場外配管土工・仮設工　数量総括書

工　　種		単位	数　量	摘　　要
表層	再生As(13) t=5cm	m2	189.7	
仮設工				
（昼間施工）				
簡易土留建込	2.0型	m	20.2	
	2.5型	m	33.0	
簡易土留引抜	2.0型	m	20.2	
	2.5型	m	33.0	
簡易土留材賃料	2.0型	式	1.0	
	2.5型	式	1.0	
（夜間施工）				
簡易土留建込	2.0型	m	143.9	
簡易土留引抜	2.0型	m	143.9	
簡易土留賃料	2.0型	式	1.0	

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
条件		
掘削幅	①　φ350×1条布設　掘削幅W＝0.95m ②　φ300，φ100 各1条布設　掘削幅W＝1.35m ③　φ350，φ300，φ100 各1条布設　（Ib舗装あり）　掘削幅W＝2.90m 　φ350，φ300，φ100 各1条布設　（Ib舗装なし）　掘削幅W＝2.00m	
施工延長	①　As舗装箇所　L＝ 11.5m　未舗装箇所　L＝ 7.9m ②　As舗装箇所　L＝ 132.4m　未舗装箇所　L＝ 3.2m ③　ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ設置箇所　L＝ 33.0m　未設置箇所　L＝ 9.1m ※①～③の番号は図C-113(1)による	

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
土工集計 **(昼間)**		
機械掘削 0.45BH	14.815 + 7.979 + 213.207 + 34.423 = 270.424	270.42 m3
人力掘削 (会所)	0.665 + 0.170 + 1.305 + 1.332 = 3.472	3.47 m3
管路埋戻し 0.45BH　山砂	4.941 + 2.497 + 194.062 + 10.734 = 212.234	212.23 m3
管路人力埋戻し (会所)山砂	0.665 + 0.170 + 1.305 + 1.332 = 3.472	3.47 m3
管路埋戻し 0.45BH　発生土	9.01 + 5.184 + 21.840 = 36.030	36.03 m3
As塊運搬 10tDT		9.48 m3
土砂運搬 10tDT	6.474 + 2.965 + 214.512 + 13.915 + 344.934 = 582.800	582.80 m3
As廃材処分 車道2.35t/m3		22.29 m3
残土処分 土砂1.8t/m3	11.653 + 5.338 + 386.122 + 25.047 + 620.881 = 1049.040	1,049.04 t
路盤 (RC-40)t=10cm	95.700 = 95.700	95.70 m2
濁水処分		0.37 m3
As切断濁水運搬 2tDT　L=46.8km		台

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式					数　量
土工集計 **(夜間)**						
舗装版切断 t=5cm	23.000	+	264.800	=	287.800	287.80　m
舗装版取壊し積込	10.925	+	178.740	=	189.665	189.67　m2
機械掘削 0.45BH	21.020	+	321.209	=	342.229	342.23　m3
人力掘削 (会所)	0.665	+	2.040	=	2.705	2.71　m3
管路埋戻し 0.45BH　山砂	15.933	+	246.286	=	262.219	262.22　m3
管路人力埋戻し (会所)山砂	0.665	+	2.040	=	2.705	2.71　m3
As塊運搬 10tDT　現場～仮置き場:0.1km	8.937			=	8.937	8.94　m3
土砂運搬 10tDT　現場～仮置き場:0.1km	323.249			=	323.249	323.25　m3
積込(As殻) 仮置き場　昼間施工	8.937			=	8.937 昼間施工に計上	
積込(土砂) 仮置き場　昼間施工	323.249			=	323.249 昼間施工に計上	
As塊運搬 10tDT　仮置き場～処分場:4.4km	8.937			=	8.937 昼間施工に計上	
土砂運搬 10tDT　仮置き場～処分場:10.6km	323.249			=	323.249 昼間施工に計上	
As塊運搬 10tDT	0.546	+	8.937	=	9.483 昼間施工に計上	
土砂運搬 10tDT	21.685	+	323.249	=	344.934 昼間施工に計上	
As廃材処分 車道2.35t/m3	1.284	+	21.002	=	22.286 昼間施工に計上	

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
残土処分 土砂1.8t/m3	39.032　+　581.848　＝　620.881 昼間施工に計上	
下層路盤 (RC-40)t=20cm	10.925　+　178.740　＝　189.665	189.67　m2
上層路盤 (M-30)t=15cm	10.925　+　178.740　＝　189.665	189.67　m2
仮復旧表層 再密As(13)　t=5cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	10.925　+　178.740　＝　189.665	189.67　m2
濁水処分	0.030　+　0.344　＝　0.374 昼間施工に計上	m3
As切断濁水運搬 2tDT　L=46.8km	昼間施工に計上	台

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
土工 DIPφ350 ①As舗装箇所 (夜間)		
舗装版切断 t=5cm	11.500 × 2.000 = 23.000	23.00 m
舗装版取壊し積込	0.950 × 11.500 = 10.925	10.93 m2
機械掘削 0.45BH	0.950 × 1.924 × 11.500 = 21.020	21.02 m3
人力掘削 (会所)	0.950 × 0.200 × 0.500 × 7 箇所 = 0.665	0.67 m3
管路埋戻し 0.45BH 山砂	(0.950 × 1.574 − 0.187 ²× π)× 11.500 = 15.933	15.93 m3
管路人力埋戻し (会所)山砂	0.950 × 0.200 × 0.500 × 7 箇所 = 0.665	0.67 m3
As塊運搬 10tDT	10.925 × 0.050 = 0.546	0.55 m3
土砂運搬 10tDT	21.020 + 0.665 = 21.685	21.68 m3
As廃材処分 車道2.35t/m3	0.546 × 2.35 = 1.284	1.28 t
残土処分 土砂1.8t/m3	21.685 × 1.80 = 39.032	39.03 t
下層路盤 (RC-40)t=20cm	0.95 × 11.500 = 10.925	10.93 m2
上層路盤 (M-30)t=15cm	0.95 × 11.500 = 10.925	10.93 m2
仮復旧表層 再密As(13) t=5cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	0.95 × 11.500 = 10.925	10.93 m2
濁水処分	23.000 × 0.130 / 100 = 0.030	0.030 m3

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
土工 DIPφ350 ①未舗装箇所 (昼間)		
機械掘削 0.45BH	0.950 × 1.974 × 7.900 = 14.815	14.81 m3
人力掘削 (会所)	0.950 × 0.200 × 0.500 × 7 箇所 = 0.665	0.67 m3
管路埋戻し 0.45BH 山砂	(0.950 × 0.774 − 0.187 ²× π)× 7.900 = 4.941	4.94 m3
管路人力埋戻し (会所)山砂	0.950 × 0.200 × 0.500 × 7 箇所 = 0.665	0.67 m3
管路埋戻し 0.45BH 発生土	0.950 × 1.200 × 7.900 = 9.006	9.01 m3
土砂運搬 10tDT	14.815 + 0.665 − 9.006 = 6.474	6.47 m3
残土処分 土砂1.8t/m3	6.474 × 1.80 = 11.653	11.65 t

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
土工 DIPφ300・HPPEφ100 ②As舗装箇所 (夜間)		
舗装版切断 t=5cm	132.400 × 2.000 = 264.800	264.80 m
舗装版取壊し積込	1.350 × 132.400 = 178.740	178.74 m2
機械掘削 0.45BH	(0.850 × 1.873 + 0.500 × 1.668)× 132.400 = 321.209	321.21 m3
人力掘削 (会所)	0.850 × 0.200 × 0.500 × 24 箇所 = 2.040	2.04 m3
管路埋戻し 0.45BH 山砂	{(0.850 × 1.523 − 0.162 ²× π)+(0.500 × 1.318 − 0.059 ²× π)} × 132.40 = 246.286	246.29 m3
管路人力埋戻し (会所)山砂	0.850 × 0.200 × 0.500 × 24 箇所 = 2.040	2.04 m3
As塊運搬 10tDT 現場～仮置き場:0.1km	178.740 × 0.050 = 8.937	8.94 m3
土砂運搬 10tDT 現場～仮置き場:0.1km	321.209 + 2.040 = 323.249	323.25 m3
積込(As殻) 仮置き場　昼間施工	8.937 = 8.937	8.94 m3
積込(土砂) 仮置き場　昼間施工	323.249 = 323.249	323.25 m3
As塊運搬 10tDT 仮置き場～処分場:4.4km	8.937 = 8.937	8.94 m3
土砂運搬 10tDT 仮置き場～処分場:10.6km	323.249 = 323.249	323.25 m3
As廃材処分 車道2.35t/m3	8.937 × 2.35 = 21.002	21.00 t
残土処分 土砂1.8t/m3	323.249 × 1.80 = 581.848	581.85 t
下層路盤	1.350 × 132.40 = 178.740	178.74 m2

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
(RC-40)t=20cm		
上層路盤 (M-30)t=15cm	1.350　×　132.40　　＝　178.740	178.74　m2
仮復旧表層 再密As(13)　t=5cm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	1.350　×　132.40　　＝　178.740	178.74　m2
濁水処分	264.800　×　0.130　/　100　　＝　0.344	0.344　m3

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
土工 DIPφ300・HPPEφ100 ②未舗装箇所 (昼間)		
機械掘削 0.45BH	(0.850 × 1.923 + 0.500 × 1.718)× 3.200 = 7.979	7.98 m3
人力掘削 (会所)	0.850 × 0.200 × 0.500 × 2 箇所 = 0.170	0.17 m3
管路埋戻し 0.45BH 山砂	{(0.850 × 0.723 − 0.162 ²× π)+(0.500 × 0.518 − 0.059 ²× π)} × 3.200 = 2.497	2.50 m3
管路人力埋戻し (会所)山砂	0.850 × 0.200 × 0.500 × 2 箇所 = 0.170	0.17 m3
管路埋戻し 0.45BH 発生土	1.350 × 1.200 × 3.200 = 5.184	5.18 m3
土砂運搬 10tDT	7.979 + 0.170 − 5.184 = 2.965	2.97 m3
残土処分 土砂1.8t/m3	2.965 × 1.80 = 5.338	5.34 t

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
土工 DIPφ350・300 HPPEφ100 ③IR設置箇所 (昼間)		
機械掘削 0.45BH	(0.930 × 2.052 + 0.850 × 2.394 + 0.600 × 2.343 + 0.52 × 2.138) × 33.000 = 213.207	213.21 m3
人力掘削 (会所)	0.850 × 0.200 × 0.500 × 9 箇所 = 0.765 0.600 × 0.200 × 0.500 × 9 箇所 = 0.540 0.765 + 0.540 = 1.305	1.31 m3
管路埋戻し 0.45BH 山砂	{(0.930 × 1.922)+(0.850 × 2.264 - 0.187 ²× π)+(0.600 × 2.213 - 0.162 ²× π)+(0.520 × 2.008 - 0.059 ²× π)} × 33.000 = 194.062	194.06 m3
管路人力埋戻し (会所)山砂	0.850 × 0.200 × 0.500 × 9 箇所 = 0.765 0.600 × 0.200 × 0.500 × 9 箇所 = 0.540 0.765 + 0.540 = 1.305	1.31 m3
土砂運搬 10tDT	213.207 + 1.305 = 214.512	214.51 m3
残土処分 土砂1.8t/m3	214.512 × 1.80 = 386.122	386.12 t
路盤 (RC-40)t=10cm	2.900 × 33.000 = 95.700	95.70 m2

施設名　：場外配管仮設土工

項　目	数　　式	数　量
土工 DIPφ350・300 HPPEφ100 ③未舗装箇所 (昼間)		
機械掘削 0.45BH	(0.850 × 1.974 + 0.630 × 1.923 + 0.520 × 1.718)× 9.100 = 34.423	34.42 m3
人力掘削 (会所)	0.85 × 0.200 × 0.500 × 9 箇所 = 0.765 0.63 × 0.200 × 0.500 × 9 箇所 = 0.567 0.765 + 0.567 = 1.332	1.33 m3
管路埋戻し 0.45BH 山砂	{(0.850 × 0.774 − 0.187 ²× π)+(0.630 × 0.723 − 0.162 ²× π)+(0.520 × 0.518 − 0.059 ²× π)× 9.100 = 10.734	10.73 m3
管路人力埋戻し (会所)山砂	0.85 × 0.200 × 0.500 × 9 箇所 = 0.765 0.63 × 0.200 × 0.500 × 9 箇所 = 0.567 0.765 + 0.567 = 1.332	1.33 m3
管路埋戻し 0.45BH 発生土	2.00 × 1.200 × 9.100 = 21.840	21.84 m3
土砂運搬 10tDT	34.423 + 1.332 − 21.840 = 13.915	13.92 m3
残土処分 土砂1.8t/m3	13.915 × 1.80 = 25.047	25.05 t

仮設材料供用日数及び転用回数集計表

名称	規模	供用日数			転用回数			摘　　要
		単位	数量	数量算定	単位	数量	数量算定	
昼間施工								
建込簡易土留	土留長　　2.0　m	日			回			施工延長　　20.2　m
	土留長　　2.5　m	日			回			施工延長　　33.0　m
夜間施工								
建込簡易土留	土留長　　2.0　m	日			回			施工延長　　143.9　m

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.0	m						
転用延長 L=		m	施工延長	m	11.50	管呼び径	mm	φ 350
転用回数	n		土留面積	m2				
			不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	0.95						
			土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	1.83	21.02	÷	11.50			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	1.39	15.93	÷	11.50			
1スパン当り供用日数	日						日当り施工量	
掘削工日数	日		1.83	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
管布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日		1.39	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.0	m						
転用延長 L=		m	施工延長	m	7.90	管呼び径	mm	φ 350
転用回数	n		土留面積	m2				
			不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	0.95						
			土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	1.88	14.82	÷	7.90			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	1.77	13.95	÷	7.90			
1スパン当り供用日数	日						日当り施工量	
掘削工日数	日		1.88	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
管布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日		1.77	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.0	m							
転用延長 L=		m	施工延長	m	132.40	管呼び径	mm	φ300,φ100	
転用回数	n		土留面積	m2					
			不稼働係数		1.7				
掘削幅	m	1.35							
			土量 m3		施工延長 m				
単位延長当り平均掘削土量	m3	2.43	321.21	÷	132.40				
単位延長当り平均埋戻土量	m3	1.86	246.29	÷	132.40				
1スパン当り供用日数	日							日当り施工量	
掘削工日数	日		2.43	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日	
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より			
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より			
管布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より			
	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より			
埋戻工日数	日		1.86	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日	
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日				

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.0	m						
転用延長 L=		m	施工延長	m	3.20	管呼び径	mm	φ300,φ100
転用回数	n		土留面積	m2				
			不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	1.35						
			土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	2.49	7.98	÷	3.20			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	2.40	7.68	÷	3.20			
1スパン当り供用日数	日						日当り施工量	
掘削工日数	日		2.49	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
菅布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日		2.40	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.5	m							
転用延長 L=		m		施工延長	m	33.00	管呼び径	mm	φ350, φ300,φ100
転用回数	n			土留面積	m2				
				不稼働係数		1.7			
掘削幅	m	2.00							
				土量 m3		施工延長 m			
単位延長当り平均掘削土量	m3	6.46		213.21	÷	33.00			
単位延長当り平均埋戻土量	m3	5.88		194.06	÷	33.00			
1スパン当り供用日数	日							日当り施工量	
掘削工日数	日			6.46	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
建込み日数	日				m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
引抜き日数	日				m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より		
管布設日数	日				m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日				m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
	日				m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より		
埋戻工日数	日			5.88	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日
施工日数(実日数)	日				×1.7 ＝	日			

建込簡易土留め賃料日数計算書

掘削深さ H=	2.0	m							
転用延長 L=		m	施工延長	m	9.10	管呼び径	mm	φ350,φ300,φ100	
転用回数	n		土留面積	m2					
			不稼働係数		1.7				
掘削幅	m	2.00							
			土量 m3		施工延長 m				
単位延長当り平均掘削土量	m3	3.78	34.42	÷	9.10				
単位延長当り平均埋戻土量	m3	3.58	32.57	÷	9.10				
1スパン当り供用日数	日							日当り施工量	
掘削工日数	日		3.78	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日	
建込み日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より			
引抜き日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	特殊作業員より			
菅布設日数	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より			
	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より			
	日			m/{1人/(	人/10m)}	普通作業員より			
埋戻工日数	日		3.58	m3× m/	m3/日	0.35BH		m3/日	
施工日数(実日数)	日			×1.7 ＝	日				

流量計・緊急遮断弁室築造工　数量総括書

工種	名称		規格・寸法	単位	数量	摘要
コンクリート工	本体工		鉄筋コンクリート(24N/mm^2)	m^3	88.3	
	無筋コンクリート		無筋コンクリート(18N/mm2)	m^3	4.0	
	基礎コンクリート		(18N/mm2) t=100mm	m^3	5.7	
砕石基礎工	基礎材		RC-40,t=200mm	m^2	57.0	
				m^3	11.4	
型枠工	普通型枠	本体工	H＜10m	m^2	211.2	
		無筋Co		m^2	0.1	
	基礎コンクリート型枠			m^2	3.1	
鉄筋工	D13		SD345	t	2.057	
	D16			t	0.198	
	D25			t	5.370	
	D29			t	8.523	
	D32			t	5.100	
	合計			t	21.248	
足場工	枠組足場			掛m^2		
支保工	パイプサポート支保		H＜10m	空m^3		
付帯工	手掛・足掛金物		ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製　W=300	個	28.0	

数量計算書

項　目	数　　式			数　量
躯体工				
コンクリート	V= 6.000 × 9.000 × 3.500 −			
24N/mm2	5.000 × 8.000 × 2.500 ＋			
	1.500 × 1.500 × 0.300 −			
	0.500 × 0.500 × 0.300 −			
	1.200 ^{2} × π/4 × 0.500 × 2 −			
	0.360 ^{2} × π/4 × 0.500 × 2 −			
	0.160 ^{2} × π/4 × 0.500 × 2 −			
	0.110 ^{2} × π/4 × 0.500 × 2 −			
	0.090 ^{2} × π/4 × 0.500			
		＝	88.334	88.33 m3
型枠工	A1= 3.500 × (6.000 ＋ 9.000) × 2			
	＋ 2.500 × (5.000 ＋ 8.000) × 2			
	＋ 5.000 × 8.000			
	− 1.200 ^{2} × π/4 × 2	＝	207.738	
	A2= 1.200 × π × 0.500 × 2	＝	3.770	
	A3= − 0.360 ^{2} × π/4 × 2	＝	-0.204	
	A4= − 0.160 ^{2} × π/4 × 2	＝	-0.040	
	A5= − 0.110 ^{2} × π/4 × 2	＝	-0.019	
	A6= − 0.090 ^{2} × π/4	＝	-0.006	
		＝	211.239	211.24 m2
鉄筋工	配筋図より			
	SD345 D13	＝	2,057	
	SD345 D16	＝	198	
	SD345 D25	＝	5,370	
	SD345 D29	＝	8,523	
	SD345 D32	＝	5,100	
		＝	21,248	21.25 t
足場工	A=			
(手摺先行型枠組足場)		＝		掛m2
支保工	V=			
(パイプサポート支保)		＝		空m3
無筋コンクリート	V= (5.000 × 8.000 − 0.500 × 0.500)			
18N/mm2	× 0.100	＝	3.975	3.98 m3
同上型枠工	A= 0.500 × 0.100 × 2	＝	0.100	0.10 m2
基礎工				
基礎コンクリート	V= 6.200 × 9.200 × 0.100	＝	5.704	5.70 m3
18N/mm2				
型枠工	A= 0.100 × (6.200 ＋ 9.200) × 2	＝	3.080	3.08 m2
基礎砕石	A= 6.200 × 9.200	＝	57.040	57.04 m2
RC-40	V= 57.040 × 0.200	＝	11.408	11.41 m3
付帯工				
手掛・足掛金物		＝	28.000	28.00 個

土工・仮設工　数量総括書

工　　種		単位	数　量	摘　　要
土工				
床掘り		m3	668.2	
埋戻し		m3	457.0	
土砂運搬		m3	211.2	
残土処分		t	380.2	残土量×1.8
仮設工				
土留め壁（鋼矢板）	Ⅳ型　圧入・引抜	枚	112	L=12.50m
		t	106.540	リース
切梁・腹起し		t	31.257	
腹起こし	H－400×400×13×21孔	t	16.736	リース
切ばり	H－350×350×12×19孔	t	6.036	リース
火打ち	H－350×350×12×19孔	t	8.485	リース
副部材A		t	6.877	
副部材B		t	1.250	
仮設材　設置・撤去工		t	39.384	主部材×1.26
現場発生品運搬	2t級　L=7.9km	回		
スクラップ	H1	t	1.250	

施設名　：秩父ミューズパーク

項　目	数　　式	数　量
土工		
床掘り	V= 9.600 × 12.800 × 5.400 ＋(3.730 × 3.830 ＋ 4.030 × 4.130) ÷ 2 × 0.300 ＝ 668.191	668.19 m3
埋戻し	控除部 基礎砕石、均しコンクリート V= 6.200 × 9.200 × 0.300 ＝ 17.112	
	躯体 V= 6.000 × 9.000 × 3.500 ＋ 1.500 × 1.500 × 0.300 ＝ 189.675	
	組立てマンホール V= {1.400 ^{2} × π/4 × 0.900 ＋ π/4 × (1.400 ^{2} ＋ 1.140 ^{2})× 1/2 × 0.450 ＋ 1.140 ^{2} × π/4 × 0.250 }× 2 ＝ 4.433	
	埋戻量 V= 668.190 － 17.112 － 189.675 － 4.433 ＝ 456.970	456.97 m3
残土運搬処分	発生土 V= 668.190 － 456.97 ＝ 211.22	211.22 m3

施設名　：新秩父ミューズパーク

項　目	数　　式			数　量
仮設工	土留め壁（鋼矢板）　Ⅳ型　76.1kg/m　L=12.50m			
	N=　(9.600　＋　12.800)　÷　0.400　×　2	＝	112	112　枚
	W=　12.500　×　76.100　×　112　÷　1000	＝	106.540	106.540　t
	主部材			
	腹起こし　Ｈ－400×400×13×21孔　200.0kg/m			
	W=　(9.260　＋　11.660)　×　4　×　200.000 ÷　1000	＝	16.736	16.736
	切ばり　Ｈ－350×350×12×19孔　150.0kg/m			
	W=　(8.460　＋　11.660)　×　2　×　150.000 ÷　1000	＝	6.036	6.036
	火打ち　Ｈ－350×350×12×19孔　150.0kg/m			
	W=(√　2　×　1.500　×　16　×　150.000　＋ √　2　×　2.000　×　8　×　150.000)÷　1000	＝	8.485	8.485
	主部材合計Σ	＝	31.257	31.257　t
	副部材A			
	W=　31.257　×　0.22	＝	6.877	6.877　t
	副部材B			
	W=　31.257　×　0.04	＝	1.250	1.250　t
	仮設材　設置・撤去工			
	主部材×1.26			
	W=　31.257　×　1.260	＝	39.384	39.384　t
	現場発生品運搬　2t級　L=7.9km	＝		回
	スクラップ　H1	＝	1.250	1.250　t

弁室内配管布設工事

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	【直接材料費】				
	２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ350×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付	本	2.0	
	２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ100×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付	本	2.0	
	２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ80×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ350×559L	本	2.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ350×350L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ250×1290L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ200×2091L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ200×1888L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ200×456L	本	2.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ100×745L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ100×687L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ100×684L	本	2.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ100×272L	本	2.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×2015L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×1603L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×1600L	本	1.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×214L	本	2.0	
	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×200L	本	2.0	
	２Ｆ曲管	NCP 10K φ80×75L×45° ×75L	本	2.0	
	２Ｆ片落管	NCP 10K φ350×φ250×352L	本	2.0	
	２Ｆ片落管	NCP 10K φ200×φ100×168L	本	2.0	
	２Ｆ片落管	NCP 10K φ100×φ80×112L	本	2.0	
	３ＦＴ字管	NCP 10K φ350×570L×φ200×330H	本	2.0	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	３ＦＴ字管	NCP 10K φ350×570L×φ80×260H	本	1.0	
	３ＦＴ字管	NCP 10K φ200×370L×230H	本	2.0	
	３ＦＴ字管	NCP 10K φ200×370L×φ80×200H	本	2.0	
	３ＦＴ字管	NCP 10K φ100×320L×160H	本	2.0	
	３ＦＴ字管	NCP 10K φ100×320L×φ80×150H	本	1.0	
	３ＦＴ字管	NCP 10K φ80×365L×150H	本	2.0	
	閉止フランジ	NCP 10K φ80	本	1.0	
	伸縮可撓継手	NCP 10K φ350×250L ﾀｲﾛｯﾄ付	本	1.0	
	伸縮可撓継手	NCP 10K φ250×250L ﾀｲﾛｯﾄ付	本	1.0	
	伸縮可撓継手	NCP 10K φ200×200L ﾀｲﾛｯﾄ付	本	1.0	
	伸縮可撓継手	NCP 10K φ100×200L ﾀｲﾛｯﾄ付	本	2.0	
	伸縮可撓継手	NCP 10K φ80×200L ﾀｲﾛｯﾄ付	本	1.0	
	ベンドキャップ	φ150 防虫網付 ｽﾃﾝﾚｽ製	個	2.0	
	ステンレス鋼鋼管	SUS sch40 φ50	m	4.0	
	ステンレス鋼鋼管	SUS sch40 φ25	m	1.0	
	ステンレス鋼鋼管	SUS sch40 φ15	m	19.0	
	硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP φ50	m	10.0	
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP φ150	m	40.0	
	HI-LAソケット	φ50	個	1.0	
	仕切弁	蝶形 内外面粉体塗装 10K φ350 ｾﾝﾀｰｷｬｯﾌﾟ	台	2.0	
	仕切弁	内外面粉体塗装 10K 外ネジ φ200	台	3.0	
	仕切弁	内外面粉体塗装 10K 外ネジ φ100	台	4.0	
	仕切弁	内外面粉体塗装 10K 外ネジ φ75	台	3.0	
	仕切弁	SUS F 10K φ50	個	1.0	
	仕切弁	SUS N φ25	個	1.0	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	ボール弁	SUS N φ15	個	2.0	
	逆止弁	SUS F 10K φ50	個	1.0	
	不凍急排型空気弁	SUS304製 上水 φ25	台	2.0	
	補修弁	内面粉体塗装 ﾎﾞｰﾙ式 10K φ75×100H	個	2.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ350 10K	組	12.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ250 10K	組	4.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ200 10K	組	17.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ100 10K	組	21.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ80 10K	組	24.0	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ50 10K	組	3.0	
	埋設標識シート	2倍ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ W＝150	m	32.4	
	鋼材	ｽﾃﾝﾚｽ鋼 L-75×75×6ｔ	kg	28.4	
	鋼材	ｽﾃﾝﾚｽ鋼 L-65×65×6ｔ	kg	164.6	
	鋼材	ｽﾃﾝﾚｽ鋼 L-50×50×6ｔ	kg	18.4	
	鋼材	ｽﾃﾝﾚｽ鋼 PL-6ｔ	kg	37.0	
	鋼材	ｽﾃﾝﾚｽ鋼 PL-3ｔ	kg	14.7	
	【一般労務費】				
	普通作業員	据付	人		
	配管工	据付	人		
	特殊作業員		人		
	ダクト工		人		
	設備機械工	据付	人		

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	【複合工費】				
	鋼材加工組立工		kg	263.1	
	機械掘削工	BH0.20m3	m3	12.8	
	山砂埋戻工	BH0.2m3 ﾀﾝﾊﾟ締固め共	m3	4.1	
	発生土埋戻工	BH0.2m3 ﾀﾝﾊﾟ締固め共	m3	8.1	
	目荒し工		m2	2.5	
	基礎砕石工	厚さ7.5cm超12.5cm以下 再生ｸﾗｼｬﾗﾝ 40～0	m2	0.7	
	型枠工	小型構造物	m2	7.0	
	コンクリート打設工	小型構造物 打設地上高さ2m以下 18-8-25 一般養生	m3	1.0	
	金ごて仕上げ工		m2	9.5	
	残土運搬工	土砂 L=10.0km以下 BH0.2m3 DT 4ｔ車	m3	4.7	
	廃材持込料	発生土	t	8.4	

直接労務費集計表

機械設備

項　目	機械設備据付工	普通作業員	電工	配管工	特殊作業員	ダクト工	設備機械工			
配管工集計表-1										
配管工集計表-2										
配管工集計表-3										
配管工集計表-4										
その他材料集計表										
計										
設計書計上数量										

設計書へ

配管工集計表－1

機械設備

材料	口径	合計数量	補完率	補完値	設計数量	設計数量合計	総質量（t）	設計数量		歩掛人	配管工	普通作業員	備考
NCP	φ350(屋内)												
	φ350(屋外)	6.592			6.592								
	φ350(埋設)	0.500			0.500	7.0							
	φ250(屋内)												
	φ250(屋外)	1.540			1.540								
	φ250(埋設)					1.5							
	φ200(屋内)												
	φ200(屋外)	8.727			8.727								
	φ200(埋設)					8.7							
	φ100(屋内)												
	φ100(屋外)	7.348			7.348								
	φ100(埋設)	0.500			0.500	7.8							
	φ80(屋内)												
	φ80(屋外)	10.106			10.106								
	φ80(埋設)	0.250			0.250	10.3							
										合計			

労務集計表へ

配管工集計表－2

機械設備

材料	口径	合計数量	補完率	補完値	設計数量	設計数量合計	総質量（t）	設計数量		歩掛人	配管工	普通作業員	備考
SUS	φ50(屋内)												
	φ50(屋外)	2.840	0.10	0.28	3.120								
	φ50(埋設)	0.600		0.06	0.660	3.7		4.0m					
	φ40(屋内)												
	φ40(屋外)												
	φ40(埋設)												
	φ32(屋内)												
	φ32(屋外)												
	φ32(埋設)												
	φ25(屋内)												
	φ25(屋外)	0.550	0.10	0.05	0.600								
	φ25(埋設)					0.6		1.0m					
	φ20(屋内)												
	φ20(屋外)												
	φ20(埋設)												
	φ15(屋内)												
	φ15(屋外)	16.88	0.10	1.68	18.560								
	φ15(埋設)					18.5		19.0m					
										合計			

労務集計表へ

配管工集計表－3

機械設備

材料	口径	合計数量	補完率	補完値	設計数量	設計数量合計	総質量（t）	設計数量		歩掛人	配管工	普通作業員	備考
HIVP	φ50(屋内)		0.10			10.0		10.0m					
	φ50(屋外)												
	φ50(排水)	9.100		0.91	10.010								
	φ40(屋内)												
	φ40(屋外)												
	φ40(排水)												
	φ30(屋内)												
	φ30(屋外)												
	φ25(屋内)												
	φ25(屋外)												
	φ20(屋内)												
	φ20(屋外)												
	φ13(屋内)												
	φ13(屋外)												
										合計			

労務集計表へ

配管工集計表－4

機械設備

材料	口径	合計数量	補完率	補完値	設計数量	設計数量合計	総質量（t）	設計数量		歩掛人	配管工	普通作業員	備考
VP	φ150(屋内)		0.10			39.9		40.0m					
	φ150(屋外)												
	φ150(通気)	36.360		3.63	39.990								
	φ125(屋内)												
	φ125(屋外)												
	φ125(通気)												
	φ100(屋内)												
	φ100(屋外)												
	φ100(通気)												
	φ75(屋内)												
	φ75(屋外)												
	φ75(通気)												
	φ65(屋内)												
	φ65(屋外)												
	φ65(通気)												
埋設標識シート		32.40	0.05	1.62	34.020	34.0		34.0m					
										合計			

労務集計表へ

その他材料集計表

機械設備

		ベンドキャップ									
		φ150									
流量計室		2									
合計値	（A）	2									
補完率	（B）	1									
（C）＝（A）×（B）		2									
設計数量	（D）＝Σ（C）	2									
ダクト工単位工量（E）＝（E０）											
ダクト工量	（C）×（E）										

ダクト工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

配管材料集計表－1

機械設備

材　料	仕　様	ｽｹﾙﾄﾝ No.1	ｽｹﾙﾄﾝ No.2	ｽｹﾙﾄﾝ No.3	ｽｹﾙﾄﾝ No.4								計
２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ350×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付	2											2 本
２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ100×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付		2										2 本
２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ80×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付				1								1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ350×559L	2											2 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ350×350L	1											1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ250×1290L	1											1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ200×2091L			1									1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ200×1888L			1									1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ200×456L			2									2 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ100×745L		1										1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ100×687L		1										1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ100×684L		2										2 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ100×272L			2									2 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ80×2015L		1										1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ80×1603L				1								1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ80×1600L				1								1 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ80×214L				2								2 本
２Ｆ直管	NCP 10K φ80×200L	1	1										2 本
２Ｆ曲管	NCP 10K φ80×75L×45°　×75L				2								2 本
２Ｆ片落管	NCP 10K φ350×φ250×352L	2											2 本

労務集計表へ

配管材料集計表－2

機械設備

材　料	仕　様	ｽｹﾙﾄﾝ No.1	ｽｹﾙﾄﾝ No.2	ｽｹﾙﾄﾝ No.3	ｽｹﾙﾄﾝ No.4								計
２Ｆ片落管	NCP 10K φ200×φ100×168L			2									2 本
２Ｆ片落管	NCP 10K φ100×φ80×112L		2										2 本
３ＦＴ字管	NCP 10K φ350×570L×φ200×330H	2											2 本
３ＦＴ字管	NCP 10K φ350×570L×φ80×260H	1											1 本
３ＦＴ字管	NCP 10K φ200×370L×230H			2									2 本
３ＦＴ字管	NCP 10K φ200×370L×φ80×200H			2									2 台
３ＦＴ字管	NCP 10K φ100×320L×160H		2										2 本
３ＦＴ字管	NCP 10K φ100×320L×φ80×150H		1										1 本
３ＦＴ字管	NCP 10K φ80×365L×150H				2								2 組
閉止フランジ	NCP 10K φ80				1								1 本
伸縮可撓継手	NCP 10K φ350×250L ﾀｲﾛｯﾄ付	1											1 本
伸縮可撓継手	NCP 10K φ250×250L ﾀｲﾛｯﾄ付	1											1 本
伸縮可撓継手	NCP 10K φ100×200L ﾀｲﾛｯﾄ付		1	2									3 本
伸縮可撓継手	NCP 10K φ80×200L ﾀｲﾛｯﾄ付		1										1 本
仕切弁	蝶形 内外面粉体塗装 10K φ350 ｾﾝﾀｰｷｬｯﾌﾟ	2											2 台
仕切弁	内外面粉体塗装 10K 外ネジ φ200			3									3 台
仕切弁	内外面粉体塗装 10K 外ネジ φ100		2	2									4 台
仕切弁	内外面粉体塗装 10K 外ネジ φ75				3								3 台
不凍急排型空気弁	SUS304製 上水 φ25	1	1										2 台
補修弁	内面粉体塗装 ﾎﾞｰﾙ式 10K φ75×100H	1	1										2 個

労務集計表へ

配管材料集計表－3

機械設備

材　料	仕　様	ｽｹﾙﾄﾝ No.1	ｽｹﾙﾄﾝ No.2	ｽｹﾙﾄﾝ No.3	ｽｹﾙﾄﾝ No.4								計
フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ350 10K	12											12 組
フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ250 10K	4											4 組
フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ200 10K			17									17 組
フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ100 10K		13	8									21 組
フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ80 10K	3	7		14								24 組

労務集計表へ

配管材料集計表－4

機械設備

材　料	仕　様	ｽｹﾙﾄﾝ No.1	ｽｹﾙﾄﾝ No.2	ｽｹﾙﾄﾝ No.3	ｽｹﾙﾄﾝ No.4								計
配管架台	SUS PS-1	3											3 組
配管架台	SUS PS-2	1											1 組
配管架台	SUS PS-3		3	2									5 組
配管架台	SUS PS-4		1										1 組
配管架台	SUS PS-5		3										3 組
配管架台	SUS PS-6			2									2 組
配管架台	SUS PS-7			8									8 組
配管架台	SUS PS-8				2								2 組
配管架台	SUS PS-9				4								4 組

労務集計表へ

配管材料集計表－5

機械設備

材　料	仕　様	ｽｹﾙﾄﾝ No.5	ｽｹﾙﾄﾝ No.8	ｽｹﾙﾄﾝ No.9									計
SUS (屋内)	φ50												
	φ40												
	φ32												
	φ25												
	φ20												
	φ15												
SUS (屋外)	φ50	2.840											2.840m
	φ40												
	φ32												
	φ25	0.550											0.550m
	φ20												
	φ15		2.680	14.202									16.882m
SUS (埋設)	φ50	0.600											0.600m
	φ40												
	φ32												
	φ25												
	φ20												
	φ15												

労務集計表へ

配管材料集計表－6

機械設備

材　料	仕　様	ｽｹﾙﾄﾝ No.5											計
HIVP (屋内)	φ50												
	φ40												
	φ30												
	φ25												
	φ20												
	φ13												
HIVP (屋外)	φ50												
	φ40												
	φ30												
	φ25												
	φ20												
	φ13												
HIVP (排水)	φ50	9.100											9.100m
	φ40												

労務集計表へ

配管材料集計表－7

機械設備

材　料	仕　様	ｽｹﾙﾄﾝ No.6	ｽｹﾙﾄﾝ No.7										計
VP (屋内)	φ150												
	φ125												
	φ100												
	φ75												
	φ65												
VP (屋外)	φ150												
	φ125												
	φ100												
	φ75												
	φ65												
VP (通気)	φ150	23.180	13.180										36.360m
	φ125												
	φ100												
	φ75												
	φ65												

労務集計表へ

配管材料集計表－8

機械設備

材　料	仕　様	ｽｹﾙﾄﾝ No.5	ｽｹﾙﾄﾝ No.6	ｽｹﾙﾄﾝ No.7	ｽｹﾙﾄﾝ No.8	ｽｹﾙﾄﾝ No.9							計
HI-LAソケット	φ50	1											1 個
仕切弁	SUS F 10K φ50	1											1 個
仕切弁	SUS N φ25	1											1 個
ボール弁	SUS N φ15				1	1							2 個
逆止弁	SUS F 10K φ50	1											1 個
フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ50 10K	3											3 組
埋設標識シート	2倍ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ W150	8.0	17.2	7.2									32.4m

労務集計表へ

鋼製品集計表

機械設備

材　料	仕　様	鋼製品計算書 PS-1	鋼製品計算書 PS-2	鋼製品計算書 PS-3	鋼製品計算書 PS-4	鋼製品計算書 PS-5	鋼製品計算書 PS-6	鋼製品計算書 PS-7	鋼製品計算書 PS-8	鋼製品計算書 PS-9		計	
鋼材	SUS L-75×75×6 t	28.356										28.356	28.4 kg
	SUS L-65×65×6 t		8.537	40.535	8.250	25.215	16.166	65.904				164.607	164.6 kg
	SUS L-50×50×6 t								5.698	12.684		18.382	18.4 kg
	SUS PL-6 t	4.425	1.285	6.425	1.285	3.855	2.570	10.280	2.284	4.568		36.977	37.0 kg
	SUS PL-3 t	6.426		4.520			2.426		1.284			14.656	14.7 kg
計													263.1 kg

労務集計表へ

複合工集計表－1

機械設備

名　　称	切断工	コンクリート取壊工	掘削工	人力掘削工	埋戻工			路盤工		舗装工	運搬工			廃材持込料	
					砂	RC40	発生土	RC40	M30		残土	As	Co	発生土	
	m	m2	m3	m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	m3	m3	m3	t	
1.管路土工			2.840		0.824		2.000				0.840			1.512	
2.管路土工			9.930		3.318		6.100				3.830			6.894	
			12.770		4.142		8.100				4.670			8.406	
			12.8		4.1		8.1				4.7			8.4	

設計書へ

複合工集計表－2

機械設備

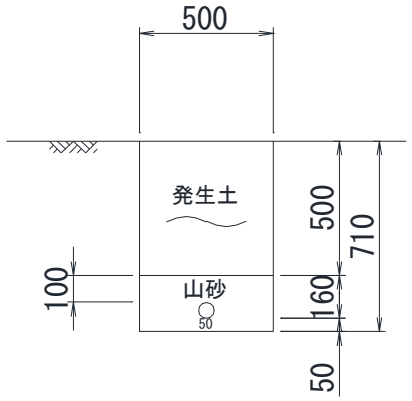
名　　称	鋼材加工	カッター入れ	目荒し工	基面整正工	基礎砕石工		溶融金網	型枠工			コンクリート工			金ごて工	防塵塗装工
					t 20	t 10	設置工	小型	鉄筋	無筋	小型	鉄筋	無筋	仕上げ工	
	kg	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m3	m3	m3	m2	m2
3. 送水管仕切弁基礎工			0. 490					0. 938			0. 164			1. 428	
4. 送水管仕切弁・緊急遮断弁基礎工			1. 040					1. 554			0. 331			2. 594	
5. 送水流量計基礎工			0. 420					0. 962			0. 155			1. 382	
6. 配水管仕切弁基礎工			0. 420					2. 163			0. 201			2. 583	
7. 配水流量計基礎工			0. 140					0. 741			0. 069			0. 881	
8. 給排気基礎工						0. 720		0. 640			0. 056			0. 600	
			2. 510			0. 720		6. 998			0. 976			9. 468	
			2. 5			0. 7		7. 0			1. 0			9. 5	

設計書へ

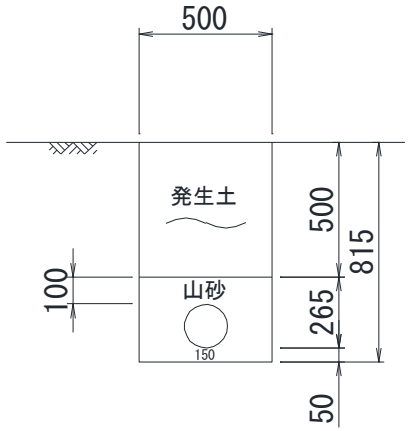
複合工計算書－1

機械設備

			項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量
1	管路土工	8.0m	切断工			m	下層路盤工			m2
			取壊工			m2	上層路盤工			m2
			掘削工	0.5×0.71×1.0	0.355	m3 2.840	舗装工			m2
			砂埋戻工	0.5×0.21×1.0＝0.105 控除＝0.002	0.103	m3 0.824	処分工	0.355－0.25	0.105	m3 0.840
			埋戻工	0.5×0.5×1.0	0.250	m3 2.000	塊処分			m3
							処分費			t
2	管路土工	24.4m	切断工			m	下層路盤工			m2
			取壊工			m2	上層路盤工			m2
			掘削工	0.5×0.815×1.0	0.407	m3 9.930	舗装工			m2
			砂埋戻工	0.5×0.315×1.0＝0.157 控除＝0.021	0.136	m3 3.318	処分工	0.407－0.25	0.157	m3 3.830
			埋戻工	0.5×0.5×1.0	0.250	m3 6.100	塊処分			m3
							処分費			t



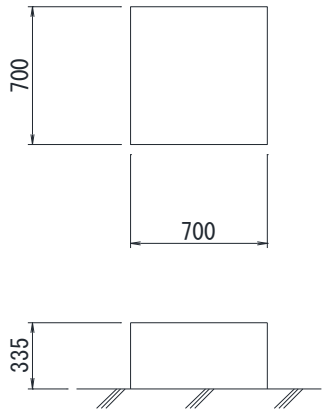
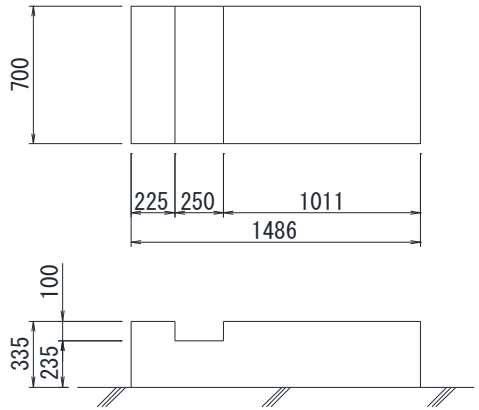
控除体積＝　0.002m3



控除体積＝　0.021m3

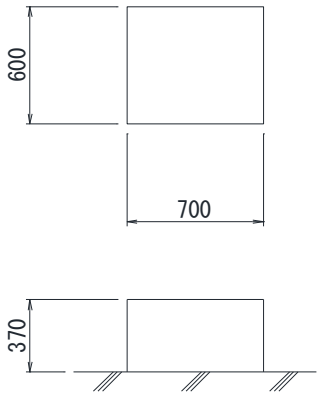
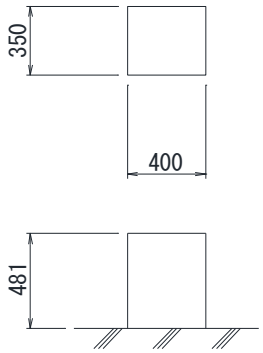
複合工計算書－2

機械設備

	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量
3　送水管仕切弁基礎工　1ヶ所	目荒し工	0.7×0.7	0.490	m2 0.490				
	型枠工（小型）	0.7×0.335×4	0.938	m2 0.938				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工（小型）	0.7×0.7×0.335	0.164	m3 0.164				
	金ごて仕上げ工	0.7×0.7＝0.49 0.7×0.335×4＝0.938	1.428	m2 1.428				
	防塵塗装工			m2				
4　送水管仕切弁･緊急遮断弁基礎工　1ヶ所	目荒し工	0.7×1.486	1.040	m2 1.040				
	型枠工（小型）	(0.7＋1.486)×0.335×2＝1.464 0.7×0.1×2＝0.14 控除 0.25×0.1×2＝0.05	1.554	m2 1.554				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工（小型）	0.7×1.486×0.335＝0.348 控除 0.7×0.25×0.1＝0.017	0.331	m3 0.331				
	金ごて仕上げ工	0.7×1.486＝1.04 (0.7＋1.486)×2×0.335＝1.464 0.7×0.1×2＝0.14 控除 0.25×0.1×2＝0.05	2.594	m2 2.594				

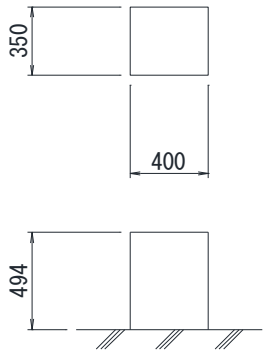
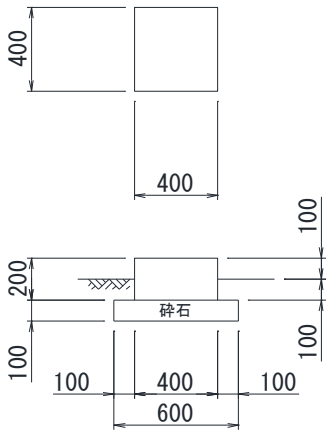
複合工計算書－3

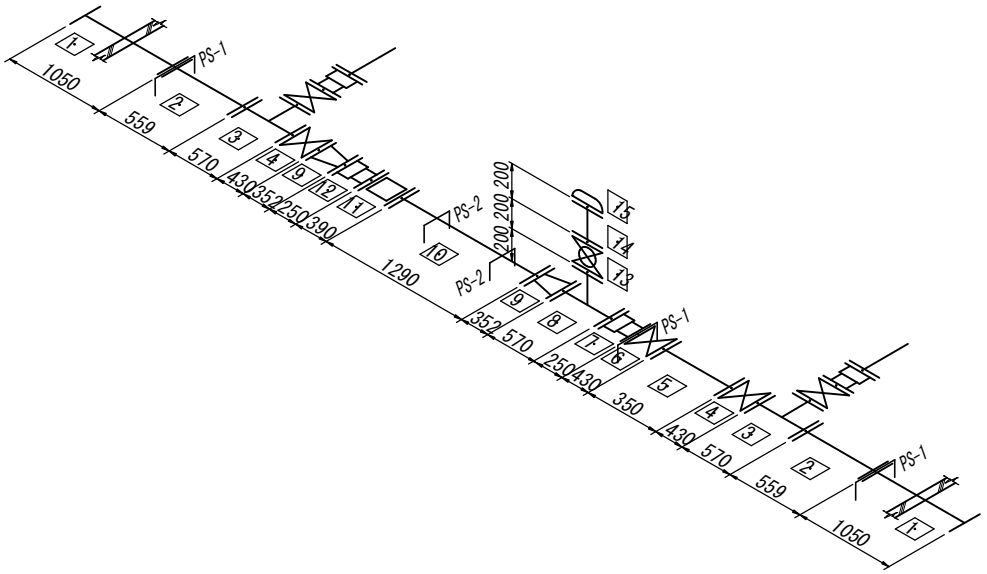
機械設備

	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量
5　送水流量計基礎工　1ヶ所	目荒し工	0.6×0.7	0.420	m2 0.420				
	型枠工（小型）	(0.6＋0.7)×2×0.37	0.962	m2 0.962				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工（小型）	0.6×0.7×0.37	0.155	m3 0.155				
	金ごて仕上げ工	0.6×0.7＝0.42 (0.6＋0.7)×2×0.37＝0.962	1.382	m2 1.382				
	防塵塗装工			m2				
6　配水管仕切弁基礎工　3ヶ所	目荒し工	0.35×0.4	0.140	m2 0.420				
	型枠工（小型）	(0.35＋0.4)×2×0.481	0.721	m2 2.163				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工（小型）	0.35×0.4×0.481	0.067	m3 0.201				
	金ごて仕上げ工	0.35×0.4＝0.14 (0.35＋0.4)×2×0.481＝0.721	0.861	m2 2.583				
	防塵塗装工			m2				

複合工計算書－4

機械設備

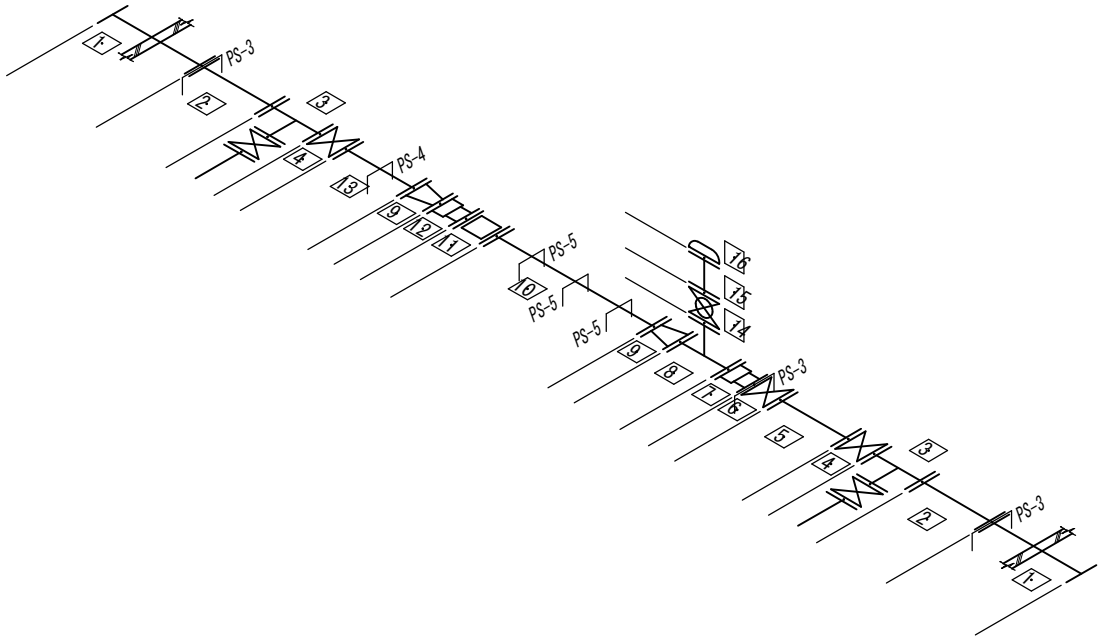
	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量
7　配水流量計基礎工　1ヶ所	目荒し工	0.35×0.4	0.140	m2 0.140				
	型枠工（小型）	(0.35＋0.4)×2×0.494	0.741	m2 0.741				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工（小型）	0.35×0.4×0.494	0.069	m3 0.069				
	金ごて仕上げ工	0.35×0.4＝0.14 (0.35＋0.4)×2×0.494＝0.741	0.881	m2 0.881				
	防塵塗装工			m2				
8　給排気管基礎工　2ヶ所	基礎砕石工	0.6×0.6	0.360	m2 0.720				
	型枠工（小型）	0.4×0.2×4	0.320	m2 0.640				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工（小型）	0.4×0.4×0.2＝0.032 控除 0.785×0.16^2×0.2＝0.004	0.028	m3 0.056				
	金ごて仕上げ工	0.4×0.4＝0.16 0.4×0.1×4＝0.16 控除 0.785×0.16^2＝0.02	0.300	m2 0.600				
	防塵塗装工			m2				



番号	部品名称	仕様	数量	備考
1	２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ350×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付	2本	
2	２Ｆ直管	NCP 10K φ350×559L	2本	
3	３ＦＴ字管	NCP 10K φ350×570L×φ200×330H	2本	
4	仕切弁	蝶形 内外面粉体塗装 10K φ350 ｾﾝﾀｰｷｬｯﾌﾟ	2台	
5	２Ｆ直管	NCP 10K φ350×350L	1本	
6	緊急遮断弁	内外面粉体塗装 10K φ350 100V 0.1kW	1台	
7	伸縮可撓継手	NCP 10K φ350×250L	1本	
8	３ＦＴ字管	NCP 10K φ350×570L×φ80×260H	1本	
9	２Ｆ片落管	NCP 10K φ350×φ250×352H	2本	
10	２Ｆ直管	NCP 10K φ250×1290L	1本	
11	送水流量計	電磁 水中形 φ250	1台	
12	伸縮可撓継手	NCP 10K φ250×250L	1本	
13	補修弁	内外面粉体塗装 10K φ75×100L ﾎﾞｰﾙ式	1個	
14	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×200L	1本	
15	不凍急排型空気弁	SUS304製 10K φ25	1台	
	配管架台	SUS PS-1	3組	
	配管架台	SUS PS-2	1組	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ350 10K	12組	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ250 10K	4組	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ80 10K	3組	

名称	送水管	番号	1

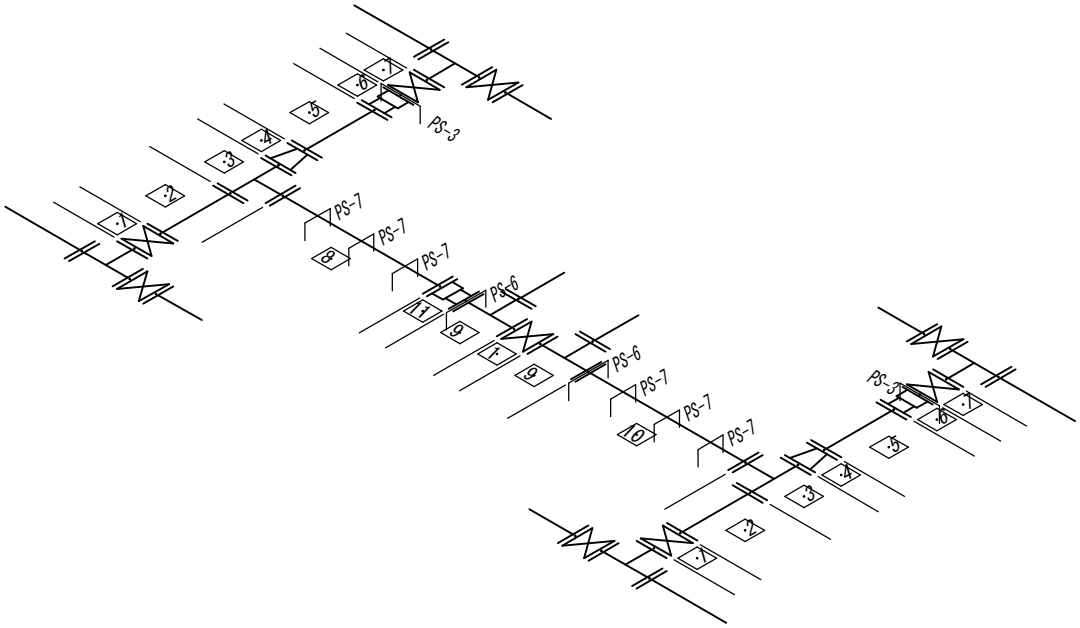
機械設備



番号	部品名称	仕様	数量	備考
1	２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ100×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付	2本	
2	２Ｆ直管	NCP 10K φ100×684L	2本	
3	３ＦＴ字管	NCP 10K φ100×320L×160H	2本	
4	仕切弁	内外面粉体塗装 10K ｵﾈｼﾞ φ100	2台	
5	２Ｆ直管	NCP 10K φ100×745L	1本	
6	緊急遮断弁	内外面粉体塗装 10K φ100 100V 0.04kW	1台	
7	伸縮可撓継手	NCP 10K φ100×200L	1本	
8	３ＦＴ字管	NCP 10K φ100×320L×φ80×150H	1本	
9	２Ｆ片落管	NCP 10K φ100×φ80×112H	2本	
10	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×2015L	1本	
11	配水流量計	電磁 水中形 φ80	1台	
12	伸縮可撓継手	NCP 10K φ80×200L	1本	
13	２Ｆ直管	NCP 10K φ100×687L	1本	
14	補修弁	内外面粉体塗装 10K φ75×100L ﾎﾞｰﾙ式	1個	
15	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×200L	1本	
16	不凍急排型空気弁	SUS304製 10K φ25	1台	
	配管架台	SUS PS-3	3組	
	配管架台	SUS PS-4	1組	
	配管架台	SUS PS-5	3組	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ100 10K	13組	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ80 10K	7組	

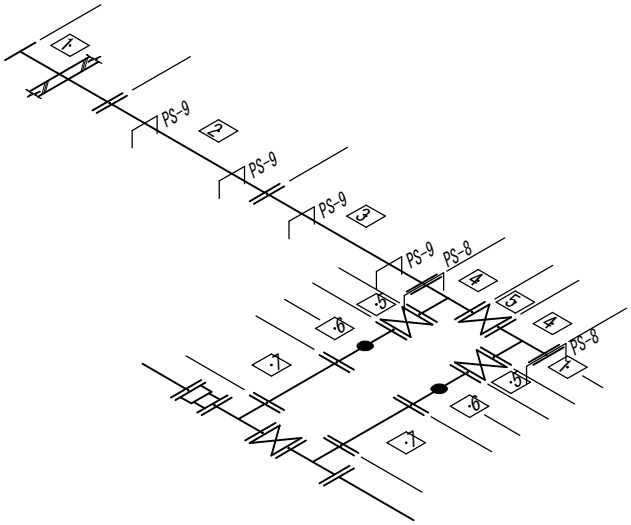
名称	配水管	番号	2

機械設備



番号	部品名称	仕様	数量	備考
1	仕切弁	内外面粉体塗装 10K ﾀﾅﾈｼﾞ φ200	3台	
2	２Ｆ直管	NCP 10K φ200×456L	2本	
3	３ＦＴ字管	NCP 10K φ200×370L×230H	2本	
4	２Ｆ片落管	NCP 10K φ200×φ100×168H	2本	
5	２Ｆ直管	NCP 10K φ100×272L	2本	
6	伸縮可撓継手	NCP 10K φ100×200L	2本	
7	仕切弁	内外面粉体塗装 10K ﾀﾅﾈｼﾞ φ100	2台	
8	２Ｆ直管	NCP 10K φ200×1888L	1本	
9	３ＦＴ字管	NCP 10K φ200×370L×φ80×200H	2本	
10	２Ｆ直管	NCP 10K φ200×2091L	1本	
11	２Ｆ直管	NCP 10K φ200×200L	1本	
	配管架台	SUS PS-3	2組	
	配管架台	SUS PS-6	2組	
	配管架台	SUS PS-7	8組	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾞｯｷﾝ SUS φ200 10K	17組	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾞｯｷﾝ SUS φ100 10K	8組	

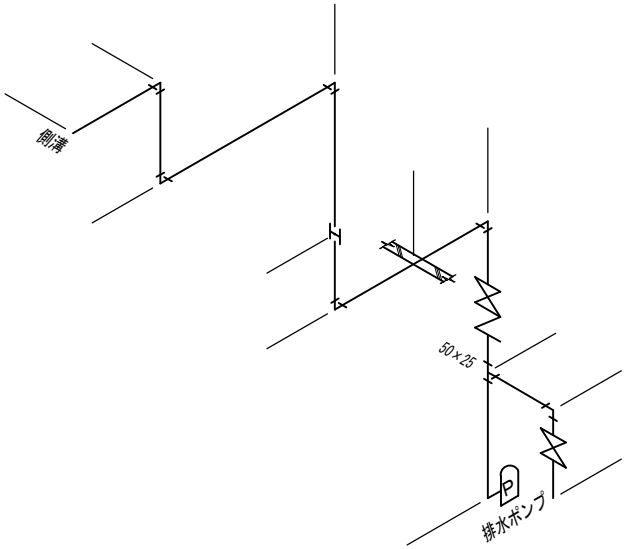
名称	バイパス管	番号	3
機械設備			



番号	部品名称	仕様	数量	備考
1	２Ｆ直管	NCP 上水×10K φ80×1050L ｽﾃｨﾌﾅ付	1本	
2	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×1603L	1本	
3	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×1600L	1本	
4	３ＦＴ字管	NCP 10K φ80×365L×150H	2本	
5	仕切弁	内外面粉体塗装 10K ｵﾄﾈｼﾞ φ75	3台	
6	２Ｆ曲管	NCP 10K φ80×75L×45° ×75L	2本	
7	２Ｆ直管	NCP 10K φ80×214L	2本	
8	閉止フランジ	NCP 10K φ80	1本	
	配管架台	SUS PS-8	2組	
	配管架台	SUS PS-9	4組	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ80 10K	14組	

名称	排泥管	番号	4

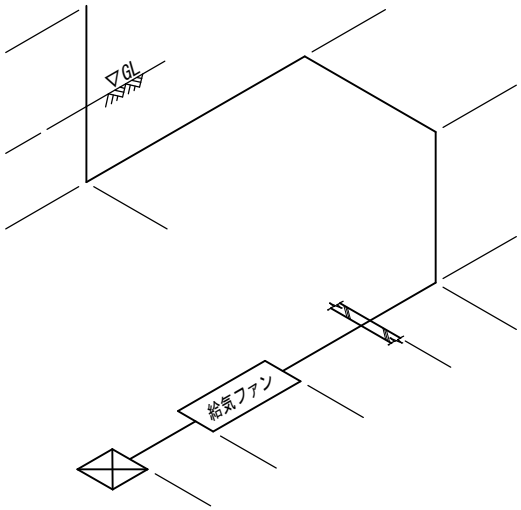
機械設備



SUS　φ50(屋外)　2.2+0.64＝2.84m
SUS　φ50(埋設)　0.3+0.3＝0.6m
SUS　φ25(屋外)　0.15+0.4＝0.55m
HIVP φ50(排水)　1.0+7.5+0.3+0.3＝9.1m
埋設シート　8.0m

番号	部品名称	仕様	数量	備考
	パイプ	SUS φ50	2.840m	屋外
	パイプ	SUS φ50	0.600m	埋設
	パイプ	SUS φ25	0.550m	屋外
	パイプ	HIVP φ50	9.100m	排水
	HI-LAソケット	φ50	1個	
	仕切弁	SUS F φ50	1個	
	仕切弁	SUS N φ25	1個	
	逆止弁	SUS F φ50	1個	
	フランジ接合材	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ ﾊﾟｯｷﾝ SUS φ50 10K	3組	

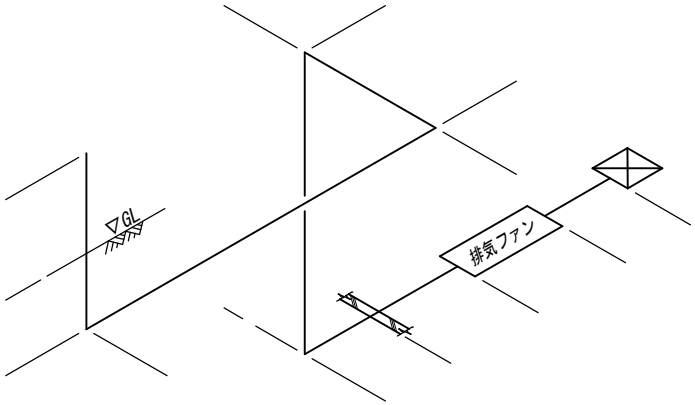
名称	排水ポンプ	番号	5
機械設備			



VP φ150(通気)　0.83+1.0+0.5+2.0+3.0+14.25+0.6+1.0＝23.18m

番号	部品名称	仕様	数量	備考
	パイプ	VP φ150	23.180m	通気

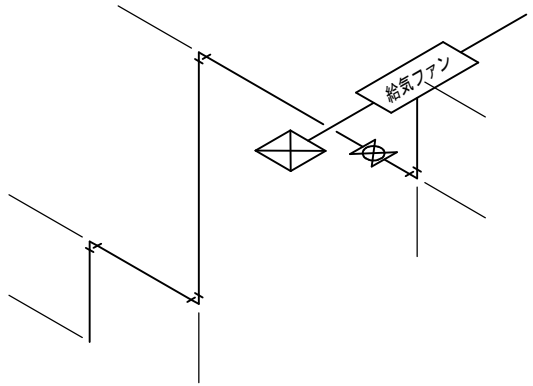
名称	給気管	番号	6
機械設備			



VP φ150(通気)　0.83+1.0+0.5+2.0+3.0+4.25+0.6+1.0＝13.18m

番号	部品名称	仕様	数量	備考
	パイプ	VP φ150	13.180m	通気

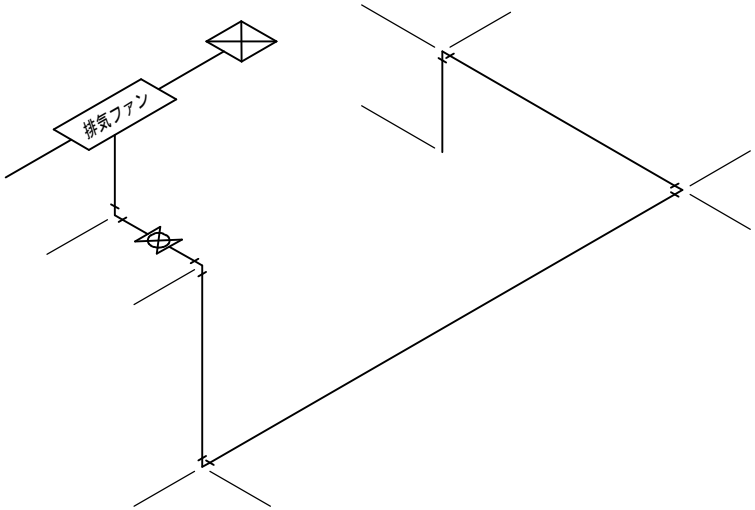
名称	排気管	番号	7
機械設備			



SUS φ15(屋外)　0.1+0.375+1.641+0.364+0.2＝2.68m

番号	部品名称	仕様	数量	備考
	パイプ	SUS φ15	2.680m	屋外
	ボール弁	SUS N	1個	

名称	給気ファンドレン管	番号	8
機械設備			

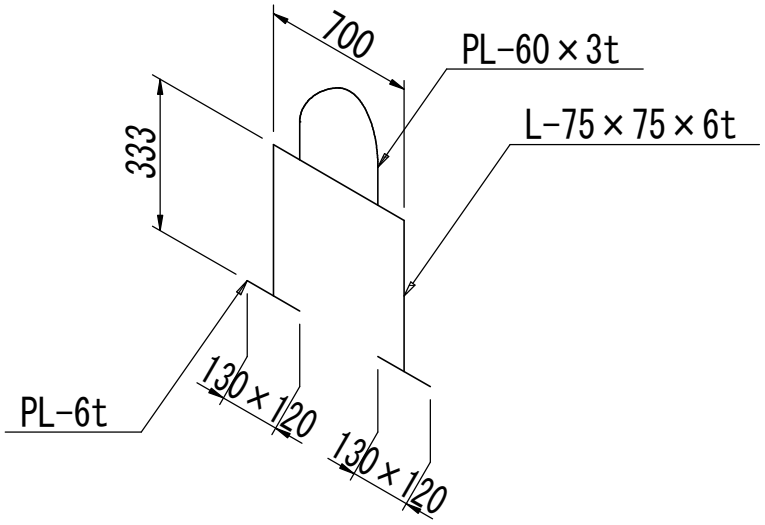


SUS φ15(屋外)　0.1+0.625+1.641+7.136+4.5+0.2＝14.202m

番号	部品名称	仕様	数量	備考
	パイプ	SUS φ15	14.202m	屋外
	ボール弁	SUS N φ15	1個	

名称	排気ファンドレン管	番号	9
機械設備			

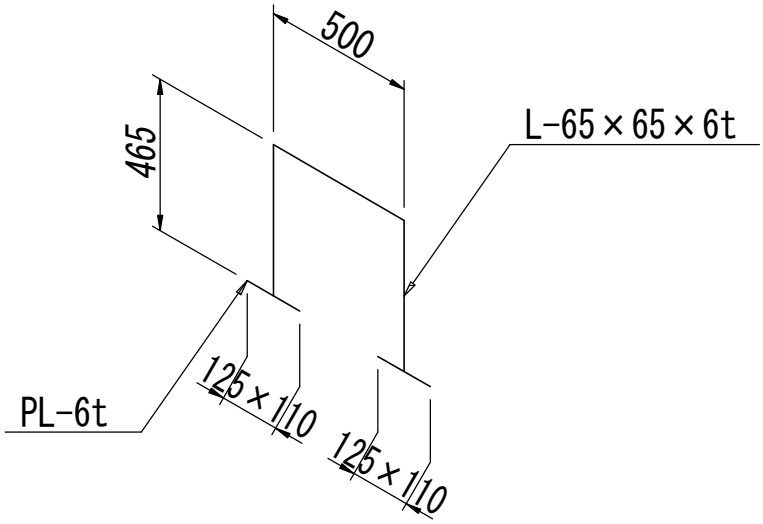
鋼製品計算書－１	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-1	数量	3



材料形状	計　　算　　式		計
L-75×75×6ｔ	0.7＋0.333×2＝1.366		
SUS304 6.92kg/m	1.366×6.92	＝ 9.452	28.356 kg
PL-6ｔ	0.13×0.12×2＝0.031		
SUS304 47.6kg/m2	0.031×47.6	＝ 1.475	4.425 kg
PL-3ｔ	0.06×1.512＝0.09		
SUS304 23.8kg/m2	0.09×23.8	＝ 2.142	6.426 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

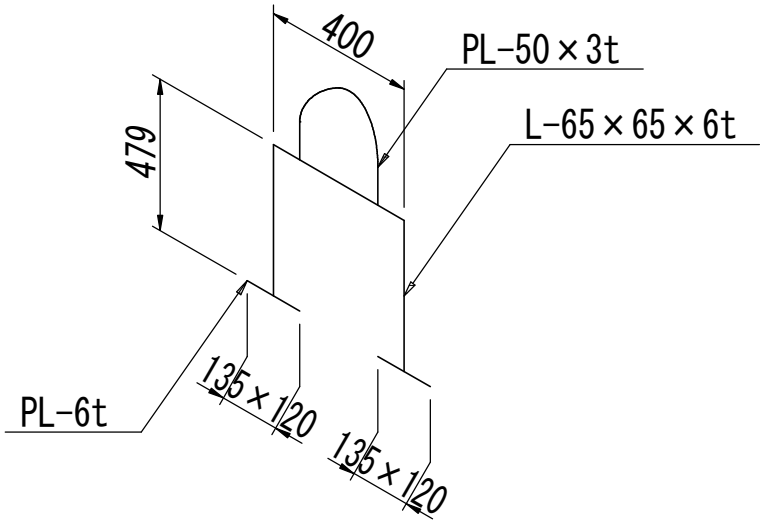
鋼製品計算書-２	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-2	数量	1



材料形状	計　　算　　式	計
L-65×65×6ｔ	0.5＋0.465×2＝1.43	
SUS304 5.97kg/m	1.43×5.97　＝　8.537	8.537 kg
PL-6ｔ	0.125×0.11×2＝0.027	
SUS304 47.6kg/m2	0.027×47.6　＝　1.285	1.285 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

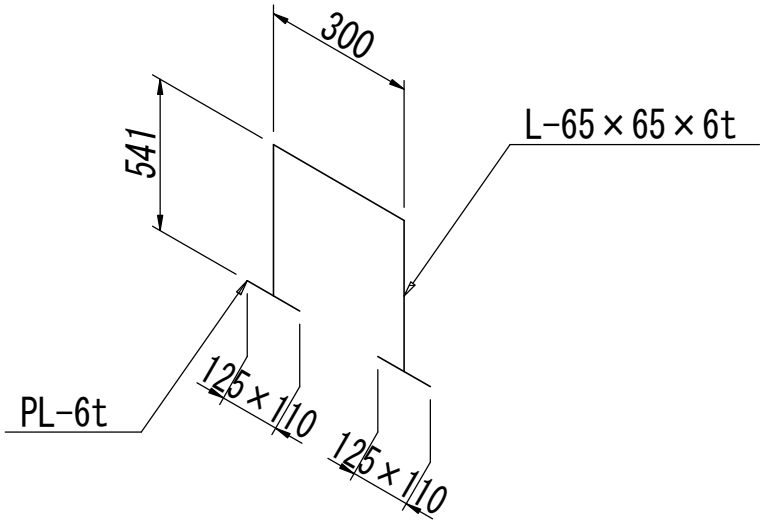
鋼製品計算書-３	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-3	数量	5



材料形状	計　　算　　式		計
L-65×65×6ｔ	0.4＋0.479×2＝1.358		
SUS304 5.97kg/m	1.358×5.97	＝ 8.107	40.535 kg
PL-6ｔ	0.125×0.11×2＝0.027		
SUS304 47.6kg/m2	0.027×47.6	＝ 1.285	6.425 kg
PL-3ｔ	0.05×0.761＝0.038		
SUS304 23.8kg/m2	0.038×23.8	＝ 0.904	4.520 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

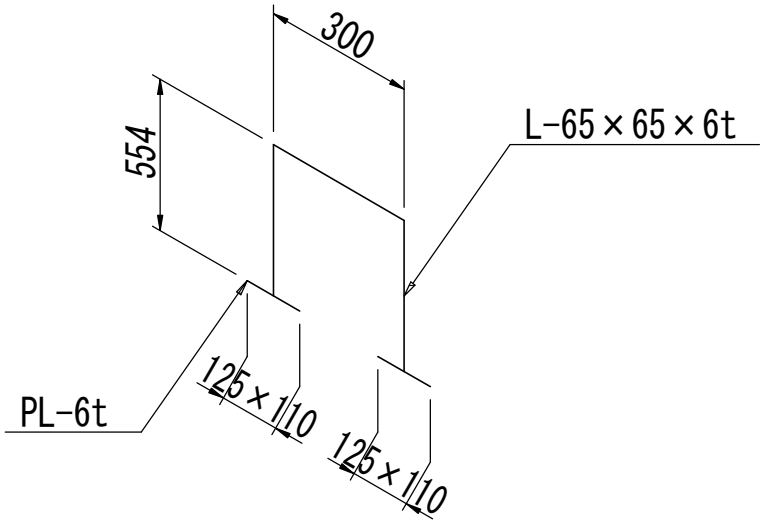
鋼製品計算書－４	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-4	数量	1



材料形状	計　　算　　式	計
L-65×65×6ｔ	0.3＋0.541×2＝1.382	
SUS304 5.97kg/m	1.382×5.97　＝　8.250	8.250 kg
PL-6ｔ	0.125×0.11×2＝0.027	
SUS304 47.6kg/m2	0.027×47.6　＝　1.285	1.285 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

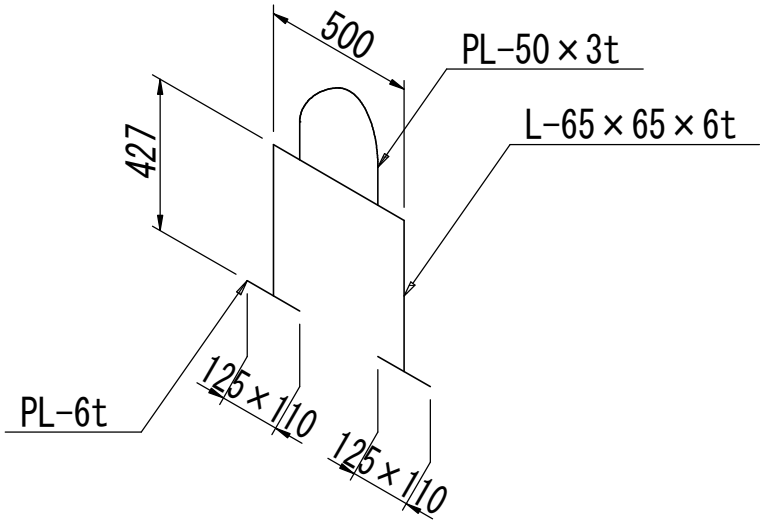
鋼製品計算書-５	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-5	数量	3



材料形状	計　　算　　式	計
L-65×65×6ｔ	0.3＋0.554×2＝1.408	
SUS304 5.97kg/m	1.408×5.97　＝　8.405	25.215 kg
PL-6ｔ	0.125×0.11×2＝0.027	
SUS304 47.6kg/m2	0.027×47.6　＝　1.285	3.855 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

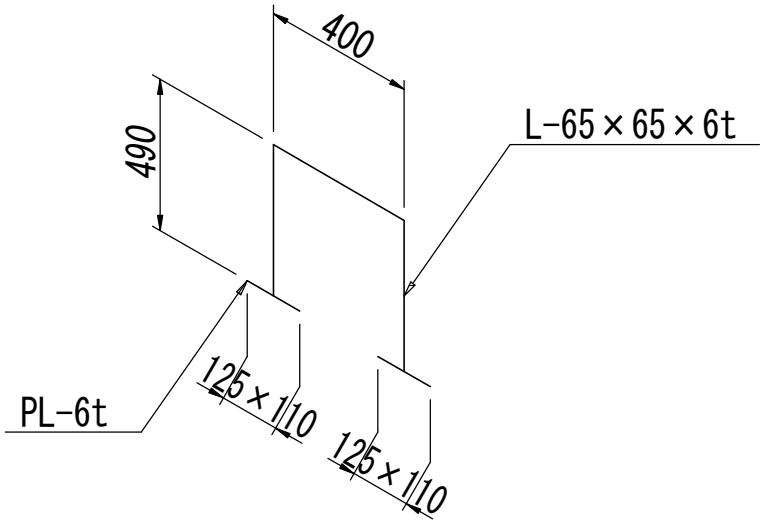
鋼製品計算書-６	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-6	数量	2



材料形状	計　　算　　式		計
L-65×65×6ｔ	0.5＋0.427×2＝1.354		
SUS304 5.97kg/m	1.354×5.97	＝ 8.083	16.166 kg
PL-6ｔ	0.125×0.11×2＝0.027		
SUS304 47.6kg/m2	0.027×47.6	＝ 1.285	2.570 kg
PL-3ｔ	0.05×1.029＝0.051		
SUS304 23.8kg/m2	0.051×23.8	＝ 1.213	2.426 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

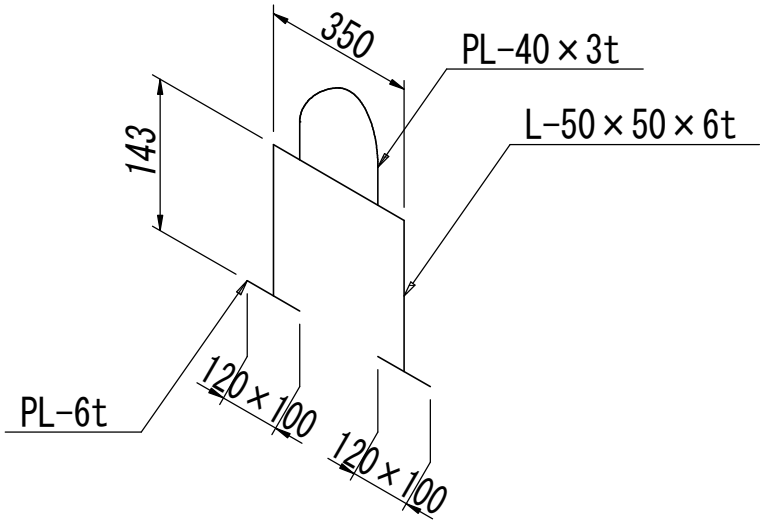
鋼製品計算書-7	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-7	数量	8



材料形状	計　　算　　式	計
L-65×65×6 t	0.4+0.49×2=1.38	
SUS304 5.97kg/m	1.38×5.97 = 8.238	65.904 kg
PL-6 t	0.125×0.11×2=0.027	
SUS304 47.6kg/m2	0.027×47.6 = 1.285	10.280 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

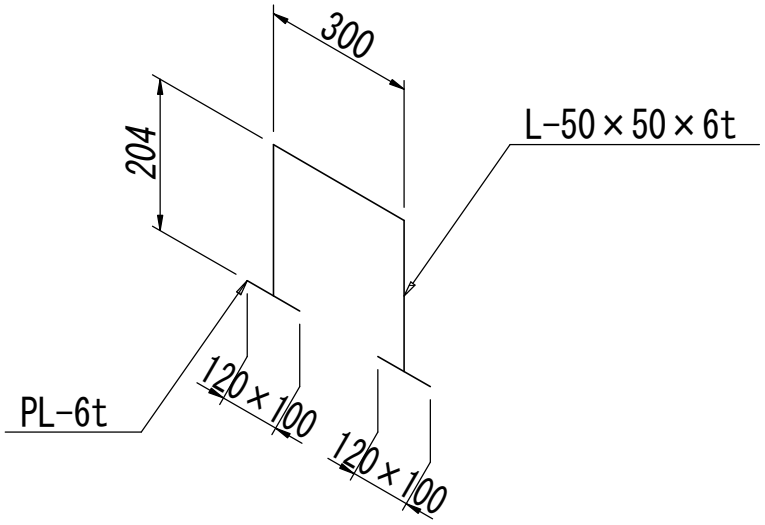
鋼製品計算書-８	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-8	数量	2



材料形状	計　　算　　式		計
L-50×50×6ｔ	0.35＋0.143×2＝0.636		
SUS304 4.48kg/m	0.636×4.48	＝ 2.849	5.698 kg
PL-6ｔ	0.12×0.1×2＝0.024		
SUS304 47.6kg/m2	0.024×47.6	＝ 1.142	2.284 kg
PL-3ｔ	0.04×0.692＝0.027		
SUS304 23.8kg/m2	0.027×23.8	＝ 0.642	1.284 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

鋼製品計算書－９	機械設備	鋼製品集計表へ	
名称	PS-9	数量	4



材料形状	計　　算　　式		計
L-50×50×6ｔ	0.3＋0.204×2＝0.708		
SUS304 4.48kg/m	0.708×4.48	＝ 3.171	12.684 kg
PL-6ｔ	0.12×0.1×2＝0.024		
SUS304 47.6kg/m2	0.024×47.6	＝ 1.142	4.568 kg

ｺﾞﾑ板2.0t(接着剤塗布)を施す事。

数量総括表　　＜擁壁工＞　　

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
ジオセル擁壁					
材料費					
(A工区)	ジオセル	3セルタイプ	m2	10.0	ロス率5%含む
			枚	25.0	1枚当り0.4m2
		4セルタイプ	m2	24.7	ロス率5%含む
			枚	62.0	1枚当り0.4m2
		5セルタイプ	m2	46.0	ロス率5%含む
			枚	115.0	1枚当り0.4m2
	セルロック	3セル+4セル+5セル	個	1998.0	
	鉄筋	D19	kg	348.75	
			本	155.0	
	土のう	ジオセルバック	袋	108.0	
	樹脂アンカーピン	□20×300	本	108.0	
	水平排水材	再生長繊維不織布 t=3mm	m2	78.8	ロス率5%含む
	再生砕石	合計	m3	112.7	

数量総括表　　＜擁壁工＞　　(2/4)

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
(B工区)	ジオセル	3セルタイプ	m2	157.8	ロス率5%含む
			枚	395.0	1枚当り0.4m2
		4セルタイプ	m2	26.5	ロス率5%含む
			枚	67.0	1枚当り0.4m2
		5セルタイプ	m2	27.5	ロス率5%含む
			枚	69.0	1枚当り0.4m2
	セルロック	3セル+4セル+5セル	個	4127.0	
	鉄筋	D19	kg	994.50	
			本	442.0	
	土のう	ジオセルバック	袋	183.0	
	樹脂アンカーピン	□20×300	本	183.0	
	水平排水材	再生長繊維不織布 t=3mm	m2	150.6	ロス率5%含む
	再生砕石	RC-40	m3	224.0	

数量総括表　　＜擁壁工＞　　(3/4)

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
(A工区+B工区)	ジオセル	3セルタイプ	m2	167.8	
		4セルタイプ	m2	51.2	
		5セルタイプ	m2	73.5	
	セルロック	3セル+4セル+5セル	個	6125.0	
	鉄筋	D19	kg	1343.25	
	土のう	ジオセルバック	袋	291.0	
	樹脂アンカーピン	□20×300	本	291.0	
	水平排水材	再生長繊維不織布 t=3mm	m2	229.4	
	再生砕石	RC-40	m3	336.7	

数量総括表　　＜擁壁工＞　　(4/4)

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
施工費					
(A工区)	擁壁設置	3セルタイプ　H≦5m	m2	9.1	
		4セルタイプ　H≦5m	m2	23.5	
		5セルタイプ　H≦5m	m2	42.8	
	土のう設置		袋	108.0	
	樹脂アンカーピン打設		本	108.0	
	水平排水材設置		m2	75.0	
	平板載荷試験		箇所	1.0	共通仮設費で計上
	砕石中詰		m3	89.4	112.7/1.26
(B工区)	擁壁設置	3セルタイプ　H≦5m	m2	145.0	
		4セルタイプ　H≦5m	m2	25.2	
		5セルタイプ　H≦5m	m2	26.2	
	土のう設置		袋	183.0	
	樹脂アンカーピン打設		本	183.0	
	水平排水材設置		m2	143.4	
	平板載荷試験		箇所	1.0	共通仮設費で計上
	砕石中詰		m3	177.8	224.0/1.26

擁　壁　工　数　量　集　計　表

種　別	細　別	規　格	単位	数 量	備 考
ジオセル工					
（A工区）	壁面工	直高面積	m2	80.7	合計面積＝10+24.7+46
					（3セル+4セル+5セル）
	ジオセル	3セルタイプL2650×B800	枚	25	
	ジオセル	4セルタイプL2650×B1067	枚	62	
	ジオセル	5セルタイプL2650×B1333	枚	116	
		セルロック	個	1,998	合計個数＝175+558+1276
					（3セル+4セル+5セル）
	鉄筋	D19×1.0	本	155	348.8kg 2.250kg/本
	土のう	ジオセルバッグ	袋	108	植生土のう
	樹脂アンカーピン	□20×300	本	108	
	水平排水材	再生長繊維不織布t=3㎜	m2	78.8	
	砕　石	RC-40	m3	112.7	合計体積＝9.2+31.6+71.9
					（3セル+4セル+5セル）

ジオセル工数量計算

[3セルタイプ]

○ 壁面工　A= 9.5（鉛直投影面積） × 1.05（ロス率5%） ＝ 10.0 m2

○ ジオセル　N= 10.0 ／ 0.4 ＝ 25 枚

注）1枚当り 面積＝0.3975㎡（≒0.4）

セルロック　N= 25 × 7（1枚当たり） ＝ 175 個

[4セルタイプ]

○ 壁面工　A= 23.5（鉛直投影面積） × 1.05（ロス率5%） ＝ 24.7 m2

○ ジオセル　N= 24.7 ／ 0.4 ＝ 62 枚

注）1枚当り 面積＝0.3975㎡（≒0.4）

セルロック　N= 62 × 9（1枚当たり） ＝ 558 個

[5セルタイプ]

○ 壁面工　A= 43.8（鉛直投影面積） × 1.05（ロス率5%） ＝ 46.0 m2

○ ジオセル　N= 46.0 ／ 0.4 ＝ 115 枚

注）1枚当り 面積＝0.3975㎡（≒0.4）

セルロック　N= 115 × 11（1枚当たり） ＝ 1265 個

○ 鉄筋　N= 155（展開計画本数） ＝ 155 本

○ 土のう　N= 30.7（天端計画長） × 3.5（袋/m当り） ＝ 108 袋

◇ 樹脂アンカーピン（1本/袋）

N= 108 本

○ 樹脂アンカーピン　N=

細　別	使用本数
土のう	108
合　計	108

＝ 108 本

○ 水平排水材　A= 17.4 × 3.0 × 1 ＝ 52.2

7.6（展開計画長） × 3.0（敷設長） × 1（段数） ＝ 22.8

ΣA= 75.0

75.0（ΣA） × 1.05（ロス率5%） ＝ 78.8　78.8 m2

○ 砕石

[3セルタイプ]　V= 9.1（鉛直投影面積） × 0.800 × 1.26 ＝ 9.2 m3

[4セルタイプ]　V= 23.5（鉛直投影面積） × 1.067 × 1.26 ＝ 31.6 m3

[5セルタイプ]　V= 42.8（鉛直投影面積） × 1.333 × 1.26 ＝ 71.9 m3

擁　壁　工　数　量　集　計　表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量	備　考
ジオセル工					
（B工区）	壁面工	直高面積	m^2	211.8	合計面積＝157.8+26.5+27.5
					（3セル+4セル+5セル）
	ジオセル	3セルタイプL2650×B800	枚	395	
	ジオセル	4セルタイプL2650×B1067	枚	67	
	ジオセル	5セルタイプL2650×B1333	枚	69	
		セルロック	個	4,127	合計個数＝2779+603+759
					（3セル+4セル+5セル）
	鉄筋	D19×1.0	本	442	994.5kg 2.250kg/本
	土のう	ジオセルバッグ	袋	183	植生土のう
	樹脂アンカーピン	□20×300	本	183	
	水平排水材	再生長繊維不織布t=3㎜	m^2	150.6	
	砕　石	RC-40	m^3	224.0	合計体積＝146.2+33.9+44.0
					（3セル+4セル+5セル）

ジオセル工数量計算

[3セルタイプ]

○ 壁面工　A= 150.3 × 1.05 ＝ 157.8 m2
（鉛直投影面積）（ロス率5%）

○ ジオセル　N= 157.8 ／ 0.4 ＝ 395 枚

注）1枚当り 面積＝0.3975㎡（≒0.4）

セルロック　N= 395 × 7 ＝ 2765 個
1枚当たり

[4セルタイプ]

○ 壁面工　A= 25.2 × 1.05 ＝ 26.5 m2
（鉛直投影面積）（ロス率5%）

○ ジオセル　N= 26.5 ／ 0.4 ＝ 67 枚

注）1枚当り 面積＝0.3975㎡（≒0.4）

セルロック　N= 67 × 9 ＝ 603 個
1枚当たり

[5セルタイプ]

○ 壁面工　A= 26.2 × 1.05 ＝ 27.5 m2
（鉛直投影面積）（ロス率5%）

○ ジオセル　N= 27.5 ／ 0.4 ＝ 69 枚

注）1枚当り 面積＝0.3975㎡（≒0.4）

セルロック　N= 69 × 11 ＝ 759 個
1枚当たり

○ 鉄筋　N= 442 ＝ 442 本
（展開計画本数）

○ 土のう　N= 52.2 × 3.5 ＝ 183 袋
（天端計画長）（袋/m当り）

◇ 樹脂アンカーピン（1本/袋）

N= 183 本

○ 樹脂アンカーピン　N=

細　別	使用本
土のう	183
合　計	183

＝ 183 本

○ 水平排水材　A= 32.8 × 3.0 × 1 ＝ 98.4

15.0 × 3.0 × 1 ＝ 45.0
（展開計画長）（敷設長）（段数）　ΣA= 143.4

143.4 × 1.05 ＝ 150.6 150.6 m2
（ΣA）（ロス率5%）

○ 砕石

[3セルタイプ]　V= 145.0 × 0.800 × 1.26 ＝ 146.2 m3
（鉛直投影面積）

[4セルタイプ]　V= 25.2 × 1.067 × 1.26 ＝ 33.9 m3
（鉛直投影面積）

[5セルタイプ]　V= 26.2 × 1.333 × 1.26 ＝ 44.0 m3
（鉛直投影面積）

造成土工　数量総括書

工　　種	単位	数　量	摘　　要
土工			
一次造成			
切土工	m3	5687.5	
盛土工	m3	771.5	
切土法面整形	m3	499.0	
盛土法面整形	m3	63.0	
掘削・積込	m3	771.5	指定残土置場
土砂運搬	m3	771.5	指定残土置場～現場
発生土運搬	m3	5687.5	切土
発生土処分	t	10237.5	切土×1.8
二次造成			
切土工	m3	64.4	
盛土工	m3	1316.4	
切土法面整形	m3	113.0	
盛土法面整形	m3	775.8	
掘削・積込	m3	1316.4	指定残土置場
土砂運搬	m3	1316.4	指定残土置場～現場
発生土運搬	m3	64.4	切土
発生土処分	t	115.8	切土×1.8

数量計算書-1

項　目	数　　式	数　量
土工	一次造成	
	No.10	
	切土工	
	V= 5.290 × 5.000 = 26.450	26.45 m3
	盛土工	
	V= 19.910 × 5.000 = 99.550	99.55 m3
	No.9	
	切土工	
	V= 6.980 × 10.000 = 69.800	69.80 m3
	盛土工	
	V= 53.280 × 10.000 = 532.800	532.80 m3
	No.8	
	切土工	
	V= 37.320 × 10.000 = 373.200	373.20 m3
	盛土工	
	V= 12.750 × 10.000 = 127.500	127.50 m3
	No.7	
	切土工	
	V= 165.780 × 10.000 = 1657.800	1657.80 m3
	盛土工	
	V= 0.040 × 10.000 = 0.400	0.40 m3
	No.6	
	切土工	
	V= 196.230 × 10.000 = 1962.300	1962.30 m3
	盛土工	
	V= 0.000 × 10.000 = 0.000	0.00 m3
	No.5	
	切土工	
	V= 152.160 × 10.000 = 1521.600	1521.60 m3
	盛土工	
	V= 0.760 × 10.000 = 7.600	7.60 m3
	No.4	
	切土工	
	V= 15.270 × 5.000 = 76.350	76.35 m3
	盛土工	
	V= 0.720 × 5.000 = 3.600	3.60 m3
	切土工 Σ =	5687.50 m3
	盛土工 Σ =	771.45 m3

数量計算書-2

項　目	数　　式	数　量
	掘削・積込(指定残土置場)	
	V= 771.450 ＝ 771.450	771.45 m3
	土砂運搬	
	V= 771.450 ＝ 771.450	771.45 m3
	発生土	
	V= 5687.500 ＝ 5687.500	5687.50 m3
	1.8t/m3	
	W= 5687.500 × 1.8 ＝ 10237.500	10237.50 t
	一次造成	
	No.9	
	盛土法面整形	
	V= 2.600 × 5.000 ＝ 13.000	13.00 m2
	No.8	
	切土法面整形	
	V= 2.600 × 10.000 ＝ 26.000	26.00 m2
	盛土法面整形	
	V= 1.800 × 10.000 ＝ 18.000	18.00 m2
	No.7	
	切土法面整形	
	V= 8.500 × 10.000 ＝ 85.000	85.00 m2
	No.6	
	切土法面整形	
	V= 8.900 × 10.000 ＝ 89.000	89.00 m2
	No.5	
	切土法面整形	
	V= 10.000 × 10.000 ＝ 100.000	100.00 m2
	盛土法面整形	
	V= 2.000 × 10.000 ＝ 20.000	20.00 m2
	No.4	
	切土法面整形	
	V= 19.900 × 10.000 ＝ 199.000	199.00 m2
	盛土法面整形	
	V= 1.200 × 10.000 ＝ 12.000	12.00 m2
	切土法面整形 Σ ＝	499.00 m2
	盛土法面整形 Σ ＝	63.00 m2

数量計算書-3

項　目	数　　式	数　量
	二次造成	
	No.8	
	盛土工	
	V= 23.620 × 10.000 = 236.200	236.20 m3
	No.7	
	盛土工	
	V= 33.980 × 10.000 = 339.800	339.80 m3
	No.6	
	盛土工	
	V= 37.510 × 10.000 = 375.100	375.10 m3
	No.5	
	盛土工	
	V= 30.750 × 10.000 = 307.500	307.50 m3
	No.4	
	切土工	
	V= 12.870 × 5.000 = 64.350	64.35 m3
	盛土工	
	V= 11.560 × 5.000 = 57.800	57.80 m3
	切土工 Σ =	64.35 m3
	盛土工 Σ =	1316.40 m3
	掘削・積込(指定残土置場)	
	V= 1316.400 = 1316.400	1316.40 m3
	土砂運搬	
	V= 1316.400 = 1316.400	1316.40 m3
	発生土	
	V= 64.350 = 64.350	64.35 m3
	1.8t/m3	
	W= 64.350 × 1.8 = 115.830	115.83 t

数量計算書-4

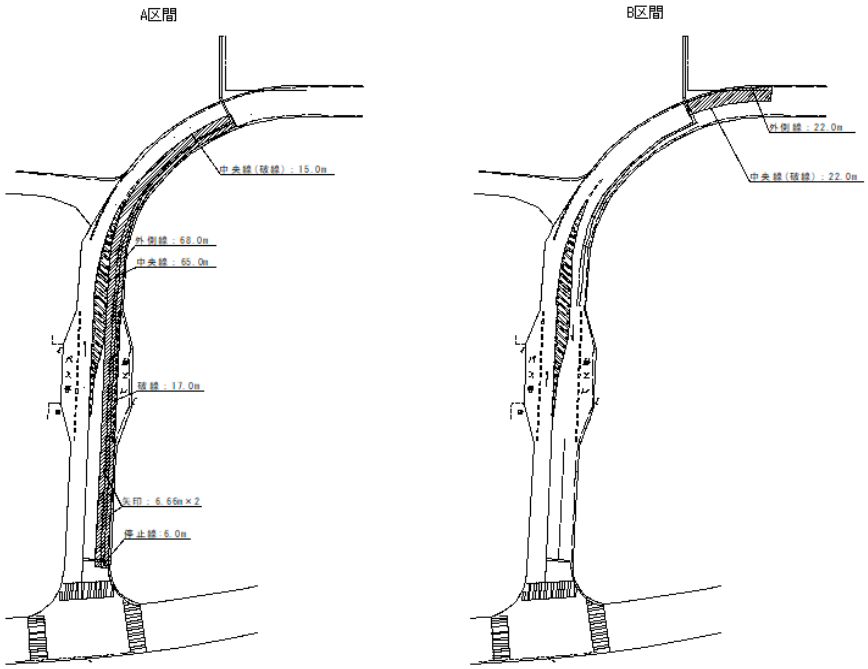
項　目	数　　式	数　量
	二次造成	
	No.8	
	盛土法面整形	
	V= 4.100 × 5.000 = 20.500	20.50 m2
	No.7	
	盛土法面整形	
	V= 20.230 × 10.000 = 202.300	202.30 m2
	No.6	
	盛土法面整形	
	V= 21.000 × 10.000 = 210.000	210.00 m2
	No.5	
	盛土法面整形	
	V= 19.300 × 10.000 = 193.000	193.00 m2
	No.5	
	切土法面整形	
	V= 11.300 × 10.000 = 113.000	113.00 m2
	盛土法面整形	
	V= 15.000 × 10.000 = 150.000	150.00 m2
	切土法面整形 Σ =	113.00 m2
	盛土法面整形 Σ =	775.80 m2

＜舗装本復旧工＞

数量集計表　　舗装版撤去・舗装・区画線　　(1/1)

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
As舗装本復旧工					
	路面切削	As　t=50mm	m2	498.6	夜間施工
	殻運搬	As殻	m3	24.9	昼間施工
	As殻処分費		t	58.6	
	不陸整正整正	補足材なし	m2	498.6	夜間施工
	表層	再生密粒度As13	m2	498.6	夜間施工
	区画線設置	溶融式 実線(白) W=15cm	m	155.0	
	区画線設置	溶融式 直線(白) W=45cm	m	6.0	
	区画線設置	溶融式 破線(白) W=15cm	m	37.0	
	区画線設置	溶融式 破線(白) W=30cm	m	17.0	
	区画線設置	矢印 W=15cm換算	m	13.0	
インターロッキング撤去・設置					
	インターロッキングブロック撤去・再設置	厚さ8cm　敷材0.03m	m2	1,219.0	

アスファルト舗装(場内車道部)



種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
路面切削 As t=50mm	A= 路面切削･表層面積計算書より	=	498.600	498.60	m2
殻運搬 10tDT L=4.5km	V= 498.60×0.05	=	24.930	24.93	m2
殻処分費 As殻	W= 24.930×2.35	=	58.586	58.59	t
不陸整正 補足材なし	A= 路面切削･表層面積計算書より	=	498.600	498.60	m2
表層 再生密粒度As t=50mm	A= 路面切削･表層面積計算書より	=	498.600	498.60	m2
区画線設置 実線(白) W=15cm	L= 中央線:65.00+外側線:68.00+外側線:22.00	=	155.000	155.00	m
区画線設置 実線(白) W=45cm	L= 停止線:6.00m	=	6.000	6.00	m
区画線設置 破線(白) W=15cm	L= 15.00＋22.00	=	37.000	37.00	m
区画線設置 破線(白) W=30cm	L= 17.000	=	17.000	17.00	m
区画線設置 矢印 W=15cm換算	L= 6.66×3	=	13.320	13.32	m

A区間　　路面切削・表層面積計算書

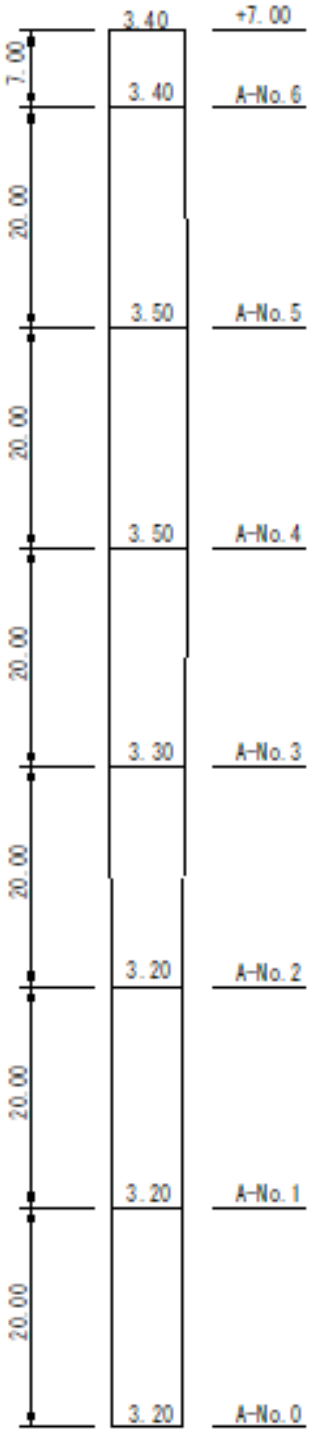
測点番号	距離	横断面積 法長	平均横断面積 法長	立方米 平方米	施工方法
NO.0		3.20			
	20.00		3.20	64.00	
NO.1		3.20			
	20.00		3.20	64.00	
NO.2		3.20			
	20.00		3.25	65.00	
NO.3		3.30			
	20.00		3.40	68.00	
NO.4		3.50			
	20.00		3.50	70.00	
NO.5		3.50			
	20.00		3.45	69.00	
NO.6		3.40			
	7.00		3.40	23.80	
＋7.00		3.40			
A区間合計	127.00			423.80	

B区間　　路面切削・表層面積計算書

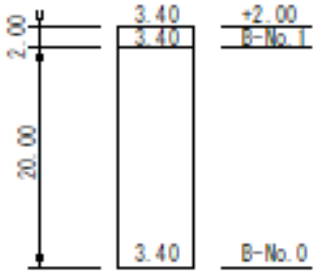
測点番号	距離	横断面積 法長	平均横断面積 法長	立方米 平方米	施工方法
CNO.0		3.40			
	20.00		3.40	68.00	
CNO.1		3.40			
	2.00		3.40	6.80	
+2.00		3.40			
B区間合計	22.00			74.80	
合計				498.60	

As路面切削・表層求積図

A区間



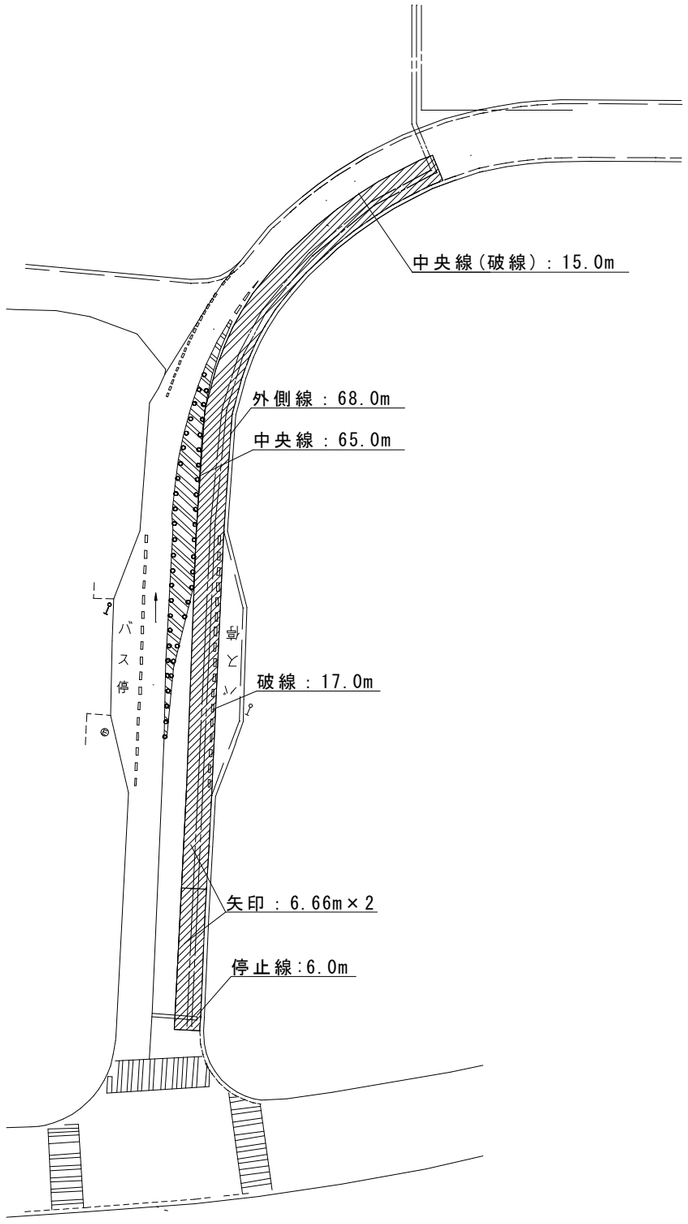
B区間



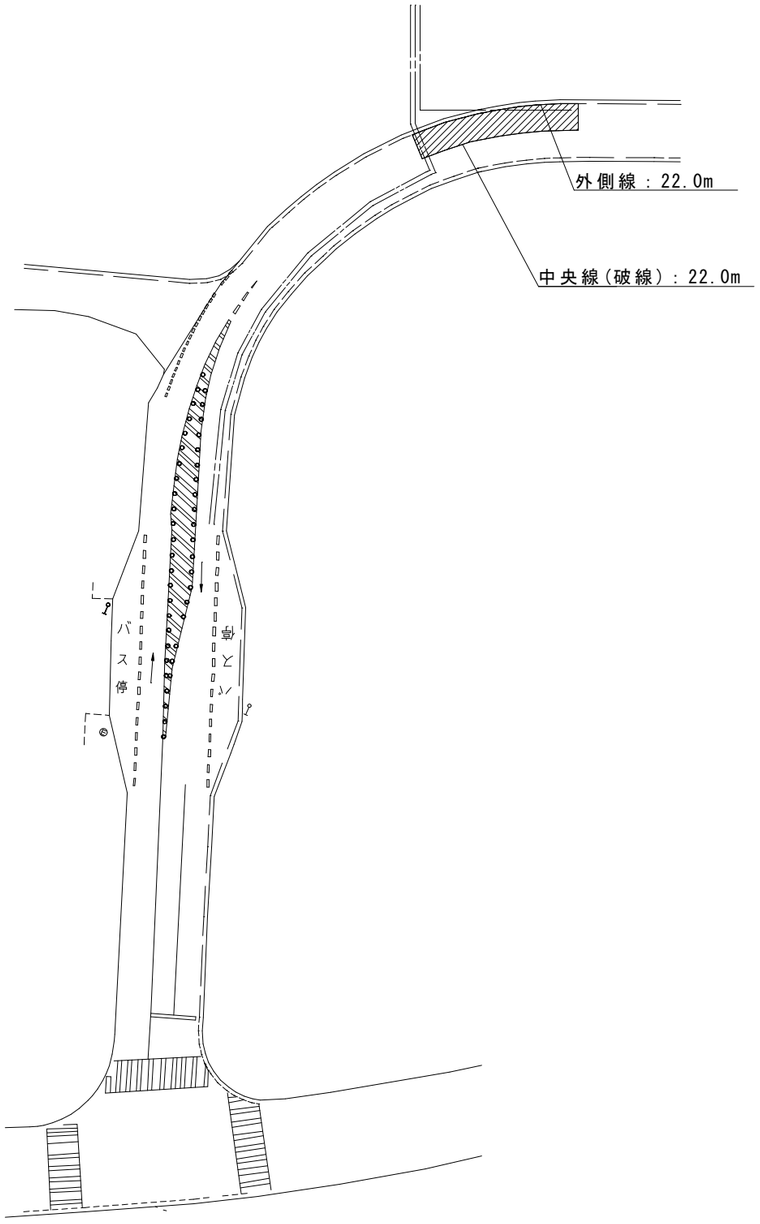
アスファルト舗装(場内車道部)		
種 別	計 算 式 ・ 小 計	数 量
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ 撤去・設置 （再利用）	C_110図CAD計測より　= 1,216.300	1216.30 m2

舗装本復旧図

A区間



B区間

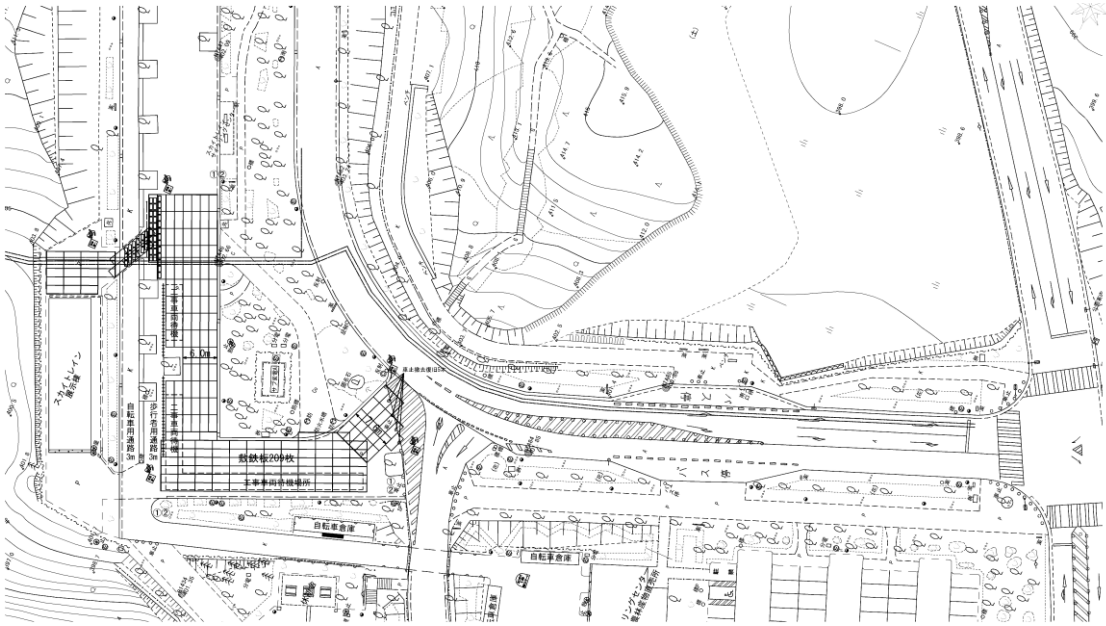


＜仮設工＞

数量集計表

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
敷鉄板			式	1.0	
	敷鉄板		枚		
			m3		
			t		

敷鉄板	1式当り


敷鉄板200枚
自転車倉庫
自転車倉庫
自転車倉庫

＜交通誘導員＞

数量集計表

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
交通誘導員	交通誘導員B	昼間施工	人		補助対象
	交通誘導員B	夜間施工	人		補助対象

交通誘導員	1式当り

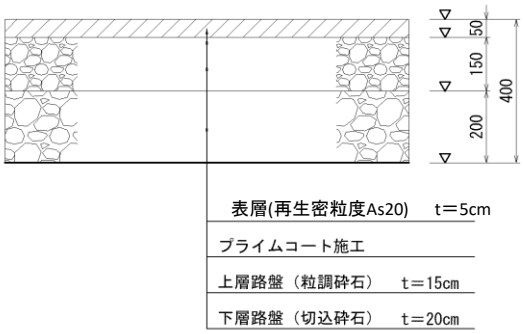
種 別	計 算 式 ・ 小 計	数 量
交通誘導員B （昼間施工）		人
交通誘導員B （昼間施工）		人

＜場内整備工＞

数量集計表　　舗装工　　(1/1)

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
アスファルト舗装	新設		m2	951.0	
	表層工	再生密粒度As20 t=50	m2	951.0	
	上層路盤工	M-30 t=150	m2	951.0	
	下層路盤工	RC-40 t=200	m2	951.0	

アスファルト舗装(場内車道部)	100m2当り



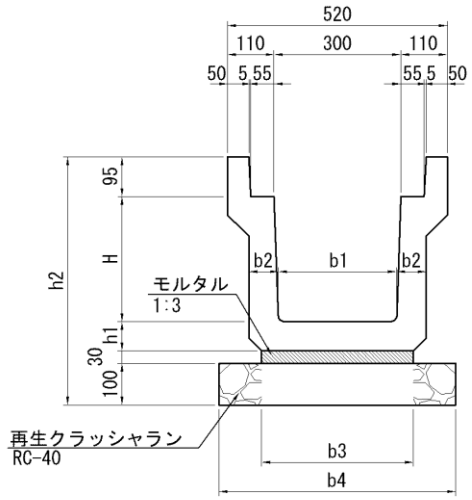
種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
表層					
再生密粒度As20					
t=50	A=	=	100.000	100.00	m2
上層路盤					
M-30					
t=150	A=	=	100.000	100.00	m2
下層路盤					
RC-40					
t=200	A=	=	100.000	100.00	m2
	数量調書(CAD面積算定)				
	A= 635+316	=	951.0	951.0	m2

＜場内整備工＞

数量集計表　　側溝

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
U形側溝（道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝）			m	137.5	
	基礎砕石	RC-40　t=100	m2	77.0	5.6/10.0×137.5
			m3	8.3	0.6/10.0×137.5
	モルタル	1:3	m3	1.4	0.1/10.0×137.5
	道路用鉄筋 コンクリート側溝	U-300A	個	68.8	5.0/10.0×137.5
	コンクリート蓋	3種	枚	247.5	18.0/10.0×137.5
	鋼製グレーチング蓋	T-25	枚	13.8	1.0/10.0×137.5
U形側溝（道路用鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝）（横断部）			m	13.5	
	基礎砕石	RC-40　t=100	m2	7.6	5.6/10.0×13.5
			m3	0.8	0.6/10.0×13.5
	モルタル	1:3	m3	0.1	0.1/10.0×13.5
	道路用鉄筋 コンクリート側溝	U-300A	個	6.8	5.0/10.0×13.5
	鋼製グレーチング蓋	T-25	枚	13.5	10.0/10.0×13.5

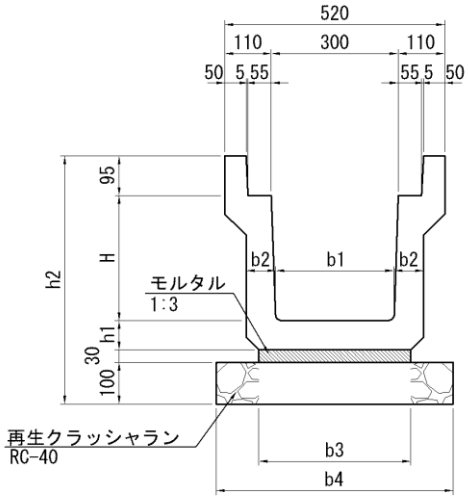
U形側溝（道路用鉄筋コンクリート側溝300A）	10m当り



名称	寸法表 (単位mm)							
	H	h1	h2	b1	b2	b3	b4	L
300A	300	70	595	280	70	360	560	2000

種別	計算式・小計			数量	
基礎砕石 RC-40 t=100	A= 0.56×10.00	=	5.600	5.6	m2
	V= 5.6×0.10	=	0.560	0.6	m3
モルタル 1:3	V= 0.36×0.03×10.00	=	0.108	0.1	m3
道路用鉄筋溝 コンクリート側溝 U-300A 69kg/個	N= 10.00÷2.00	=	5.000	5.0	個
コンクリート蓋 3種	N= 18	=	18.000	18.0	枚
鋼製グレーチング蓋 T-25	N= 1	=	1.000	1.0	枚
	数量調書 L= 47.196+17.909+65.986+6.431	=	137.5	137.5	m

U形側溝（道路用鉄筋コンクリート側溝300A）横断部	10m当り



名称	寸法表 (単位mm)							
	H	h1	h2	b1	b2	b3	b4	L
300A	300	70	595	280	70	360	560	2000

種別	計算式・小計			数量	
基礎砕石 RC-40 t=100	A= 0.56×10.00	=	5.600	5.6	m2
	V= 5.6×0.10	=	0.560	0.6	m3
モルタル 1:3	V= 0.36×0.03×10.00	=	0.108	0.1	m3
道路用鉄筋溝 コンクリート側溝 U-300A 69kg/個	N= 10.00÷2.00	=	5.000	5.0	個
鋼製グレーチング蓋 T-25	N= 10÷0.995	=	10.050	10.0	枚
	数量調書 L= 4.675+4.30+4.50	=	13.5	13.5	m

＜場内整備工＞

数量集計表　　排水管

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
排水管			m	81.7	
	掘削	0.13m3BH	m3	30.2	
	埋戻し	山砂	m3	4.5	
	埋戻し	発生土	m3	21.0	
	土砂運搬	2tDT　L=10.9km	m3	9.3	
	残土処分		t	16.7	
	排水管布設	波付高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　φ250	m	81.7	

排水管布設	10m当り

種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
掘削 0.13m3BH	V= 0.55×0.673×10.00	=	3.702	3.7	m3
砂埋戻し 0.13m3BH	V= 0.55×0.100×10.00	=	0.550	0.6	m3
発生土埋戻し 0.13m3BH	V= $\{0.55\times0.573-(0.273/2)^2\times\pi\}\times10.00$	=	2.566	2.6	m3
土砂運搬	V= 3.702-2.566	=	1.135	1.1	m3
残土処分	W= 1.135×1.8	=	2.043	2.0	t
排水管布設 φ250 波付高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	L=	=	10.000	10.0	m
	数量調書 L= 35.600+46.880-(0.200×4)	=	81.680	81.7	m

＜場内整備工＞

数量集計表　　集水桝　　(1/2)

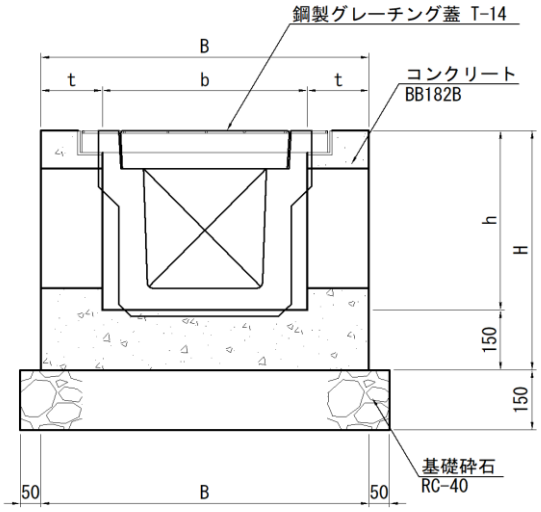
中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
(材工共)					
集水桝(1)		□500×H600	箇所	1.0	
	基礎砕石	RC-40　t=150	m2	0.8	0.8/1.0×1
			m3	0.12	0.12/1.0×1
	集水桝	500B	個	1.0	1.00/1.0×1
	グレーチング蓋	□500用　607×607×50 T-25　並目	組	1.0	1.0/1.0×1
集水桝(2)		□1000×H2350	箇所	1.0	
(1箇所当り)	基礎砕石	RC-40　t=200	m2	2.6	2.6/1.0×1
			m3	0.51	0.51/1.0×1
	均しコンクリート	18-8-20BB	m3	0.26	0.26/1.0×1
	コンクリート	21-8-25BB	m3	2.54	2.54/1.0×1
	型枠		m2	22.3	22.3/1.0×1
	グレーチング蓋	□1000用　1100×1100×75 T-14　並目　2枚割	組	1.0	1.0/1.0×1
	鉄筋	SD345　D16	kg	87	87/1.0×1
		SD345　D13	kg	76	76/1.0×1
		合計	kg	163	

＜場内整備工＞

数量集計表　　集水桝　　(2/2)

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
(材工共)					
中間桝		□1000×H1650	箇所	1.0	
(1箇所当り)	基礎砕石	RC-40　t=200	m2	2.6	2.6/1.0×1
			m3	0.51	0.51/1.0×1
	均しコンクリート	18-8-20BB	m3	0.26	0.26/1.0×1
	コンクリート	21-8-25BB	m3	1.90	1.90/1.0×1
	型枠		m2	15.4	15.4/1.0×1
	グレーチング蓋	□1000用　1100×1100×50 T-2　並目　2枚割	組	1.0	1.0/1.0×1
	鉄筋	SD345　D16	kg	62	62/1.0×1
		SD345　D13	kg	59	59/1.0×1
		合計	kg	121	
減勢排水桝		□1000×H1850	箇所	1.0	
(1箇所当り)	基礎砕石	RC-40　t=200	m2	2.6	2.6/1.0×1
			m3	0.51	0.51/1.0×1
	均しコンクリート	18-8-20BB	m3	0.26	0.26/1.0×1
	コンクリート	21-8-25BB	m3	2.15	2.15/1.0×1
	型枠		m2	17.6	17.6/1.0×1
	グレーチング蓋	□1000用　1100×1100×50 T-2　並目　2枚割	組	1.0	1.0/1.0×1
	鉄筋	SD345　D16	kg	69	69/1.0×1
		SD345　D13	kg	58	58/1.0×1
		合計	kg	127	

集水桝(1) □500×450	1箇所当り

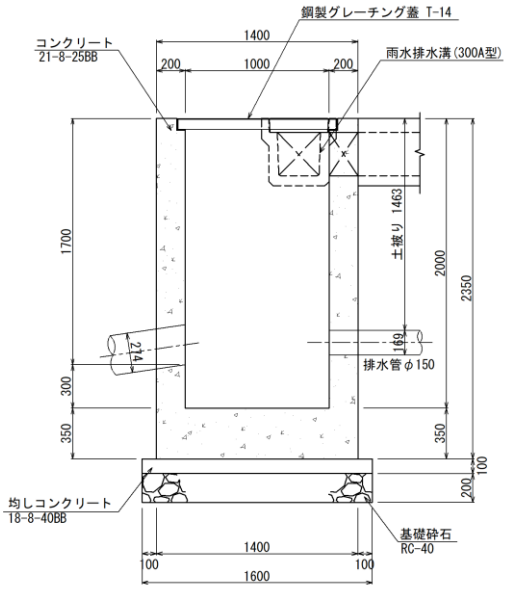


集水桝

名　称	寸法表（単位mm）				
	b	h	t	B	H
集水桝	500	450	150	800	600

種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
基礎砕石 RC-40　t=150	A= 0.90×0.90 V= 0.81×0.15	= =	0.810 0.122	0.8 0.12	m2 m3
集水桝 500B	N= 1	=	1.000	1.0	個
グレーチング蓋 □500用　並目 T-25	N= 1 ＊607×607×50	=	1.000	1.0	組
	数量調書 N= 1.0	=	1.0	1.0	箇所

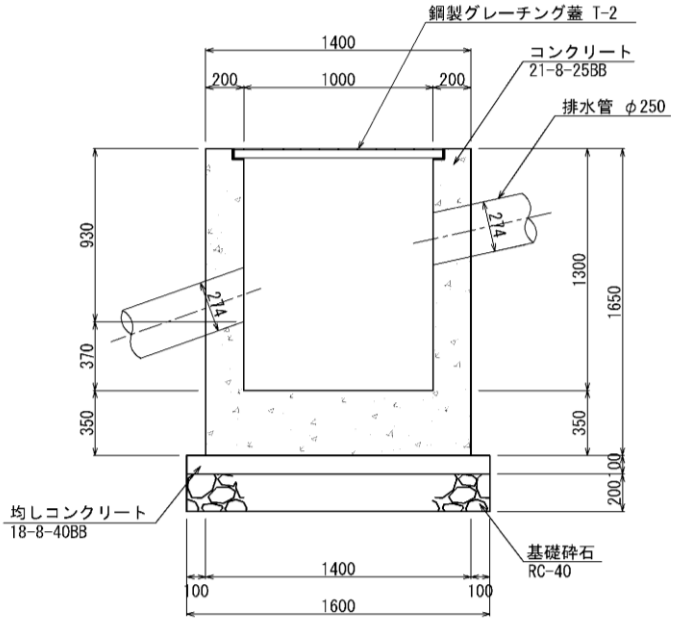
集水桝(2) □1000×2000	1箇所当り



種別	計算式・小計			数量	
基礎砕石 RC-40 t=200	A= 1.60×1.60	=	2.560	2.6	m2
	V= 2.56×0.20	=	0.512	0.51	m3
均しコンクリート 18-8-20BB	V= 1.60×1.60×0.10	=	0.256	0.26	m3
コンクリート 21-8-25BB	V= 1.40×1.40×2.35-1.10×1.10×0.075 -1.00×1.00×(2.00-0.075) -(0.274^2+0.169^2)×π/4×0.20 -(0.30+0.28)×0.30÷2×0.20×2	=	2.539	2.54	m3
型枠	A= 1.40×2.35×4+1.10×0.075×4 +1.00×(2.00-0.075)×4 +(0.274+0.169)×π×0.20 +(0.30×2+0.30+0.28)×0.20 +1.60×0.10×4	=	22.344	22.3	m2
グレーチング蓋 □1000用 T-14 並目 2枚割	N= 1 ＊1100×1100×75	=	1.000	1.0	組

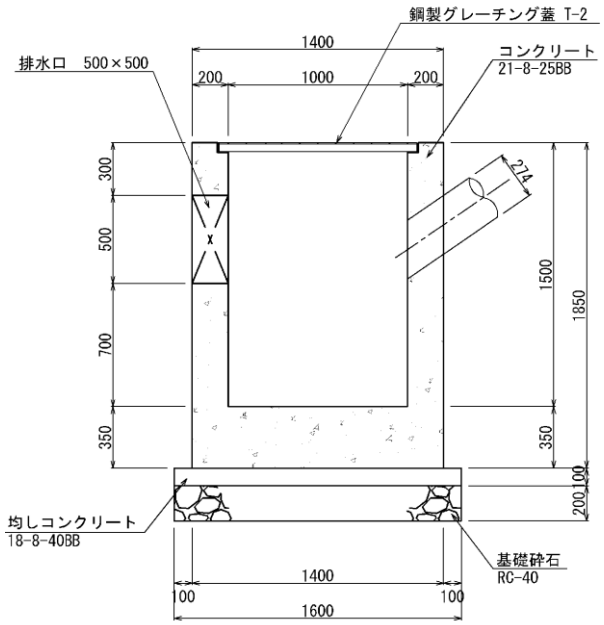
集水桝(2) □1000×2000				1箇所当り
種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量
鉄筋 SD345				
D16	W= 鉄筋質量表より	=	87.000	87 kg
D13	W= 鉄筋質量表より	=	76.000	76 kg
		計 =		163 kg
	数量調書			
	N= 1.0	=	1.0	1.0 箇所

中間桝(1) □1000×1300	1箇所当り



種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
基礎砕石	A= 1.60×1.60	=	2.560	2.6	m2
RC-40 t=200	V= 2.56×0.20	=	0.512	0.51	m3
均しコンクリート	V= 1.60×1.60×0.10	=	0.256	0.26	m3
18-8-20BB					
コンクリート	V= 1.40×1.40×1.65-1.10×1.10×0.050				
21-8-25BB	-1.00×1.00×(1.30-0.050)				
	-0.274^2×π/4×0.20×2	=	1.900	1.90	m3
型枠	A= 1.40×1.65×4+1.10×0.050×4				
	+1.00×(1.30-0.050)×4				
	+0.274×π×0.20×2+1.60×0.10×4	=	15.444	15.4	m2
グレーチング蓋	N= 1	=	1.000	1.0	組
□1000用 T-2	＊1100×1100×50				
並目 2枚割					
鉄筋 SD345					
D16	W= 鉄筋質量表より	=	62.000	62	kg
D13	W= 鉄筋質量表より	=	59.000	59	kg
		計 =		121	kg
	数量調書				
	N= 1.0	=	1.0	1.0	箇所

減勢排水桝(1) □1000×1500	1箇所当り



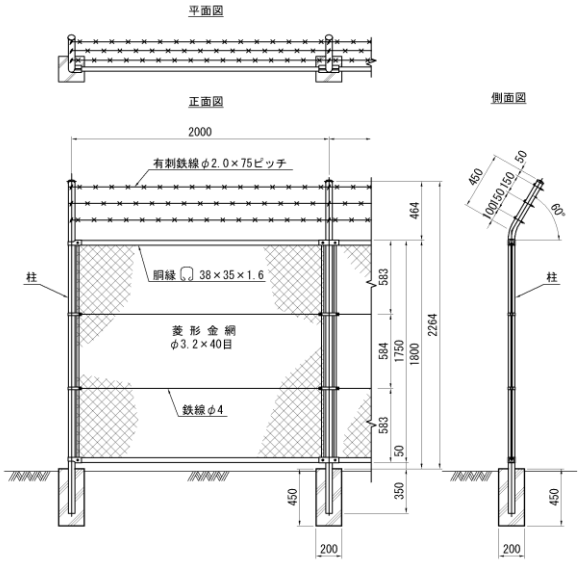
種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
基礎砕石	A= 1.60×1.60	=	2.560	2.6	m2
RC-40 t=200	V= 2.56×0.20	=	0.512	0.51	m3
均しコンクリート	V= 1.60×1.60×0.10	=	0.256	0.26	m3
18-8-20BB					
コンクリート	V= 1.40×1.40×1.85-1.10×1.10×0.050				
21-8-25BB	-1.00×1.00×(1.50-0.050)				
	-(0.274^2×π/4×0.20+0.50×0.50×0.20)	=	2.154	2.15	m3
型枠	A= 1.40×1.85×4+1.10×0.050×4				
	+1.00×(1.50-0.050)×4				
	+0.274×π×0.20+0.50×0.20×4				
	+1.60×0.10×4	=	17.592	17.6	m2
グレーチング蓋	N= 1	=	1.000	1.0	組
□1000用 T-2	＊1100×1100×50				
並目 2枚割					
鉄筋 SD345					
D16	W= 鉄筋質量表より	=	69.000	69	kg
D13	W= 鉄筋質量表より	=	58.000	58	kg
		計 =		127	kg
	数量調書				
	N= 1.0	=	1.0	1.0	箇所

＜付帯工＞

数量集計表　　フェンス工、門扉工

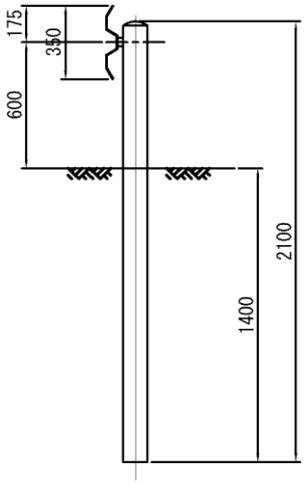
中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
ネットフェンス	新設	H=1800忍び返し付	m	66.4	
	基礎砕石	RC-40　t=100	m2	1.3	0.20/10.0×66.4
	フェンス用ブロック	200×200×450	個	33.2	5.00/10.0×66.4
	ネットフェンス	H=1800	m	66.4	10.00/10.0×66.4
ガードレール	新設		m	73.2	
		Gr-C-4E	m	73.2	10.00/10.0×73.2
門扉	新設	W=4000(両開) H=1800	基	1.0	
	基礎砕石	RC-40　t=100	m2	3.4	3.38/1.0×1
	均しコンクリート	18-8-25(20)BB	m3	0.3	0.34/1.0×1
	コンクリート	24-8-25(20)BB	m3	2.2	2.17/1.0×1
	型枠		m2	9.8	9.84/1.0×1
	鉄筋	(D13)	t	0.09	89.00/1.0×1/1000
	フェンス扉	本体	基	1.0	1.00/1.0×1

ネットフェンス(忍び返し付)設置工	10m当り



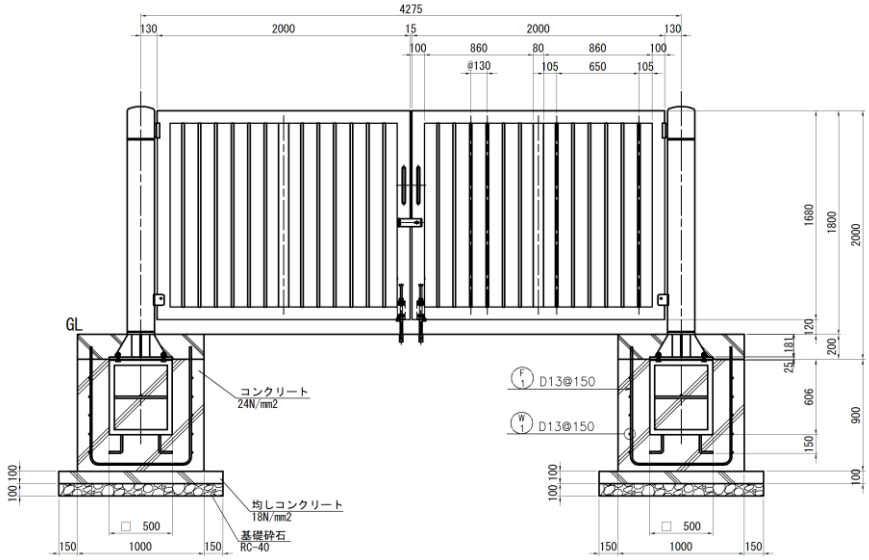
種別	計算式・小計			数量	
再生クラッシャラン RC-40 t=100	A= 0.20×0.20×5	=	0.200	0.20	m2
フェンス用ブロック 200×200×450	V= 1×5	=	5.000	5.00	個
ネットフェンス 忍び返し付 H=1800	L=	=	10.000	10.00	m
	延長調書				
	L= 66.4	=	66.400	66.4	m

ガードレール設置工	10m当り



種 別	計 算 式 ・ 小 計	数 量
ガードレール Gr-C-4E	L= 10 = 10.000	10.00 m
	延長調書 L= 73.2 = 73.200	73.2 m

門扉設置工	1門当り



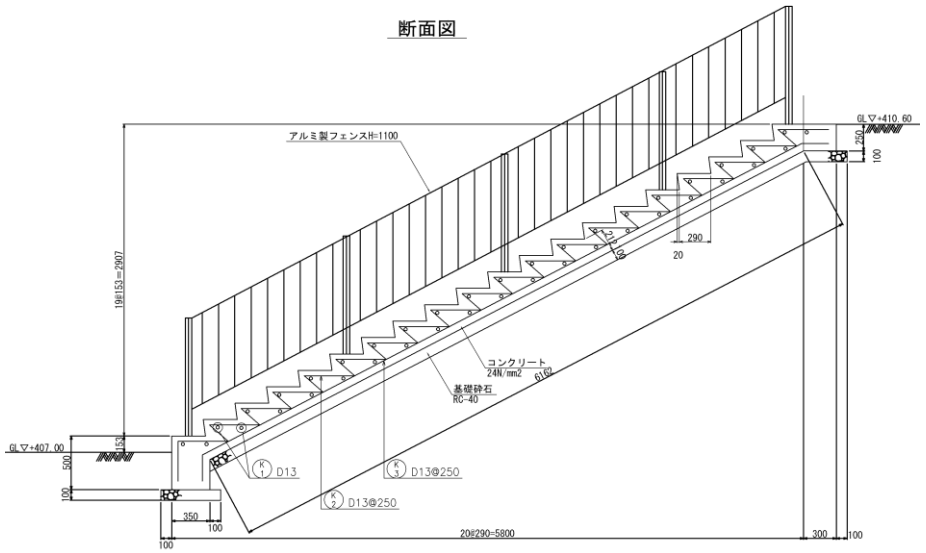
種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
再生クラッシャラン RC-40 t=100	A= (1.00+0.15×2)×(1.00+0.15×2)×2	=	3.380	3.38	m2
均しコンクリート 18-8-25(20)BB	V= ((1.00+0.15×2)×(1.00+0.15×2)×0.10)×2	=	0.338	0.34	m3
コンクリート 24-8-25(20)BB	V= (1.00×1.00×(0.20+0.90) -0.5×0.5×0.025 -0.216^2×π/4×0.181)×2	=	2.174	2.17	m3
型枠	A= (1.00×(0.20+0.90) +(1.00+0.15×2)×0.10)×4×2	=	9.840	9.84	m2
鉄筋 SD345 D13	F1 主筋 D13 L=2560 N=10×2＝20 L= 2.56×20	=	51.200		
	W1 配力筋 D13 L=1920 N=10×2＝20 L= 1.92×20	=	38.400		
	W= (51.200+38.400)×0.995	=	89.152	89	kg
門扉 W=4000(両開) H=1800	N=	=	1.000	1.00	基
	数量調書 N= 1	=	1.000	1.0	基

＜場内整備工＞

数量集計表　　階段

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
維持管理用階段			箇所	1.0	
	基礎砕石	RC-40 t=100	m2	14.2	14.2/1.0×1
	コンクリート	24-8-25(20)BB	m3	3.90	3.9/1.0×1
	型枠	一般型枠	m2	7.8	7.8/1.0×1
	鉄筋	(D13)	t	0.24	238.5/1.0×1/1000
	アルミ製フェンス	H=1100	m	5.8	5.8/1.0×1
	モルタル金こて		m2	8.9	
	ノンスリップ磁器質タイル	150×60	m	32.0	

階段工	1箇所当り



種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
再生クラッシャラン RC-40 t=100	A= (0.35+0.10×2+6.16+0.30+0.10)×2.00	=	14.220	14.22	m2
コンクリート 24-8-25(20)BB	V= (0.35×0.50+0.21×6.16+(0.26+0.02)× 0.15÷2×19+0.30×0.25)×2.00	=	3.885	3.89	m3
型枠 一般型枠	A= (0.50+0.28+0.15×19+0.25)×2.00	=	7.760	7.76	m2
鉄筋 (D13)	K1 主筋 D13 L=1860 N=40				
	L= 1.86×40	=	74.400		
	K2 配力筋 D13 L=13940 N=8				
	L= (0.37+0.46+0.23×19+0.46×18+0.46)×8	=	111.520		
	K3 配力筋 D13 L=				
	L= (0.25+6.22+0.25)×8	=	53.760		
	W= 0.995×(74.40+111.52+53.76)	=	238.482	238.48	kg
アルミ製フェンス H=1100	L= 5.8	=	5.800	5.80	m
	参考質量7.0kg/m				
	W= 5.800×7.0	=	40.600	0.04	t
	N= 1.0	=	1.0	1.0	箇所
モルタル金ごて	A= (0.153+0.29)×20	=	8.860	8.86	m2
磁器質タイル (ノンスリップ)	A= (2.00-0.2×2)×0.06×20	=	1.920	1.92	m2
	延長:1.92／0.06	=	32.000	32.00	m

＜場内整備工＞

数量集計表　　植栽

名　称	形状･規格	単位	数　量	摘要
地被類植付工	16鉢/m2	m2	133	
		鉢	2,128	
種子吹付け工		m2	1,370	
植樹工(中木)		本	9	
イヌツゲ	H=1.5m、W=0.5m	本	9	

植栽工	1式当り

種 別	計 算 式 ・ 小 計			数 量	
地被類植付工	A= 133	=	133.000	133	m2
種子吹付工	A= 1370	=	1,370.000	1,370	m2

植栽工	1式当り

種 別	計 算 式 ・ 小 計	数 量
植樹工(中木)	N= 9 = 9	9 本

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	採水口設置				
	（材料費）				
	スタンド型単口採水口	φ75 上水	基	1.0	
	（労務費）				
	採水口設置工		基	1.0	

＜交通誘導員＞

数量集計表

中工種	小工種	内容	単位	数量	備考
交通誘導員	交通誘導員B	昼間施工	人		

交通誘導員	1式当り

種 別	計 算 式 ・ 小 計	数 量
交通誘導員B （昼間施工）		人

機器費総括表　　補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
機器費						
計装テレメータ盤	屋外自立形　800W×800D×2100H	1.00	1	面	1	電
緊急遮断弁操作盤	屋外自立形　800W×800D×2100H	1.00	1	面	1	電
テレメータ装置	1:1方式　Ai:8 Di:16程度	1.00	1	組	1	電
配水池水位計	投込み式	2.00	2	組	1	電
送水流量計	電磁 水中形 φ250	1.00	1	組	1	電
配水流量計	電磁 水中形 φ80	1.00	1	組	1	電
送水緊急遮断弁	φ350 10K 100V 0.1kW	1.00	1	台	1	機
配水緊急遮断弁	φ100 10K 100V 0.04kW	1.00	1	台	1	機
酸素検知警報計		1.00	1	台	1	電
排水ポンプ	φ50 100V 0.4kW	1.00	1	台	1	機
流量計緊急遮断弁室電極	3P	1.00	1	組	1	電
給気ファン	100V 0.4kW 消音形耐湿形 羽径18cm	1.00	1	組	1	機
排気ファン	消音形耐湿形 羽径18cm 100V 57W	1.00	1	組	1	機

電気計装設備工総括表

補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
材料費		1.00	1	式	1	
一般労務費		1.00	1	式	1	
普通作業員	据付			人	1	
電工	据付			人	1	
特殊作業員				人	1	
技術労務費		1.00	1	式	1	
電気通信技術者	据付			人	1	
電気通信技術者	単体試験			人	1	
電気通信技術者	組合せ試験			人	1	
機械設備据付工	据付			人	1	
複合工		1.00	1	式	1	
計装盤機能増設	テレメータ親局取付け	1.00	1	式	1	
ハンドホール設置工	900×900×900	3.00	3	箇所	1	
鋼管ポール据付工		1.00	1	箇所	1	
舗装切断工	Co t=20cm以下	8.60	9	m	1	
構造物とりこわし	無筋Co	0.24	0.2	m3	0.1	
掘削	0.28m3BH	61.60	60	m3	10	
埋戻し	0.28m3BH 山砂	7.80	8	m3	1	
埋戻し	0.28m3BH 発生土	46.00	50	m3	10	
下層路盤	RC-40 t=100mm	2.40	2	m2	1	
コンクリート打設	小型構造物　人力	1.50	2	m3	1	
基面整正		11.70	12	m2	1	
基礎砕石	RC-40 t=200mm	3.80	4	m2	1	
基礎砕石	RC-40 t=100mm	5.60	6	m2	1	
型枠工	小型構造物	7.90	8	m2	1	
コンクリート舗装	t=10cm以下	2.40	2	m3	1	
金ごて仕上げ工		6.00	6	m2	1	
土砂運搬	4tDT L=10.9km	15.70	20	m3	10	
殻運搬	無筋Co ４tDT　L=4.5km	0.20	0.2	m3	0.1	
残土処分費		28.20	30	t	10	
Co殻処分費	無筋Co	0.47	0.5	t	0.1	

機械設備工総括表

補　助

名　　称	規　　格	数　量	設計数量	単位	数位	備　　考
材料費		1.00	1	式	1	
一般労務費		1.00	1	式	1	
普通作業員	据付			人	1	
特殊作業員				人	1	
ダクト工				人	1	
設備機械工	据付			人	1	
技術労務費		1.00	1	式	1	
機械設備据付工	据付			人	1	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	1.電気計装設備工				
	【機器費】				
	計装テレメータ盤	屋外自立形 800W×800D×2100H	面	1.0	
	緊急遮断弁操作盤	屋外自立形 800W×800D×2100H	面	1.0	
	テレメータ装置	1：1方式	組	1.0	
		送水第二ポンプ室⇔配水池			
		Ai：8 Di：16程度			
	配水池水位計	投込み式	組	2.0	
	送水流量計	電磁 水中形 φ250	組	1.0	
	配水流量計	電磁 水中形 φ80	組	1.0	
	送水緊急遮断弁	FCD 内外面粉体塗装 φ350 10K	台	1.0	
		100V 0.1kW			
	配水緊急遮断弁	FCD 内外面粉体塗装 φ100 10K	台	1.0	
		100V 0.04kW			
	酸素検知警報計		台	1.0	
	流量計緊急遮断弁室電極	3P	組	1.0	
	【直接材料費】				
	低圧ケーブル	600V EM-CET 38sq	m	185.0	
	低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5sq-3c	m	29.0	
	低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5sq-2c	m	5.0	
	低圧ケーブル	600V EM-CE 3.5sq-3c	m	118.0	
	低圧ケーブル	600V EM-CE 2sq-3c	m	30.0	
	制御ケーブル	EM-CEE 2sq-20c	m	5.0	
	制御ケーブル	EM-CEE 2sq-15c	m	55.0	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	制御ケーブル	EM-CEE 2sq-4c	m	30.0	
	制御ケーブル	EM-CEE 2sq-3c	m	33.0	
	制御ケーブル	EM-CEE-S 2sq-2c	m	168.0	
	LANケーブル		m	185.0	
	電線	EM-IE 14sq	m	182.0	
	電線	EM-IE 8sq	m	7.0	
	電線	EM-IE 3.5sq	m	30.0	
	電線	EM-IE 2sq	m	130.0	
	電線	EM-IE 2.0mm	m	52.0	
	電線	EM-IE 1.6mm	m	125.0	
	厚鋼電線管	GP 36mm	m	11.0	
	厚鋼電線管	GP 28mm	m	5.0	
	厚鋼電線管	GP 22mm	m	116.0	
	厚鋼電線管	GP 16mm	m	73.0	
	金属製可とう電線管	＃ 38mm	m	1.0	
	金属製可とう電線管	＃ 24mm	m	6.0	
	金属製可とう電線管	＃ 17mm	m	1.0	
	波付硬質合成樹脂管	FEP φ80	m	201.0	
	波付硬質合成樹脂管	FEP φ50	m	217.0	
	波付硬質合成樹脂管	FEP φ30	m	27.0	
	ベルマウス	FEP φ80	個	14.0	
	ベルマウス	FEP φ50	個	9.0	
	ベルマウス	FEP φ30	個	1.0	
	プルボックス	SUS･WP 350×350×300	個	1.0	
	プルボックス	SUS･WP 300×300×200	個	1.0	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	プルボックス	SUS･WP 150×150×100	個	3.0	
	プルボックス	SUS･WP 100×100×100	個	3.0	
	端末処理材	600V EM-CET 38sq 屋内	組	2.0	
	街路灯	LED	個	1.0	
	鋼管ポール	ベース式 5m	本	1.0	
	アンカーフレーム		個	1.0	
	電灯分電盤	50A×6P	個	1.0	
	防水コンセント	2P15AE×2	個	2.0	
	防水スイッチ	3W15A×1	個	2.0	
	露出ボックス	2個用	個	2.0	
	露出ボックス	1個用	個	2.0	
	取付枠		個	4.0	
	プレート	新金属ﾌﾟﾚｰﾄ　1～3	個	4.0	
	照明器具	LED直付型40形 防湿型･防雨型 W150	個	4.0	
	接地棒	φ14×1500	本	1.0	
	同上リード端子		本	1.0	
	地中埋設標	ｺﾝｸﾘｰﾄ製	本	1.0	
	地中埋設標	鋲	本	5.0	
	埋設標識シート	2倍ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ W＝300	m	192.0	
	【一般労務費】				
	普通作業員	据付	人		
	電工	据付	人		
	特殊作業員		人		

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	【技術労務費】				
	技術者	据付	人		
	技術者	単体試験	人		
	技術者	組合せ試験	人		
	機械設備据付工	据付	人		
	【複合工費】				
	計装盤機能増設	テレメータ親局取付け	式	1.0	
	ハンドホール設置工	900×900×900	箇所	3.0	
	鋼管ポール据付工		箇所	1.0	
	舗装切断工	Co t=20cm以内	m	8.6	
	舗装版取壊し工	Co t=10cm以下	m2	2.4	
	機械掘削工	BH0.20m3	m3	61.6	
	山砂埋戻工	BH0.2m3 ﾀﾝﾊﾟ締固め共	m3	7.8	
	発生土埋戻工	BH0.2m3 ﾀﾝﾊﾟ締固め共	m3	46.0	
	下層路盤工	再生砕石 RC40 t=10cm	m2	2.4	
	コンクリート舗装工	Co t=10cm以下	m2	2.4	
	基面整正工		m2	11.7	
	基礎砕石工	厚さ17.5cm超20.0cm以下 再生ｸﾗｼｬﾗﾝ 40～0	m2	3.8	
	基礎砕石工	厚さ7.5cm超12.5cm以下 再生ｸﾗｼｬﾗﾝ 40～0	m2	5.6	
	型枠工	小型構造物	m2	7.9	
	コンクリート打設工	小型構造物 打設地上高さ2m以下 18-8-25 一般養生	m3	1.5	
	金ごて仕上げ工		m2	6.0	
	残土運搬工	土砂 L=10.9km以下 BH0.2m3 DT 4ｔ車	m3	15.7	

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	廃材運搬工	Co殻 L=4.5km以下 BH0.2m3 DT 4ｔ車	m3	0.2	
	廃材持込料	発生土	t	28.2	
	廃材持込料	Co殻	t	0.5	

直接労務費集計表

電気計装設備

項　目	技術者（据付）	機械設備据付工	普通作業員	電工	配管工	特殊作業員	設備機械工	技術者（単体試験）	技術者（組合試験）	
機器据付工(電気)集計表										
機器試験工										
機器据付工(機械)集計表										
材料(ｹｰﾌﾞﾙ･電線)集計表-1										
材料(ｹｰﾌﾞﾙ･電線)集計表-2										
材料(ｹｰﾌﾞﾙ･電線)集計表-3										
材料(ｹｰﾌﾞﾙ･電線)集計表-4										
材料(ｹｰﾌﾞﾙ･電線)集計表-5										
材料(ｹｰﾌﾞﾙ･電線)集計表-6										
材料(ｹｰﾌﾞﾙ･電線)集計表-7										
材料(電線管)集計表-1										
材料(電線管)集計表-2										
材料(電線管)集計表-3										
その他電気材料集計表-1										
その他電気材料集計表-2										
その他電気材料集計表-3										
その他電気材料集計表-4										
その他電気材料集計表-5										
計										
設計書計上数量										

設計書へ

機器据付工（電気）集計表

電気計装設備

名称	仕様	単位	数量	低減率	技術者		電工		技術者（単体調整）		普通作業員		歩掛算出	備考
					単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	資料頁	
計装テレメータ盤	屋内自立形 800W×1000D×2350H	面	1											計装盤.1
緊急遮断弁操作盤	屋外自立形 700W×500D×1800H	面	1											現場操作盤.1
配水池水位計	投込み式	台	2											発信機類
配水池水位計		台	2											変換器類
送水流量計	φ250	台	1											検出器
送水流量計		台	1											変換器類
配水流量計	φ80	台	1											検出器
配水流量計		台	1											変換器類
流量計緊急遮断弁室電極		台	1											液位検出端
酸素検知警報計		台	1											検出端
計														

労務集計表へ

機器試験工（電気）集計表

電気計装設備

名称	仕様	単 位	個 所	数量	技術者		電工						歩掛算出	備考
					単位工量	工量	単位工量	工量					資料頁	
計装テレメータ盤		負荷	1	1										動力制御盤
緊急遮断弁操作盤		負荷	1	2										動力制御盤
配水池水位計		ﾙｰﾌﾟ	1	2										計装設備
送水流量計		ﾙｰﾌﾟ	1	1										計装設備
配水流量計		ﾙｰﾌﾟ	1	1										計装設備
酸素検知警報計		ﾙｰﾌﾟ	1	1										計装設備
計														

労務集計表へ

機器据付工（機械）集計表

電気計装設備

機器名称	台数	単位重量 ton/台	種別	歩掛 人/台	歩掛 低減率	据付工 第１類	第２類	第３類	第４類	第５類	第６類	第７類	歩掛算出資料頁
緊急遮断弁　φ350	1	0.260	2										
緊急遮断弁　φ100	1	0.095	2										
		計											合計
		普通作業員											
		機械設備据付工											
		設備機械工											

労務集計表へ

材料（ケーブル・電線）集計表－1

電気計装設備

配線区間		600V EM-CET 38sq																			
自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
公園内動力変圧器盤	計装テレメータ盤			8.10	159.90																
合計値	（A）			8.10	159.90																
補完率	（B）	1.1																			
（C）＝（A）×（B）				8.91	175.89																
設計数量	（D）＝Σ（C）	184.80	→		185.0	→				→				→				→			
電工単位工量	（E）																				
電工量	（C）×（E）																				

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

材料（ケーブル・電線）集計表－2

電気計装設備

配　線　区　間		600V EM-CE				600V EM-CE				600V EM-CE				600V EM-CE							
		5.5sq				5.5sq				3.5sq				2sq							
		3c				2c				3c				3c							
自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室排水ポンプ											8.00	20.10								
計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室電灯分電盤			6.30	20.10																
計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤							3.00	1.30												
計装テレメータ盤	酸素検知警報計															7.50	20.10				
計装テレメータ盤	給気ファン											7.80	20.10								
計装テレメータ盤	排気ファン											10.90	20.10								
計装テレメータ盤	街路灯											6.50	13.40								
合計値　（A）				6.30	20.10			3.00	1.30			33.20	73.70			7.50	20.10				
補完率　（B）		1.1				1.1				1.1				1.1							
（C）＝（A）×（B）				6.93	22.11			3.30	1.43			36.52	81.07			8.25	22.11				
設計数量　（D）＝Σ（C）		29.04	→		29.0	4.73	→		5.0	117.59	→		118.0	30.36	→		30.0	→			
電工単位工量　（E）																					
電工量　（C）×（E）																					

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

材料（ケーブル・電線）集計表－3

電気計装設備

配　線　区　間		EM-CEE				EM-CEE				EM-CEE				EM-CEE							
		2sq				2sq				2sq				2sq							
		20c				15c				4c				3c							
自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室電極															9.70	20.10				
緊急遮断弁操作盤	計装テレメータ盤			3.00	1.30																
緊急遮断弁操作盤	送水緊急遮断弁							5.00	18.80												
緊急遮断弁操作盤	配水緊急遮断弁							7.30	18.80												
酸素検知警報計	計装テレメータ盤											7.50	20.10								
合計値　（A）				3.00	1.30			12.30	37.60			7.50	20.10			9.70	20.10				
補完率　（B）		1.1				1.1				1.1				1.1							
（C）＝（A）×（B）				3.30	1.43			13.53	41.36			8.25	22.11			10.67	22.11				
設計数量　（D）＝Σ（C）		4.73	→		5.0	54.89	→		55.0	30.36	→		30.0	32.78	→		33.0	→			
電工単位工量　（E）																					
電工量　（C）×（E）																					

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

材料（ケーブル・電線）集計表－4

電気計装設備

配　線　区　間		EM-CEE-S																			
		2sq																			
		2c																			
自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
計装テレメータ盤	No.1配水池水位計			22.50	12.20																
計装テレメータ盤	No.2配水池水位計			19.50	12.20																
計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤			6.00	2.60																
緊急遮断弁操作盤	送水緊急遮断弁			5.00	18.80																
緊急遮断弁操作盤	配水緊急遮断弁			7.30	18.80																
酸素検知警報計	計装テレメータ盤			7.50	20.10																
合計値　（A）				67.80	84.70																
補完率　（B）		1.1																			
（C）＝（A）×（B）				74.58	93.17																
設計数量　（D）＝Σ（C）		167.75	→		168.0	→				→				→				→			
電工単位工量　（E）																					
電工量　（C）×（E）																					

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

材料（ケーブル・電線）集計表－5

電気計装設備

配線区間		LANケーブル								専用ケーブル				専用ケーブル							
										(励磁)				(信号)							
										EM-CEE-S 1.25sq-4c相当				EM-CEE-S 1.25sq-5c相当							
自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
公園内動力変圧器盤	計装テレメータ盤			8.10	159.90																
計装テレメータ盤	送水流量計											7.70	20.10			7.70	20.10				
計装テレメータ盤	配水流量計											10.20	20.10			10.20	20.10				
合計値	(A)			8.10	159.90							17.90	40.20			17.90	40.20				
補完率	(B)	1.1								1.1				1.1							
(C) ＝ (A) × (B)				8.91	175.89							19.69	44.22			19.69	44.22				
設計数量	(D) ＝Σ (C)	184.80	→		185.0	→				63.91	→		64.0	63.91	→		64.0	→			
電工単位工量	(E)																				
電工量	(C) × (E)																				

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

材料（ケーブル・電線）集計表－6

電気計装設備

配線区間		EM-IE				EM-IE				EM-IE				EM-IE							
		14sq				8sq				3.5sq				2sq							
自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
公園内動力変圧器盤	計装テレメータ盤			5.80	159.90																
計装テレメータ盤	No.1配水池水位計															20.50	12.20				
計装テレメータ盤	No.2配水池水位計															17.50	12.20				
計装テレメータ盤	送水流量計															6.70	20.10				
計装テレメータ盤	配水流量計															9.20	20.10				
計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室電灯分電盤											5.30	20.10								
計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤											1.00	1.30								
計装テレメータ盤	ED							6.30													
合計値	（A）			5.80	159.90			6.30				6.30	21.40			53.90	64.60				
補完率	（B）	1.1				1.1				1.1				1.1							
（C）＝（A）×（B）				6.38	175.89			6.93				6.93	23.54			59.29	71.06				
設計数量	（D）＝Σ（C）	182.27	→		182.0	6.93	→		7.0	30.47	→		30.0	130.35	→		130.0	→			
電工単位工量	（E）																				
電工量	（C）×（E）																				

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

材料（ケーブル・電線）集計表－7

電気計装設備

配線区間		EM-IE				EM-IE															
		2.0mm				1.6mm															
自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	①			2.50				56.40													
流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	①							57.00													
流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	②			44.40																	
合計値	（A）			46.90				113.40													
補完率	（B）	1.1				1.1															
（C）＝（A）×（B）				51.59				124.74													
設計数量	（D）＝Σ（C）	51.59	→		52.0	124.74	→		125.0		→				→				→		
電工単位工量	（E）＝（E０）																				
電工量	（C）×（E）																				

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

材料（電線管）集計表－1

電気計装設備

配　線　区　間		厚鋼電線管				厚鋼電線管				厚鋼電線管				厚鋼電線管							
		GP				GP				GP				GP							
		36㎜				28㎜				22㎜				16㎜							
自	至	埋込	露出			埋込	露出			埋込	露出			埋込	露出						
計装テレメータ盤	No.1配水池水位計										20.50										
計装テレメータ盤	No.2配水池水位計										17.50										
計装テレメータ盤	送水流量計(励磁)										5.90										
計装テレメータ盤	送水流量計(信号)										5.90										
計装テレメータ盤	配水流量計(励磁)										8.40										
計装テレメータ盤	配水流量計(信号)										8.40										
計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室排水ポンプ										6.50										
計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室電極														8.20						
計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室電灯分電盤						4.80														
緊急遮断弁操作盤	送水緊急遮断弁		3.00								3.00										
緊急遮断弁操作盤	配水緊急遮断弁		5.50								5.50										
計装テレメータ盤	酸素検知警報計										5.50										
酸素検知警報計	計装テレメータ盤										5.50				5.50						
計装テレメータ盤	給気ファン		1.50								4.80										
計装テレメータ盤	排気ファン										7.90										
流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	①														0.50						
流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	①														18.80						
流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	①														19.00						
流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	②														14.80						
合計値　（A）			10.00				4.80				105.30				66.80						
補完率　（B）		1.1				1.1				1.1				1.1							
（C）＝（A）×（B）			11.00				5.28				115.83				73.48						
設計数量　（D）＝Σ（C）		11.00	→		11.0	5.28	→		5.0	115.83	→		116.0	73.48	→		73.0	→			
電工単位工量　（E）＝（E０）																					
電工量　（C）×（E）																					

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・電工量は労務集計表へ

材料（電線管）集計表－2

電気計装設備

配　線　区　間		金属製可とう電線管				金属製可とう電線管				金属製可とう電線管											
		38㎜				24㎜				17㎜											
自	至																				
計装テレメータ盤	No.1配水池水位計					0.50															
計装テレメータ盤	No.2配水池水位計					0.50															
計装テレメータ盤	送水流量計(励磁)					0.30															
計装テレメータ盤	送水流量計(信号)					0.30															
計装テレメータ盤	配水流量計(励磁)					0.30															
計装テレメータ盤	配水流量計(信号)					0.30															
緊急遮断弁操作盤	送水緊急遮断弁	0.50				0.50															
緊急遮断弁操作盤	配水緊急遮断弁	0.30				0.30															
計装テレメータ盤	酸素検知警報計					0.50															
酸素検知警報計	計装テレメータ盤					0.50				0.50											
計装テレメータ盤	給気ファン					0.60															
計装テレメータ盤	排気ファン					0.60															
合計値　（A）		0.80				5.20				0.50											
補完率　（B）		1.1				1.1				1.1											
（C）＝（A）×（B）		0.88				5.72				0.55											
設計数量　（D）＝Σ（C）		0.88	→		1.0	5.72	→		6.0	0.55	→		1.0	→				→			
電工単位工量　（E）＝（E０）																					
電工量　（C）×（E）																					

電工量小計　＝	

設計数量は設計書へ・電工量は労務集計表へ

材料（電線管）集計表－3

電気計装設備

配線区間		波付硬質合成樹脂管	波付硬質合成樹脂管	波付硬質合成樹脂管		
		FEP	FEP	FEP		
		φ80	φ50	φ30		
自	至					
H･H-4	計装テレメータ盤	159.90	159.90			
計装テレメータ盤	P･B-B			10.90		
計装テレメータ盤	P･B-A	18.80	37.60			
計装テレメータ盤	街路灯			13.40		
計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤	3.90				
合計値	（A）	182.60	197.50	24.30		
補完率	（B）	1.1	1.1	1.1		
（C）＝（A）×（B）		200.86	217.25	26.73		
設計数量	（D）＝Σ（C）	200.86 → 201.0	217.25 → 217.0	26.73 → 27.0	→	→
電工単位工量	（E）＝（E０）					
電工量	（C）×（E）					

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・電工量は労務集計表へ

その他電気材料集計表－1

電気計装設備

		ハンドホール	ベルマウス			異形管接続材料		プルボックス			
		900□×900	FEP	FEP	FEP	FEP	FEP	350□×300	300□×200	150□×100	100□×100
			φ80	φ50	φ30	φ50	φ30	SUS・WP	SUS・WP	SUS・WP	SUS・WP
場内		3									
配水池										1	
流量計室								1	1	2	3
H・H-4	H・H-1		2	2							
H・H-1	H・H-2		2	2							
H・H-2	H・H-3		2	2							
H・H-3	計装テレメータ盤		1	1							
計装テレメータ盤	P・B-B				1						
計装テレメータ盤	P・B-B		1	2							
計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤		6								
合計値	（A）	3	14	9	1			1	1	3	3
補完率	（B）	1	1	1	1			1	1	1	1
（C）＝（A）×（B）		3	14	9	1			1	1	3	3
設計数量	（D）＝Σ（C）	3	14	9	1			1	1	3	3
電工単位工量	（E）＝（E０）										
電工量	（C）×（E）										

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

その他電気材料集計表－2

電気計装設備

配　線　区　間		端末処理材									
		600V EM-CET									
		38sq									
自	至	屋外	屋内								
公園内動力変圧器盤	計装テレメータ盤		2								
合計値　（A）			2								
補完率　（B）			1								
（C）＝（A）×（B）			2								
設計数量　（D）＝Σ（C）			2								
電工単位工量　（E）＝（E０）											
電工量　（C）×（E）											

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

その他電気材料集計表－3

電気計装設備

		街路灯	鋼管ポール		ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑ		電灯分電盤	防水コンセント	防水スイッチ	照明器具	
		LED	ベース式					2P15AE×2	3W15A×1		
			5m								
場内		1	1		1						
流量計室							1	2	2	4	
合計値	（A）	1	1		1		1	2	2	4	
補完率	（B）	1	1		1		1	1	1	1	
（C）＝（A）×（B）		1	1		1		1	2	2	4	
設計数量	（D）＝Σ（C）	1	1		1		1	2	2	4	
電工単位工量	（E）＝（E０）										
電工量	（C）×（E）										

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

その他電気材料集計表－4

電気計装設備

		接地銅板	接地	接地埋設標	地中埋設標					ケーブル	
		900□×1.5ｔ	φ14	黄銅製	ｺﾝｸﾘｰﾄ製	鋲				埋設標識シート	
			1500							W300	W150
			2連結							ﾀﾞﾌﾞﾙ	
場内			1		1	5				183.1	
合計値	（A）		1		1	5				183.1	
補完率	（B）		1		1	1				1.05	
（C）＝（A）×（B）			1		1	5				192.26	
設計数量	（D）＝Σ（C）		1		1	5				192.0	
電工単位工量	（E）＝（E０）										
電工量	（C）×（E）										

電工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

その他電気材料集計表－5

電気計装設備

		削孔費									
		φ80	φ50	φ30							
		100mm程度	100mm程度	100mm程度							
H･H-4	H･H-1	2	2								
H･H-1	H･H-2	2	2								
H･H-2	H･H-3	2	2								
H･H-3	計装テレメータ盤	1	1								
計装テレメータ盤	P･B-B			1							
計装テレメータ盤	P･B-B	1	2								
計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤	6									
合計値　（A）		14	9	1							
補完率　（B）		1	1	1							
（C）＝（A）×（B）		14	9	1							
設計数量　（D）＝Σ（C）		14	9	1							
特作単位工量　（E）＝（E０）											
特作工量　（C）×（E）											

特殊作業員量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

複合工集計表－1

電気計装設備

名　　称	切断工	コンクリート取壊工	掘削工	人力掘削工	埋戻工			路盤工		舗装工	運搬工			廃材持込料	
					砂	RC40	発生土	RC40	M30		残土	As	Co	発生土	
	m	m2	m3	m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	m3	m3	m3	t	
1.管路土工	8.600	2.365	2.021		0.554		1.182	2.365		2.365	0.838		0.236	1.508	
2.管路土工			7.035		1.728		5.159				1.876			3.376	
3.管路土工			2.946		0.915		1.952				0.994			1.789	
4.管路土工			4.565		1.419		3.025				1.540			2.772	
5.管路土工			1.570		0.488		1.040				0.530			0.954	
6.管路土工			6.230		1.923		4.130				2.100			3.780	
7.管路土工			2.932		0.799		2.125				0.807			1.452	
8.接地土工			1.320				1.320								
9.接地極			0.406				0.406								
10.ハンドホール			24.378				19.515				4.863			8.753	
11.盤基礎			3.630				1.824				1.806			3.250	
12.街路灯			4.572				4.273				0.299			0.538	
	8.600	2.365	61.605		7.826		45.951	2.365		2.365	15.653		0.236	28.172	
	8.6	2.4	61.6		7.8		46.0	2.4		2.4	15.7		0.2	28.2	

設計書へ

複合工集計表－2

電気計装設備

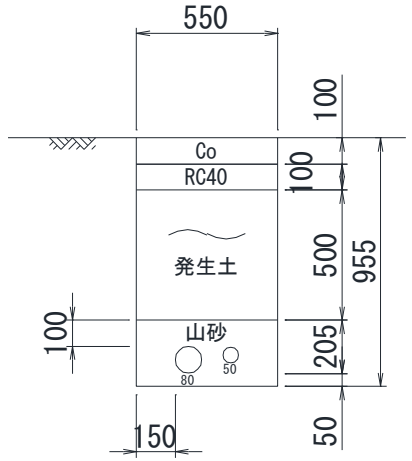
名　　称	鋼材加工	カッター入れ	目荒し工	基面整正工	基礎砕石工		溶融金網	型枠工			コンクリート工			金ごて工	防塵塗装工
					t 20	t 10	設置工	小型	鉄筋	無筋	小型	鉄筋	無筋	仕上げ工	
	kg	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m3	m3	m3	m2	m2
10. ハンドホール				5.070		5.070									
11. 盤基礎				3.780	3.780			5.900			1.200			5.710	
12. 街路灯				2.890		0.490		2.000			0.250			0.250	
				11.740	3.780	5.560		7.900			1.450			5.960	
				11.7	3.8	5.6		7.9			1.5			6.0	

設計書へ

複合工計算書－1

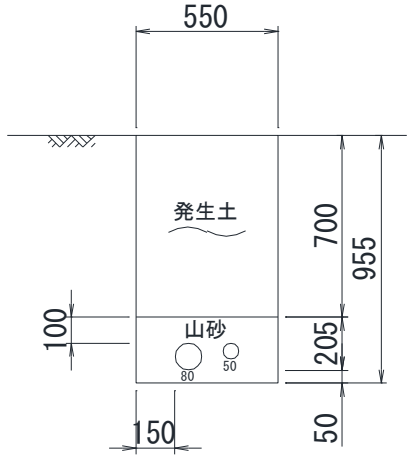
電気計装設備

			項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量
1	管路土工	4.3m	切断工	1.0×2	2.000	m 8.600	下層路盤工	0.55×1.0	0.550	m2 2.365
			取壊工	0.55×1.0	0.550	m2 2.365	上層路盤工			m2
			掘削工	0.55×0.855×1.0	0.470	m3 2.021	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工	0.55×1.0	0.550	m2 2.365
			砂埋戻工	0.55×0.255×1.0＝0.14 控除＝0.011	0.129	m3 0.554	処分工	0.47－0.275	0.195	m3 0.838
			埋戻工	0.55×0.5×1.0	0.275	m3 1.182	塊処分	0.55×0.1	0.055	m3 0.236
							処分費			t



控除体積＝　0.011m3

			項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量	項　目	計　　算　　式	単位数量	数　量
2	管路土工	13.4m	切断工			m	下層路盤工			m2
			取壊工			m2	上層路盤工			m2
			掘削工	0.55×0.955×1.0	0.525	m3 7.035	舗装工			m2
			砂埋戻工	0.55×0.255×1.0＝0.14 控除＝0.011	0.129	m3 1.728	処分工	0.525－0.385	0.140	m3 1.876
			埋戻工	0.55×0.7×1.0	0.385	m3 5.159	塊処分			m3
							処分費			t

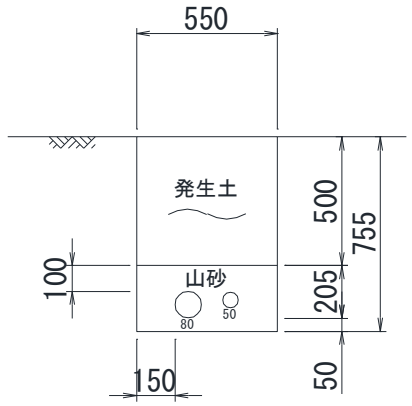


控除体積＝　0.011m3

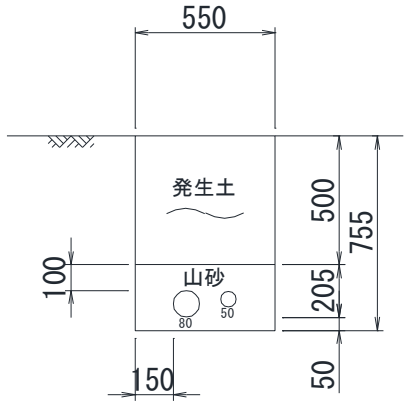
複合工計算書－2

電気計装設備

	項目	計算式	単位数量	数量	項目	計算式	単位数量	数量
3 管路土工 7.1m	切断工			m	下層路盤工			m2
	取壊工			m2	上層路盤工			m2
	掘削工	0.55×0.755×1.0	0.415	m3 2.946	舗装工			m2
	砂埋戻工	0.55×0.255×1.0＝0.14 控除＝0.011	0.129	m3 0.915	処分工	0.415－0.275	0.140	m3 0.994
	埋戻工	0.55×0.5×1.0	0.275	m3 1.952	塊処分			m3
					処分費			t
4 管路土工 11.0m	切断工			m	下層路盤工			m2
	取壊工			m2	上層路盤工			m2
	掘削工	0.55×0.755×1.0	0.415	m3 4.565	舗装工			m2
	砂埋戻工	0.55×0.255×1.0＝0.140 控除＝0.011	0.129	m3 1.419	処分工	0.415－0.275	0.140	m3 1.540
	埋戻工	0.55×0.5×1.0	0.275	m3 3.025	塊処分			m3
					処分費			t



控除体積＝ 0.011m3

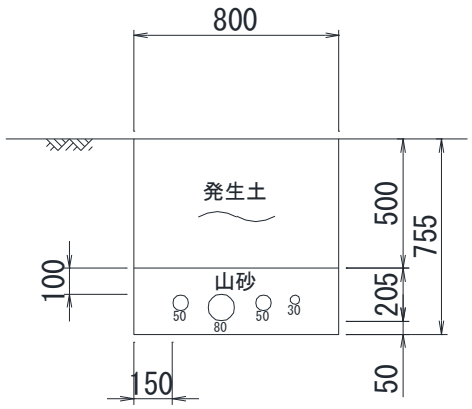


控除体積＝ 0.013m3

複合工計算書－3

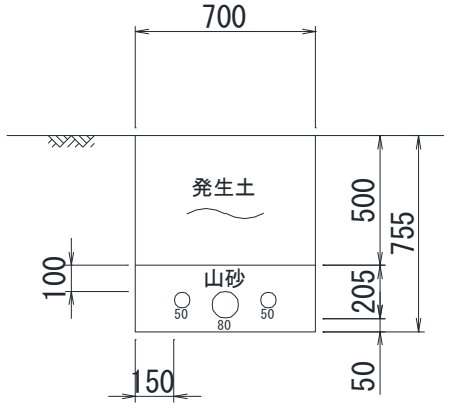
電気計装設備

	項目	計算式	単位数量	数量	項目	計算式	単位数量	数量
5 管路土工 2.6m	切断工			m	下層路盤工			m2
	取壊工			m2	上層路盤工			m2
	掘削工	0.8×0.755×1.0	0.604	m3 1.570	舗装工			m2
	砂埋戻工	0.8×0.255×1.0＝0.204 控除＝0.016	0.188	m3 0.488	処分工	0.604－0.4	0.204	m3 0.530
	埋戻工	0.8×0.5×1.0	0.400	m3 1.040	塊処分			m3
					処分費			t



控除体積＝ 0.016m3

	項目	計算式	単位数量	数量	項目	計算式	単位数量	数量
6 管路土工 11.8m	切断工			m	下層路盤工			m2
	取壊工			m2	上層路盤工			m2
	掘削工	0.7×0.755×1.0	0.528	m3 6.230	舗装工			m2
	砂埋戻工	0.7×0.255×1.0＝0.178 控除＝0.015	0.163	m3 1.923	処分工	0.528－0.35	0.178	m3 2.100
	埋戻工	0.7×0.5×1.0	0.350	m3 4.130	塊処分			m3
					処分費			t

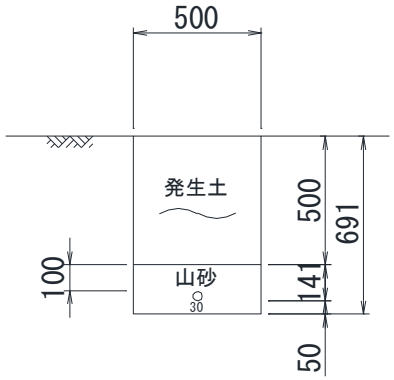


控除体積＝ 0.015m3

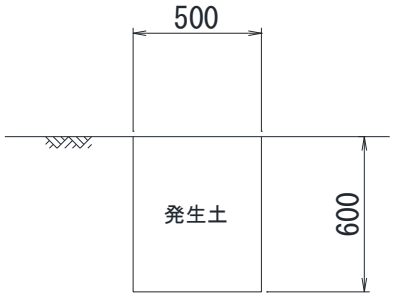
複合工計算書－4

電気計装設備

			項　目	計　算　式	単位数量	数　量	項　目	計　算　式	単位数量	数　量
7	管路土工	8.5m	切断工			m	下層路盤工			m2
			取壊工			m2	上層路盤工			m2
			掘削工	0.5×0.691×1.0	0.345	m3 2.932	舗装工			m2
							処分工	0.345－0.25	0.095	m3 0.807
			砂埋戻工	0.5×0.191×1.0＝0.095 控除＝0.001	0.094	m3 0.799				
							塊処分			m3
			埋戻工	0.5×0.5×1.0	0.250	m3 2.125				
							処分費			t
8	接地土工	4.4m	切断工			m	下層路盤工			m2
			取壊工			m2	上層路盤工			m2
			掘削工	0.5×0.6×1.0	0.300	m3 1.320	舗装工			m2
			砂埋戻工			m3	処分工			m3
							塊処分			m3
			埋戻工		0.300	m3 1.320				
							処分費			t



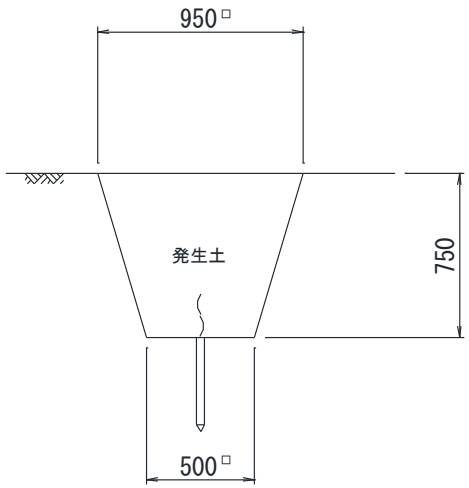
控除体積＝　0.001m3



複合工計算書－5

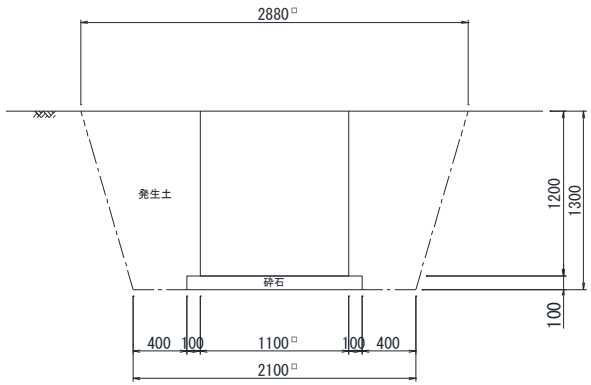
電気計装設備

			項　目	計　算　式	単位数量	数　量	項　目	計　算　式	単位数量	数　量
9	接地極	1ヶ所	切断工			m	下層路盤工			m2
			取壊工			m2	上層路盤工			m2
			掘削工	1/3×(0.95^2+0.95×0.5+0.5^2) ×0.75	0.406	m3 0.406	舗装工			m2
			砂埋戻工			m3	処分工			m3
							塊処分			m3
			埋戻工		0.406	m3 0.406	処分費			t
			切断工			m	下層路盤工			m2
			取壊工			m2	上層路盤工			m2
			掘削工			m3	舗装工			m2
			砂埋戻工			m3	処分工			m3
							塊処分			m3
			埋戻工			m3	処分費			t



電気計装設備

10	ハンドホール	3ヶ所

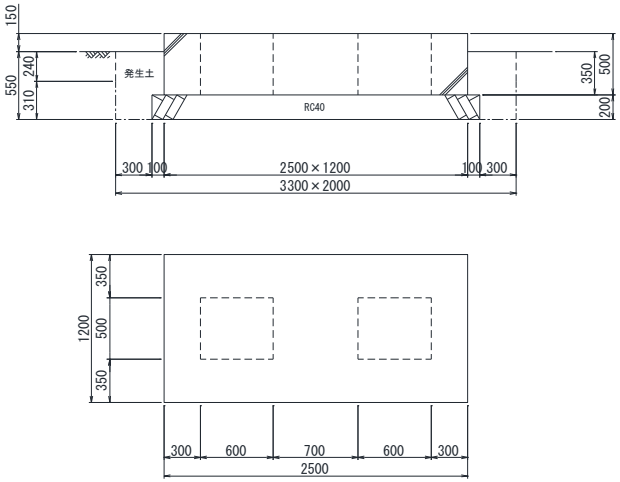


項目	計算式	単位数量	数量	項目	計算式	単位数量	数量
切断工			m	差筋ｱﾝｶｰ			t
取壊し工			m2	型枠工(小型)			m2
掘削工	1/3×(2.88^2+2.88×2.1+2.1^2) ×1.3	8.126	m3 24.378	型枠工(円型)			m2
				均しｺﾝｸﾘｰﾄ工			m2
基面整正工	1.3×1.3	1.690	m2 5.070				
基礎砕石工	1.3×1.3	1.690	m2 5.070	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工(小型)			m3
埋戻工(RC40)			m3	金ごて仕上げ工			m2
埋戻工(M30)			m3	モルタル工			m2
埋戻工	8.126 控除 1.69×0.1＝0.169 1.1×1.1×1.2＝1.452	6.505	m3 19.515	処分工	8.126-6.505＝1.621	1.621	m3 4.863
鉄筋加工組立工			t	塊処分			m3
				処分費			t

複合工計算書－7

電気計装設備

11	盤基礎工	1ヶ所



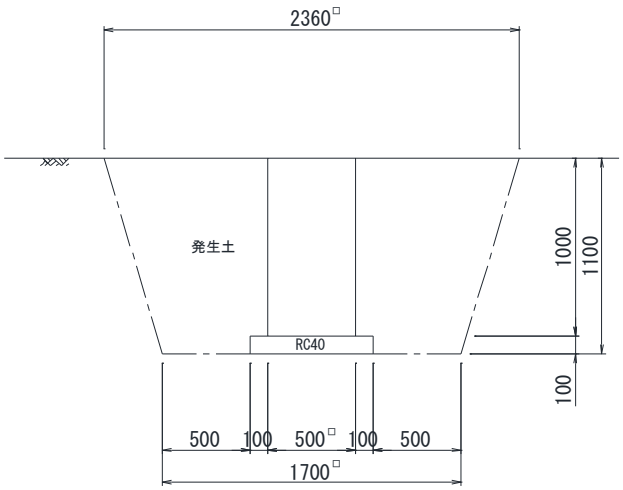
項目	計算式	単位数量	数量
切断工			m
取壊工			m2
掘削工	3.3×2.0×0.55	3.630	m3 3.630
基面整正工	2.7×1.4	3.780	m2 3.780
基礎砕石工	2.7×1.4	3.780	m2 3.780
埋戻工(RC40)			m3
埋戻工(M30)			m3
埋戻工	掘削工：3.63 控除 躯体：2.5×1.2×0.35＝1.05 砕石：3.78×0.2＝0.756	1.824	m3 1.824

項目	計算式	単位数量	数量
下層路盤工			m2
上層路盤工			m2
舗装工			m2
型枠工(均し)			m2
型枠工(小型)	(2.5＋1.2)×2×0.5＝3.7 (0.6＋0.5)×2×0.5×2＝2.2	5.900	m2 5.900
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ工			m2
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工(小型)	2.5×1.2×0.5＝1.5 控除 0.6×0.5×0.5×2＝0.3	1.200	m3 1.200
金ごて仕上げ工	2.5×1.2＝3.0 (2.5＋1.2)×2×0.15＝1.11 (0.6＋0.5)×2×0.5×2＝2.2 控除 0.6×0.5×2＝0.6	5.710	m2 5.710
処分工	3.63－1.824	1.806	m3 1.806
塊処分			m3
処分費			t

複合工計算書－8

電気計装設備

12	街路灯基礎	1ヶ所



項目	計算式	単位数量	数量	項目	計算式	単位数量	数量
切断工			m	下層路盤工			m2
取壊工			m2	上層路盤工			m2
掘削工	1/3×(2.36^2+2.36×1.7+1.7^2)	4.572	m3 4.572	舗装工			m2
	×1.1			型枠工(均し)			m2
基面整正工	1.7×1.7	2.890	m2 2.890	型枠工(小型)	0.5×1.0×4	2.000	m2 2.000
基礎砕石工	0.7×0.7	0.490	m2 0.490	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ工			m2
埋戻工(RC40)			m3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工(小型)	0.5×0.5×1.0	0.250	m3 0.250
埋戻工(M30)			m3	金ごて仕上げ工	0.5×0.5	0.250	m2 0.250
埋戻工	掘削：4.572	4.273	m3 4.273	処分工	4.572－4.273	0.299	m3 0.299
	控除			塊処分			m3
	躯体：0.5×0.5×1.0＝0.25			処分費			t
	砕石：0.49×0.1＝0.049						

配線拾い出し表－1

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
1	公園内 動力変圧器盤	計装 テレメータ盤	600V EM-CET 38sq	P&D		
				RACK		
				CP	8.1	1.0＋ 0.3＋ 0.6＋ 4.7＋ 0.5＋ 1.0
				FEP	159.9	2.2＋16.7＋48.3＋52.6＋18.8＋ 7.5＋ 4.5＋ 9.0＋ 0.3
2	公園内 動力変圧器盤	計装 テレメータ盤	LANケーブル	P&D		
				RACK		
				CP	8.1	1.0＋ 0.3＋ 0.6＋ 4.7＋ 0.5＋ 1.0
				FEP	159.9	2.2＋16.7＋48.3＋52.6＋18.8＋ 7.0＋ 4.5＋ 9.5＋ 0.3
3	計装 テレメータ盤	No.1 配水池水位計	EM-CEE-S 2sq-2c	P&D		
				RACK		
				CP	22.5	1.0＋ 0.5＋ 8.9＋10.6＋ 1.0＋ 0.5
				FEP	12.2	1.3＋ 3.2＋ 7.0＋ 0.7
			GP φ22	露出	20.5	8.9＋10.6＋ 1.0
			＃ φ24		0.5	0.5
4	計装 テレメータ盤	No.2 配水池水位計	EM-CEE-S 2sq-2c	P&D		
				RACK		
				CP	19.5	1.0＋ 0.5＋ 8.9＋ 7.6＋ 1.0＋ 0.5
				FEP	12.2	1.3＋ 3.2＋ 7.0＋ 0.7
			GP φ22	露出	17.5	8.9＋ 7.6＋ 1.0
			＃ φ24		0.5	0.5

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－2

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
5	計装 テレメータ盤	送水流量計	専用ケーブル (励磁)	P&D		
				RACK		
				CP	7.7	1.0＋ 0.5＋ 2.9＋ 1.4＋ 1.1＋ 0.5＋ 0.3
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	5.9	2.9＋ 1.4＋ 1.1＋ 0.5
			＃ φ24		0.3	0.3
6	計装 テレメータ盤	送水流量計	専用ケーブル (信号)	P&D		
				RACK		
				CP	7.7	1.0＋ 0.5＋ 2.9＋ 1.4＋ 1.1＋ 0.3＋ 0.5
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	5.9	2.9＋ 1.4＋ 1.1＋ 0.5
			＃ φ24		0.3	0.3
7	計装 テレメータ盤	配水流量計	専用ケーブル (励磁)	P&D		
				RACK		
				CP	10.2	1.0＋ 0.5＋ 2.9＋ 1.4＋ 3.6＋ 0.5＋ 0.3
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	8.4	2.9＋ 1.4＋ 3.6＋ 0.5
			＃ φ24		0.3	0.3
8	計装 テレメータ盤	配水流量計	専用ケーブル (信号)	P&D		
				RACK		
				CP	10.2	1.0＋ 0.5＋ 2.9＋ 1.4＋ 3.6＋ 0.5＋ 0.3
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	8.4	2.9＋ 1.4＋ 3.6＋ 0.5
			＃ φ24		0.3	0.3

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－3

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
9	計装 テレメータ盤	流量計 緊急遮断弁室 排水ポンプ	600V EM-CE 3.5sq-3c	P&D		
				RACK		
				CP	8.0	1.0＋ 0.5＋ 5.5＋ 1.0
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	6.5	5.5＋ 1.0
10	計装 テレメータ盤	流量計 緊急遮断弁室 電極	EM-CEE 2sq-3c	P&D		
				RACK		
				CP	9.7	1.0＋ 0.5＋ 2.4＋ 4.8＋ 1.0
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ16	露出	8.2	2.4＋ 4.8＋ 1.0
11	計装 テレメータ盤	流量計 緊急遮断弁室 電灯分電盤	600V EM-CE 5.5sq-3c	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	1.0＋ 0.5＋ 2.4＋ 2.4
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ28	露出	4.8	2.4＋ 2.4
12	計装 テレメータ盤	緊急遮断弁 操作盤	600V EM-CE 5.5sq-2c	P&D		
				RACK		
				CP	3.0	1.0＋ 0.5＋ 0.5＋ 1.0
				FEP	1.3	1.3

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－4

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
13	計装 テレメータ盤	緊急遮断弁 操作盤	EM-CEE-S 2sq-2c×2	P&D		
				RACK		
				CP	6.0	1.0＋ 0.5＋ 0.5＋ 1.0＝ 3.0× 2
				FEP	2.6	1.3× 2
14	緊急遮断弁 操作盤	計装 テレメータ盤	EM-CEE 2sq-20c	P&D		
				RACK		
				CP	3.0	1.0＋ 0.5＋ 0.5＋ 1.0
				FEP	1.3	1.3
15	緊急遮断弁 操作盤	送水緊急遮断弁	EM-CEE 2sq-15c	P&D		
				RACK		
				CP	5.0	1.0＋ 0.5＋ 1.4＋ 1.1＋ 0.5＋ 0.5
				FEP	18.8	3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ36	露出	3.0	1.4＋ 1.1＋ 0.5
			＃ φ38		0.5	0.5
16	緊急遮断弁 操作盤	送水緊急遮断弁	EM-CEE-S 2sq-2c	P&D		
				RACK		
				CP	5.0	1.0＋ 0.5＋ 1.4＋ 1.1＋ 0.5＋ 0.5
				FEP	18.8	3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	3.0	1.4＋ 1.1＋ 0.5
			＃ φ24		0.5	0.5

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－5

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
17	緊急遮断弁操作盤	配水緊急遮断弁	EM-CEE 2sq-15c	P&D		
				RACK		
				CP	7.3	1.0＋ 0.5＋ 1.4＋ 3.6＋ 0.5＋ 0.3
				FEP	18.8	3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ36	露出	5.5	1.4＋ 3.6＋ 0.5
			＃ φ38		0.3	0.3
18	緊急遮断弁操作盤	配水緊急遮断弁	EM-CEE-S 2sq-2c	P&D		
				RACK		
				CP	7.3	1.0＋ 0.5＋ 1.4＋ 3.6＋ 0.5＋ 0.3
				FEP	18.8	3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	5.5	1.4＋ 3.6＋ 0.5
			＃ φ24		0.3	0.3
19	計装テレメータ盤	酸素検知警報計	600V EM-CE 2sq-3c	P&D		
				RACK		
				CP	7.5	1.0＋ 0.5＋ 2.4＋ 3.1＋ 0.5
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	5.5	2.4＋ 3.1
			＃ φ24		0.5	0.5
20	酸素検知警報計	計装テレメータ盤	EM-CEE 2sq-4c	P&D		
				RACK		
				CP	7.5	0.5＋ 3.1＋ 2.4＋ 0.5＋ 1.0
				FEP	20.1	0.7＋ 3.1＋ 5.6＋ 6.2＋ 3.2＋ 1.3
			GP φ22	露出	5.5	3.1＋ 2.4
			＃ φ24		0.5	0.5

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－6

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
21	酸素検知警報計	計装 テレメータ盤	EM-CEE-S 2sq-2c	P&D		
				RACK		
				CP	7.5	0.5＋ 3.1＋ 2.4＋ 0.5＋ 1.0
				FEP	20.1	0.7＋ 3.1＋ 5.6＋ 6.2＋ 3.2＋ 1.3
			GP φ16	露出	5.5	3.1＋ 2.4
			＃ φ17		0.5	0.5
22	計装 テレメータ盤	給気ファン	600V EM-CE 3.5sq-3c	P&D		
				CP	7.8	1.0＋ 0.5＋ 1.5＋ 4.8
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ36	露出	1.5	1.5
			GP φ22	露出	4.8	4.8
			＃ φ24		0.6	0.6
23	計装 テレメータ盤	排気ファン	600V EM-CE 3.5sq-3c	P&D		
				RACK		
				CP	10.9	1.0＋ 0.5＋ 1.5＋ 2.4＋ 4.8＋ 0.7
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
			GP φ22	露出	7.9	2.4＋ 4.8＋ 0.7
			＃ φ24		0.6	0.6
24	計装 テレメータ盤	街路灯	600V EM-CE 3.5sq-3c	P&D		
				RACK		
				CP	6.5	1.0＋ 0.5＋ 5.0
				FEP	13.4	0.3＋ 9.0＋ 2.0＋ 1.5＋ 0.6

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－7

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
25	公園内 動力変圧器盤	計装 テレメータ盤	EM-IE 14sq	P&D		
				RACK		
				CP	5.8	0.6 ＋ 4.7 ＋ 0.5
				FEP	159.9	2.2 ＋ 16.7 ＋ 48.3 ＋ 52.6 ＋ 18.8 ＋ 7.5 ＋ 4.5 ＋ 9.0 ＋ 0.3
26	計装 テレメータ盤	No.1 配水池水位計	EM-IE 2sq	P&D		
				RACK		
				CP	20.5	0.5 ＋ 8.9 ＋ 10.6 ＋ 0.5
				FEP	12.2	1.3 ＋ 3.2 ＋ 7.0 ＋ 0.7
27	計装 テレメータ盤	No.2 配水池水位計	EM-IE 2sq	P&D		
				RACK		
				CP	17.5	0.5 ＋ 8.9 ＋ 7.6 ＋ 0.5
				FEP	12.2	1.3 ＋ 3.2 ＋ 7.0 ＋ 0.7
28	計装 テレメータ盤	送水流量計	EM-IE 2sq	P&D		
				RACK		
				CP	6.7	0.5 ＋ 2.9 ＋ 1.4 ＋ 1.1 ＋ 0.5 ＋ 0.3
				FEP	20.1	1.3 ＋ 3.2 ＋ 6.2 ＋ 5.6 ＋ 3.1 ＋ 0.7

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－8

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
29	計装 テレメータ盤	配水流量計	EM-IE 2sq	P&D		
				RACK		
				CP	9.2	0.5＋ 2.9＋ 1.4＋ 3.6＋ 0.5＋ 0.3
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
30	計装 テレメータ盤	流量計 緊急遮断弁室 電灯分電盤	EM-IE 3.5sq	P&D		
				RACK		
				CP	5.3	0.5＋ 2.4＋ 2.4
				FEP	20.1	1.3＋ 3.2＋ 6.2＋ 5.6＋ 3.1＋ 0.7
31	計装 テレメータ盤	緊急遮断弁 操作盤	EM-IE 3.5sq	P&D		
				RACK		
				CP	1.0	0.5＋ 0.5
				FEP	1.3	1.3
32	計装 テレメータ盤	低圧 (ED)	EM-IE 8sq	P&D		
				RACK		
				CP	6.3	0.5＋ 0.3＋ 5.0＋ 0.5
				FEP		

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－9

電気計装設備

No.	配線区間 自	配線区間 至	種　別	経　路	合計(m)	数　量
25	流量計 緊急遮断弁室 電灯分電盤	①	EM-IE 2mm×5	P&D		
				RACK		
				CP	2.5	0.5×　5
				FEP		
			GP　φ16	露出	0.5	0.5
26	流量計 緊急遮断弁室 電灯分電盤	①	EM-IE 1.6mm×3	P&D		
				RACK		
				CP	56.4	2.4＋　1.0＋　2.0＋　4.0＋　2.4＋　1.0＋　2.0＋　4.0＝18.8×　3
				FEP		
			GP　φ16	露出	18.8	2.4＋　1.0＋　2.0＋　4.0＋　2.4＋　1.0＋　2.0＋　4.0
27	流量計 緊急遮断弁室 電灯分電盤	①	EM-IE 1.6mm×3	P&D		
				RACK		
				CP	57.0	2.4＋　1.0＋　7.4＋　2.6＋　2.4＋　0.6＋　2.6＝19.0×　3
				FEP		
			GP　φ16	露出	19.0	2.4＋　1.0＋　7.4＋　2.6＋　2.4＋　0.6＋　2.6
28	流量計 緊急遮断弁室 電灯分電盤	②	EM-IE 2mm×3	P&D		
				RACK		
				CP	44.4	2.4＋　7.9＋　1.3＋　1.0＋　1.2＋　1.0＝14.8×　3
				FEP		
			GP　φ16	露出	14.8	2.4＋　7.9＋　1.3＋　1.0＋　1.2＋　1.0

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

配線拾い出し表－10

電気計装設備

No.	配線区間		種　　別	経　路	合計(m)	数　　量
	自	至				
33	H･H-4	計装 テレメータ盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			FEP φ80		159.9	2.2 ＋ 16.7 ＋ 48.3 ＋ 52.6 ＋ 18.8 ＋ 7.5 ＋ 4.5 ＋ 9.0 ＋ 0.3
34	H･H-4	計装 テレメータ盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			FEP φ50		159.9	2.2 ＋ 16.7 ＋ 48.3 ＋ 52.6 ＋ 18.8 ＋ 7.5 ＋ 4.5 ＋ 9.0 ＋ 0.3
35	計装 テレメータ盤	P･B-B		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			FEP φ30		10.9	3.2 ＋ 7.0 ＋ 0.7
36	計装 テレメータ盤	P･B-A		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			FEP φ80		18.8	3.2 ＋ 6.2 ＋ 5.6 ＋ 3.1 ＋ 0.7

材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

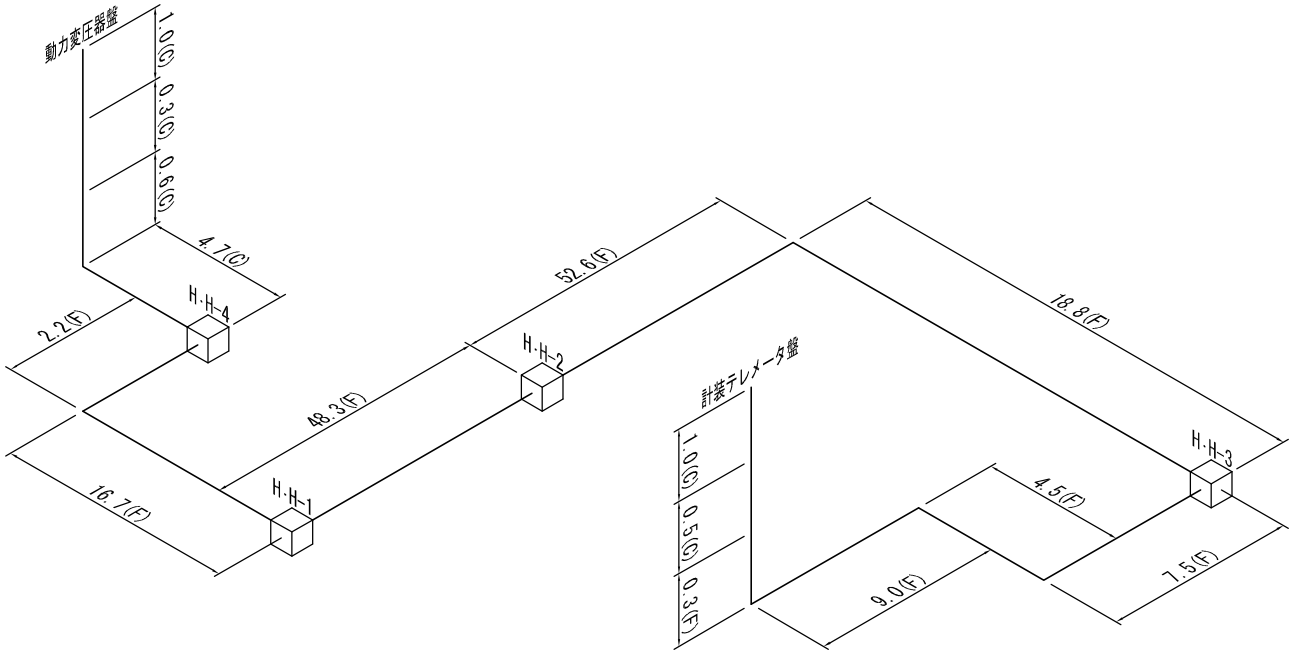
配線拾い出し表－11

電気計装設備

No.	配線区間		種　　別	経　路	合計(m)	数　　量
	自	至				
37	計装 テレメータ盤	P･B-A		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			FEP　φ50×2		37.6	3.2＋　6.2＋　5.6＋　3.1＋　0.7＝18.8×　2
38	計装 テレメータ盤	街路灯		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			FEP　φ30		13.4	0.3＋　9.0＋　2.0＋　1.5＋　0.6
39	計装 テレメータ盤	緊急遮断弁 操作盤		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			FEP　φ80×3		3.9	1.3×　3
40				P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		

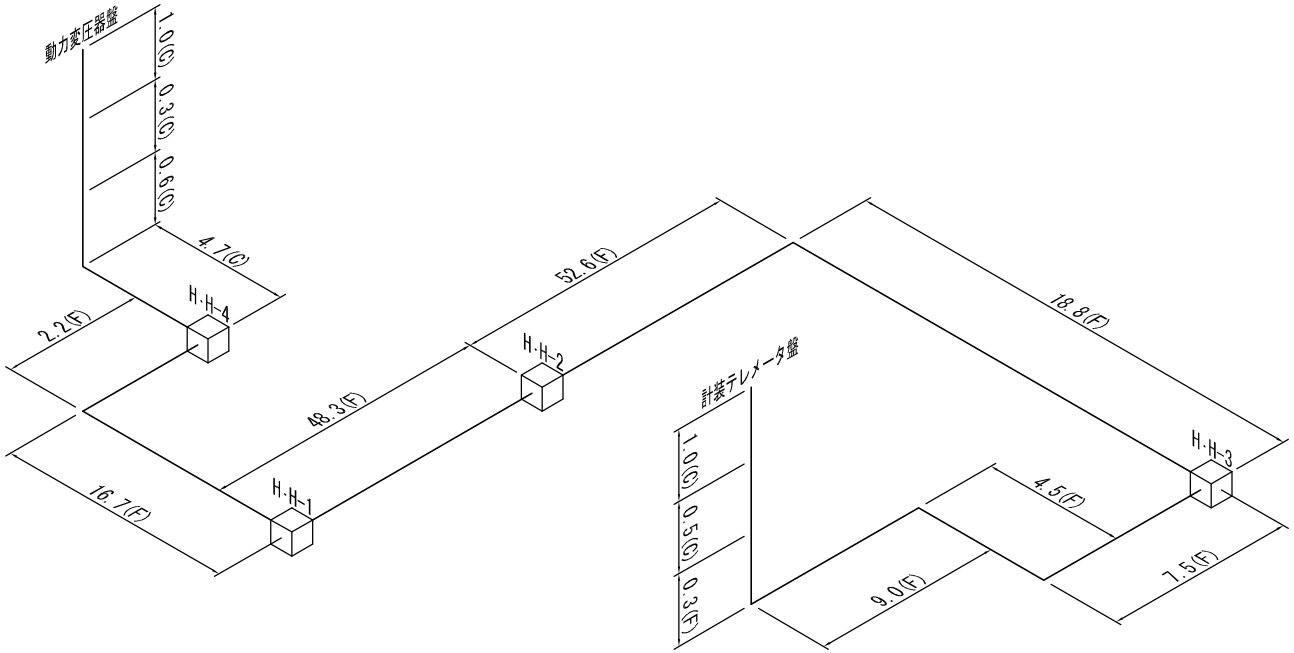
材料（ケーブル・電線）内訳書又は材料（電線管）内訳書へ

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
1	発　点	終　点	
	動力変圧器盤	計装テレメータ盤	600V EM-CET 38sq



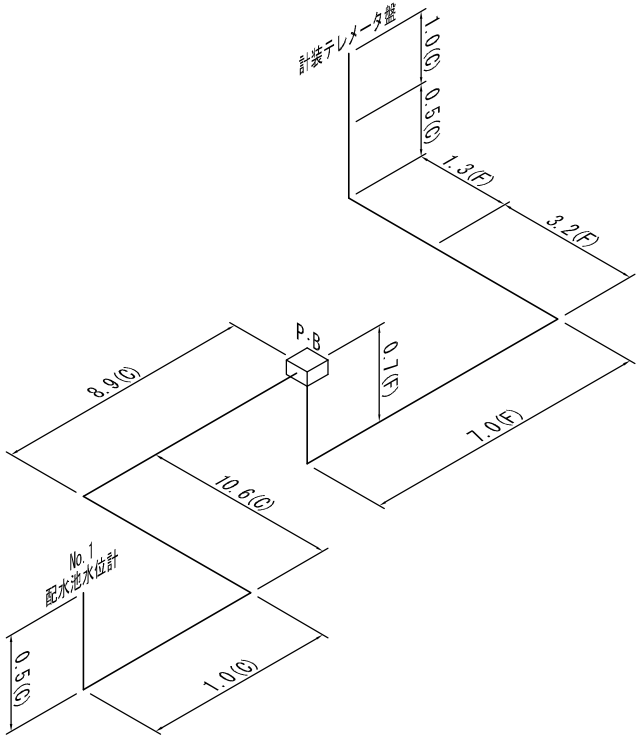
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
2	発　点	終　点	
	動力変圧器盤	計装テレメータ盤	LANケーブル



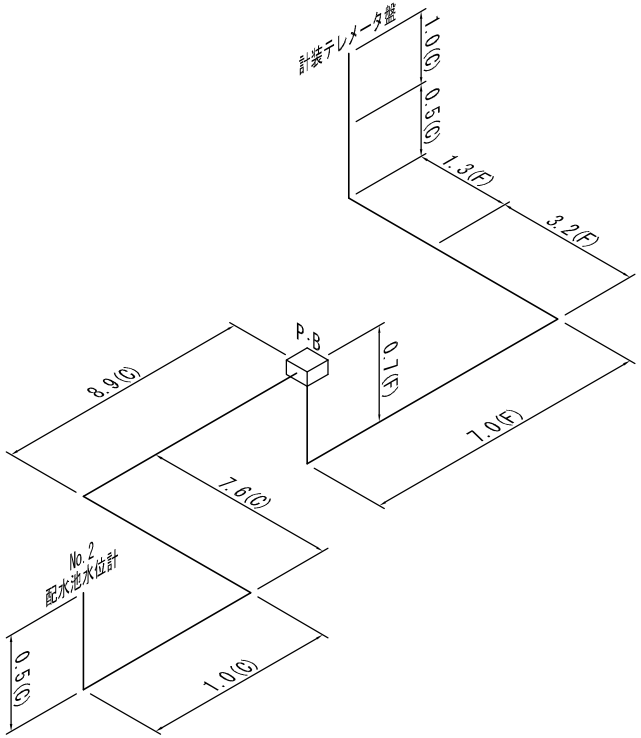
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
3	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	No.1配水池水位計	EM-CEE-S 2sq-2c



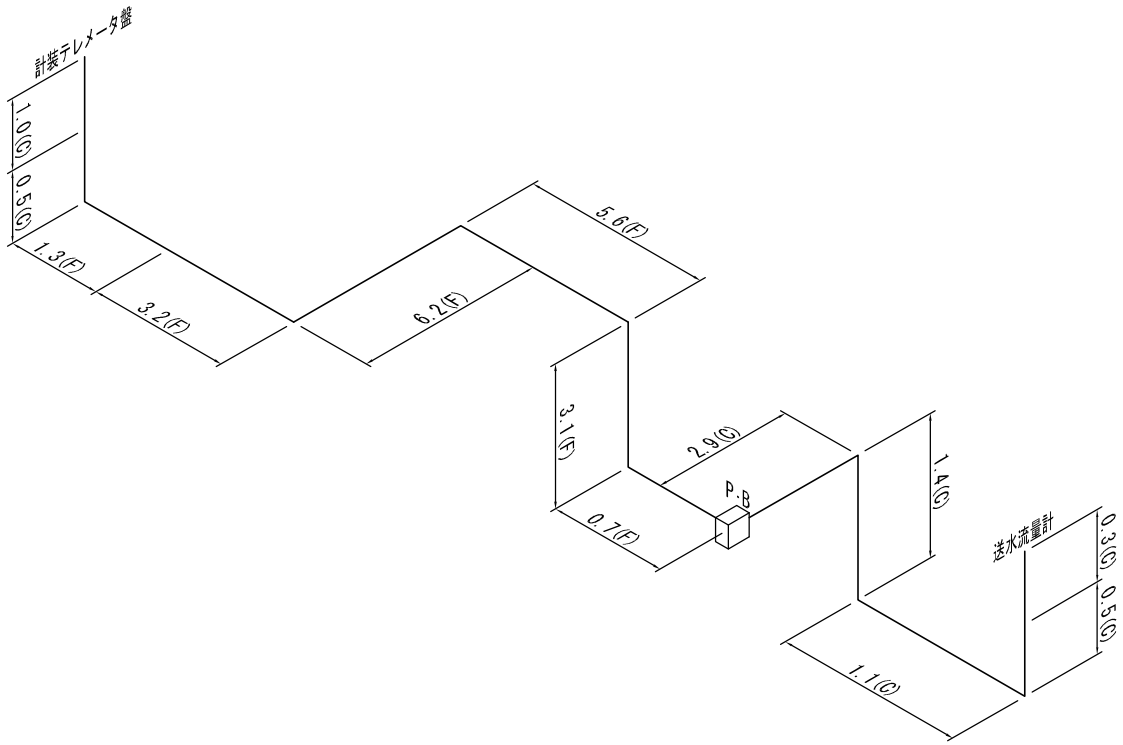
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
4	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	No.2配水池水位計	EM-CEE-S 2sq-2c



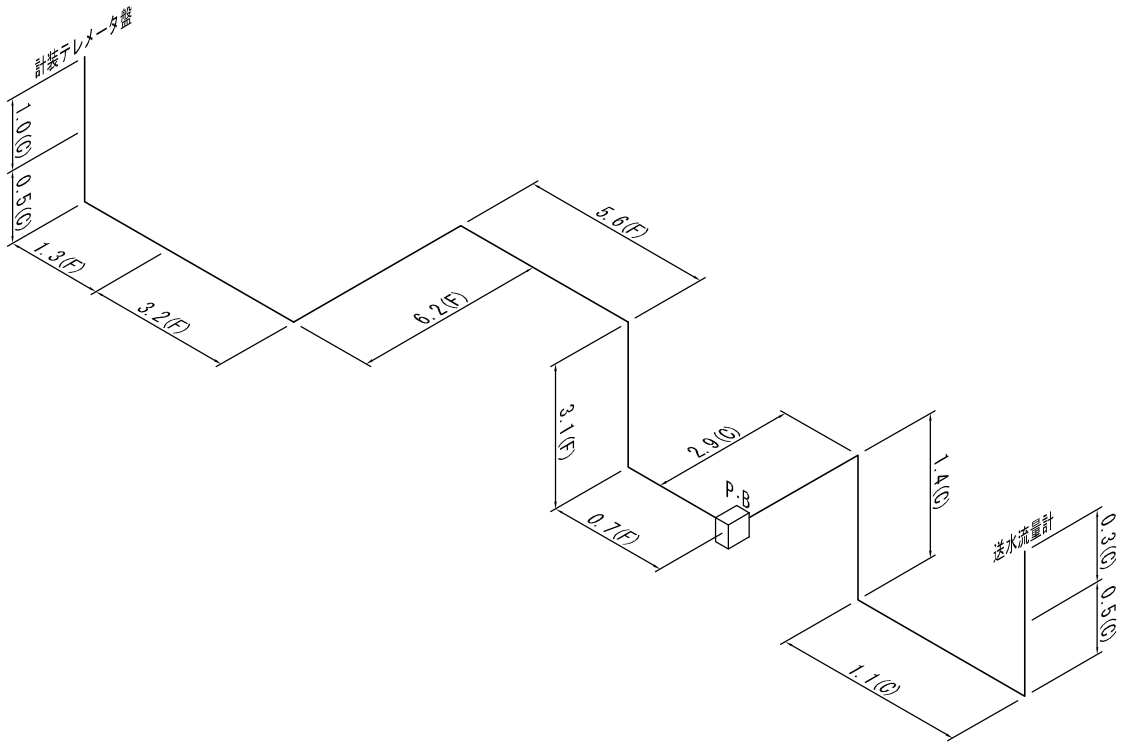
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
5	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	送水流量計	専用ケーブル(励磁)



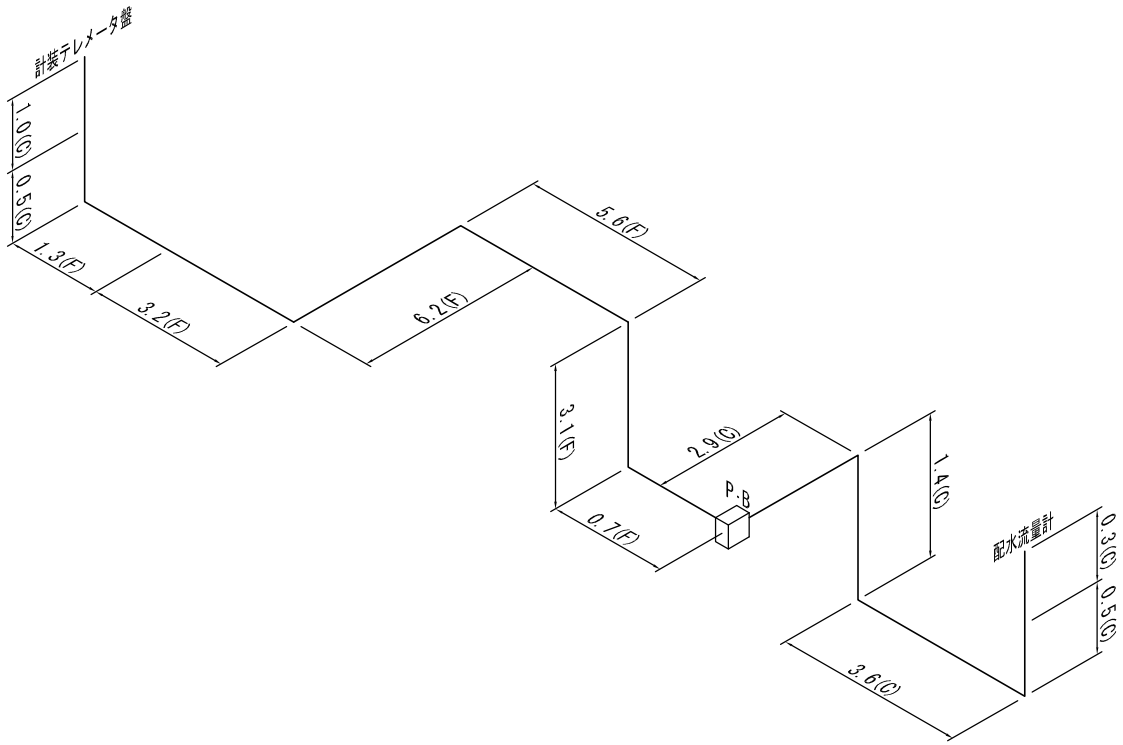
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
6	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	送水流量計	専用ケーブル(信号)



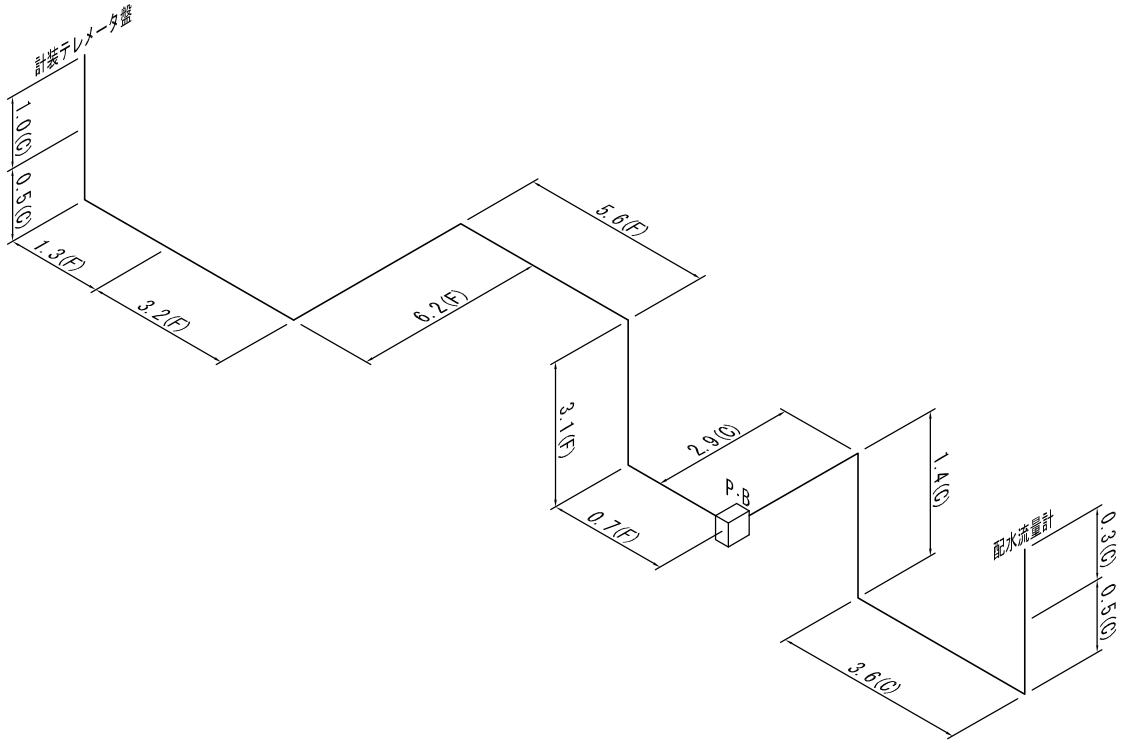
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
7	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	配水流量計	専用ケーブル(励磁)



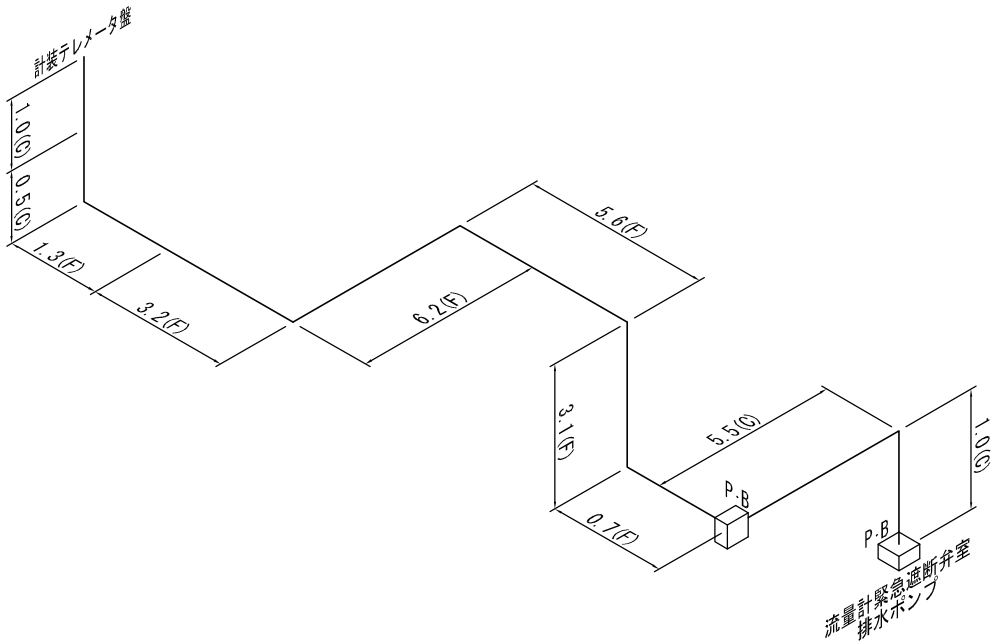
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
8	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	配水流量計	専用ケーブル(信号)



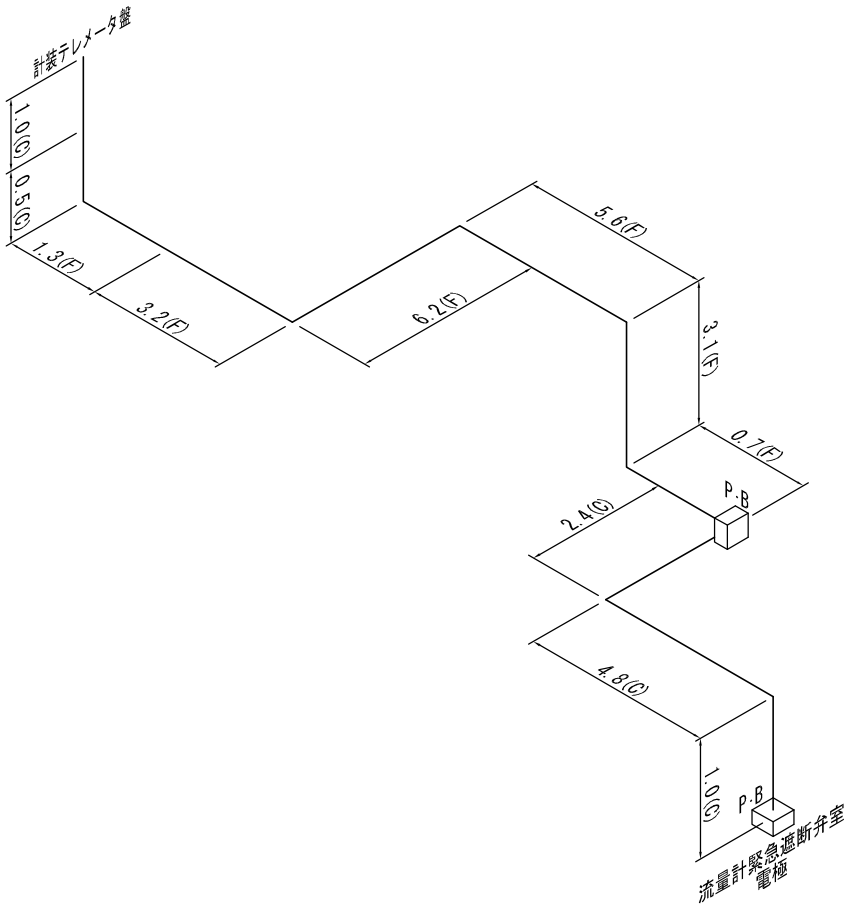
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
9	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室排水ポンプ	600V EM-CE 3.5sq-3c



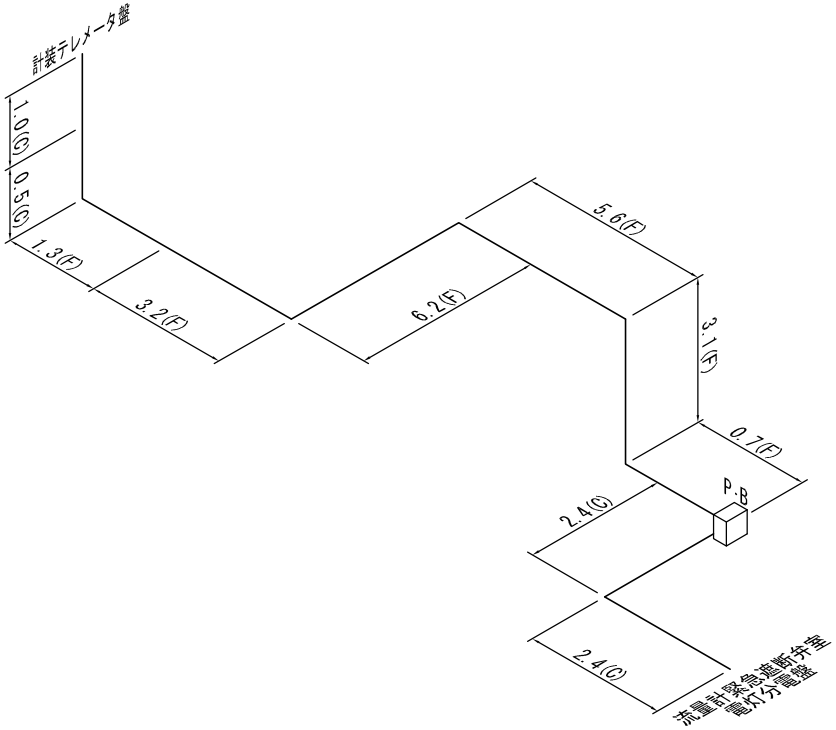
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
10	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	流量計室緊急遮断弁室電極	EM-CEE 2sq-3c



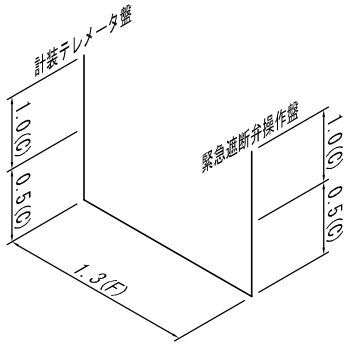
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
11	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	600V EM-CE 5.5sq-3c



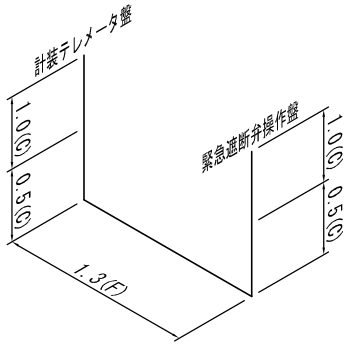
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
12	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤	600V EM-CE 5.5sq-2c



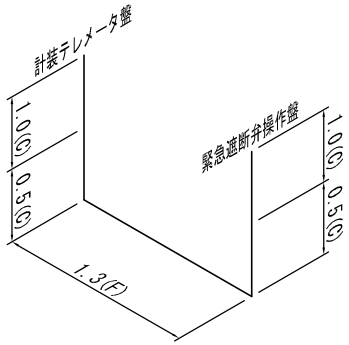
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
13	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤	EM-CEE-S 2sq-2c×2



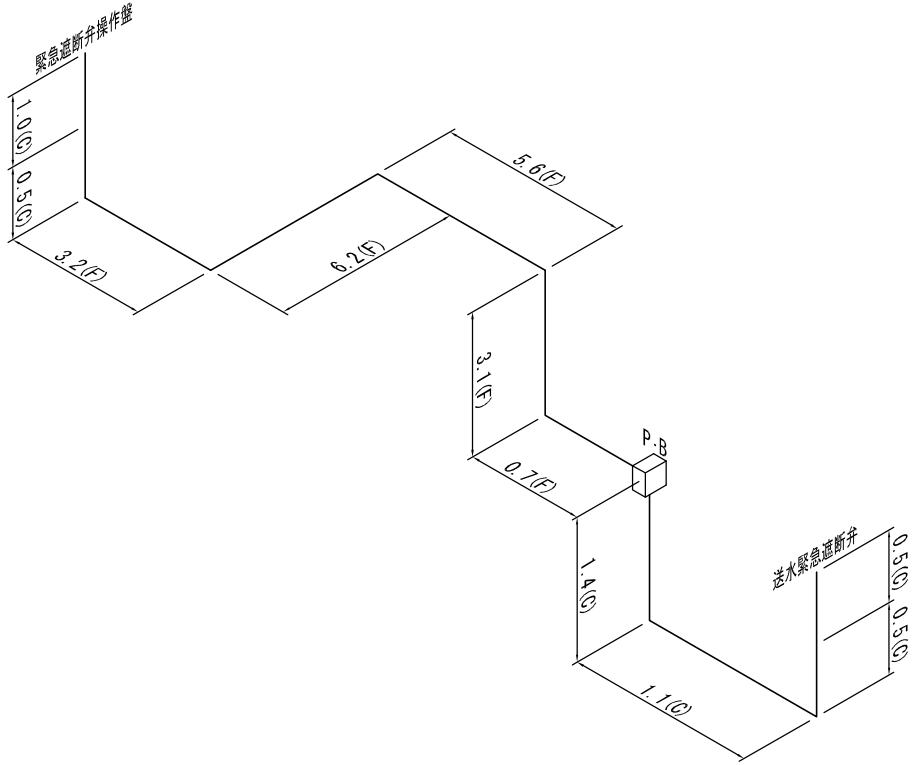
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
14	発　点	終　点	
	緊急遮断弁操作盤	計装テレメータ盤	EM-CEE 2sq-20c



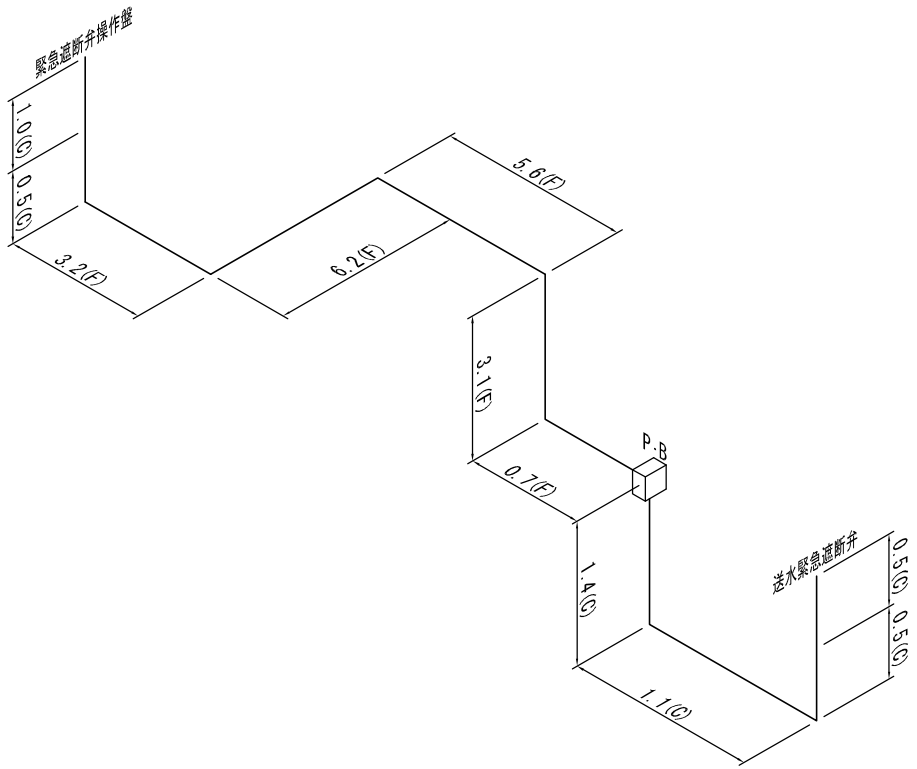
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
15	発　点	終　点	
	緊急遮断弁操作盤	送水緊急遮断弁	EM-CEE 2sq-15c



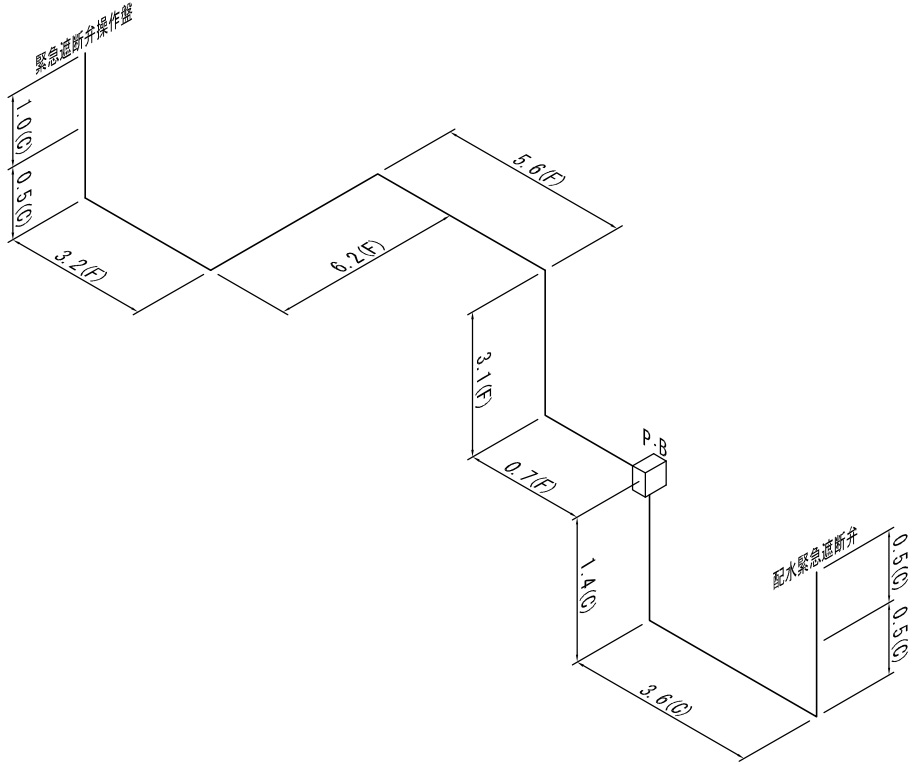
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
16	発　点	終　点	
	緊急遮断弁操作盤	送水緊急遮断弁	EM-CEE-S 2sq-2c



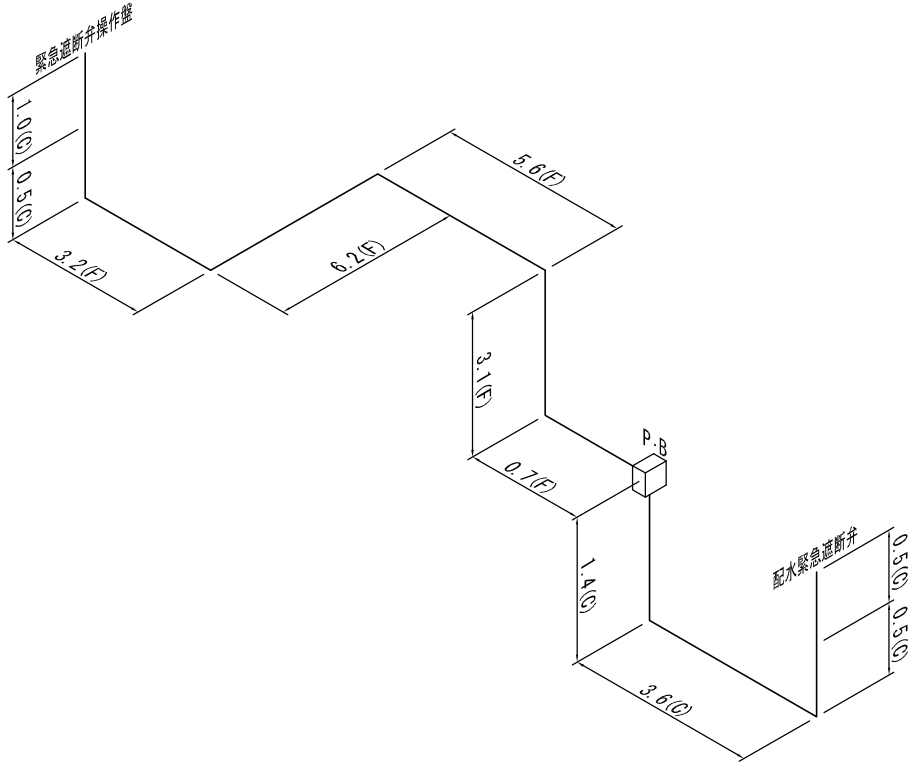
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
17	発　点	終　点	
	緊急遮断弁操作盤	配水緊急遮断弁	EM-CEE 2sq-15c



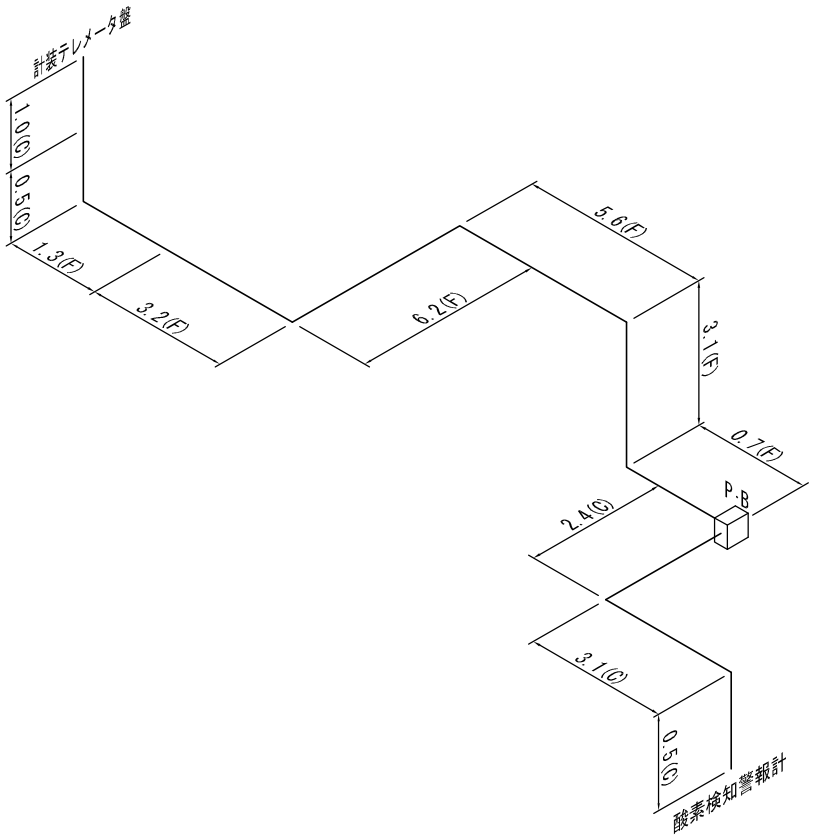
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
18	発　点	終　点	
	緊急遮断弁操作盤	配水緊急遮断弁	EM-CEE-S 2sq-2c



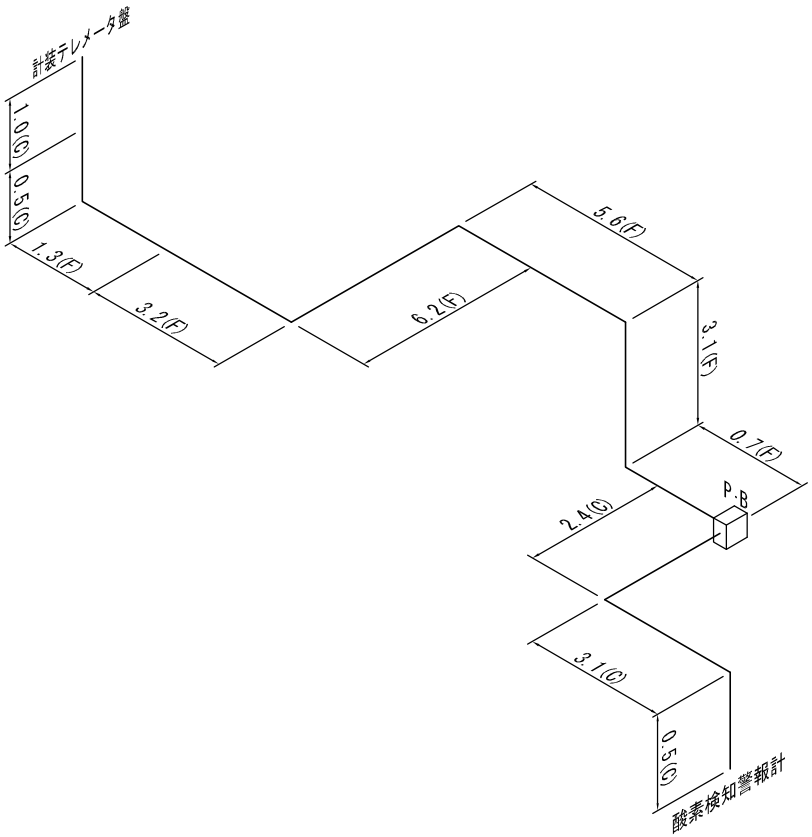
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
19	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	酸素検知警報計	600V EM-CE 2sq-3c



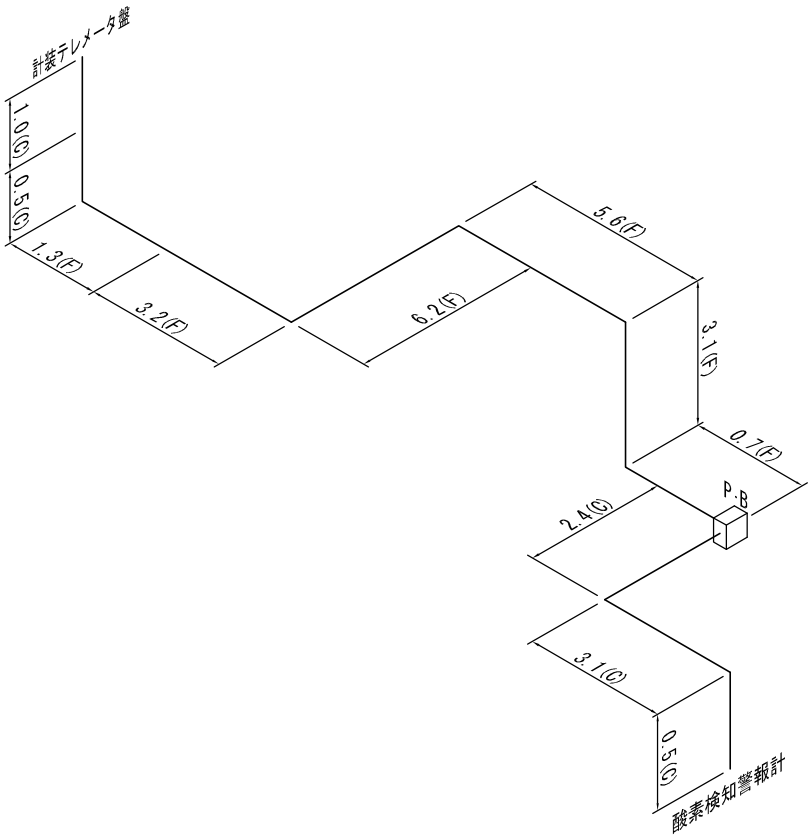
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
20	発　点	終　点	
	酸素検知警報計	計装テレメータ盤	EM-CEE 2sq-4c



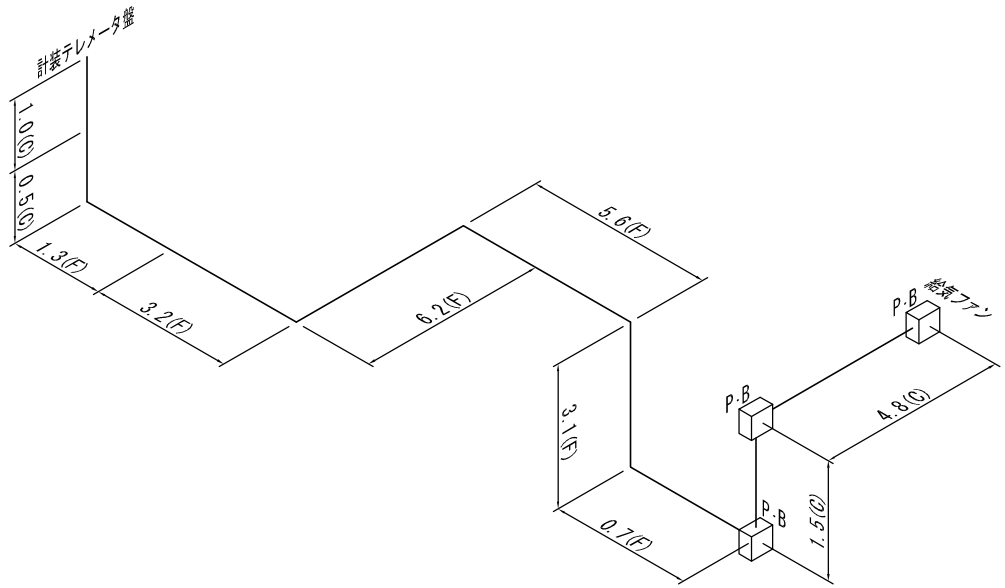
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
21	発　点	終　点	
	酸素検知警報計	計装テレメータ盤	EM-CEE-S 2sq-2c



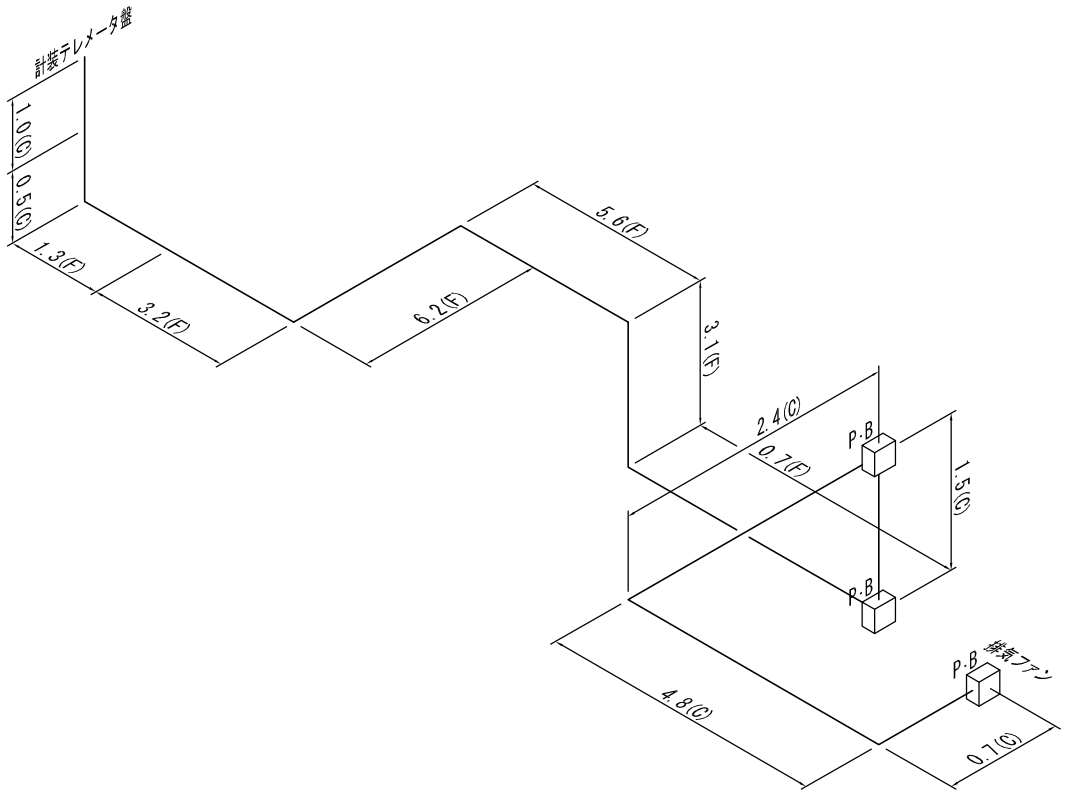
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
22	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	給気ファン	600V EM-CE 3.5sq-3c



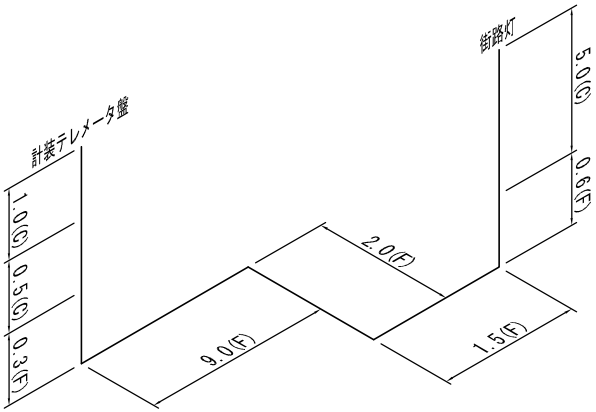
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
23	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	排気ファン	600V EM-CE 3.5sq-3c



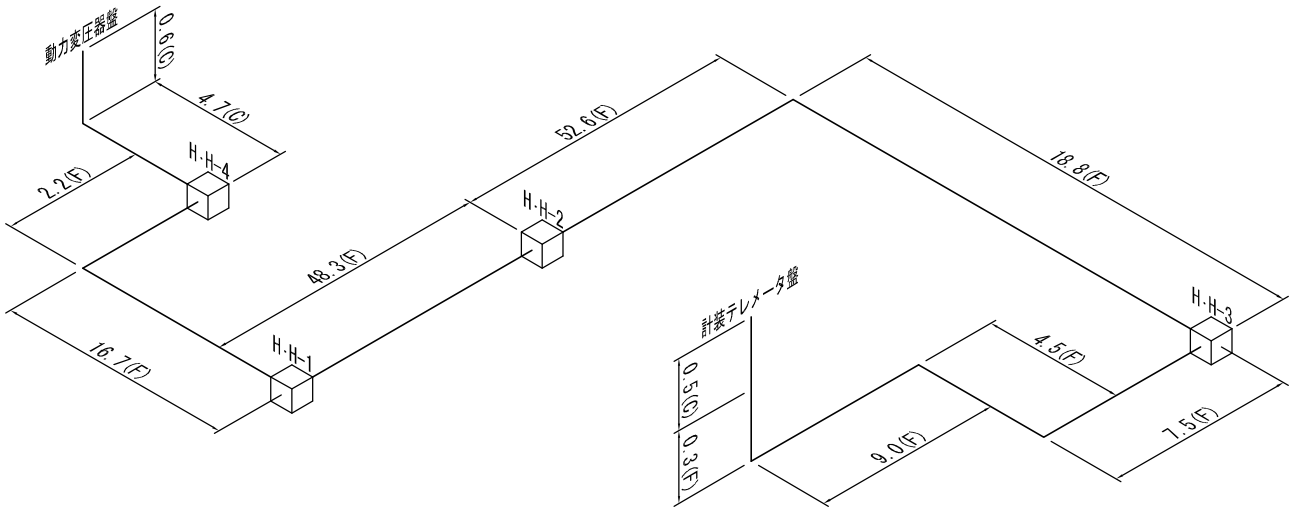
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
24	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	街路灯	600V EM-CE 3.5sq-3c



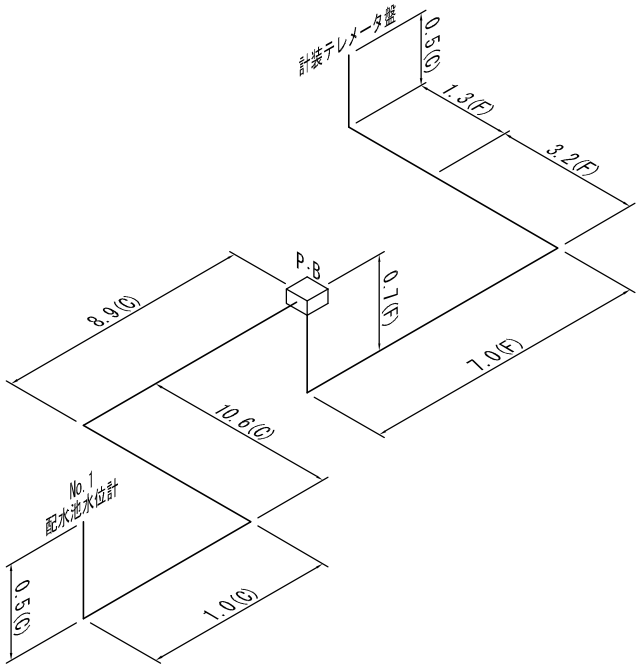
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
25	発　点	終　点	
	動力変圧器盤	計装テレメータ盤	EM-IE 14sq



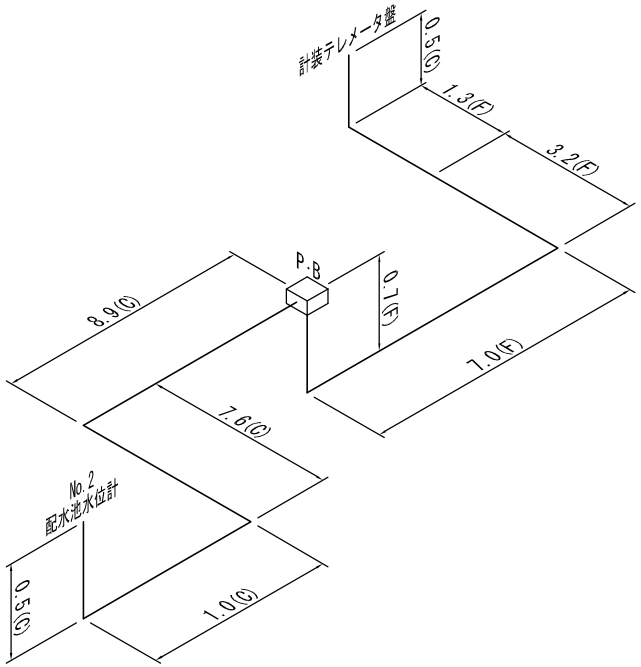
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
26	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	No.1配水池水位計	EM-IE 2sq



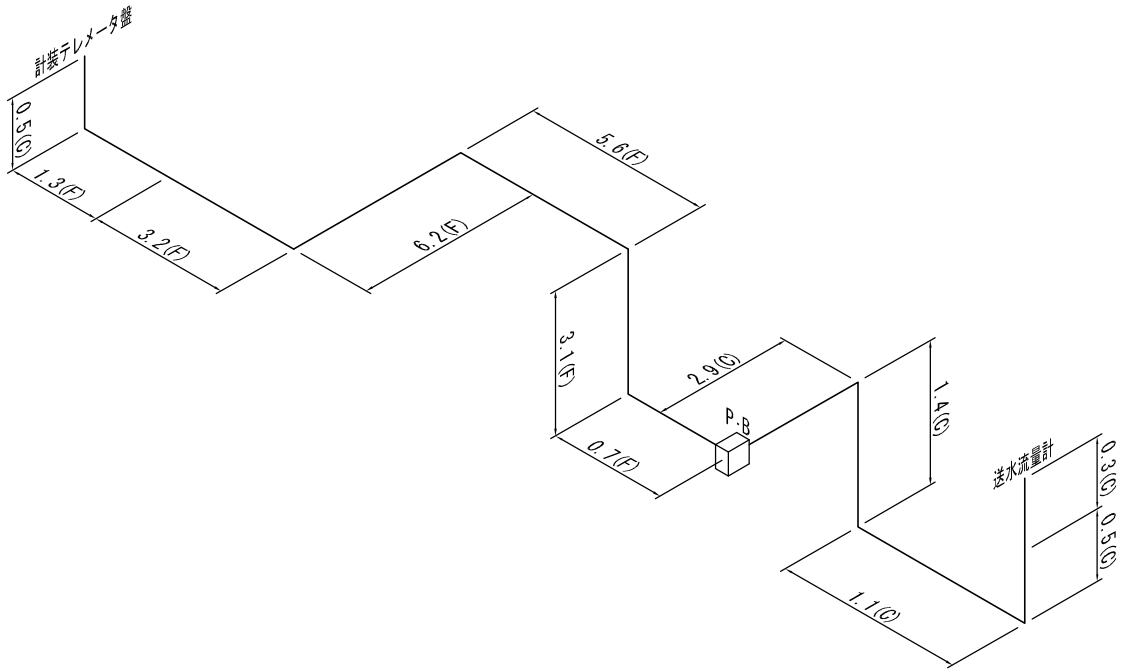
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
27	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	No.2配水池水位計	EM-IE 2sq



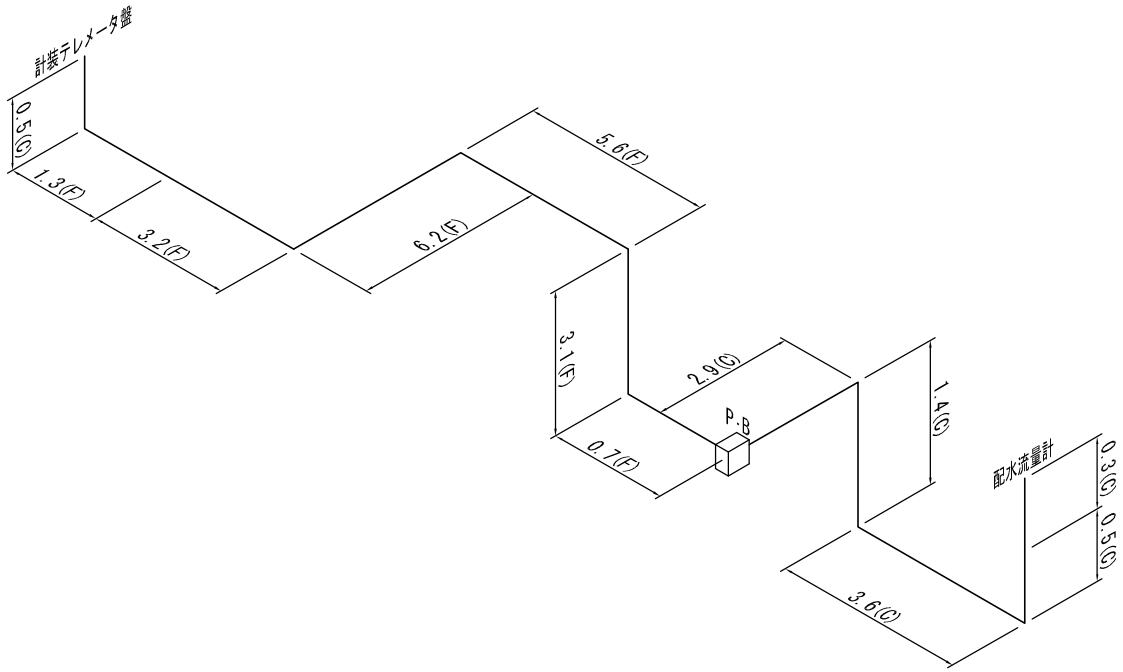
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
28	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	送水流量計	EM-IE 2sq



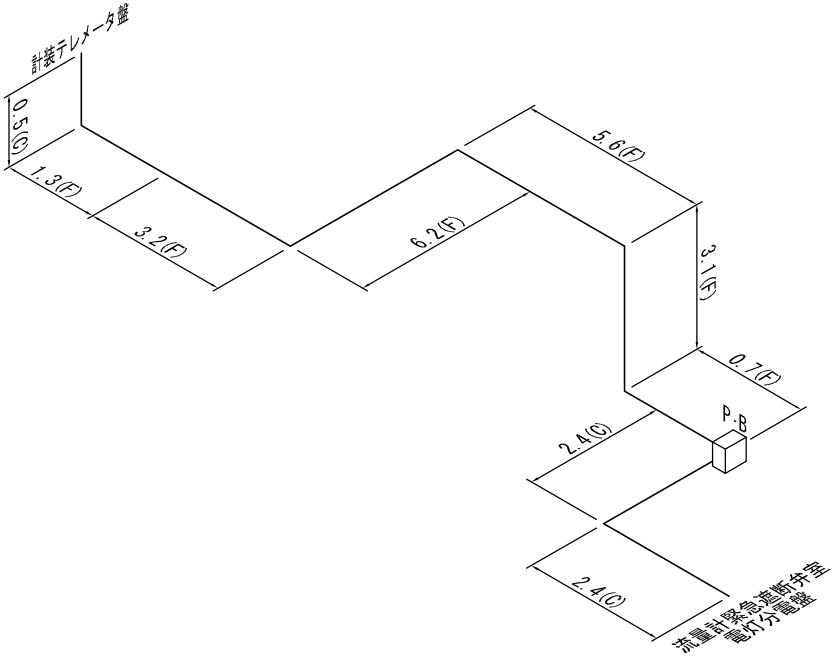
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
29	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	配水流量計	EM-IE 2sq



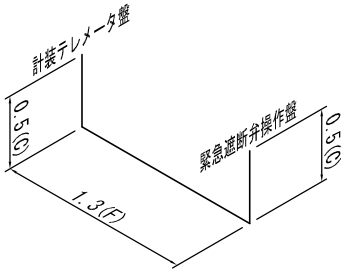
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
30	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	流量計緊急遮断弁室電灯分電盤	EM-IE 3.5sq



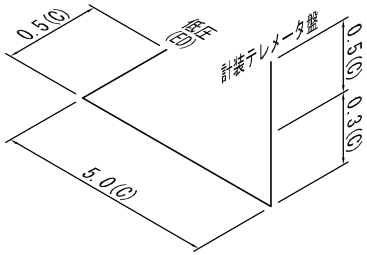
P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
31	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	緊急遮断弁操作盤	EM-IE 3.5sq



P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

番号	配　線　区　間		ケーブル仕様
32	発　点	終　点	
	計装テレメータ盤	低圧(ED)	EM-IE 8sq



P：ピット
D：ダクト
R：ラック
C：管内
F：波付硬質合成樹脂管

項目	名　　称	仕　　様	単位	数　量	備　　考
	2.機械設備工				
	【機器費】				
	排水ポンプ	水中雑排水ポンプ	台	1.0	
		φ50			
		100V 0.4kW			
	給気ファン	消音形耐湿形 羽径18cm	組	1.0	
		100V 57W			
	排気ファン	消音形耐湿形 羽径18cm	組	1.0	
		100V 57W			
	【直接材料費】				
	吸込口	310cm角 φ150	個	1.0	
	吸出口	310cm角 φ150	個	1.0	
	風量調節ダンパー	φ150	個	2.0	
	【一般労務費】				
	普通作業員	据付	人		
	配管工	据付	人		
	特殊作業員		人		
	ダクト工		人		
	設備機械工	据付	人		
	【機械設備据付労務費】				
	機械設備据付工	据付	人		

直接労務費集計表

機械設備

項　目	機械設備据付工	普通作業員	電工	配管工	特殊作業員	ダクト工	設備機械工			
機器据付工(機械)集計表										
配管工集計表-1										
配管工集計表-2										
配管工集計表-3										
配管工集計表-4										
その他材料集計表-1										
その他材料集計表-2										
その他材料集計表-3										
計										
設計書計上数量										

設計書へ

機器据付工（機械）集計表

機械設備

機器名称	台数	単位重量 ton/台	種別	歩掛 人/台	歩掛 低減率	据付工 第１類	第２類	第３類	第４類	第５類	第６類	第７類	歩掛算出資料頁
雑排水ポンプ	1	0.008	2										
		計											合計
		普 通 作 業 員											
		機械設備据付工											
		設 備 機 械 工											

労務集計表へ

その他材料集計表－1

機械設備

		給気ファン	排気ファン								
流量計室		1	1								
合計値	（A）	1	1								
補完率	（B）	1	1								
（C）＝（A）×（B）		1	1								
設計数量	（D）＝Σ（C）	1	1								
設備工単位工量	（E）＝（E０）										
設備工量	（C）×（E）										

設備機械工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

その他材料集計表－2

機械設備

		吸込口	吸出口	風量調節ダンパー							
				φ150							
流量計室		1	1	2							
合計値	（A）	1	1	2							
補完率	（B）	1	1	1							
（C）＝（A）×（B）		1	1	2							
設計数量	（D）＝Σ（C）	1	1	2							
ダクト工単位工量（E）＝（E０）											
ダクト工量	（C）×（E）										

ダクト工量小計　＝

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

その他材料集計表－3

機械設備

		削孔費									
		φ50									
		100mm程度									
流量計緊急遮断弁室排水ポンプ		1									
合計値	（A）	1									
補完率	（B）	1									
（C）＝（A）×（B）		1									
設計数量	（D）＝Σ（C）	1									
特作単位工量	（E）＝（E０）										
特作工量	（C）×（E）										

特殊作業員量小計	＝	

設計数量は設計書へ・工量は労務集計表へ

新秩父ミューズパーク配水池築造工事

工事特記仕様書
（土木工事）

第１編 共通事項

第１章　一般事項

１ 仕様書類

この特記仕様書は、秩父広域市町村圏組合水道局上水道工事標準仕様書（以下、標準仕様書という。）※に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

※　標準仕様書は水道局のホームページ「事業者のみなさまへ→工事・資材」を参照して下さい。

２ 周辺住民等への配慮

本工事は、地盤の造成を含めて行うものであり、工事工期も長大なものとなるため、受注者は監督員と綿密な調整を行い、工期期間中の周辺住民や公園利用者への配慮を十分に行うこと。

３ 別途工事との調整

本工事は、別途施工を行う次の工事と並行して施行することとする。

（１）新秩父ミューズパーク配水池送配水管布設工事

本工事の施行に際し請負者は、当該工事請負者と十分な調整を図り、相互の円滑な工事遂行に努める。

４ 周辺環境への配慮

（１）受注者は、工事用地内外及び周辺環境に配慮し、騒音、振動、粉塵対策等の処置を施す。また、地盤変動等を極力抑えるよう万全を期す。

（２）受注者は、土砂及び資機材の搬出入を行うに当たり、沿道家屋等への配慮を行い、輸送ルートの交通事情、道路構造等について十分調査し、必要に応じて交通管理者と協議を行う。

（３）受注者は、適宜交通整理員を配置し、工事関係車両、一般車両、公園利用者等の安全を確保する。

（４）受注者は、公園利用者の安全確保のため、必要に応じて、区画線、規制標識等の安全施設を設置する。設置個所については、監督員と協議する。

（５）受注者は、工事区域とその他区域とを明確に区分するため、施工箇所周囲には移設可能でかつ強風等に耐える仮囲いを設置するとともに、原則として本工事区域への関係者以外の立入りを禁止し、工事期間中の安全管理に万全を期す。

（６）受注者は、周辺道路を土砂等で汚さないよう工事車両等を適切に管理する。

（７）工事期間中は、出入口を清潔に保つため、清掃及び散水を適宜行う。

５ 安全施工の徹底

（１）受注者は、突発的な局地的集中豪雨に対して影響が想定される場合、安全対策に関する次の内容を施工計画書に定めること。

ア　気象情報等の取得体制の構築

気象警報・注意報のみならず、雨量データ等のリアルタイムの情報を現場において取得出来る体制を構築し、その内容を記載する。

イ　作業中止基準の策定

受注者は、局地的集中豪雨における作業中止基準をあらかじめ定め、その内容を記載する。

ウ　緊急退避方法及び連絡体制の整備

受注者は、局地的集中豪雨における作業員の退避方法及び連絡体制についてあらかじめ定め、その内容を記載する。

６ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置等

（１）　受注者は、労働安全衛生法の規定に従い、必要な事項を労働基準監督署長に報告し、その写しを監督員に提出する。

（２）　受注者は、労働安全衛生法に基づき選任する安全衛生責任者のもと、連絡を十分に行い労働災害の防止に努める。

７ 標高

本工事の標高は「T.P.」表示を基本とし、基準点は、道路上の既設基準点（仮B.M）を使用する。

施工に当たっては、あらかじめ標高を十分確認し、設計図面と近隣施設等との整合を図る。

８ 座標

本工事の座標は、公共座標を基準とし、工事期間中は常に座標値の照合を行う。

９ 製作図等

受注者は、施工に必要な施工図等、監督員の指示するものは遅滞なく提出する。

10 測量・やり方等

（１）設計図に記載した寸法は、すべて仕上がり寸法である。なお、長さの単位は、単位を表示しているもの以外は「mm(ミリメートル)」とする。

（２）施工に必要な測量は、受注者において行うものであるが、監督員が照査を行うことがある。この場合、必要な材料、機械器具、補助要員等については受注者が負担する。

（３）工事に当たっては、正確な施工を期するため詳細なやり方、墨出し、水盛り等を行う。やり方基準点等諸基準点は、随時点検し正常な状態に保つとともに監督員が確認可能なように管理する。

（４）工事に当たっては、それぞれの施工段階ごとに測量等により設計図等との確認を行った後、次の工程に着手する。

11 工事用電力及び工事用給排水設備

工事用電力(動力及び照明)及び工事用給排水設備は、受注者の責任と負担により調達し、関係法規に基づいた管理をする。

工事排水のうち汚水や有害な物質を含むものは、適正に排水するために必要な措置を行い、直接雨水排水管や工事区域外に流出させてはならない。

12 建設リサイクル法について

本工事における建設資材の再資源化については、設計図書によるほか、「建設工事に係る資材の再資源化等に関わる法律」（平成１２年法律第１０４号）による。

なお、届出に必要な書類、記載例等は、埼玉県のホームページ（県土整備部建設管理課）から入手できる。

（建設管理課ホームページ https://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/re-cycle.html）。

ア 建設廃棄物の搬入

受注者は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設に搬入する。

イ 分別解体等の計画等の提出

受注者は契約前に作成した「分別解体等の計画等」を施工計画書に添付して提出する。

ウ 発注者への報告

受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第１項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、発注者に報告する。

・特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
・特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第１項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用(促進)実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付する。

エ 廃棄物の減量努力

受注者は、工事の施工にあたって「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図る。

13 施工計画書へのリサイクル計画の記載事項

受注者は、工事を実施するに当たり計画的かつ効率的にリサイクルを実施するため、リサイクル計画を作成し、施工計画書に含めて監督員に提出する。

なお、施工計画書には次の事項のほか、必要な事項について記載する。

（１）工事概要等

工事件名、工事場所、現場代理人名、監理技術者名又は主任技術者名、廃棄物管理責任者名、工期、工事概要等を記載する。

（２）建設副産物の種類、リサイクルの方法等

建設副産物の種類、発生予測量、現場内利用量、減量化量、売却量、工事間利用量、中間処理量（現場外搬出量）、最終処分量（直接最終処分する場合に限る。）、処理期間、保管方法、収集運搬方法、処分方法、発生土受入地、処分先、運搬経路、その他を記載する。

（３）建設副産物等の運搬・処理業者

運搬・処理業者名、許可番号、許可の種類、許可品目、許可の期限、処理能力、最大保管量、会社及び施設所在地等を記載する。

（４）現場での分別

工事現場における建設副産物等の分別はもとより、現場事務所や作業員宿舎等における紙、生ゴミ、カン・ビン類、その他の一般廃棄物の分別の方法、また、材料の梱包材、切れ端、金属類等についての分別収集方法等を記載する。

（５）解体工事計画

建築物の解体工事の場合は、解体業者名（建設業者名）、技術管理者氏名（主任技術者又は監理技術者氏名）、分別解体等の手順、建設資材廃棄物の分別方法、発生する建設資材廃棄物の種類・数量、建設資材廃棄物の再資源化等の方法などを記載する。

（６）工事記録写真撮影計画

建設副産物の処理状況を記録するため、以下の状況についての撮影計画を記載する。

なお、発注部局が定める工事記録写真撮影計画書へ記載してもよい。

ア 積込状況、運搬状況（工事現場出発時）、産業廃棄物運搬車両表示状況、現場内利用状況、工事間利用状況、ストックヤードの状況、受入地の状況、再資源化施設の状況、最終処分場の状況（直接最終処分する場合に限る。）、現場内での分別状況、再生資源の利用状況等の撮影について記載する。なお、解体工事の場合は、分別解体等の状況、分別された建設資材廃棄物の状況、建設資材廃棄物の運搬状況、再資源化施設への搬入状況等を撮影する。

イ 運搬状況（工事現場出発時）の撮影に当たっては、積込状況、土質、運搬車両のナンバープレート等を入れて撮影する。

ウ 現場内利用や工事間利用状況の撮影に当たっては、工事箇所が特定できるよう周辺背景を入れて撮影する。

エ 再資源化施設の状況や直接最終処分する場合における最終処分状況の撮影に当たっては、施設名称看板等を入れて撮影する。

14 施工計画書の添付書類

受注者は、建設工事に係る資材の再資源化等に関わる法律、資源の有効な利用に関する法律（資源有効利用促進法）および県土整備部建設管理課主導の建設資材の再資源化に基づき次の関係書類を作成し、監督員に内容の確認を受け、施工計画書に添付して提出する。

（１）再生資源利用計画書

受注者は、建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）に搭載されている建設リサイクル統合データシステム（以下「CREDAS」という。）により作成する。

なお、作成対象となる工事は次のとおりである。

ア 1,000m3以上の土砂を搬入する工事

イ 500t以上の砕石を搬入する工事

ウ 200t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事

エ 最終請負金額100万円以上の工事

（２）再生資源利用促進計画書（建設廃棄物処理計画書を兼ねる。）

受注者はCOBRIS に搭載されているCREDAS に必要なデータを入力して作成する。

なお、作成対象となる工事は次のとおりである。

ア 1,000m3以上の建設発生土を搬出する工事

イ コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設泥土、建設発生木材、建設混合廃棄物を200t以上搬出する工事
ウ 金属くず、廃プラスチック、紙くず、アスベスト、その他の廃棄物を搬出する工事
エ 最終請負金額100万円以上の工事

（３）搬入予定民間受入地届（※民間受入地に搬出予定のものに限る。）
（４）建設発生土搬出のお知らせ
（５）建設発生土に係る許可証の写し（※民間受入地に搬出予定のものに限る。）
（６）産業廃棄物に係る許可証の写し
中間処理後に最終処分又はセメント等の建設資材の原料としての再利用を行う場合は、中間処理業者の取引先の収集運搬業者及び最終処分業者又はセメント工場等の建設資材製造施設の許可証の写しも含める。
（７）廃棄物処理委託契約書の写し
中間処理後に最終処分又はセメント等の建設資材の原料としての再利用を行う場合は、中間処理業者が取引先の収集運搬業者及び最終処分業者又はセメント工場等建設資材製造施設と締結している契約書の写しを併せて添付する。
（８）運搬ルート図
（９）使用するマニフェストの様式
工事で使用するマニフェストの様式、電子マニフェストの場合は手続方法等の資料を添付する。
(10) 建設泥土の再資源化等計画書
建設泥土の再資源化等計画書は、建設泥土を建設資材製造工場に搬出する場合又は再資源化施設を活用する場合に必要なものであり、２部作成し、１部を監督員に提出し、１部を自ら保管すること。

15 建設発生土の再利用
水道局が指定する残土置場の土砂を埋戻材として再利用する。
なお、受注者は、仮置きを行う場合、ブルーシート等で覆う等の飛散防止措置を講じる。

16 建設発生土の搬出
建設発生土は、受入地までの片道運搬距離を10.9kmと想定しているが、運搬距離等が変更になった場合は、変更契約の対象とする。
建設発生土を搬出経路については、公園管理者の許可を得ない限り、公園管理道を利用してはならないものとする。
工事を実施するに当たり、500m3以上の建設発生土を搬出する場合には、埼玉県土砂の搬出、たい積の規制に関する条例に基づき、あらかじめ土砂の搬出にかかる計画を作成し、知事に届け出るものとする。
受注者は、規定様式により、土砂を搬出する前に搬出先市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土の搬出情報を郵送・FAX等で提出し、その写しを監督員に提出する。
また、建設発生土のリサイクルに関して、埼玉県建設発生土リサイクル協会も参考とする。

17 異物混入の防止
受注者は、建設発生土の積込み・搬出に当たっては、コンクリート塊、木くず、金属くず等と分別し、これらの異物が混入しないよう搬出・運搬しなければならない。
受注者は、建設発生土の積込み・運搬に当たり、現場での分別状況を写真撮影し、工事記録写真帳に含めて監督員に提出しなければならない。ただし、建設発生土の掘削のみの場合など異物が混入するおそれのない場合は、この限りではない。

18 建設廃棄物の処理
（１）工事情報の登録
本工事は、COBRISの登録対象工事であり、受注者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかにCOBRISにデータの入力を行い、その都度建設副産物情報交換システム登録証明書を監督員に提出し、内容の確認を受ける。
また、受注者は、COBRISに搭載されているCREDASにより再生資源利用（促進）計画書（実施書）を作成して監督員に提出し、内容の確認を受ける。

（問い合わせ先）
財団法人 日本建設情報総合センター（建設副産物情報センター）
所在地 〒107-8471 東京都港区赤坂5丁目2番20号　赤坂パークビル14Ｆ
電 話 03－3505－2981 ＦＡＸ 03－3505－0520
Ｈ Ｐ http://www.jacic.or.jp/about/syozai/syozai.html
E-mail recycle@jacic.or.jp

（２）再資源化施設の選定

本工事により発生する建設発生材は、再資源化施設へ搬出し、建設資源循環の促進に努める。

搬出先は、受注者がCOBRIS 等を利用し、受入条件、再資源化の方法等を施設に確認した上で、適切な施設を選定する。

19 リサイクル実施状況及び適正処理状況の確認

（１）リサイクル実施状況及び適正処理状況の確認

建設副産物のリサイクルの実施状況や適正処理の状況について把握するため、受注者は、リサイクル実施状況及び適正処理状況について工事完成後速やかに以下の書類を作成し、監督員に内容の確認を受け、提出する。

ア 再生資源利用実施書

受注者はCREDASに必要なデータを入力して作成する（工事しゅん工後１年間保管）。
なお、作成対象となる工事は以下のとおりである。

（ア）1,000m3以上の土砂を搬入する工事
（イ）500t以上の砕石を搬入する工事
（ウ）200t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
（エ） 最終請負金額100万円以上の工事

イ 再生資源利用促進実施書

受注者はCREDASに必要なデータを入力して作成する（工事しゅん工後１年間保管）。
なお、作成対象となる工事は以下のとおりである。

（ア） 1,000m3以上の建設発生土を搬出する工事
（イ） コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設泥土、建設発生木材、建設混合廃棄物を200t以上搬出する工事
（ウ） 金属くず、廃プラスチック、紙くず、アスベスト、その他の廃棄物を搬出する工事
（エ） 最終請負金額100万円以上の工事

ウ リサイクル阻害要因説明書

工事途中において、やむを得ず次のいずれかについて行わざるを得ない場合は、事前に監督員の承諾を得た上で、リサイクル阻害要因説明書を２部作成し、１部を監督員に提出し、１部を自ら保管する。
なお、作成対象となる要因は、次のとおりである。

（ア）コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設泥土及び建設混合廃棄物を工事現場から直接最終処分する場合
（イ）建設発生木材を最終処分場へ直接搬出する、又は焼却のみを行う中間処理施設に搬出する場合
（ウ）土砂等の利用工事において購入材（新材）を使用する場合
（エ）砕石の利用工事において新材を使用する場合（粒度調整砕石は除く）。
（オ）アスファルト混合物の使用工事において新材を使用する場合（Ｄ交通の表層、低騒音舗装等の再生品を使用できないものは除く）。
（カ）現場内で分別を行わない場合

（２）マニフェスト等の提示

ア マニフェストの提示

受注者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）に基づき、廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）を利用し、適正な運搬及び処理を行う。
マニフェストのうち、受注者（排出事業者）が保管すべきものについて、ファイルに整理し、施工中いつでも監督員に提示できるようにする。
なお、電子マニフェストを利用する場合は、（財）産業廃棄物処理振興センターから

通知された処理結果を排出事業者（受注者）がプリントアウトしたものの写しを監督員に提示する。

イ 集計表の提出

受注者は、マニフェストの枚数、産業廃棄物の数量、運搬日等を記録した集計表を作成し、監督員に提出する。

ウ リサイクル伝票の提示

受注者は、建設廃棄物を搬出する場合においてマニフェストを交付する必要のない品目（再生利用認定制度、個別指定制度等を利用して再利用する建設泥土等）については、「リサイクル伝票 」（写しでもよい。）を監督員に提出する。

エ リサイクル証明書の提示

受注者は、建設廃棄物をセメント等の建設資材の原料として再利用する場合及び高炉還元等を行う場合には、セメント工場等の建設資材製造施設、製鉄所等が発行したリサイクル証明書（写しでもよい。）を監督員に提出する。

20 再生資材の利用

受注者は、工事にあたり下記の再生資材を利用する。

・再生アスコン(13)-50　表層

・再生切込砕石 RC-40　路盤　基礎砕石　ジオセル擁壁中詰材

なお、現場から４０km の範囲の再資源化のための施設から入手が困難な場合は、新材の利用を変更設計の対象とする。

21 完成図書

請負者は、完成図書として、下記のものを監督員に提出する。

（１）完成図

（２）工事報告書

（３）工事写真

完成図及び工事写真は電子データによるものとし、記憶媒体（CD、DVD等）にて２部提出する。なお、工事写真については、各工種のダイジェスト版１部提出する。様式詳細については、監督員と協議する。

22 工事写真

（１）受注者は、本工事期間中毎月１回、月末に工事の進捗状況が分かるような工事現場の全景を撮影し、工事履行報告書として２部提出する。

（２）受注者は、埼玉県土木工事実務要覧に基づいて写真管理を行うほか、工事全般にわたって工事過程を段階的に撮影し、わかりやすく整理するものとする。

23 その他

受注者はその他、定めのない事項については、監督員と協議し承諾を得てから工事を行わなければならない。

第２編 土木工事編

第１章　材料

１ コンクリート

（１）コンクリートの種類は、次のとおりである。

ア 構造物の躯体部分(σ＝24N/mm2)
　セメントの種類：高炉セメントＢ種

イ 場所打ち杭部分（σ＝30N/mm2)
　セメントの種類：高炉セメントＢ種

ウ 均しコンクリート、後打ちコンクリート（床無筋コンクリート）、配管防護コンクリート(σ＝18N/mm2)
　セメントの種類：高炉セメントＢ種

２ 鉄筋

鉄筋コンクリート等に使用する異形鉄筋は、SD345 を使用する。

３ 基礎砕石

基礎砕石には、RC-40（購入材）を使用する。

４ 配管材料

（１）本工事で使用する配管材料は、すべて受注者持ち材料とする。
　なお、仕様は発注図書記載のとおりとするが、材料承諾により監督員の了解を得る。

（２）受注者は、日本水道協会が発行する検査証明書を、監督員に適宜提出する。

（３）受注者は、検査証印の確認について、次の内容を確認する。

ア ダクタイル鋳鉄管、異形管、弁類、附属品（ゴム輪を除く。）の検査証印については、検査から３年未満は１個、検査から３年以上については（社）日本水道協会の再検査を受け２個であること。

イ ＧＸ形ロックリング芯出し用ゴム、ライナー芯出し用ゴムの検査証印についても同様とする。

ウ 水道用ゴム輪の検査証印については、検査から１年未満は１個、検査後１年を経過したものについては、（社）日本水道協会の再検査を受け２個であること。

なお、製造から３年を経過しているものは使用しない。

（４）設計図に指定の接合箇所及びステンレス製弁類とダクタイル鋳鉄管または鋼管を接合する箇所は、絶縁仕様のフランジ接合材料とする。

５ 付帯施設

（１）配水池内の昇降タラップは、ポリプロピレン製を使用する。

（２）配水池上部の鉄蓋は、ステンレス製角蓋を使用し、南京錠等で施錠する。

（３）配水池上部の通風筒は SGP 製としナイロンコーティングによる塗装仕様とする。発注図の付帯工標準図に準じるか、類似の既製品を用いる。

（４）配水池上部および階段等に設置する手摺はアルミ製とし、製品高さは 1.10ｍとする。

（５）工場製作品は、工場検査を行うものとする。

第２章　工事施工

第１節　配水池

１　土工事

（１）埋戻しは、綿密な施工計画に基づき安定性を確保し、敷地内の他の施設に影響を及ぼさないように慎重に行い、作業半径に入る施設には必要に応じて防護処置を施すこと。

（２）掘削は鋼矢板・切梁腹起し山留工によるものとする。

（３）埋戻し材料は、場内に仮置きした発生土（造成盛土材）を使用する計画であるが、施工の際には監督員と協議すること。

２　杭基礎工

配水池の杭基礎工事の仕様は、以下のとおりとする。

施工工法	杭径・杭長・本数
場所打ち杭工法 （オールケーシング工法）	φ1650㎜、L=10.0～11.0m、25本

支持層から1m以上の根入れを確保するものとする。

なお、支持層の深さが発注図と異なる場合は直ちに監督員に報告し、対応について協議を行うこと。

３　築造工

３－１　コンクリート工

（１）スラブ、底版、壁面等の仕上げは、発注図面の記載による。

（２）床勾配モルタルは、ひび割れ防止の観点から最小厚さを確保して打設する。

３－２　鉄筋工

（１）鉄筋の加工、施工条件等については、発注図面の構造細目共通図の記載による。

（２）主要構造物は、鉄筋加工に先立ち、加工組立図を作成し、監督員に提出の上、承諾を得る。

３－３　型枠工

（１）木コンを取り外した跡には、防水モルタルを充てんする。

（２）スラブ等は、面木で仕上げる。なお、面木の大きさは、監督員と協議する。

３－４　付帯工

（１）各付帯設備、機器の形状、寸法、材質等については、発注図面の記載による。なお、事前に監督員に承諾図書を提出し、承諾を得る。

（２）アルミ製手摺は、発注図に基づき人が寄り掛かっても安全な仕様のものを用いて、施工する。

（３）通風筒の施工に当たっては、機能を十分に満たすよう、漏気のないように注意して施工する。

（４）プレキャスト部材を使用する場合には、事前に監督員の承諾を得る。

第２節 配管工事

１　配管材料

（１）フランジ等の呼び圧力は、設計図書に指定が無い場合を除き、全て7.5K（0.75MPa）とする。

（２）特殊部（断水連絡箇所、埋設物が輻そうする箇所等）の配管が必要な場合は、入念に試験掘を行い、配管計画を立ててから材料の調達を行う。

２　耐震管の切断及び挿し口加工

（１）耐震管の切断は、口径にかかわらず請負者が行う。

（２）耐震管の切断及び挿し口加工は、仕様書の規定によるほか、原則として、管理された施工場所（加工機械を安定的に据えつけ施工することができ安全かつ確実な施工が可能な場所）で、施工する。「溝切チェックシート」又は「溝切及び面取りチェックシート」を作成し、監督員に提出する。

３ 耐震継手の実技講習会の受講

本工事に従事する配水管工については、標準仕様書の規定による。

ただし、（社）日本水道協会が行う配水管工技能講習会を受講終了してから５年以上が経過している者が、配水本管（口径400 ㎜以上の配水管）工事に従事する場合は、更新講習として大口径管講習会を受講し登録証の発行を受ける。

４ 管名称の明示

配管工事完了後、管の名称を管体の見やすい箇所に明示する。

なお、管の名称については、監督員との協議により決定する。

５ 管防護･受台工

本工事における管防護、受け台の仕様については、構造計算を実施して監督員と協議し、詳細図面及び計算書（試験水圧 圧送管0.74MPa、自然流下管0.3MPa）を提出する。

なお、施工に当たっては、安全性を確認の上作業を行う。

６ マクロセル腐食対策について

配管終了後にマクロセル腐食の発生の有無を確認するため、機器を設置して調査を行う。

その際、発生する恐れが有ると確認された場合は、監督員と協議して対策を講じる。

第３節　管路布設工事

１ 土工事

管路布設工事に当たっては、土留めを行うものとする。ただし、造成工との兼ね合い等により、掘削深が浅くなる場合には、監督員の承諾を得たうえで、土留めを行わないことができる。この場合、設計変更するものとする。

２ 排水工

（１）地下水位が深いため、本工事の管路布設工事で排水設備は計上していない。

（２）施工時期が雨期に重なる場合などで、掘削床掘り内の排水処理が必要となる際には、あらかじめ排水計画書を作成して監督員に承諾を得ること。排水計画書には排水先、排水前処理の事項も含めて記載する。

第４節　仮設工事

１ 仮囲い

（１）工事区域の周りには仮囲いを設置し、管理区分の明確化を図る。

（２）仮囲い等の設置に先立ち、詳細な現場調査に基づいた仮設計算を行い、安全性を確認すること。

２ 排水処理

本工事範囲内の雨水、湧水等は、濁質等の確認をしたうえで所定の水質を守り排水する。排水にあたっては、排水先、排水前処理等を記載した排水計画書を作成し、監督員に提出して承諾を得ること。

なお、水質の詳細については、監督員及び道路管理者と協議する。

３ 工事広報板の設置

工事現場において、地元住民や通行者に対して事業内容及び工事に対する理解と協力を得るため、工事広報板を設置する。

なお、広報板の種類、大きさ、設置場所、記載内容等については、監督員と協議する。

第５節　交通管理

１ 交通誘導警備員

（１）本工事に伴う交通誘導警備員は、原則2名（交代要員あり）を配置し、工事関係車両、一般車両、歩行者等の安全を確保する。
（２）本工事では、上記（１）のとおり配置を予定しているが、関係者と協議の結果、新たな交通整理員が必要となった場合は、監督員と協議する。

様式　３

法第１３条及び省令第４条に基づく書面

（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事用（土木工事等）の場合）

１．分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工　　程	作　業　内　容	分別解体等の方法（解体工事のみ）
	① 仮　　設	仮設工事 □ 有　　□ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	② 土　　工	土工事 □ 有　　□ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	③ 基　　礎	基礎工事 □ 有　　□ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	④ 本 体 構 造	本体構造の工事 □ 有　　□ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 □ 有　　□ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	⑥ そ　の　他 （　　）	その他の工事 □ 有　　□ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用

２．解体工事に要する費用　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円（税込）

（受注者の見積金額）

（注）解体工事の場合のみ記載する。

３．再資源化等をするための施設の名称及び所在地　　別紙のとおり

（特定建物資材廃棄物について記載されていればよい）

４．特定建設資材廃棄物の再生資源化に要する費用　＿＿＿＿＿＿＿＿円（税込）

別　紙

（書ききれない場合は別紙に記載）

特定建設資材廃棄物の種類	施 設 の 名 称	所　　在　　地

※受注者が選択した施設を記載（品目ごとに複数記入可）

様式５

再 資 源 化 等 報 告 書

令和　　年　　月　　日

（発注者）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

氏名（法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（郵便番号　　－　　）　電話番号　　－　　－＿＿＿＿＿＿＿＿

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 18 条第１項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

１．工事の名称　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．工事の場所　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．再資源化等が完了した年月日　　令和　　年　　月　　日

４．再資源化等をした施設の名称及び所在地

（書ききれない場合は別紙に記載）

特定建設資材廃棄物の種類	施 設 の 名 称	所　在　地

５．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿万円（税込）

（参考資料を添付する場合の添付資料）※資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事の場合など

☐ 再生資源利用実施書（必要事項を記載したもの）

☐ 再生資源利用促進実施書（必要事項を記載したもの）

別紙

（書ききれない場合は別紙に記載）

特定建設資材廃棄物の種類	施 設 の 名 称	所　　在　　地

舗装版切断時に発生する濁水の処理にかかる特記仕様書

（趣旨）

第１条　この特記仕様書は、秩父広域市町村圏組合水道局上水道工事標準仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

（適用）

第２条　この特記仕様書は、次の工事に適用するものとする。

・工 事 名　　新秩父ﾐｭｰｽﾞﾊﾟｰｸ配水池築造工事

・工事箇所　　小鹿野町長留地内

（濁水の処理）

第３条　受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

・種類及び処理量　　汚泥（油分を含む汚泥）　2.49 ㎥

・中間処理施設　　狭山市広瀬台地内　　大丸商事株式会社

・処　理　方　法　　中間処理後、最終処分場又は再資源化
（処理に焼却又は溶融を含まず）

２　受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

（共通事項）

第４条　受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

２　受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処理委託契約を締結しなければならないものとする。

３　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

４　受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

（提出書類等）

第５条　受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第４条第３項及び第４項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

２　受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。

（その他）

第６条　濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

２　受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

３　この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

新秩父ミューズパーク配水池築造工事

特記仕様書
（電気・機械設備工事）

目　次

第 1 章 総　　則 ---------- 1
　第 1 節 一般事項 ---------- 1

第 2 章 機械設備一般仕様 ---------- 4
　第 1 節 共通事項 ---------- 4
　第 2 節 工事一般仕様 ---------- 5

第 3 章 電気設備一般仕様 ---------- 6
　第 1 節 共通事項 ---------- 6
　第 2 節 配電盤一般仕様 ---------- 7
　第 3 節 計装機器一般仕様 ---------- 12
　第 4 節 テレメータ装置一般仕様 ---------- 13
　第 5 節 電気工事一般仕様 ---------- 13

第 4 章 機械設備工事 ---------- 19
　第 1 節 ポンプ設備 ---------- 19

第 5 章 電気設備工事 ---------- 23
　第 1 節 受変電設備 ---------- 23
　第 2 節 電気設備 ---------- 25
　第 3 節 計装設備 ---------- 30
　第 4 節 自家発電設備 ---------- 34

第 6 章 試験および検査 ---------- 37
　第 1 節 一般事項 ---------- 37
　第 2 節 機械設備機器試験 ---------- 38
　第 3 節 電気設備機器試験 ---------- 39

第 1 章　総　　則

第 1 節　一般事項

1.1.1　適用範囲

本特記仕様書は、新秩父ミューズパーク配水池築造工事における電気設備工事に適用するものであり、受注者は法令その他特別に定めるものの他はすべて本仕様書に準拠し、監督員の指示に従い工事の施工に当たること。

本仕様書に特に定めていない事項については、協議の上決定するものとする。

1.1.2　事業・工事名称

新秩父ミューズパーク配水池築造工事

1.1.3　工事場所

埼玉県小鹿野町長留地内

1.1.4　工事概要

本工事は、新秩父ミューズパーク配水池に必要な、機械・電気設備を整備するものである。

1.1.5　法令・条例等の適用、諸官庁への手続き

本工事に関係のある法令・条例等を遵守し、関係諸官庁・電力会社・電話会社に対する必要な届出・手続き等は請負者がこれを代行する。また、関係諸官庁・電力会社・電話会社とは連絡を密にし、工事の進捗に支障のない様にすること。ただし、これに要する費用は本工事に含むものとする。

1.1.6　準拠規格

本設備に使用する機器材料は、下記の現行標準規格等に準拠するものとする。ただし、特に指定のある場合はこの限りではない。

(1) 水道施設設計指針
(2) 水道工事標準仕様書
(3) 日本産業規格(JIS)
(4) 日本電気規格調査会標準規格(JEC)
(5) 日本電機工業会規格(JEM)
(6) 日本電線工業会規格(JCS)
(7) 電気設備技術基準(経済産業省)
(8) 内線規定(日本電気技術規格委員会編)
(9) 機械設備工事共通仕様書(国土交通省営繕部監修公共建築協会編)
(10) 電気設備工事共通仕様書(国土交通省営繕部監修公共建築協会編)(発電機は対象外)
(11) 日本水道協会規格(JWWA)
(12) 水道法および水道施設基準
(13) 建設業法
(14) 労働安全衛生法
(15) その他関係する諸法令規則

1.1.7　納入図の提出

受注者は契約後速やかに秩父広域市町村圏組合水道局（以下水道局）に担当技術者を派遣し、本仕様書および図面等に基づき設計・製作・施工に関し詳細な技術的打合せを行うこと。その打合せ結果に基づき、本工事で使用する機器・材料・施工方法について、外形図・配線図・仕様等を記した下記納入図を指定部数作成し提出すること。

(1) 各機器外形寸法図・詳細図・構造図等
(2) 結線図・接続図
(3) 機器配置図・据付図
(4) 施工図（各機器間の配管・電線の接続、電線の種類・太さ・芯数・条数等を明記したもの）
(5) その他水道局の指定するもの

1.1.8　変　更

工事の施工上変更が必要であれば、その理由を説明する図面・書類等を提出して監督員と協議の上承諾を得た後に変更すること。

1.1.9　機器・材料の検査

(1) 工事で使用する機器・材料のうち水道局が指定するものについては検査を行う。
(2) 主要機器のうち監督員が指定するものについては、工場立会検査を行う。

1.1.10　施　工

(1) 本工事において、設備全般の機能を完全に発揮させるように施工すること。なお、本仕様書および図面に明記されていなくても、法規上または、施工上目的とする機能のために当然必要なものは、受注者の責任において施工すること。
(2) 受注者は工事施工上必要に応じて、機器の据付位置・据付方法および配線等を記した施工図を提出し、監督員の承諾を得た後に施工すること。

1.1.11　工事日報

請負者は、工事内容とその他必要事項を記載した工事日報を提出すること。

1.1.12　安全衛生管理

工事の施工にあたっては、労働安全衛生に関する諸法令を遵守し、就業者に対し常にこれを徹底させるとともに、災害防止に万全の対策を講じ、安全責任者を定めて管理すること。

1.1.13　試験調整

現場据付工事完了後、監督員の立会のもと各機器・設備の単体および総合試験を行い、設備全般の機能が完全に発揮できるように調整すること。

1.1.14　竣工検査および受渡し

(1) 工事の完成にあたり、関係諸官庁・電力会社等の検査合格後に発注者の竣工検査を受けるものとする。なお、竣工検査には機器およびその他の試験成績書を提出すること。
(2) 竣工検査において、指摘された事項については速やかに改善し、再度検査を受けること。
(3) 本工事の受渡し期日は、立会検査および竣工検査合格後とする。

1.1.15　機器・材料保管

竣工までの機器・材料の保管責任は受注者にあるものとする。

1.1.16　保証期間

本工事の保証期間は、竣工後２年間とする。

1.1.17　講習および指導

工事完了後、設置した機器の運転操作および保守について、水道局の定めた職員に対し講習・技術指導を行うこと。なお、これに要する費用は受注者の負担とする。

1.1.18　完成図書

工事完了後、下記の図書を整備し製本の上、指定部数提出すること。

(1) 施設設備完成図書
(2) 主要機器取扱説明書
(3) 維持管理に必要な運転要領書・説明図書
(4) 工事写真
(5) 各機器試験成績表
(6) 施工に伴う試験成績表・測定結果表
(7) 関係諸官庁・電力会社等提出書類
(8) 工事完成施工図
(9) その他監督員が指示するもの

第 2 章　機械設備一般仕様

第 1 節　共通事項

2.1.1　準拠規格

本工事に使用する機器は、JIS・JEM・JEC各規格に準拠するもので、本章の仕様によること。

2.1.2　単　位

単位はSI単位によること。

2.1.3　付属品

各機器の付属品は、本仕様書に記載されているもののほか、請負者において運転上必要と認めるものはすべて付属すること。

2.1.4　塗装色

塗装色は、原則としてメーカ標準色とする。

2.1.5　周波数

本地区は50Hz地区につき、定格周波数は50Hzとする。

2.1.6　荷造りおよび輸送

荷造りは緩衝・防湿処置を行い、輸送上の注意事項を明記すること。また、予備品は必要に応じ錆止めを施し、ビニールにて包装または専用のケース等に収納し、その外部には内容・品名・数量・保管上の注意事項を明記すること。

2.1.7　他工事との連絡

本工事の施工にあたり他の工事と関連がある場合は、監督員の指示に従い、各工事の請負者間で連絡や打合せを十分に行い、全体として調和のとれたものとすること。

2.1.8　使用状態

(1) 常時使用状態とは、次の場所で使用する場合をいう。
　(ｱ) 標高1000m以下の場所
　(ｲ) 周囲温度40℃以下の場所
(2) 特殊使用状態とは、次の場所で使用する場合をいう。
　(ｱ) 標高1000ｍを越える場所
　(ｲ) 冷却媒体の温度が常時使用状態に定める範囲外の場所
　(ｳ) 常に潮風を受ける場所、特に湿潤な場所、水蒸気・油蒸気のある場所
　(ｴ) 揮発性・腐食性ガスがある場所、または同左ガス襲来のおそれがある場所
　(ｵ) 過度の塵埃がある場所
　(ｶ) 異常の振動または衝撃を受ける場所
　(ｷ) その他特殊の条件下に使用する場所

本設備の設置状態を十分検討し、使用状態に合致した製品とすること。

第 2 節　工事一般仕様

2.2.1　機械据付工事

(1) 各機器の詳細な据付位置の決定にあたっては、事前に監督員と十分協議し、位置の墨出し後も監督員の承諾を得てから据付すること。
(2) 機器の据付にあたっては、水平または垂直の芯出し調整を行うこと。
(3) 弁類の据付にあたっては、前後の配管と側管の取付け位置に注意し、水平または垂直に据付すること。
(4) 弁類の取扱いは台車・角材等を用いて直接地面に接しないようにすること。吊り下げる場合には、台付けを確実に行うこと。

2.2.2　配管工事

(1) 管の製作加工の規格は、日本産業規格(JIS)・日本水道規格協会(JWWA)によること。
(2) 配管工事に先立ち管体検査を行い、亀裂その他の欠陥がないことを確認してから施工すること。
(3) 管の据付にあたっては十分内部を清掃し、水平器等を使用し中心および高低を確認し、動かないよう胴締めを堅固に行い据付すること。
(4) 配管は、必要に応じサポートを取付け施工すること。

第 3 章　電気設備一般仕様

第 1 節　共通事項

3.1.1　準拠規格

本工事に使用する機器は、JIS・JEM・JEC各規格に準拠するもので、本章の仕様によること。

3.1.2　単　位

単位はSI単位によること。

3.1.3　付属品

各機器の付属品は、本仕様書に記載されているもののほか、請負者において運転上必要と認めるものはすべて付属すること。

3.1.4　塗装色

塗装色は、JEM1135(配電盤、制御器およびその取付器具の色彩)を基準とすること。

3.1.5　周波数

本地区は50Hz地区につき、定格周波数は50Hzとする。

3.1.6　荷造りおよび輸送

荷造りは緩衝・防湿処置を行い、輸送上の注意事項を明記すること。また、予備品は必要に応じて錆止めを施し、ビニールにて包装または専用のケース等に収納し、その外部には内容・品名・数量・保管上の注意事項を明記すること。

3.1.7　他工事との連絡

本工事の施工にあたり他の工事と関連がある場合は、監督員の指示に従い、各工事の請負者間で連絡や打合せを十分に行い、全体として調和のとれたものとすること。

3.1.8　使用状態

(1) 常時使用状態とは、次の場所で使用する場合をいう。
　(ｱ) 標高1000m以下の場所
　(ｲ) 周囲温度40℃以下の場所
(2) 特殊使用状態とは、次の場所で使用する場合をいう。
　(ｱ) 標高1000mを越える場所
　(ｲ) 冷却媒体の温度が常時使用状態に定める範囲外の場所
　(ｳ) 常に潮風を受ける場所、特に湿潤な場所、水蒸気・油蒸気のある場所
　(ｴ) 揮発性・腐食性ガスがある場所、または同左ガス襲来のおそれがある場所
　(ｵ) 過度の塵埃がある場所
　(ｶ) 異常の振動または衝撃を受ける場所
　(ｷ) その他特殊の条件下に使用する場所

本設備の設置状態を十分検討し、使用状態に合致した製品とすること。

第 2 節　配電盤一般仕様

3.2.1　高圧閉鎖配電盤

(1) 準拠規格　JEM-1425

(2) 定格

(ｱ) 定格電圧　7.2kV

(ｲ) 定格周波数　50Hz

(ｳ) 定格電流　設計図書による

(ｴ) 定格短時間電流　系統の短絡電流に充分耐えられること。

(ｵ) 絶縁階級　6号A

(ｶ) 定格操作電圧　DC100V

(3) 制御電源

(ｱ) 単相交流　105V（但し、機器の定格は100Vとする）

(ｲ) 直　　流　100V

(4) 母線方式　単母線方式

(5) 低圧配電盤のクラス

(ｱ) 引込盤　JEM-1425 CX級

(ｲ) 受電盤　JEM-1425 CW級

(ｳ) 変圧器盤　JEM-1425 CY級

(6) 配電盤の構造

単位閉鎖形で２面以上の列盤構成とし、鋼板製外被・組立鉄骨・底板等で構成され、移設・増設に便利で電気的・機械的に堅牢で耐電圧的にも優れたものとし下記構造とする。

(ｱ) 金属外箱および主要構造材料は、主要機器の重量・作動による衝撃等に充分耐える強度を有するものとし、次表に示す厚さ以上の鋼板を用いて製作すること。
また、必要に応じて折り曲げ、プレスリブ加工或いは鋼材をもって補強し、組立てた状態において金属部は相互に電気的に連結していること。

表2-1　鋼板の厚さ

構　　成　　部	鋼板の厚さ（mm）
側　面　部	2.3以上
底　　板	1.6以上
天　井　板	1.6以上
仕　切　板	1.6以上
扉	2.3以上
遮蔽板（パンチングメタルなど）	1.6以上

(ｲ) 収納機器は、設置された金属板にて閉鎖し、保守点検に便利なよう内部の機器配置について充分留意して製作すること。

(ｳ) 閉鎖配電盤には底板を設け、必要な個所は取外しできるものとする。

(ｴ) 母線は銅を使用し、銀メッキまたは錫メッキ等の防錆処理を行うこと。
また、接続部は銀接触とするが、別途指示を受けた場合は錫接触とすることができる。

(ｵ) 充電部の空間絶縁距離は充分にとって規定の衝撃電圧に耐えること。
また、充電部は永年に亘って絶縁劣化を生じにくい構造とすること。

(ｶ) 列盤となる閉鎖配電盤は、その一群に渡って3mm×25mm以上の銅製接地母線を備え、容易に点検且つ接地線に接続しうる構造とする。
なお、避雷器の接地線は他の接地線と供用してはならない。

(ｷ) 盤内に取り付ける機器は、図面または特記仕様書によること。
(ｸ) 各盤内には盤内灯を、また列盤に１個コンセントを設けること。
(ｹ) 盤内には、補助継電器、端子、盤内配線およびその他必要なものを完備すること。
(ｺ) 防虫、防鼠構造とすること。
(ｻ) 収納された機器の温度が最高許容温度を超えないように適当な通風孔を設けること。

(7) 扉

(ｱ) 前背面は原則として蝶番式扉とし、前面扉に計器、継電器、制御スイッチ、表示灯等を取付けること。
(ｲ) 蝶番は、ドアが片下がりしないよう充分な強度を有するものとする。
(ｳ) ドアはハンドルを備え旋錠できる構造とすること。

(8) 主回路

主回路に用いる母線および接続導体は、原則として銅体を使用し規定の条件のもとに、定格電流および定格短時間電流を流しても充分これに耐えるものとする。
なお、絶縁電線を用いる場合は原則として、高圧機器盤内配線用電線（JIS-C3611）又は、口出し用クロロプレーンシース電線（JIS-C3615）に規定されたものを使用すること。
または同等以上のこと。

(9) 制御回路

(ｱ) 制御回路に用いる電線は、原則として1.25㎟より線(JIS－C3307またはJIS－C3316)以上を使用し、且つ可動部の渡り線は可とう性のあるものとすること。
但し、電流容量・電圧降下等に支障がなく保護協調がとれれば細い線を使用してもよい。
(ｲ) 配電盤の裏面配線は束配線、またはダクト配線のいずれかとし、同一目的に使用する複数の配電盤には、原則として同種の配線方式を適用すること。
(ｳ) 裏面配線と外部、または盤相互間の接続は端子記号を記入した端子台にて行うこと。
(ｴ) 配線の分岐は端子部（器具付属の端子を含む）で行い、端子１ヶ所で３本以上締め付けないこと。
(ｵ) 配線の端子接続部分には端子記号を付すか、または配線記号を付したマークバンドを取付けること。なおマークバンドは容易に脱落しない構造であること。
(ｶ) 電線被覆の色別はJEM－1122により次記の色別を行うこと。
・計器用変圧器二次回路･････････　黄色
・直流制御回路･････････････････　黄色または青色
・変流器二次回路･･････････････　黄色
・交流制御回路･････････････････　黄色
・接地回路･････････････････････　緑色

(10) 塗装および塗装色

(ｱ) 盤機器の塗装
銅製部分は、充分なる下地処理を行い更に防錆下地処理を入念に施し、耐候、耐蝕性に優れた塗装により仕上げ塗装を行うこと。
(ｲ) 塗装色
原則としてJEM-1135によること。（但し指定されたものを除く）

(11) 付属品

付属品・予備品として下記を納入すること。

(ｱ) 扉旋錠装置（全盤共通キーとする）	1式
(ｲ) 盤内照明　AC100V蛍光灯	1式
(ｳ) ランプ（LEDは除く）	取付け数の100％
(ｴ) ヒューズ	取付け数の100％
(ｵ) 表示器灯用各種グローブ	取付け数の100％

(ｶ) 遮断器用引出し台車　　1式
(ｷ) 断路器用操作盤　　1式
(ｸ) その他必要なもの　　1式

3.2.2　低圧閉鎖配電盤

(1) 準拠規格　　JEM-1265
(2) 定格
(ｱ) 定格電圧　　AC200V
(ｲ) 定格周波数　　50Hz
(ｳ) 定格電流　　設計図書による
(ｴ) 定格短時間電流　　系統の短絡電流に充分耐えられること
(3) 制御電源
(ｱ) 操作電圧　　AC100V、200VまたはDC100Vのいずれかとする
(ｲ) ランプ、集合表示灯および警報回路　　AC100V、200VまたはDC100Vのいずれかとする
(4) 母線方式　　単母線方式
(5) 低圧配電盤のクラス　　JEM-1265 C級以上
(6) 配電盤の構造

単位閉鎖形とし、鋼板製外被、組立鉄骨、底板等で構成され、移設・増設に便利で電気的・機械的に堅牢で耐電圧的にも優れたものとし下記構造とする。

(ｱ) 金属外箱および主要構造材料は、収納機器の重量・作動による衝撃等に充分耐える強度を有するものとし、次表に示す厚さ以上の鋼板を用いて製作すること。
また、必要に応じて折り曲げ、プレスリブ加工或いは鋼材をもって補強し、組立てた状態において金属部は相互に電気的に連結していること。

表2-2　鋼板の厚さ

構　成　部	鋼板の厚さ（mm）
側　面　部	2.3以上
底　　板	1.6以上
天　井　板	1.6以上
仕　切　板	1.6以上
扉	2.3以上

(ｲ) 低圧配電盤には銅板の接地母線を備え、容易に点検ができ、且つ接地線に接続しうる構造とする。
(ｳ) 低圧配電盤には底板を設け、必要な個所は取外しできるものとする。
(ｴ) 充電部の空間絶縁距離は充分にとって規定の衝撃電圧に耐えること。
また、充電部は永年に亘って絶縁劣化を生じにくい構造とすること。
(ｵ) 盤内に取付ける機器は、図面または特記仕様書によること。
(ｶ) 各盤内には盤内灯を、また列盤に１個コンセントを設けること。
(ｷ) 盤内には、補助継電器、端子、盤内配線およびその他必要なものを完備すること。
(ｸ) 防虫、防鼠構造とすること。
(ｹ) 収納された機器の温度が最高許容温度を超えないように適当な通風孔を設けること。
(7) 扉
(ｱ) 全背面は原則として蝶番式扉とし、全面扉に計器、継電器、制御スイッチ、表示灯等を取付けること。
(ｲ) 蝶番は、ドアが片下がりしないよう充分な強度を有するものとする。

(ｳ) ドアはハンドルを備え旋錠できる構造とすること。

(8) 主回路

主回路に用いる母線および接続導体は、銅を使用し規定の条件のもとに定格電流および定格短時間電流を流しても充分これに耐えるものとする。

なお、絶縁電線を用いる場合は原則として600Vビニール絶縁電線　IV（JIS-C3307）または電気機器用ビニール絶縁電線　KIV（JIS-3316）に規定されたものを使用すること。または同等以上のこと。

(9) 制御回路

(ｱ) 制御回路に用いる電線は、原則として1.25㎟より線（JIS-C3307またはJIS-C3316）以上を使用し、且つ可動部の渡り線は可とう性のあるものとすること。
但し、電流容量、電圧降下等に支障がなく保護協調がとれれば細い線を使用してもよい。

(ｲ) 配電盤の裏面配線は束配線、またはダクト配線のいずれかとし、同一目的に使用する複数の配電盤には、原則として同種の配線方式を適用すること。

(ｳ) 裏面配線と外部、または盤相互間の接続は端子記号を記入した端子台にて行うこと。

(ｴ) 配線の分岐は端子部（器具付属の端子を含む）で行い、端子１ヶ所で３本以上締め付けないこと。

(ｵ) 配線の端子接続部分には端子記号を付すか、または配線記号を付したマークバンドを取付けること。なおマークバンドは容易に脱落しない構造であること。

(ｶ) 電線被覆の色別はJEM-1122により次記の色別を行うこと。

・計器用変圧器二次回路･････････　黄色
・直流制御回路･････････････････　黄色または青色
・変流器二次回路･･････････････　黄色
・交流制御回路･････････････････　黄色
・接地回路･････････････････････　緑色

(10) 塗装および塗装色

(ｱ) 盤機器の塗装
銅製部分は、充分なる下地処理を行い更に防錆下地処理を入念に施し、耐候、耐蝕性に優れた塗装により仕上げ塗装を行うこと。

(ｲ) 塗装色
原則としてJEM-1135によること。（但し指定されたものを除く）

(11) 付属品

付属品・予備品として下記を納入すること。

(ｱ) 扉旋錠装置（全盤共通キーとする）	1式
(ｲ) 盤内照明　AC100V蛍光灯	1式
(ｳ) ランプ（LEDは除く）	取付け数の100%
(ｴ) ヒューズ	取付け数の100%
(ｵ) 表示器灯用各種グローブ	取付け数の100%
(ｶ) その他必要なもの	1式

3.2.3　現場操作盤

(1) 準拠規格	JEM-1265
(2) 形　　式	自立形、スタンド形または壁掛形とすること。
(3) 取付け品	スイッチ類、信号灯、その他必要なもの

(4) 構造

(ｱ) 筐体は、鋼板製にて堅固な構造とすること。

(ｲ) 支持用スタンドは鋼管または適当な鋼板製の支持物とし、上部の筐体を支持するのに充分な強度を有するとともに、通線時支障の無い内断面積を有すること。

(ｳ) 屋外用は防雨構造とし、内部温度上昇および湿度による不都合を生じないよう、適当な措置を講じること。また、屋外盤には乾燥用スペースヒータを取付けること。

(5) 付属品

付属品・予備品として下記を納入すること。

(ｱ) ランプ（LEDは除く）	取付け数の100％
(ｲ) ヒューズ	取付け数の100％
(ｳ) 表示器灯用各種グローブ	取付け数の100％
(ｴ) その他必要なもの	1式

第 3 節　計装機器一般仕様

3.3.1　共通事項

(1) 各種計器、変換器、発信器等は電子式を原則とし、信号は統一直流信号とする。

(2) 指示計器、変換器、発信器等は保守・点検が容易で、使用機器、部品は互換性を有すること。

(3) 現場取付けの計器は、防食、防水または防滴を考慮し、湿潤なところに設置しても支障しないものであること。

(4) 屋内外に設置する発信器及び変換器類は、雷及び開閉サージに対する保護として、計器用避雷器等を取り付けること。

(5) 電源の電圧、周波数は下記とする。

(ｱ) 電圧　　AC100V、DC24V

(ｲ) 周波数　　50Hz

第 4 節　テレメータ装置一般仕様

3.4.1　機器仕様

(1) テレメータ装置

(ｱ) 伝送回線	NTT専用回線（帯域品目 3.4kHz・200bps）
(ｲ) 通信方式	２線式、全２重通信方式
(ｳ) 情報伝送方式	時分割サイクリック方式
(ｴ) 符号方式	NRZ等超符号
(ｵ) 同期方式	フレーム同期方式
(ｶ) 誤り検定	パリティチェックと反転二連送照合方式
(ｷ) 対向方式	1:1方式
(ｸ) 異常検出	回線異常、通信異常、CPU異常
(ｹ) 電　　源	AC100V

第 5 節　電気工事一般仕様

3.5.1　施工基準

本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書および設計図に基づき、関係法令・規定・基準に準拠し責任をもって施工すること。

3.5.2　工事材料

本設備に使用する工事材料は下記に明記されたものを使用すること。

(1) 電線類

(ｱ) 高圧回路（電力）

架橋ポリエチレン絶縁ビニールシースケーブル　JIS-C3606

(ｲ) 低圧回路（動力・電力）

架橋ポリエチレン絶縁ビニールシースケーブル　JIS-C3606

(ｳ) 計測制御回路

制御用ビニールシースケーブル　JIS-C3401

隠蔽付制御用ビニールシースケーブル　JIS-C3401

(ｴ) 接地回路

600V ビニール電線　JIS-C3307

硬銅より線　JIS-C3105

(ｵ) 照明回路

600V ビニール電線　JIS-C3307

(2) 電線管

電線管は、原則としてJIS-C8305の鋼製電線管を使用すること。

なお、地中部分等の金属の腐食する恐れがあるところに布設するものにおいては、JIS-C8430硬質ビニール電線管およびポリエチレン被覆電線管（PE電線管）を使用してもよい。

(3) 地中電線保護管

地中電線の保護に使用する材料は、原則として下記のものを使用すること。

(ｱ) コンクリートトラフ　JIS-A5321

(ｲ) 鉄筋コンクリート管　JIS-A5303

(ｳ) 波付硬質ポリエチレン管

(4) 接地材

接地極は下記のものを標準とする。

(ｱ) 銅板を使用する場合は、厚さ0.7㎜2以上、大きさ900㎜2以上のものであること。

(ｲ) 銅棒・銅被覆鋼棒を使用する場合は、直径8㎜以上、長さ0.9m以上のものであること。

(ｳ) 鉄管を使用する場合は、外形25㎜以上、長さ0.9m以上の亜鉛メッキガス鉄管、または厚鋼電線管であること。

(ｴ) 鉄棒を使用する場合は、直径12㎜以上、長さ0.9m以上の亜鉛メッキを施したものであること。

3.5.3　施工詳細

(1) 屋内配線

(ｱ) 配線

(A) 端末処理等

・高圧ケーブルおよび公称断面積14㎜2以上の低圧動力ケーブルの端末処理は、JCAA規格の材料を用いること。

また、14㎜2未満の低圧動力ケーブルは、テーピングによる端末処理をすること。なお施工困難な個所については、監督員の指示により施工すること。

・制御ケーブルの端末処理は、テーピングにて行うこと。

・機器類の各端子への繋ぎ込みは、圧着端子で行うと共にケーブルには、ケーブル記号を記したバンドまたは札をシースに取付けること。

・高圧ケーブル及び低圧動力ケーブルの各芯線は相色別を行うこと。

・制御ケーブルの各芯線には端子記号と同じマークを刻印したマークバンドを取付けること。

(B) 直線接続

・ケーブルの直線接続は行ってはならない。
但し施工上困難な個所については、監督員の指示により従うこと。

(C) ケーブルと機器の接続

・配電盤に引込むケーブルは適切な支持物に堅固に固定し、接続部に過大な応力がかからないようにすること。

・閉鎖形配電盤はケーブル引込み後、開口部をコンクリート、パテ等で塞ぎ防湿・防虫処理を行うこと。

(D) 電路とその他のものとの離隔

・低圧ケーブルまたは低圧ケーブルを収納した電路は、弱電流電線等と接触しないように施工すること。

・低圧ケーブルと弱電流電線を同一金属ダクト、ケーブルラック、ケーブルピットに収納して配線する場合は隔壁を設けること。

・高圧ケーブルと低圧屋内ケーブル、管灯回路の配線、弱電流電線または水道管、ガス管もしくはこれらに類するものとは15㎝以上隔離すること。
但し、高圧ケーブルを耐火性のある堅牢な管に収め、または高圧ケーブルとこれらのものとの間に耐火性のある隔壁を設け、かつ高圧ケーブルとこれらのものとが接触しないように施設する時は、この限りではない。

(E) 壁の貫通部分

・金属管で防火壁を貫通する場合は、壁面より１m以上突出しさせ、管端にロックウール等の不燃材を充填すること。

・ケーブルラック、金属ダクトで防火壁を貫通する場合は、貫通部にアスベストロックウール等の不燃材を充填し、1.6㎜以上の厚さの鋼鈑で防護すること。
また壁両面の電線には必要に応じ、壁面より１m以上にわたり延焼防止材を塗布すること。

・床及び壁の貫通個所で、不必要な開口部はモルタル等を充填し密閉すること。

・建物を貫通し、直接屋外に通じる管路は、屋内に水が侵入しないよう防水措置を行うこと。

(F) その他

・建物の伸縮部分を渡って設置する電線路、ケーブルラック、金属ダクト等は伸縮を考慮すること。

(ｲ) 金属工事

(A) 隠蔽配管の布設

・予備配管には1.2㎜以上のビニール被覆電線をいれておくこと。

・通線する場合には潤滑材として絶縁被覆を侵すものを使用してはならない。

・通線は通線直前に管内を十分清掃し、なるべく天井、壁の仕上げ塗りが乾燥してから行うこと。通線に際して電線が破損または汚れないように十分養生しながら通線すること。

・管の埋込みまたは貫通は監督員の指示に従い、建造物の構造及び強度に支障のないように

行うこと。

・管の曲げ半径は管内径の6倍以上とし、曲げ角度90度を超えてはならない。

・１区間の屈曲個所は４箇所以内とし、曲げ角度の合計は270度を超えてはならない。

・管を造営材に取付けるにはサドルまたはハンガ等を使用し取付け間隔は２m以下とする。但し、管端・管相互の接続点及び管とボックスとの接続点では、接続点に近い個所で管を固定すること。

・コンクリート埋込みとなる管路は管を鉄筋に結束し、コンクリート打ち込み時に容易に移動しないようにすること。

・ボックス、分電盤の外箱などは形枠に堅固に取付けること。なお、ボックス、分電盤の外箱などに適合する仮枠を使用する場合は、ボックス、分電盤の外箱などを取付けたのち、その周囲にモルタルを充填すること。

・配管の1区間が30mを超える場合または、技術上必要とする個所にはプルボックスを設けること。

・ボックス類は造営材その他に堅固に取付けること。なお、点検出来ない個所に施設してはならない。

・管の切り口はリーマ等を使用し平滑にすること。

(B) 露出配管の布設

・露出配管は天井または壁面に沿って布設し、立上げまたは引下げる場合、パイプシャフトその他壁面に沿って布設すること。

・管を支持する金物は、鋼製で管数・管の配列およびこれに支持する個所の状況に応じたものとする。

・プルボックスは、原則としてスラブその他の構造物からつり下げて取付けること。

・管を支持する金物は、スラブその他の構造体に堅固に取付けること。

・管を造営材に取付けるにはサドルまたはハンガ等を使用し、取付け間隔1.5m以下とする。但し、管端・管相互の接続点では、接続点に近い個所で管を固定すること。

・管を支持する金物の取付け間隔は２m以下とする。但し、プルボックスと管との接続点に近い個所では管を固定すること。

(C) 管の接続

・管相互の接続はカップリングを使用し、ネジ込み、突合せおよび締付けは十分に行うこと。

・管とボックス等の接続がネジ込みによらないものには、内外面にロックナットを使用し接続部分を締付け、管端には絶縁ブッシングまたはブッシングを使用すること。

・管を送り接続とする場合はカップリング及びロックナットを使用する

・接地を施す配管（ケーブル収納の場合を含む）は、管とボックス管にボンディングを行うこと。但しネジ込み接続となる個所及びネジ無し丸型露出ボックス、ネジ無しスイッチボックスなどに接続される個所には省略してもよい。

・ボンディングに用いる接続線は２㎜以上の軟銅線を使用すること。その接続は監督員の承諾を得た場合を除き無ハンダ接続とする。

・湿気の多い場所または水気のある場所に施設する配管は、監督員の指示により防湿または防水処理を行うこと。

(D) 配管の養生及び清掃

・管に水気、塵埃等が侵入しがたいようにし、コンクリート打ちの場合は管端にパイプキャップまたはブッシュキャップ等を用いて十分養生すること。

・管及びボックスまたはコンクリート打ちの場合は形枠を取外した後、速やかに管路の清掃及び導通状態を調べること。

・管、付属品及び管支持物のメッキまたは塗装のはがれた個所には錆止め塗装を行うこと。

但し、コンクリート埋込み部分はこの限りではない。

(E) 可とう電線管工事

・可とう電線管および付属品相互は、機械的、電気的に完全に連結し、かつ、造営材に堅固に取付けること。

・管の曲げ半径は管内径６倍以上とし、管内に電線が、容易に引込み引換え出来るよう布設すること。但し、やむを得ない場合は監督員の承認を受けて、管内径の3倍以上とする事が出来る。

・管を造営材に取付けるには、一般的にサドルまたはハンガ等を使用し取付け間隔は１m以下とする。なお管端、管相互の接続点及び管とボックスの接続点では、それから0.3m以下で管を固定すること。
但し、垂直に布設し人の触れるおそれのない場合、及びやむを得ない場合は２m以下とする事が出来る。

・ボックスとの接続には適当なコネクタを使用し、堅固に取付けること。

・可とう電線管を他の金属管などと接続する場合は、適当なコネクタにより、機械的・電気的に完全に連結すること。

・管の端口には電線の被覆を損傷しないようにブッシングまたはコネクタ等を使用すること。

(2) 屋外配線

(ｱ) 埋設位置の選定

図面または特記仕様書に記載のない場合は監督員の承認を受けて適当な場所を選定すること。

(ｲ) 掘削埋戻

(A) 掘削に際しては、地下埋設物についてあらかじめ調査を行い、地下埋設物に影響を与えてはならない。

(B) 掘削に際しては、土砂が崩壊する恐れがある時は土留めを行うこと。

(C) 底面は瓦礫等埋設管路に損傷を与えるものを取り除き均一にすること。

(D) 埋戻しは、適当な水分を含んだ良質土により行い、均一に締固めること。

(ｳ) ハンドホール及びマンホール

(A) マンホール、ハンドホールの位置、形状は図面または特記仕様書によること。

(B) マンホールの壁には、ケーブルおよび接続部を支える支持金物を堅固に取付け、支持金物には木製、陶製などの枕を設けること。

(C) 深さ1.4mを超えるマンホールを施設した時には、昇降用金属製梯子を同一深さのものに対し、1台具備すること。

(D) トラフ及び管路等との接続部は、モルタル等を用いて滑らかに仕上げ、ケーブルに損傷を与えない構造とすること。

(E) ハンドホール及びマンホールの首部で地表に出る部分は、モルタル仕上げを行うこと。

(ｴ) 地中ケーブルの取扱い

(A) 地中ケーブル相互の離隔

・下記の地中ケーブル相互間は、堅牢な耐火質の隔離がある場合を除き30cm以下に接触させてはならない。但しマンホール、ハンドホールなどの内部ではこの限りでない。
〇低圧ケーブル
〇高圧ケーブル
〇特別高圧ケーブル

・地中ケーブルと地中弱電流電線とは、相互に堅牢な耐火質の隔離がある場合を除き、低圧及び高圧ケーブルでは30cm以下、特別高圧ケーブルでは60cm以下に接近させてはならない。

(B) ハンドホール及びマンホール内では、ケーブルに余裕を持たせること。

(C) ケーブルを建物屋外側または電柱に沿って仕上げる場合は、地下部分及び地表上1.2mの高さまで適当な太さの電線管などに収めること。

(ｵ) 埋設位置の表示

(A) 地中電線路の要所には、その位置を表示するコンクリート標柱を設けること。

(B) 全長15mを超える高圧地中配線には、標識シート等を埋設し、概ね２mの間隔で物件の名称、管理者名、電圧及び埋設年を表示すること。

(ｶ) トラフ及び管の布設

(A) トラフは隙間のないように敷きならべて、ケーブル布設後、川砂または山砂を充填すること。

(B) 硬質塩化ビニール管及び可とう硬質ポリエチレン管を布設する場合は、掘削後川砂または山砂を均一に敷きならべ、その後に管を布設し管の上部は同質の砂を用いて締付けること。

(C) トラフ及び管等の土冠りは原則として0.6m以上とし、車両その他重量物の圧力を受ける恐れのある場所は1.2m以上とする。

(D) 亜鉛メッキガス管または厚鋼電線管を使用する場合は、外周にジュート巻きを行い、防錆処理を行ったものを使用すること。

(E) 管の配列、接続、布設深さなどについては、図面または特記仕様書によること。

(F) コンクリート管を車両その他重量物の圧力を受ける恐れのある場所に布設する場合は部分胴締めを行うこと。

(G) ケーブルの引込みに先立ち、管内は十分に清掃すること。また管の布設と同時に通線を行わない場合は、管端口に蓋等を被せ防護すること。

3.4.4　据付工事

機器の据付に当たっては、周囲の環境に十分考慮すると共に据付ける機器の性能を害さないように水平垂直等に対して十分注意して施工すること。

また、各機器は、コンクリート基礎上にアンカーボルトまたはプラグボルトを使用して堅固に据付すること。なお、屋外で露出するボルトは、ボルトキャップを施すこと。

第 4 章　電気設備工事

第 1 節　電気・計装設備

4.1.1　概要

本工事は、配水池整備に伴い、配水池の監視を行うためのものである。

4.1.2　工事範囲

(1) 4.1.3に記載の機器製作・据付工事
(2) 上記機器間の配線接続工事
(3) 上記機器の試運転調整
(4) その他上記に伴う諸工事

4.1.3　機器仕様

(1) 計装テレメータ盤

(ｱ) 数　　量	1面
(ｲ) 形　　式	屋内閉鎖自立形
(ｳ) 寸　　法	設計図を参照し承諾図において決定する。

(ｴ)盤内取付け機器

配線用遮断器	1式
補助継電器	1式
単相変圧器　5kVA　210/105V	1式
アレスタ	1式
テレメータ収納余地	1式
小型情報装置収納余地	1式
その他必要なもの	1式

(ｵ) 盤面取付け機器

名称板	1式
電力量計(検定付き)	1式
切換開閉器	1式
押釦開閉器	1式
水位指示計	1式
流量指示計	1式
流量積算計	1式
集合表示灯	1式
その他必要なもの	1式

(2) 配水池水位計

(ｱ) 数　　量	2台
(ｲ) 形　　式	投込み式
(ｳ) 出力信号	DC4～20mA
(ｴ) 使用温度	-10～60℃
(ｵ) 周囲温度	-10～60℃
(ｶ) 周囲湿度	5～85%RH（結露しないこと）
(ｷ) 使用場所	流速１m/sec以下（防波管内に設置）
(ｸ) 指 示 計	LCDデジタル指示計
(ｹ) 避雷機能	内蔵
(ｺ) 配線接続口	G1/2
(ｻ) 構　　造	保護等級　JIS C 0920 IP45
(ｼ) 塗　　色	
(A) ケ ー ス	ライトグレー
(B) カ バ ー	ブルー
(ｽ) 付 属 品	
(A) 避 雷 器	1式
(B) その他必要なもの	1式

(3) 送水流量計

Ⅰ 検出部

(ｱ) 数　　量	1台
(ｲ) 形　　式	電磁式、水中形
(ｳ) 口　　径	φ250
(ｴ) 流体温度	-20～70℃（凍結しないこと）
(ｵ) 周囲温度	-20～60℃
(ｶ) 周囲湿度	5～95%RH（結露しないこと）
(ｷ) 主要部材質	
(A) パ イ プ	ステンレス鋼
(B) ケ ー ス	ステンレス鋼
(C) フランジ	ステンレス鋼
(D) ライニング	クロロプレンゴム
(E) 電　　極	SUS316L
(F) 保護リング	SUS316
(ｸ) フランジ規格	JIS B 5527 上水
(ｹ) 塗　　色	無塗装（ステンレス地肌）
(ｺ) 外部配線口	G1/2 2個
(ｻ) 防水規格	JIS C 0920 IP68（水中形）
(ｼ) 付 属 品	
(A) 専用ケーブル（励磁・信号）	1式
(B) その他必要なもの	1式

Ⅱ 変換器

(ｱ) 数　　量	1台
(ｲ) 入　　力	検出器からの流量信号
(ｳ) 信号処理方式	マイクロプロセッサによるデジタル演算
(ｴ) 出　　力	

(A) アナログ出力　DC4～20mA
(B) 積算パルス出力　トランジスタ接点出力
(ｵ) 流量単位　容積単位：m3
(ｶ) 表　　示　8桁デジタル表示
(ｷ) 電　　源　AC100V 50Hz
(ｸ) 消費電力　最大18VA
(ｹ) 防水規格　JIS C 0920 IP66（耐水形）
(ｺ) 周囲温度　-10～60℃
(ｻ) 周囲湿度　5～90%RH（結露しないこと）
(ｼ) 主要部材質　アルミニウム合金
(ｽ) 外線配線口　G1/2　5個
(ｾ) 塗　　色
(A) ケ ー ス　ライトグレー（ポリウレタン樹脂塗装）
(B) カ バ ー　ラベンダーブルー（ポリウレタン樹脂塗装）
(ｿ) 付 属 品
(A) 避 雷 器　1式
(B) その他必要なもの　1式

(4) 配水流量計
Ⅰ 検出部
(ｱ) 数　　量　1台
(ｲ) 形　　式　電磁式、水中形
(ｳ) 口　　径　φ80
(ｴ) 流体温度　-20～70℃（凍結しないこと）
(ｵ) 周囲温度　-20～60℃
(ｶ) 周囲湿度　5～95%RH（結露しないこと）
(ｷ) 主要部材質
(A) パ イ プ　ステンレス鋼
(B) ケ ー ス　ステンレス鋼
(C) フランジ　ステンレス鋼
(D) ライニング　クロロプレンゴム
(E) 電　　極　SUS316L
(F) 保護リング　SUS316
(ｸ) フランジ規格　JIS B 5527 上水
(ｹ) 塗　　色　無塗装（ステンレス地肌）
(ｺ) 外部配線口　G1/2 2個
(ｻ) 防水規格　JIS C 0920 IP68（水中形）
(ｼ) 付 属 品
(A) 専用ケーブル（励磁・信号）　1式
(B) その他必要なもの　1式
Ⅱ 変換器
(ｱ) 数　　量　1台
(ｲ) 入　　力　検出器からの流量信号
(ｳ) 信号処理方式　マイクロプロセッサによるデジタル演算
(ｴ) 出　　力
(A) アナログ出力　DC4～20mA

(B) 積算パルス出力　　トランジスタ接点出力
(ｵ) 流量単位　　容積単位：m3
(ｶ) 表　　示　　8桁デジタル表示
(ｷ) 電　　源　　AC100V 50Hz
(ｸ) 消費電力　　最大18VA
(ｹ) 防水規格　　JIS C 0920 IP66（耐水形）
(ｺ) 周囲温度　　-10～60℃
(ｻ) 周囲湿度　　5～90%RH（結露しないこと）
(ｼ) 主要部材質　　アルミニウム合金
(ｽ) 外線配線口　　G1/2 5個
(ｾ) 塗　　色
(A) ケ ー ス　　ライトグレー（ポリウレタン樹脂塗装）
(B) カ バ ー　　ラベンダーブルー（ポリウレタン樹脂塗装）
(ｿ) 付 属 品
(A) 避 雷 器　　1式
(B) その他必要なもの　　1式

(5) テレメータ装置

第二送水ポンプ室と配水池間をNTT専用回線により接続し、遠隔監視操作を行う。

(ｱ) 数　　量　　1組(親局、子局)
(ｲ) 通信方式　　２線式
(ｳ) 伝送方式　　帯域品目
(B) 伝送速度　　200bps
(C) 伝送点数　　計測約５量　　故障約５点
(D) 上記に伴うその他必要なもの　　１式

(6) 計装盤機能増設（送水第二ポンプ室）
(ｱ) 数　　量　　1式
(ｲ) 機能増設内容
テレメータ親局の取付け作業
(A) 信号取込み　　1式
(B) 計器の取付け作業　　1式
(C) その他必要な機能増設　　1式
(D) 上記に伴うその他諸工事

第 2 節　緊急遮断弁

4.2.1　概要

本工事は、配水池整備に伴い、緊急遮断弁の設置を行ものである。

4.2.2　工事範囲

(1) 4.2.3に記載の機器製作・据付工事
(2) 上記機器間の配線接続工事
(3) 上記機器の試運転調整
(4) その他上記に伴う諸工事

4.2.3　機器仕様

(1) 緊急遮断弁

(ｱ) 数　　量	各口径　１台
(ｲ) 形　　式	電動バタフライ弁
(ｳ) 口　　径	φ250(１台)及びφ80(１台)
(ｴ) 面間寸法	JWWA　B　138
(ｵ) 電動機	200V　50Hz　4P　0.1kW及び0.04kW
(ｶ) 主要部材質	
弁箱	FCD450-10または同等以上
弁体	FCD450-10または同等以上
弁棒	SUS403または同等以上
(ｷ) 塗装	内外面エポキシ樹脂粉体塗装
(ｸ) 付属品(1台につき)	
ポテンショメータ、R/I変換器　1式	
その他必要なもの　1式	

(2) 緊急遮断弁操作盤

(ｱ) 数　　量	1面
(ｲ) 形　　式	屋外閉鎖自立形
(ｳ) 寸　　法	設計図を参照し承諾図において決定する。
(ｴ) 盤内取付け機器	
(A) 無停電電源装置　1.5kVA	1式
(B) 地震検出装置本体	1台
最大加速度表示	第１設定値～1999Gal
表示開始条件	最大加速度≧第１設定
出力設定	設定数　：３段
	設定範囲：50～999Gal（1Galステップ）
	設定方法：デジタルスイッチ
制御出力	最大加速度≧第１～３設定
復帰方法	前面パネル押釦又は外部リセット入力
電　　源	AC100V
(C) 地震検出装置検出部	1台
検出方法	水平全方向及び垂直方向（かつプロテクタ動作）
検出範囲	50～1999Gal
プロテクタ	20～50Gal（倒立重錘方式）、水平全方向

(D) 配線用遮断器　1式
(E) サーキットプロテクタ　1式
(F) スイッチングパワーサプライ　1式
(G) 中間開度設定器　1式
(H) 警報設定器　1式
(I) 補助継電器　1式
(J) 避 雷 器　1式
(K) 集合表示灯　1式
(L) その他必要なもの　1式

(ｵ) 盤面取付け機器
(A) 名 称 板　1式
(B) 切換開閉器　1式
(C) 操作開閉器　1式
(D) 押釦開閉器　1式
(E) 弁開度指示計　1式
(F) 流量指示計　1式
(G) 集合表示灯　1式
(H) その他必要なもの　1式

第 6 章　試験および検査

第 1 節　一般事項

6.1.1　試　験

(1) 機器の製作完了後、次の試験を行う。
　(ｱ) 工場試験
　(ｲ) 受渡し試験
(2) 機器の据付・配線工事完了後、次の試験を行う。
　(ｱ) 配線　絶縁抵抗試験
　(ｲ) 器具　絶縁抵抗試験
　(ｳ) その他運転に必要な一切の予備試験
(3) 試験は原則として監督員立会の上行うものとし、検査日時・検査場所・検査方法を記載した書類を提出すること。

6.1.2　動作試験

6.1.1の各試験完了後、次の各機器の動作試験ならびに調整を行う。
(1) 機械設備
　(ｱ) 動作試験
(2) 電気設備
　(ｱ) 動作試験
　(ｲ) 計測値調整

6.1.3　雑　則

(1) 試験用器具、試験に必要な一切のもの、およびこれに要する消耗品は、すべて請負者の負担とする。
(2) 試験方法、その他試験の詳細については、その都度別途指示する。

第 2　節　電気設備機器試験

6.2.1　制御盤

(1) 準拠規格

JIS-1153・1425に準ずる。

(2) 試験項目

(ｱ) 構造試験

(ｲ) 連動試験

(ｳ) 操作試験

(ｴ) 絶縁試験

(ｵ) 耐圧試験

(ｶ) シーケンス試験

(ｷ) その他監督員の指示するもの

6.2.2　その他の機器

(1) 準拠規格

各機器の試験に関する規格に準ずる。

(2) 試験項目

(ｱ) 構造試験

(ｲ) 性能試験

(ｳ) 操作試験

(ｴ) 特性試験

(ｵ) その他監督員の指示するもの

第 3 節　緊急遮断弁試験

6.3.1　弁類

(1) 準拠規格

JIS-B8301・B8302に準ずる。

(2) 試験項目

(ｱ) 外観寸法検査

(ｲ) 開閉作動検査

(ｳ) 水圧検査

(A) 耐圧試験　　0.70MPa

(B) 弁座洩れ試験　　0.15MPa

(ｴ) 運転状態

(ｵ) その他監督員の指示するもの